

意識の国際比較方法論の研究

—— 5カ国調査共通ファイルコードブック ——

1987年 ド イ ツ 調査

1987年 フランス 調査

1987年 イギリス 調査

1988年 アメリカ 調査

1988年 日 本 調査

1992年10月

統計数理研究所

研究リポート72

意識の国際比較方法論の研究

—— 5 カ国調査共通ファイルコードブック ——

1987年 ド イ ツ 調査

1987年 フランス 調査

1987年 イギリス 調査

1988年 アメリカ 調査

1988年 日 本 調査

統 計 数 理 研 究 所

東京都港区南麻布 4 - 6 - 7

電 話 (03) 3446-1501

F a x (03) 3446-1695

この研究レポートは

- (1) 昭和61年度～平成2年度 文部省科学研究費補助金(特別推進研究(1) 61060002)「意識の国際比較方法論の研究——新しい統計的社会調査法の確立とその展開——」
- (2) 昭和63年度～平成元年度 文部省科学研究費補助金(国際学術研究、63041128)「意識の国際比較方法論の研究——連鎖的比較方法の確立とその展開——」

による研究成果をまとめた報告書全20冊の一部を編集したものである。

当研究所では、

Annals of the Institute of Statistical Mathematics

統計数理

Computer Science Monographs

を発行している。

研究レポートは主として研究調査の成果の発表を目的とし、必要に応じて発行する。

ALL RIGHTS RESERVED.

NO PART OF THIS PUBLICATION MAY BE REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY FORM OR BY ANY MEANS, ELECTRONIC OR MECHANICAL, INCLUDING PHOTOCOPY, RECORDING, OR ANY INFORMATION STORAGE AND RETRIEVAL SYSTEM, WITHOUT PERMISSION IN WRITING FROM THE INSTITUTE.

はしがき

この研究レポートは昭和61年度から平成2年度にわたる文部省科学研究費補助金特別推進研究(1)「意識の国際比較方法論の研究」により実施したドイツ(調査時は西ドイツ)、フランス、イギリス、アメリカ、日本の各全国調査の調査データをまとめ、分析用の共通ファイルのコードブックとして作成したものである。この研究の目的は、異なる文化圏に属する人々の意識構造の比較研究のための方法論を確立し、それを具体的に適用して国際理解、国際協力の基礎となるべき基礎的知見を得ることであり、連鎖的比較調査方法とそれに基づく統計的データ解析法がこの中心的役割をなしている。実際の調査対象は、上記の5カ国であり、調査は1987年と1988年に実施された。特別推進研究としての報告書は全20冊になる。このレポートはその第19分冊にあたるが、より詳しい研究成果をまとめた全報告書の内容を示すため、全20冊のはしがきと内容目次も報告書のままかかげておく。

目次

見出し一覧	
問番号順	1
#番号順（索引を含む）	6
5 カ国調査共通ファイルコードブック	15
1988年日本調査A 調査票	415
本研究の概要	
第1部 意識の国際比較の方法論とその基本構想	467
第2部 調査の計画と実施（抜粋）	497
Cultural Link Analysis for Comparative Research	533
質問項目履歴一覧表	553
その他の有無、リストの有無一覧表（掲載様式の一覧を含む）	569
付録	
各国調査の計画と実施（抜粋）	
1987年ドイツ調査の標本計画と調査実施の概要	585
1987年フランス調査の標本計画と調査実施の概要	599
1987年イギリス調査の標本計画と調査実施の概要	611
1988年アメリカ調査の標本計画と調査実施の概要	633
1988年日本調査の標本計画と調査実施の概要	655

「意識の国際比較方法論の研究」報告書

第19分冊

この研究の目的は、異なる文化圏に属する人々の意識構造の比較研究のための方法論を確立し、それを具体的に適用して国際理解、国際協力の基礎となるべき基礎的知見を得ることである。連鎖的国際比較調査方法とそれに基づく統計的データ解析法がこの中心的役割をなす。

対象の国としては、日本、イギリス、フランス、ドイツ、アメリカ（ハワイを含む）をとりあげ、国による連鎖を形成した。次に、質問内容に関して、連鎖的国際比較を効果的にするため、対象国に関する情報を収集、各国に共通と思われる質問群、各国同一の質問群を作った。これを各国語に翻訳し、準備調査、再翻訳、各国研究者との意見交換などを通して、検討を重ね、各国版の質問票を作成した。各々の国・場所における最適な標本計画をたて、これに基づいて標本を抽出し、これに対して1対1面接法により調査を実施した。得られたデータから、分析のためにふさわしい共通ファイルを作成し、データ分析を行なった。また、比較分析を容易にするためのコンピュータソフト「多重並列型データ総合分析システムMulti-PASS」を開発した。

通常の分析法のほか、ダイナミックな立場から考えの筋道を明らかにする数量化の方法を用い、各国の意識の同じところ、異なっているところを明らかにした。ここで出てきたことは、従来言われていたことの確認にとどまらず、さらに従来の考え方では考え及ばなかった深い知見が得られ、キメの細かい結果を得ることができた。こうして、国際比較の連鎖的調査分析法の有効性を確認することができ、連鎖的国際比較の方法が確立した。

つぎに、本研究の報告書の構成を説明しよう。内容は5部構成で、これに資料を加え、合計20分冊となる。さらに参考資料をつけた。

第1分冊の第1部、第2部、第3部は本研究の核心をなすもので、本研究の目標、基本的方法論、調査の計画と実施、データ分析による国際比較を論述したものである。これはいわば総括であって、これのよって来る根拠として第4部及び資料があるわけである。この部分は相当大部なものになるが、この根拠を掲げておくことは、研究の根幹を支えるものを示すことであって、これを除いては、研究の客観的価値はない。つまり、追試しようと思えば、追試する方式を指示するものであり、実験で言えば、実験方法を明示することに相当し、科学では当然のことで、これなくしては実験の価値がないということになる。また、こうした方法を明らかにしておくことは、将来、研究を継続していくとき、比較の根拠として意味深いものがあり、研究の積み上げ、経験の蓄積を可能にする土台ともなるものである。

第5部はこの研究実施中に本研究に関連して発表したものが中心であり、研究の成果の一部が第10分冊に要約されてある。また、本研究は、突然始まったものではなく、共同研究者の従来の研究蓄積の上に行なわれているものである。こうした研究の全容の中に、

本研究を位置づけてみることによって、その意義がより理解しやすくなることを考慮して、第5部第11分冊、第13分冊及び参考資料（ハワイ調査 1988 及び Data Analysis for Comparative Social Research, International Perspectives）をつけておいた。第12分冊は、スタンフォードで行なった国際共同研究集会の記録であるが、アメリカの国民性研究を知る上で重要と考え、加えておいた。

以上、報告書としては、大部なものになったが、この理由は次のような考えに基づくものである。社会・人文分野の科学研究にあっても、明確な方法論、データ獲得の方法とデータ分析の方法、それに基づく分析結果、の上にたつ論述のほかに、追試の可能性の条件明示、将来の継続研究を可能にするための基本情報の記載、があって初めて「科学研究」としての意義があるという考えがあるからである。今後これを土台にし、これを越えて研究をさらに発展させる機縁として本報告が用いられれば幸いである。

研究組織

- | | | |
|--------|-------|----------------------|
| 研究代表者： | 林 知己夫 | （統計数理研究所 名誉教授） |
| 研究分担者： | 三宅 一郎 | （神戸大学 法学部 教授） |
| 研究分担者： | 鈴木 達三 | （統計数理研究所 領域統計研究系 教授） |
| 研究分担者： | 佐々木正道 | （兵庫教育大学 学校教育学部 教授） |
| 研究分担者： | 林 文 | （東洋英和女学院大学 人文学部 助教授） |

OUTLINE OF PROJECT

The purpose of this study were (a) to establish a method for comparative study of attitudinal structures of peoples of differing cultural spheres, and (b) to apply this method to existing and new data to obtain fundamental knowledge to serve as a basis for international understanding and international cooperation. The cultural link analytic method for international comparative surveys, and data analyses based on this method played a major role in this study.

For international comparisons, Japan, England, France, the Federal Republic of Germany, and the United States (including Hawaii) were chosen as nations and linkages for the study. For the construction of questions --to make international comparison by link analysis efficient -- existing identical questions, and questions which seemed identical across the five nations, were utilized.

Pilot surveys were conducted by first translating each question into each nation's language. The questions were then retranslated back to the original language for comparison and contrast of the results. For example, an original English question would be translated into Japanese and then retranslated back into English for evaluation of any changes resulting from this process. Opinions and ideas were also exchanged between each nation's researchers regarding the results of the analysis of the pilot survey, as well as regarding general aspects of comparative attitude studies. Through this process, the questionnaires for each of the five nations were prepared.

The most appropriate sampling design was then established for each nation and, based on this process, samples were drawn. Face-to-face interview surveys were then conducted in each of the five nations. The obtained data was assembled into forms appropriate to the analysis. Data analysis was then carried out, a process which was facilitated by a newly created computer program entitled "MULTI-PASS".

In addition to conventional analytic methods, a quantitative method which clarifies ways of thinking from a dynamic perspective was used to detect common and unique elements within each nation's attitudinal structures. In this way, detailed information was obtained which reaffirmed previous findings and claims. Such results would have been impossible using conventional thinking.

Before synthesizing the final results of the study, the need to evaluate the results from different perspectives was recognized. This led to a research conference in the United States as well as a meeting of researchers conference in the United States and France. The purposes of these meetings were to discuss and evaluate the results of the analysis of the study and to exchange ideas which could ultimately make the study more objective and more valid.

This study established a new method for international comparison so-called "the cultural link survey method" and confirmed its usefulness.

はしがき

第1部 意識の国際比較の方法論とその基本構想

§ 1 比較可能性の基本的考察
— いかにして比較可能か —

§ 2 国際比較の方法論

§ 3 国際比較研究の基本構想

§ 4 本研究の学術的背景

第2部 調査の計画と実施

§ 1 標本調査のデザイン

§ 2 質問票の決定と翻訳の問題

§ 2.1 Link Analysisに基づく質問内容・項目の決定

§ 2.2 翻訳と再翻訳

§ 2.3 和訳の問題点、質問票の決定

§ 3 各国における調査の実施

第3部 データとデータ分析による国際比較

[I] 連鎖的調査計画・分析法 (Cultural Link Analysis, C L A)

§ 1 C L Aによる分析の視点

§ 2 地域 (belonging) による C L A

§ 2.1 日本人とアメリカ人の鎖としてのハワイの日系人

§ 2.2 各国グループの位置付け—鎖はどこにあるか

その1 単純集計を用いて

§ 2.3 各国グループの位置付け—鎖はどこにあるか

その2 考えの筋道の同一性と各国グループの位置

§ 3 質問 (question) による C L A

§ 3.1 Q O L と社会的態度

§ 3.2 信頼感と仕事

§ 3.3 金・仕事・国の目標

§ 3.4 イソップ物語と社会的態度

§ 3.5 スケール間の関連性その1

§ 3.6 スケール間の関連性その2

§ 3.7 まとめ

§ 4 時間 (time series) による C L A

[II] 社会的態度と国民の意識 (国民性)

§ 1 政治意識と国民意識 (国民性) の国際比較

§ 2 宗教意識と国民意識 (国民性) の国際比較

[III] 属性別態度の国際比較

§ 1 年齢の意味の国際比較

§ 2 男の意見と女の意見の国際比較

§ 3 宗教による意見差の国際比較

[IV] 調査票と総括表 調査票 (日本語 A、B)

各質問のニックネーム

単純集計国別一覧

質問項目履歴一覧

第4部 [I] 各国毎の性別、年齢別集計

第3分冊
第4部 [Ⅱ] 1988年日本調査(A、B)の自由回答(含む分析例)

第4分冊
第4部 [Ⅱ] 1987年ドイツ調査自由回答(原文・翻訳対照)

第5分冊
第4部 [Ⅱ] 1987年フランス調査自由回答(原文・翻訳対照)

第6分冊
第4部 [Ⅱ] 1987年イギリス調査自由回答(原文・翻訳対照)

第7分冊
第4部 [Ⅱ] 1988年アメリカ調査自由回答(原文・翻訳対照)

第8分冊
第4部 [Ⅲ] 標本と翻訳の検討
§1 標本計画と日本調査の標本誤差分析
§2 翻訳の検討(日本A、B調査)

第9分冊
第4部 [Ⅳ] 5カ国調査の質問文対照一覧

第10分冊
第5部 発表成果
1. 林 知己夫(1990), 「意識の国際比較方法論の研究」、学術月報 Vol.43, No.12.
2. T. Suzuki (1989), Cultural Link Analysis : Its application to social attitudes --A study among five nations--, ISI, 47' Session, Paris, 1989.
3. C. Hayashi (1990), Belief system and the way of thinking of the Japanese; Interchronological and international perspectives, key note address read at The 22nd International Congress of Applied Psychology, Kyoto, Japan, July 26, 1990.
4. T. Suzuki (1990), Comparative Social Survey : Current Status, Future Directions, Research Memorandum, No.393, Institute of Statistical Mathematics.
5. T. Suzuki and M. Sasaki (1991), Dimensions of Public Acceptance of Science and Technology among Five Industrialized Nations, Behaviormetrika, NO.29, 73-82.
6. 林知己夫、鈴木達三(1986), 社会調査と数量化, 岩波書店 序および第I部 翻訳(P. M. Scottによる)
7. 林 知己夫(1990)「国民性をはかる」市場調査 206-207号.

第11分冊
第5部 発表成果
C. Hayashi and T. Suzuki eds. (1990), Beyond Japanese Social Values: Trend and Cross-national Perspectives, Institute of Statistical Mathematics.

第12分冊

第5部 発表成果

The Institute of Statistical Mathematics and Hoover Institution on War, Revolution and Peace (1991), Japanese/American National Character Conference, Hoover Institution, Stanford University, March 17-18, 1990, Institute of Statistical Mathematics.

第13分冊

第5部 発表成果

C. Hayashi and T. Suzuki eds. (1991), The Japanese and the Americans --Comparative and Time Series Surveys of the Institute of Statistical Mathematics, The Institute of Statistical Mathematics, (Toyota Foundation Grant 77-3-032).

第14分冊

資料 1. 1988年日本調査のコードブック及び付属資料

第15分冊

資料 2. 1987年ドイツ調査のコードブック及び付属資料

第16分冊

資料 3. 1987年フランス調査のコードブック及び付属資料

第17分冊

資料 4. 1987年イギリス調査のコードブック及び付属資料

第18分冊

資料 5. 1988年アメリカ調査のコードブック及び付属資料

第19分冊

資料 6. 1987年ドイツ調査
1987年フランス調査
1987年イギリス調査 共通ファイルコードブック
1988年アメリカ調査
1988年日本調査

第20分冊

資料 7. Multi-PASS マニュアル

「意識の国際比較方法論の研究」報告書 第19分冊

資料 6

1987年ドイツ調査
1987年フランス調査
1987年イギリス調査 共通ファイルコードブック
1988年アメリカ調査
1988年日本調査

A Codebook for A Common File of
1987's German Survey
1987's French Survey
1987's British Survey
1988's U.S. Survey
1988's Japanese Survey

目次

見出し一覧

問番号順	1
# 番号順 (索引を含む)	6

5 カ国調査共通ファイルコードブック	15
--------------------	----

1988年日本調査A 調査票	415
----------------	-----

本研究の概要

第1部 意識の国際比較の方法論とその基本構想	467
第2部 調査の計画と実施(抜粋)	497
Cultural Link Analysis for Comparative Research	533

質問項目履歴一覧表	553
-----------	-----

その他の有無、リストの有無一覧表(掲載様式の一覧を含む)	569
------------------------------	-----

付録

各国調査の計画と実施(抜粋)

1987年ドイツ調査の標本計画と調査実施の概要	585
1987年フランス調査の標本計画と調査実施の概要	599
1987年イギリス調査の標本計画と調査実施の概要	611
1988年アメリカ調査の標本計画と調査実施の概要	633
1988年日本調査の標本計画と調査実施の概要	655

見出し一覧
問 番号順
番号順

特別推進研究 (1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

Grant-in-aid for Specially Promoted Research(1)
61060002 Cultural Link Analysis for Comparative Research

- 1-#7.30B 国の生活水準 10 年の変化
Standard of living in country 10 years ago
- 2-#7.30A あなたの生活水準 10 年の変化
Your standard of living 10 years ago
- 3-#7.31 今後の生活水準
Living conditions in future
- 4-#7.18E 幸福になるか
Happiness in future
- 5-#7.18B 心の安らかさはますか
Peace of mind
- 6-#7.18C 人間の自由はふえるか
Freedom
- 7-#7.18 人間の健康の面はよくなるか
People's health
- 8-#8.80 国家目標
The country's goal
- 9-#2.30 不安感－重い病気
Extent of worry: serious illness
- 9-#2.30D 不安感－交通事故
Extent of worry: car accident
- 9-#2.30E 不安感－失業
Extent of worry: unemployment
- 9-#2.30F 不安感－戦争
Extent of worry: war
- 9-#2.30G 不安感－原子力施設の事故
Extent of worry: nuclear power accident
- 10-#7.80A 家計の節約－医療
Household expenses: health care
- 10-#7.80B 家計の節約－車
Household expenses: motoring costs
- 10-#7.80C 家計の節約－家庭用品
Household expenses: home appliances
- 10-#7.80D 家計の節約－食料品
Household expenses: food
- 10-#7.80E 家計の節約－美容
Household expenses: beauty care
- 10-#7.80F 家計の節約－バカンス, 休暇
Household expenses: vacation and leisure
- 10-#7.80G 家計の節約－衣服
Household expenses: clothes
- 10-#7.80H 家計の節約－住居
Household expenses: housing
- 10-#7.80I 家計の節約－子供の養育
Household expenses: expenses for children
- 10-#7.80J 家計の節約－タバコ, アルコール
Household expenses: smoking or drinking

特別推進研究 (1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

- 11-#4.11 先祖を尊ぶか
Respect for ancestors
- 12-#4.10 他人の子供を養子にするか
Adopt a child
- 13-#4.80 望ましい子供の数
Ideal number of children
- 14-#2.80A 病気－頭痛, 偏頭痛
Health problems: headaches, migraines
- 14-#2.80B 病気－背中の痛み
Health problems: backaches
- 14-#2.80C 病気－神経の興奮
Health problems: nervousness
- 14-#2.80D 病気－鬱病
Health problems: depression
- 14-#2.80E 病気－不眠症
Health problems: insomnia
- 15-#2.3G 健康状態満足か
Satisfaction with health
- 16-#1.8 社会的階層
Living class
- 17-#7.81 収入か余暇か
Choose money or free time
- 18-#2.8 一生働くか
If had enough money, still work?
- 19-#7.25 お金と仕事
Life without work
- 20-#7.24 就職の第1の条件
Most important aspect of job
- 21-#2.81 仕事と個人生活
Work conflicts with private life
- 22-#2.4 くらし方
Attitudes towards life
- 23-#2.3F 生活環境満足か
Quality of life in the area where you live
- 24-#5.80A 近所の治安－強盗にはいられること
Safety in neighborhood: burglary
- 24-#5.80B 近所の治安－急に襲われて身の危険を感じる
Personal safety
- 25-#7.82 アリとキリギリス
The idle grasshopper and diligent ant
- 26-#2.7A 一番大切なもの
The most important thing in life
- 26-#2.7B その他 非常に大切なもの
Other important things
- 27-#5.81A 生活領域の重要性－あなた自身の家族と子供
Importance: immediate family and children
- 27-#5.81B 生活領域の重要性－職業や仕事
Importance: career and work
- 27-#5.81C 生活領域の重要性－自由になる時間とくつろぎ
Importance: free time and relaxation

特別推進研究 (1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

- 27-#5.81D 生活領域の重要性－友人，知人
Importance: friends
- 27-#5.81E 生活領域の重要性－両親，兄弟，姉妹，親戚
Importance: parents and other relative
- 27-#5.81F 生活領域の重要性－宗教
Importance: religion and church
- 27-#5.81G 生活領域の重要性－政治，公的生活
Importance: politics
- 28-#2.3C 家庭に満足か
Satisfaction with family life
- 29-#2.82 生活に満足か
Satisfaction with life
- 30-#7.19 才能か運か
Success: ability or luck
- 31-#4.81 生活保護の考え方
Attitude towards governmental assistance
- 32-#7.1 人間らしさはへるか
Science and loss of human feeling
- 33-#4.5 子供に「金は大切」と教えるか
Teaching children money is important
- 34-#8.1B 政治家にまかせるか
Leave it up to political leaders
- 35-#2.1 しきたりに従うか
Custom versus conscience
- 36-#7.2 心の豊かさはへらないか
Mechanization and human feeling
- 37-#4.30 家庭はくつろぐ場所
Home is relaxing place
- 38-#4.32 離婚すべきではないか
Marriage is permanent
- 39-#4.31 家事や子供の世話
Housework and child care
- 40-#4.4 先生が悪いことをした
Rumor about teacher
- 41-#5.1 恩人がキトクするとき
Benefactor on death-bed
- 42-#5.1B 親がキトクするとき
Real father on death-bed
- 43-#2.5 自然と人間との関係
Man and nature
- 44-#7.4 国と個人の幸福
Improve the country or make people happy
- 45-#5.1D 大切な道徳－親孝行をすること
Important things: filial piety
大切な道徳－恩返しをすること
Important things: repaying obligations
大切な道徳－個人の権利を尊重すること
Important things: respect for individual rights
大切な道徳－自由を尊重すること
Important things: respect for individual freedom
大切な道徳－その他（記入）、 大切な道徳－D K

特別推進研究 (1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

- 46-#5.6H 他人との仲か仕事か
Desirable person: efficient versus friendly
- 47-#2.2B スジかまるくか
Consensus versus own principle
- 48-#5.1C1 入社試験(親戚)
Employment examination: relative
- 49-#5.1C2 入社試験(恩人の子)
Employment examination: son of benefactor
- 50-#5.6 めんどうをみる課長
Type of boss preferred
- 51-#2.12 他人のためか自分のためか
Are people helpful most of the time
- 52-#2.12B スキがあれば利用されるか
Are most people fair
- 53-#2.12C 人は信頼できるか
Are most people trustworthy
- 54-#2.83A 現代生活の個人態度-他人を助ける
Life: most people are helpful
- 54-#2.83B 現代生活の個人態度-共同体
Life: part of community
- 54-#2.83C 現代生活の個人態度-その日その日
Life: people live for today
- 54-#2.83D 現代生活の個人態度-収入より手段
Life: way of earning money is more important than amount
- 54-#2.83E 現代生活の個人態度-孤独感
Life: people often feel lonely
- 55-#7.36 科学上の発見・利用は生活に役立つか
Improvement of everyday life through science
- 56-#7.33 コンピュータ社会は望ましいか
Computers change our lives
- 57-#7.83 科学技術-病気の治療
Some illness treated by methods other than modern medicine
- 57-#7.84 科学技術-人間の心の解明
Science permits understanding of the human mind
- 57-#7.85 科学技術-経済的・社会的問題の解決
Resolution of social and economic problems through science
- 58-#7.86A 今後の25年-原子力廃棄物の安全な処理方法
The next 25 years: safe method for nuclear waste disposal
- 58-#7.86B 今後の25年-ガンの治療方法の解明
The next 25 years: cure for cancer
- 58-#7.86C 今後の25年-老人性痴呆症の治療方法の解明
The next 25 years: cure for senility
- 58-#7.86D 今後の25年-宇宙ステーションでの生活
The next 25 years: living in space stations
- 59-#7.34 省エネルギーは重要か
Energy conservation
- 60-#7.35 環境の保護は重要か
Environmental preservation
- 61-#9.80 文化 (各国の文化)
Culture

特別推進研究 (1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

62-#3.1A	宗教を信じるか	Religious faith
62-#3.1B	(Aで信じている人に) 何という宗教か	Religion
63-#3.2	「宗教心」は大切か	Religious attitude
64-#3.3	宗教は1つか	All religions same
65-#8.81	革新か保守か	Political stance
66-#8.82	政治関心	Interest in politics
67-#8.2E	「民主主義」はよいか	Democracy
67-#8.2F	「資本主義」はよいか	Capitalism
67-#8.2H	「社会主義」はよいか	Socialism
67-#8.2G	「自由主義」はよいか	Liberalism
68-#8.83	民主政治に満足か	Satisfaction with democracy
69-#8.84	裁判制度は機能しているか	Legal system
70-#7.87	労働者階級と資本家階級	Employer versus employee
71-#8.8	社会は変えるべきか	Attitudes concerning society
72-#8.85A	社会の根本改革は必要か	Profound transformation of society
72-#8.85B	社会の根本改革	The way of changing society
73-#8.7	支持政党	Political party
74-#8.86	政党支持(強度)	Close to party
75-#8.87	主要政党への好嫌度	Feeling thermometer
FACE SHEET	SEX -#1.1	性 SEX
	AGE -#1.2	年令 AGE
	EDUC-#1.3	学歴 EDUCATION
	OCCR-#1.4	職業 RESPONDENT'S OCCUPATION
	SIZE-#1.5	市郡別都市規模 URBAN-RURAL CITY SIZE
	INCOME-#1.80	収入 TOTAL FAMILY INCOME

特別推進 (1) 61060002 意識の国際比較方法論の研究
 Grant-in-aid for Specially Promoted Research(1)
 61060002 Cultural Link Analysis for Comparative Research

この共通ファイルでは、# 番号が変数名 [VAR:] になっている。(SEX, AGE, EDUC, OCCR, INCOME, SIZE, #8.87 については例外である。)

カラムの欄はDECK No.-Cols.No.を示す。カラム1-11とはDECK 1-Col.11のことである。各ページの右上隅を参照。

カラム	#	問	
1-11	#1.1	SEX	性 SEX
1-14~15	#1.2	AGE	年令 AGE
1-16	#1.3	EDUC	学歴 EDUCATION
1-19~20	#1.4	OCCR	職業 RESPONDENT'S OCCUPATION
1-17~18	#1.5	SIZE	市郡別都市規模 URBAN-RURAL CITY SIZE
1-55	#1.8	16	社会的階層 Living class
2-11~12	#1.80	INCOME	収入 TOTAL FAMILY INCOME
2-18	#2.1	35	しきたりに従うか Custom versus conscience
2-35	#2.2B	47	スジかまるくか Consensus versus own principle
1-75	#2.3C	28	家庭に満足か Satisfaction with family life
1-62	#2.3F	23	生活環境満足か Quality of life in the area where you live
1-54	#2.3G	15	健康状態満足か Satisfaction with health
1-61	#2.4	22	くらし方 Attitudes towards life
2-26	#2.5	43	自然と人間との関係 Man and nature
1-66	#2.7A	26-a	一番大切なもの The most important thing in life
1-67	#2.7B	26-b	その他 非常に大切なもの Other important things
1-57	#2.8	18	一生働くか If had enough money, still work?
2-39	#2.12	51	他人のためか自分のためか Are people helpful most of the time
2-40	#2.12B	52	スキがあれば利用されるか Are most people fair
2-41	#2.12C	53	人は信頼できるか Are most people trustworthy

特別推進研究 (1) 61060002 「意識の国際比較方法論の研究」

カラム	#	問
1-29	#2.30	9-a 不安感－重い病気 Extent of worry: serious illness
1-30	#2.30D	9-b 不安感－交通事故 Extent of worry: car accident
1-31	#2.30E	9-c 不安感－失業 Extent of worry: unemployment
1-32	#2.30F	9-d 不安感－戦争 Extent of worry: war
1-33	#2.30G	9-e 不安感－原子力施設の事故 Extent of worry: nuclear power accident
1-49	#2.80A	14-a 病気－頭痛, 偏頭痛 Health problems: headaches, migraines
1-50	#2.80B	14-b 病気－背中の痛み Health problems: backaches
1-51	#2.80C	14-c 病気－神経の興奮 Health problems: nervousness
1-52	#2.80D	14-d 病気－鬱病 Health problems: depression
1-53	#2.80E	14-e 病気－不眠症 Health problems: insomnia
1-60	#2.81	21 仕事と個人生活 Work conflicts with private life
1-76	#2.82	29 生活に満足か Satisfaction with life
2-42	#2.83A	54-a 現代生活の個人態度－他人を助ける Life: most people are helpful
2-43	#2.83B	54-b 現代生活の個人態度－共同体 Life: part of community
2-44	#2.83C	54-c 現代生活の個人態度－その日その日 Life: people live for today
2-45	#2.83D	54-d 現代生活の個人態度－収入より手段 Life: way of earning money is more important than amount
2-46	#2.83E	54-e 現代生活の個人態度－孤独感 Life: people often feel lonely
2-59	#3.1A	62-a 宗教を信じるか Religious faith
2-60	#3.1B	62-b (Aで信じている人に) 何という宗教か Religion
2-61	#3.2	63 「宗教心」は大切か Religious attitude
2-62	#3.3	64 宗教は1つか All religions same

特別推進研究 (1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

カラム	#	問	
2-23	#4.4	40	先生が悪いことをした Rumor about teacher
2-16	#4.5	33	子供に「金は大切」と教えるか Teaching children money is important
1-47	#4.10	12	他人の子供を養子にするか Adopt a child
1-46	#4.11	11	先祖を尊ぶか Respect for ancestors
2-20	#4.30	37	家庭はくつろぐ場所 Home is relaxing place
2-22	#4.31	39	家事や子供の世話 Housework and child care
2-21	#4.32	38	離婚すべきではないか Marriage is permanent
1-48	#4.80	13	望ましい子供の数 Ideal number of children
2-14	#4.81	31	生活保護の考え方 Attitude towards governmental assistance
2-24	#5.1	41	恩人がキトクするとき Benefactor on death-bed
2-25	#5.1B	42	親がキトクするとき Real father on death-bed
2-36	#5.1C1	48	入社試験(親戚) Employment examination: relative
2-37	#5.1C2	49	入社試験(恩人の子) Employment examination: son of benefactor
2-28	#5.1D	45-a	大切な道徳-親孝行をすること Important things: filial piety
2-29	#5.1D	45-b	大切な道徳-恩返しをすること Important things: repaying obligations
2-30	#5.1D	45-c	大切な道徳-個人の権利を尊重すること Important things: respect for individual rights
2-31	#5.1D	45-d	大切な道徳-自由を尊重すること Important things: respect for individual freedom
2-32	#5.1D	45-e	大切な道徳-その他(記入) Important things: other
2-33	#5.1D	45-f	大切な道徳-D K Important things: D.K.
2-38	#5.6	50	めんどろをみる課長 Type of boss preferred
2-34	#5.6H	46	他人との仲か仕事か Desirable person: efficient versus friendly

特別推進研究 (1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

カラム	#	問	
1-63	#5.80A	24-a	近所の治安－強盗にはいられること Safety in neighborhood: burglary
1-64	#5.80B	24-b	近所の治安－急に襲われて身の危険を感じる事 Personal safety
1-68	#5.81A	27-a	生活領域の重要性－あなた自身の家族と子供 Importance: immediate family and children
1-69	#5.81B	27-b	生活領域の重要性－職業や仕事 Importance: career and work
1-70	#5.81C	27-c	生活領域の重要性－自由になる時間とくつろぎ Importance: free time and relaxation
1-71	#5.81D	27-d	生活領域の重要性－友人, 知人 Importance: friends
1-72	#5.81E	27-e	生活領域の重要性－両親, 兄弟, 姉妹, 親戚 Importance: parents and other relative
1-73	#5.81F	27-f	生活領域の重要性－宗教 Importance: religion and church
1-74	#5.81G	27-g	生活領域の重要性－政治, 公的生活 Importance: politics
2-15	#7.1	32	人間らしさはへるか Science and loss of human feeling
2-19	#7.2	36	心の豊かさはへらないか Mechanization and human feeling
2-27	#7.4	44	国と個人の幸福 Improve the country or make people happy
1-27	#7.18	7	人間の健康の面はよくなるか People's health
1-25	#7.18B	5	心の安らかさはますか Peace of mind
1-26	#7.18C	6	人間の自由はふえるか Freedom
1-24	#7.18E	4	幸福になるか Happiness in future
1-77	#7.19	30	才能か運か Success: ability or luck
1-59	#7.24	20	就職の第1の条件 Most important aspect of job
1-58	#7.25	19	お金と仕事 Life without work
1-22	#7.30A	2	あなたの生活水準10年の変化 Your standard of living 10 years ago
1-21	#7.30B	1	国の生活水準10年の変化 Standard of living in country 10 years ago
1-23	#7.31	3	今後の生活水準 Living conditions in future

特別推進研究 (1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

カラム	#	問	
2-48	#7.33	56	コンピュータ社会は望ましいか Computers change our lives
2-56	#7.34	59	省エネルギーは重要か Energy conservation
2-57	#7.35	60	環境の保護は重要か Environmental preservation
2-47	#7.36	55	科学上の発見・利用は生活に役立つか Improvement of everyday life through science
1-35	#7.80A	10-a	家計の節約－医療 Household expenses: health care
1-36	#7.80B	10-b	家計の節約－車 Household expenses: motoring costs
1-37	#7.80C	10-c	家計の節約－家庭用品 Household expenses: home appliances
1-38	#7.80D	10-d	家計の節約－食料品 Household expenses: food
1-39	#7.80E	10-e	家計の節約－美容 Household expenses: beauty care
1-40	#7.80F	10-f	家計の節約－バカンス、休暇 Household expenses: vacation and leisure
1-41	#7.80G	10-g	家計の節約－衣服 Household expenses: clothes
1-42	#7.80H	10-h	家計の節約－住居 Household expenses: housing
1-43	#7.80I	10-i	家計の節約－子供の養育 Household expenses: expenses for children
1-44	#7.80J	10-j	家計の節約－タバコ、アルコール Household expenses: smoking or drinking
1-56	#7.81	17	収入か余暇か Choose money or free time
1-65	#7.82	25	アリとキリギリス The idle grasshopper and diligent ant
2-49	#7.83	57-a	科学技術－病気の治療 Some illness treated by methods other than modern medicine
2-50	#7.84	57-b	科学技術－人間の心の解明 Science permits understanding of the human mind
2-51	#7.85	57-c	科学技術－経済的・社会的問題の解決 Resolution of social and economic problems through science
2-52	#7.86A	58-a	今後の25年－原子力廃棄物の安全な処理方法 The next 25 years: safe method for nuclear waste disposal
2-53	#7.86B	58-b	今後の25年－ガンの治療方法の解明 The next 25 years: cure for cancer
2-54	#7.86C	58-c	今後の25年－老人性痴呆症の治療方法の解明 The next 25 years: cure for senility
2-55	#7.86D	58-d	今後の25年－宇宙ステーションでの生活 The next 25 years: living in space stations

特別推進研究 (1) 61060002 「意識の国際比較方法論の研究」

カラム	#	問	
2-72	#7.87	70	労働者階級と資本家階級 Employer versus employee
2-17	#8.1B	34	政治家にまかせるか Leave it up to political leaders
2-66	#8.2E	67-a	「民主主義」はよいか Democracy
2-67	#8.2F	67-b	「資本主義」はよいか Capitalism
2-68	#8.2H	67-c	「社会主義」はよいか Socialism
2-69	#8.2G	67-d	「自由主義」はよいか Liberalism
2-76~77	#8.7	73	支持政党 Political party
2-73	#8.8	71	社会は変えるべきか Attitudes concerning society
1-28	#8.80	8	国家目標 The country's goal
2-63~64	#8.81	65	革新か保守か Political stance
2-65	#8.82	66	政治関心 Interest in politics
2-70	#8.83	68	民主政治に満足か Satisfaction with democracy
2-71	#8.84	69	裁判制度は機能しているか Legal system
2-74	#8.85A	72-a	社会の根本改革は必要か Profound transformation of society
2-75	#8.85B	72-b	社会の根本改革 The way of changing society
2-78	#8.86	74	政党支持 (強度) Close to party
3-14~31	#8.87	75	主要政党への好嫌度 Feeling thermometer
2-58	#9.80	61	文化 (各国の文化) Culture

5 カ国調査共通ファイルコードブック

共通ファイルのデータフォーマットは、カードイメージ 80 カラムの 2 枚組データである。1 枚目を DECK 1, 2 枚目を DECK 2 で表示してある。

DECK 1 Col. 1	国コード
DECK 1 Cols. 2-10	サンプル I D 番号
DECK 1 Cols. 11-20	基本属性項目
DECK 1 Cols. 21-77	問 1 から問 3 0
DECK 1 Col. 80	コード 1 (一枚目)
DECK 2 Col. 1	国コード
DECK 2 Cols. 2-10	サンプル I D 番号
DECK 2 Cols. 11-12	基本属性項目 (世帯収入)
DECK 2 Cols. 14-78	問 3 1 から問 7 4
DECK 2 Col. 80	コード 2 (二枚目)

[国コードについて]

コード

ドイツ1
フランス2
イギリス3
アメリカ4
日本-A5
日本-B6

[学歴について]

ドイツ、フランス、イギリスの 3 カ国では Terminal Educational Age (何歳まで教育を受けましたか?) をリコードして 低、中、高 の 3 段階にした。日本、アメリカについては 卒業学校、学年をリコードして 3 段階にした。

[都市規模、職業、世帯収入、問 7 3 (政党支持) について]

5 カ国を同一の基準に統一するのは困難なため、各国のオリジナルの分類を基本にしてコーディングした。各国で別々のコードがたててあり、共通コードではないので注意のこと。

[各質問の掲載様式について]

各質問の掲載は、各質問ごとに見開きで ドイツ、フランス、イギリス、そして日本-A、日本-B、アメリカ の順に並べてある。(次ページ見開き参照)
見開き 2 ページで収まらない掲載様式が異なる質問については、"その他の有無、リストの有無一覧表" の掲載様式が異なるもの の欄にページ数を記入してあるので、そちらを参照のこと。数ページにわたって ドイツ、フランス、イギリス、日本-A、日本-B、アメリカ の順に並べてある。

調査名 意識の国際比較研究 5ヶ国共通ファイル

DATA FORMAT

DECK1 (1枚目)

1枚目 (DECK1)

カラム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40					
項 目	国コード	サンプル情報										FACE SHEET										Q 9										Q 10													
		(各国オリジナルデータのまゝ)										性別	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	職業	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l		
選 択 肢	1-6	各国のコードブック参照										1-2	1-12	18-96	1-3	11-65	0-93	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5

*国コード
1.ドイツ 5.日本A
2.フランス 6.日本B
3.イギリス
4.アメリカ

1枚目 (DECK1)

項目	国コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40					
選	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1-		
択	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3
肢																																														

*
Q26a, b は
フリーアンサー

DATA FORMAT DECK 2 (2枚目)

調査名 意識の国際比較研究 5ヶ国共通ファイル

2枚目 (DECK 2)

2枚目 (DECK 2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
カラム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
項 目	国 コード	サンプル情報										FACE	空白										Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q

2枚目 (DECK 2)

2枚目 (DECK 2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
カラム	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
項 目	Q	Q 5 4										Q 5 7										Q 5 8										Q 6 7										Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q

調査名

意識の国際比較研究 5ヶ国共通ファイル

DATA FORMAT

DECK 3 (3枚目)

3枚目 (DECK 3)

項目	国コード	サンプリング情報										空白										ECONTL		MIDDLE		CONSERV		ULTRIT		空白																			
		(各国オリジナルデータのまゝ)																				Q 7 5		Q 7 5		Q 7 5		Q 7 5																					
		各国のコードブック参照																				0-99		0-99		0-99		0-99																					
選択肢	1-6																					0-99		0-99		0-99		0-99																					

備考	*国コード 1. ドイツ 5. 日本A 2. フランス 6. 日本B 3. イギリス 4. アメリカ
----	--

3枚目 (DECK 3)

カラム	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80		
項目	空白																																								3枚目	
選択肢																																									3	
備考																																										

VARIABLE LIST

VARIABLE	FORMAT	RECORD	COLUMNS	VARIABLE	FORMAT	RECORD	COLUMNS
NATION	F 1. 0	1	1- 1	#45	F 1. 0	2	16- 16
SEX	F 1. 0	1	11- 11	#81B	F 1. 0	2	17- 17
AGEC	F 2. 0	1	12- 13	#21	F 1. 0	2	18- 18
AGE	F 2. 0	1	14- 15	#72	F 1. 0	2	19- 19
EDUC	F 1. 0	1	16- 16	#430	F 1. 0	2	20- 20
SIZE	F 2. 0	1	17- 18	#432	F 1. 0	2	21- 21
OCCR	F 2. 0	1	19- 20	#431	F 1. 0	2	22- 22
#730B	F 1. 0	1	21- 21	#44	F 1. 0	2	23- 23
#730A	F 1. 0	1	22- 22	#51	F 1. 0	2	24- 24
#731	F 1. 0	1	23- 23	#51B	F 1. 0	2	25- 25
#718E	F 1. 0	1	24- 24	#25	F 1. 0	2	26- 26
#718B	F 1. 0	1	25- 25	#74	F 1. 0	2	27- 27
#718C	F 1. 0	1	26- 26	#51D1	F 1. 0	2	28- 28
#718	F 1. 0	1	27- 27	#51D2	F 1. 0	2	29- 29
#880	F 1. 0	1	28- 28	#51D3	F 1. 0	2	30- 30
#230	F 1. 0	1	29- 29	#51D4	F 1. 0	2	31- 31
#230D	F 1. 0	1	30- 30	#51D5	F 1. 0	2	32- 32
#230E	F 1. 0	1	31- 31	#51D6	F 1. 0	2	33- 33
#230F	F 1. 0	1	32- 32	#56H	F 1. 0	2	34- 34
#230G	F 1. 0	1	33- 33	#22B	F 1. 0	2	35- 35
#780P	F 1. 0	1	34- 34	#51C1	F 1. 0	2	36- 36
#780A	F 1. 0	1	35- 35	#51C2	F 1. 0	2	37- 37
#780B	F 1. 0	1	36- 36	#56	F 1. 0	2	38- 38
#780C	F 1. 0	1	37- 37	#212	F 1. 0	2	39- 39
#780D	F 1. 0	1	38- 38	#212B	F 1. 0	2	40- 40
#780E	F 1. 0	1	39- 39	#212C	F 1. 0	2	41- 41
#780F	F 1. 0	1	40- 40	#283A	F 1. 0	2	42- 42
#780G	F 1. 0	1	41- 41	#283B	F 1. 0	2	43- 43
#780H	F 1. 0	1	42- 42	#283C	F 1. 0	2	44- 44
#780I	F 1. 0	1	43- 43	#283D	F 1. 0	2	45- 45
#780J	F 1. 0	1	44- 44	#283E	F 1. 0	2	46- 46
#411	F 1. 0	1	46- 46	#736	F 1. 0	2	47- 47
#410	F 1. 0	1	47- 47	#733	F 1. 0	2	48- 48
#480	F 1. 0	1	48- 48	#783	F 1. 0	2	49- 49
#280A	F 1. 0	1	49- 49	#784	F 1. 0	2	50- 50
#280B	F 1. 0	1	50- 50	#785	F 1. 0	2	51- 51
#280C	F 1. 0	1	51- 51	#786A	F 1. 0	2	52- 52
#280D	F 1. 0	1	52- 52	#786B	F 1. 0	2	53- 53
#280E	F 1. 0	1	53- 53	#786C	F 1. 0	2	54- 54
#23G	F 1. 0	1	54- 54	#786D	F 1. 0	2	55- 55
#18	F 1. 0	1	55- 55	#734	F 1. 0	2	56- 56
#781	F 1. 0	1	56- 56	#735	F 1. 0	2	57- 57
#28	F 1. 0	1	57- 57	#980	F 1. 0	2	58- 58
#725	F 1. 0	1	58- 58	#31	F 1. 0	2	59- 59
#724	F 1. 0	1	59- 59	#31B	F 1. 0	2	60- 60
#281	F 1. 0	1	60- 60	#32	F 1. 0	2	61- 61
#24	F 1. 0	1	61- 61	#33	F 1. 0	2	62- 62
#23F	F 1. 0	1	62- 62	#881	F 2. 0	2	63- 64
#580A	F 1. 0	1	63- 63	#882	F 1. 0	2	65- 65
#580B	F 1. 0	1	64- 64	#82E	F 1. 0	2	66- 66
#782	F 1. 0	1	65- 65	#82F	F 1. 0	2	67- 67
#27A	F 1. 0	1	66- 66	#82H	F 1. 0	2	68- 68
#27B	F 1. 0	1	67- 67	#82G	F 1. 0	2	69- 69
#581A	F 1. 0	1	68- 68	#883	F 1. 0	2	70- 70
#581B	F 1. 0	1	69- 69	#884	F 1. 0	2	71- 71
#581C	F 1. 0	1	70- 70	#787	F 1. 0	2	72- 72
#581D	F 1. 0	1	71- 71	#88	F 1. 0	2	73- 73
#581E	F 1. 0	1	72- 72	#885A	F 1. 0	2	74- 74
#581F	F 1. 0	1	73- 73	#885B	F 1. 0	2	75- 75
#581G	F 1. 0	1	74- 74	#87	F 2. 0	2	76- 77
#23C	F 1. 0	1	75- 75	#886	F 1. 0	2	78- 78
#282	F 1. 0	1	76- 76	COMMUN	F 3. 0	3	14- 16
#719	F 1. 0	1	77- 77	SOCIAL	F 3. 0	3	17- 19
INCOME	F 2. 0	2	11- 12	ECONTL	F 3. 0	3	20- 22
#481	F 1. 0	2	14- 14	MIDDLE	F 3. 0	3	23- 25
#71	F 1. 0	2	15- 15	CONSRV	F 3. 0	3	26- 28
				ULTRIT	F 3. 0	3	29- 31

VALUE LABELS

NATION

- (1) DEUTSCH
- (2) FRANCE
- (3) UK
- (4) U.S.A.
- (5) JAPAN-A
- (6) JAPAN-B
- (7) JAPAN-C /

SEX

- (1) MALE
- (2) FEMALE /

AGEC

- (1) 18-19
- (2) 20-24
- (3) 25-29
- (4) 30-34
- (5) 35-39
- (6) 40-44
- (7) 45-49
- (8) 50-54
- (9) 55-59
- (10) 60-65
- (11) 66-69
- (12) 70 AND OVER /

EDUC

- (1) LOW
- (2) MIDDLE
- (3) HIGH
- (9) DK /

SIZE

- (11) D-RURAL
- (12) D-2000~
- (13) D-5000~
- (14) D-20000~
- (15) D-50000~
- (16) D-100000~
- (17) D-500000~
- (21) F-RURAL
- (22) F-2000~
- (23) F-20000~
- (24) F-100000~
- (25) F-PARIS
- (31) E-RURAL
- (32) E-URBAN
- (33) E-METROPOLITAN COUNTY
- (42) A-OPEN COUNTRY
- (43) A-LESS THAN 2500
- (44) A-2500~
- (45) A-5000~
- (46) A-10000~
- (47) A-25000~
- (48) A-50000~
- (49) A-100000~
- (50) A-250000~
- (51) A-500000~
- (52) A-1 MILLION~
- (61) J-RURAL
- (62) J-LESS THAN 100000
- (63) J-100000~
- (64) J-300000~
- (65) J-BIG CITY /

INCOME

- (10) D-NA
- (11) D-UNDER 500
- (12) D- 500~
- (13) D-1000~
- (14) D-1500~
- (15) D-2000~
- (16) D-2500~
- (17) D-3000~
- (18) D-3500~
- (19) D-4000~
- (20) D-5000~
- (30) F-D.K
- (31) F-UNDER 4000
- (32) F-4000~
- (33) F-6000~
- (34) F-8000~
- (35) F-10000~
- (36) F-12500~
- (37) F-15000~
- (38) F-20000~
- (39) F-NA
- (41) E-UNDER 2500
- (42) E-2500~
- (43) E-4000~
- (44) E-5500~
- (45) E-7000~
- (46) E-8500~
- (47) E-10000~
- (48) E-12500~
- (49) E-15000~
- (50) E-17500~
- (51) E-20000~
- (52) E-22500~
- (53) E-25000~
- (54) E-27500~
- (55) E-REFUSED
- (59) E-D.K
- (60) A-UNDESIGNATED
- (61) A-UNDER 5000
- (62) A-5000~
- (63) A-10000~
- (64) A-15000~
- (65) A-20000~
- (66) A-25000~
- (67) A-30000~
- (68) A-35000~
- (69) A-40000~
- (70) A-50000~
- (71) A-70000~
- (72) A-100000~
- (81) J-UNDER 2000000
- (82) J-2000000~
- (83) J-4000000~
- (84) J-6000000~
- (85) J-8000000~
- (86) J-10000000~
- (87) J-15000000~
- (88) J-20000000~
- (89) J-NONE
- (80) J-D.K /

OCCR

- (0) D-NA
- (1) D-LOWER LEVEL EMPLOYEES
- (2) D-MIDDLE LEVEL EMPLOYEES
- (3) D-EXECUTIVE
- (4) D-MANAGER
- (5) D-UNSKILLED WORKER
- (6) D-SEMI SKILLED WORKER
- (7) D-SKILLED WORKER
- (8) D-FOREMEN, SUPERVISORS
- (11) D-OWNER SMALL
- (12) D-OWNER MIDDLE
- (13) D-OWNER LARGE
- (14) D-ACADEMIC PROFESSIONS SELF-EMPLOYED
- (15) D-FARMER SELF-EMPLOYED
- (16) D-LOWER LEVEL CIVIL SERVICE
- (17) D-MIDDLE LEVEL CIVIL SERVICE
- (18) D-HIGHER LEVEL CIVIL SERVICE
- (19) D-HIGHEST LEVEL CIVIL SERVICE
- (20) D-PENSIONER
- (21) D-APPRENTICE
- (22) D-STUDENT
- (23) D-HOUSEWIFE
- (24) D-UNEMPLOYED
- (31) F-FARMER
- (32) F-CRAFTSMEN, SHOP OWNER
- (33) F-PROPRIETOR
- (34) F-GENERAL MANAGEMENT, PROFESSIONAL
- (35) F-SEMI SKILLED WORKER
- (36) F-EMPLOYEE
- (37) F-SKILLED MANUAL WORKER
- (38) F-UNSKILLED WORKER
- (39) F-STUDENT
- (40) F-RETIRED
- (41) F-INACTIVE
- (42) F-UNEMPLOYED
- (51) E-FARMERS
- (52) E-PROFESSIONAL-LAWYER
- (53) E-BUSINESS-SHOP OWNER
- (54) E-MANUAL WORKER
- (55) E-WHITE COLLAR-OFFICE WORKER
- (56) E-EXECUTIVE-TOP MANAGEMENT
- (57) E-RETIRED
- (58) E-HOUSEWIFE
- (59) E-STUDENT, MILITARY
- (60) E-UNEMPLOYED
- (60) A-CAN'T SAY
- (61) A-PROFESSIONAL
- (62) A-SKILLED WORKER
- (63) A-SEMI SKILLED WORKER
- (64) A-MANAGER
- (65) A-RUNS OWN BUSINESS
- (66) A-FARM OWNER
- (67) A-CLERICAL
- (68) A-SALES WORKER
- (69) A-OUTSIDE SALESMAN
- (70) A-SERVICE WORKER
- (71) A-LABORING WORKER
- (72) A-FARM LABORER
- (73) A-RETIRED
- (74) A-FULL TIME STUDENT
- (75) A-HOUSEWIFE
- (76) A-OTHER
- (77) A-INACTIVE
- (81) J-FARM
- (82) J-SHOP OWNER
- (83) J-RUNS OWN BUSINESS
- (84) J-MANAGER
- (85) J-PROFESSIONAL SKILLED
- (86) J-WHITE COLLAR
- (87) J-BLUE COLLAR
- (88) J-FARM LABORER
- (89) J-LABORING WORKER
- (90) J-FARM LABORER
- (91) J-HOUSEWIFE
- (92) J-FULL TIME STUDENT
- (93) J-OUT OF WORK /

特別推進 (1)

1 9 8 7 年度

ドイツ調査

(N = 1 0 0 0)

特別推進 (1)

1 9 8 7 年度

フランス調査

(N = 1 0 1 3)

特別推進 (1)

1 9 8 7 年度

イギリス調査

(N = 1 0 4 3)

特別推進研究(1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

特別推進(1)

1988年度

日本A調査

(N = 2265)

特別推進(1)

1988年度

日本B調査

(N = 1013)

特別推進(1)

1988年度

アメリカ調査

(N = 1563)

フェイスシート

FACE SHEET

[VAR: NATION]

NATION CODE

		1987. 10	
	CODE	N=1000	COL. 1
F.R.G.	1	100. 0	

[VAR: NATION]

NATION CODE

		1987. 10	
	CODE	N=1013	COL. 1
FRANCE	2	100. 0	

[VAR: NATION]

NATION CODE

		1987. 10	
	CODE	N=1043	COL. 1
UK	3	100. 0	

[VAR: NATION] NATION CODE

国コード

		1988. 10	
	コード	N=2265	カラム 1-1
日本A	5	100. 0	

[VAR: NATION] NATION CODE

国コード

		1988. 10	
	コード	N=1017	カラム 1-1
日本B	6	100. 0	

[VAR: NATION]

NATION CODE

		1988. 10	
	CODE	N=1563	COL. 101
U.S.A.	4	100. 0	

特別推進研究(1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

[DECK 1 Cols.2-10]
ID

[VAR: ID]
ID NUMBER

CODE 1987. 10
N=1000
F.R.G. : ID NUMBER * SEE CODE BOOK FOR F.R.G. SURVEY

COL. 2~10

[VAR: ID]
ID NUMBER

CODE 1987. 10
N=1013
FRANCE: ID NUMBER . . . * SEE CODE BOOK FOR FRANCE SURVEY

COL. 2~10

[VAR: ID]
ID NUMBER

CODE 1987. 10
N=1043
UK: ID NUMBER * SEE CODE BOOK FOR UK SURVEY

COL. 2~10

[VAR: ID] ID NUMBER
国コード

コード 1988. 10
N=2265
日本A: ID NUMBER * 日本調査コードブック参照

カラム 1-2~10

[VAR: ID] ID NUMBER
国コード

コード 1988. 10
N=1017
日本B: ID NUMBER * 日本調査コードブック参照

カラム 1-2~10

[VAR: ID]
ID NUMBER

CODE 1988. 10
N=1563
U.S.A.: ID NUMBER * SEE CODE BOOK FOR FRANCE SURVEY

COL. 102~10

[DECK 1 Cols.11]
SEX

336.
Geschlecht

[VAR: SEX]
SEX

	CODE	1987.10 N=1000	COL.11
männlich.....	1	44.4	
weiblich.....	2	55.6	

sexe:

[VAR: SEX]
SEX

	CODE	1987.10 N=1013	COL.11
Homme.....	1	46.6	
Femme.....	2	53.4	

Sex(code by obsevation)

[VAR: SEX]
SEX

	CODE	1987.10 N=1043	COL.11
Male.....	1	47.6	
Female.....	2	52.4	

<フェイス・シート>

ご意見をおうかがいするのはこれで終わりですが、この結果を統計的に分析するために、あなたご自身やご家族のことについて少しおたずねします。

F 1 (性別)

[VAR: SEX] SEX
性別

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 1-11

男.....	1	46.2
女.....	2	53.8

F 1 (性別)

[VER: SEX] SEX
性別

コード 1988. 10
N = 1017

カラム 1-11

男.....	1	45.3
女.....	2	54.7

Q.916b CHECK WHETHER:

[VAR: SEX]
SEX

CODE 1988.10
N=1563

COL.111

Male.....	1	50.5
Female.....	2	49.5

337-78.Recode

Darf ich fragen, wie alt Sie sind?

[VAR: AGECD]

AGE CODE

	CODE	1987.10 N=1000	COL.12-13
18-19.....	1	3.9	
20-24.....	2	9.7	
25-29.....	3	12.6	
30-34.....	4	9.7	
35-39.....	5	11.4	
40-44.....	6	8.4	
45-49.....	7	9.9	
50-54.....	8	8.6	
55-59.....	9	7.0	
60-64.....	10	6.5	
65-69.....	11	5.2	
70-.....	12	7.1	

G - Quel est votre âge?.... (Recode)

[VAR: AGECD]

AGE CODE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.12-13
18-19.....	1	4.4	
20-24.....	2	10.8	
25-29.....	3	11.6	
30-34.....	4	12.5	
35-39.....	5	10.8	
40-44.....	6	8.4	
45-49.....	7	5.8	
50-54.....	8	7.1	
55-59.....	9	7.1	
60-64.....	10	6.7	
65-69.....	11	5.2	
70-.....	12	9.5	

CD.1

What was your age last birthday? (WRITE IN)

[VAR: AGECD]

AGE CODE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.12-13
18-19.....	1	4.2	
20-24.....	2	9.8	
25-29.....	3	9.4	
30-34.....	4	10.0	
35-39.....	5	8.9	
40-44.....	6	8.9	
45-49.....	7	8.6	
50-54.....	8	7.5	
55-59.....	9	6.3	
60-64.....	10	7.4	
65-69.....	11	5.8	
70-90.....	12	13.2	

F 2 〔年 齢〕あなたのお年は満でいくつですか。 _____才〔記入〕

[VAR: AGE] AGE CODE

5才きざみ年令

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 1 - 12 ~ 13

18 ~ 19 歳	1	2.8
20 ~ 24 歳	2	7.0
25 ~ 29 歳	3	6.1
30 ~ 34 歳	4	9.0
35 ~ 39 歳	5	10.4
40 ~ 44 歳	6	10.9
45 ~ 49 歳	7	10.9
50 ~ 54 歳	8	9.9
55 ~ 59 歳	9	10.1
60 ~ 64 歳	10	8.3
65 ~ 69 歳	11	6.1
70 歳 ~	12	8.6

F 2 〔年 齢〕あなたのお年は満でいくつですか。 _____才〔記入〕

[VER: AGE] AGE CODE

5才きざみ年令

コード 1988. 10
N = 1017

カラム 1 - 12 ~ 13

18 ~ 19 歳	1	3.3
20 ~ 24 歳	2	5.8
25 ~ 29 歳	3	7.7
30 ~ 34 歳	4	10.3
35 ~ 39 歳	5	11.3
40 ~ 44 歳	6	11.4
45 ~ 49 歳	7	9.7
50 ~ 54 歳	8	10.1
55 ~ 59 歳	9	9.1
60 ~ 64 歳	10	8.0
65 ~ 69 歳	11	6.6
70 歳 ~	12	6.6

[VAR: AGE]

AGE CODE

CODE 1988.10
N=1563

COL.112-13

18 - 19 years	1	3.3
20 - 24 years	2	6.8
25 - 29 years	3	10.0
30 - 34 years	4	9.9
35 - 39 years	5	10.3
40 - 44 years	6	9.0
45 - 49 years	7	7.5
50 - 54 years	8	6.1
55 - 59 years	9	7.0
60 - 64 years	10	6.8
65 - 69 years	11	8.3
70 and over	12	15.0

[DECK 1 Cols.14-15]
AGE

337-38.

Darf ich fragen, wie alt Sie sind?

[VAR: AGE]

AGE (FRG)

	CODE	1987.10 N=1000	COL.14-15
18.....	18	1.9	
19.....	19	2.0	
20.....	20	1.8	
21.....	21	1.3	
22.....	22	1.7	
23.....	23	2.6	
24.....	24	2.3	
25.....	25	3.3	
26.....	26	2.3	
27.....	27	2.4	
28.....	28	2.5	
29.....	29	2.1	
30.....	30	2.3	
31.....	31	1.2	
32.....	32	1.7	
33.....	33	1.6	
34.....	34	2.9	
35.....	35	2.3	
36.....	36	3.0	
37.....	37	1.9	
38.....	38	2.1	
39.....	39	2.1	
40.....	40	1.8	
41.....	41	1.5	
42.....	42	2.4	
43.....	43	1.7	
44.....	44	1.0	
45.....	45	2.3	
46.....	46	2.4	
47.....	47	2.3	
48.....	48	1.8	
49.....	49	1.1	
50.....	50	1.8	
51.....	51	2.1	
52.....	52	2.2	
53.....	53	1.4	
54.....	54	1.1	
55.....	55	1.1	
56.....	56	1.3	
57.....	57	1.5	
58.....	58	1.9	
59.....	59	1.2	
60.....	60	1.2	
61.....	61	1.5	
62.....	62	1.3	
63.....	63	1.2	
64.....	64	1.3	
65.....	65	1.6	
66.....	66	0.8	
67.....	67	1.4	

[DECK 1 Cols.14-15]
AGE

337-38 Continued
AGE (FRG)

	CODE	1987.10 N=1000	COL.14-15
68.....	68	0.8	
69.....	69	0.6	
70.....	70	0.7	
71.....	71	0.9	
72.....	72	0.9	
73.....	73	1.1	
74.....	74	0.6	
75.....	75	0.6	
76.....	76	0.2	
77.....	77	0.2	
78.....	78	0.2	
79.....	79	0.2	
80.....	80	0.1	
81.....	81	0.4	
82.....	82	0.3	
83.....	83	0.2	
85.....	85	0.3	
86.....	86	0.2	

G - Quel est votre âge?....__ __

[VAR: AGE]
AGE (FRANCE)

	CODE	1987.10 N=1013	COL.14-15
18.....	18	2.4	
19.....	19	2.1	
20.....	20	1.7	
21.....	21	1.8	
22.....	22	2.2	
23.....	23	2.0	
24.....	24	3.2	
25.....	25	2.7	
26.....	26	1.8	
27.....	27	3.1	
28.....	28	2.7	
29.....	29	1.5	
30.....	30	3.3	
31.....	31	1.8	
32.....	32	2.5	
33.....	33	2.4	
34.....	34	2.7	
35.....	35	2.8	
36.....	36	2.0	
37.....	37	1.5	
38.....	38	2.4	
39.....	39	2.2	
40.....	40	2.1	
41.....	41	1.5	
42.....	42	1.6	
43.....	43	1.8	
44.....	44	1.5	
45.....	45	2.2	
46.....	46	1.1	
47.....	47	0.8	
48.....	48	0.5	
49.....	49	1.3	
50.....	50	1.9	
51.....	51	1.2	
52.....	52	1.8	
53.....	53	0.8	
54.....	54	1.5	
55.....	55	1.1	
56.....	56	1.4	
57.....	57	1.5	
58.....	58	1.5	
59.....	59	1.7	
60.....	60	1.4	
61.....	61	1.0	
62.....	62	1.5	
63.....	63	1.8	
64.....	64	1.1	
65.....	65	1.5	
66.....	66	1.1	
67.....	67	1.6	
68.....	68	0.6	

[DECK 1 Cols.14-15]
AGE

[VAR: AGE] Continued
AGE (FRANCE)

	CODE	1987.10 N=1013	COL.14-15
69.....	69	0.5	
70.....	70	0.9	
71.....	71	0.7	
72.....	72	1.0	
73.....	73	0.9	
74.....	74	0.5	
75.....	75	1.2	
76.....	76	0.3	
77.....	77	0.7	
78.....	78	0.2	
79.....	79	0.5	
80.....	80	0.4	
81.....	81	0.5	
82.....	82	0.3	
83.....	83	0.3	
84.....	84	0.3	
85.....	85	0.1	
86.....	86	0.1	
89.....	89	0.3	
90.....	90	0.2	
92.....	92	0.2	

[DECK 1 Cols.14-15]
AGE

CD.1

What was your age last birthday?

[VAR: AGE]

AGE (UK)

	CODE	1987.10 N=1043	COL.14-15
18.....	18	2.4	
19.....	19	1.8	
20.....	20	2.6	
21.....	21	2.2	
22.....	22	1.8	
23.....	23	1.2	
24.....	24	1.9	
25.....	25	1.3	
26.....	26	2.1	
27.....	27	2.3	
28.....	28	1.6	
29.....	29	2.0	
30.....	30	2.1	
31.....	31	1.2	
32.....	32	1.9	
33.....	33	1.5	
34.....	34	3.2	
35.....	35	1.5	
36.....	36	1.7	
37.....	37	1.2	
38.....	38	2.4	
39.....	39	2.0	
40.....	40	2.4	
41.....	41	1.5	
42.....	42	1.5	
43.....	43	2.0	
44.....	44	1.4	
45.....	45	2.5	
46.....	46	2.3	
47.....	47	1.3	
48.....	48	1.2	
49.....	49	1.3	
50.....	50	1.6	
51.....	51	1.3	
52.....	52	1.3	
53.....	53	1.6	
54.....	54	1.5	
55.....	55	1.0	
56.....	56	1.2	
57.....	57	1.7	
58.....	58	1.0	
59.....	59	1.4	
60.....	60	1.2	
61.....	61	1.2	
62.....	62	1.7	

[DECK 1 Cols.14-15]
AGE

[VAR: AGE] Continued
AGE (UK)

	CODE	1987.10 N=1043	COL.14-15
63.....	63	1.1	
64.....	64	2.2	
65.....	65	1.6	
66.....	66	1.1	
67.....	67	1.2	
68.....	68	1.2	
69.....	69	0.8	
70.....	70	1.0	
71.....	71	0.9	
72.....	72	1.0	
73.....	73	1.3	
74.....	74	0.9	
75.....	75	1.0	
76.....	76	0.9	
77.....	77	0.2	
78.....	78	1.2	
79.....	79	1.4	
80.....	80	0.5	
81.....	81	0.6	
82.....	82	0.4	
83.....	83	0.9	
84.....	84	0.2	
85.....	85	0.1	
86.....	86	0.2	
87.....	87	0.4	
88.....	88	0.2	
89.....	89	0.1	
90.....	90	0.2	

F 2 (年 齢) あなたのお年は満でいくつですか。 _____才 (記入)

(VAR: AGE) AGE
年 齢

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 1 4 ~ 1 5

1 8	1 8	1 . 5
1 9	1 9	1 . 3
2 0	2 0	1 . 4
2 1	2 1	1 . 8
2 2	2 2	0 . 8
2 3	2 3	1 . 5
2 4	2 4	1 . 5
2 5	2 5	1 . 0
2 6	2 6	0 . 9
2 7	2 7	1 . 5
2 8	2 8	1 . 3
2 9	2 9	1 . 5
3 0	3 0	2 . 0
3 1	3 1	1 . 9
3 2	3 2	1 . 8
3 3	3 3	1 . 2
3 4	3 4	2 . 1
3 5	3 5	2 . 0
3 6	3 6	1 . 9
3 7	3 7	2 . 0
3 8	3 8	2 . 2
3 9	3 9	2 . 3
4 0	4 0	2 . 8
4 1	4 1	3 . 0
4 2	4 2	1 . 9
4 3	4 3	1 . 6
4 4	4 4	1 . 5
4 5	4 5	2 . 1
4 6	4 6	2 . 3
4 7	4 7	2 . 3
4 8	4 8	2 . 2
4 9	4 9	2 . 0
5 0	5 0	1 . 8
5 1	5 1	2 . 2
5 2	5 2	2 . 3
5 3	5 3	1 . 9
5 4	5 4	1 . 7
5 5	5 5	1 . 6
5 6	5 6	1 . 6
5 7	5 7	2 . 4
5 8	5 8	2 . 3
5 9	5 9	2 . 2
6 0	6 0	2 . 4

{つづく}

F 2 (つづき)

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 1 4 ~ 1 5

6 1	6 1	1 . 7
6 2	6 2	1 . 9
6 3	6 3	0 . 9
6 4	6 4	1 . 5
6 5	6 5	1 . 7
6 6	6 6	1 . 3
6 7	6 7	1 . 0
6 8	6 8	1 . 3
6 9	6 9	0 . 8
7 0	7 0	0 . 8
7 1	7 1	1 . 1
7 2	7 2	1 . 1
7 3	7 3	0 . 8
7 4	7 4	1 . 1
7 5	7 5	1 . 0
7 6	7 6	0 . 4
7 7	7 7	0 . 3
7 8	7 8	0 . 5
7 9	7 9	0 . 5
8 0	8 0	0 . 2
8 1	8 1	0 . 1
8 2	8 2	0 . 4
8 3	8 3	0 . 0
8 4	8 4	0 . 0
8 5	8 5	0 . 0
8 6	8 6	0 . 1
8 9	8 9	0 . 0
9 2	9 2	0 . 1

F 2 (年 齢) あなたのお年は満でいくつですか。 _____才 (記入)

[VER: AGE] AGE
年齢

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 1 - 1 4 ~ 1 5

1 8	1 8	2 . 1
1 9	1 9	1 . 3
2 0	2 0	1 . 5
2 1	2 1	1 . 3
2 2	2 2	1 . 1
2 3	2 3	1 . 0
2 4	2 4	1 . 0
2 5	2 5	1 . 5
2 6	2 6	0 . 7
2 7	2 7	2 . 0
2 8	2 8	1 . 9
2 9	2 9	1 . 7
3 0	3 0	2 . 1
3 1	3 1	1 . 7
3 2	3 2	2 . 1
3 3	3 3	2 . 3
3 4	3 4	2 . 3
3 5	3 5	1 . 9
3 6	3 6	1 . 7
3 7	3 7	2 . 6
3 8	3 8	2 . 4
3 9	3 9	2 . 9
4 0	4 0	3 . 2
4 1	4 1	3 . 1
4 2	4 2	1 . 4
4 3	4 3	1 . 0
4 4	4 4	2 . 7
4 5	4 5	1 . 6
4 6	4 6	2 . 1
4 7	4 7	2 . 1
4 8	4 8	2 . 0
4 9	4 9	2 . 1
5 0	5 0	1 . 7
5 1	5 1	2 . 0
5 2	5 2	2 . 2
5 3	5 3	2 . 4
5 4	5 4	2 . 0
5 5	5 5	1 . 9
5 6	5 6	2 . 3
5 7	5 7	2 . 0
5 8	5 8	1 . 6
5 9	5 9	1 . 5
6 0	6 0	1 . 8

[つづく]

F 2 (つづき)

コード 1988. 10
N = 1017

カラム 1-14~15

61	61	1.7
62	62	1.9
63	63	1.1
64	64	1.6
65	65	2.0
66	66	1.0
67	67	1.5
68	68	1.2
69	69	1.0
70	70	0.7
71	71	0.9
72	72	0.8
73	73	0.7
74	74	0.8
75	75	0.5
76	76	0.7
77	77	0.2
78	78	0.5
79	79	0.3
80	80	0.1
81	81	0.2
82	82	0.0
83	83	0.2
84	84	0.0
85	85	0.0
86	86	0.1
89	89	0.0
92	92	0.0

[DECK 1 Cols.14-15]

AGE

Q.914

And what is your age?

[VAR: AGE]

AGE(U.S.A.)

	CODE	1988.10 N=1563	COL.114-15
18 years old.....	18	1.7	
19 years old.....	19	1.6	
20 years old.....	20	1.3	
21 years old.....	21	0.8	
22 years old.....	22	1.0	
23 years old.....	23	1.9	
24 years old.....	24	1.9	
25 years old.....	25	1.7	
26 years old.....	26	1.3	
27 years old.....	27	2.1	
28 years old.....	28	2.8	
29 years old.....	29	2.1	
30 years old.....	30	2.5	
31 years old.....	31	1.7	
32 years old.....	32	1.5	
33 years old.....	33	1.9	
34 years old.....	34	2.3	
35 years old.....	35	1.9	
36 years old.....	36	1.8	
37 years old.....	37	1.6	
38 years old.....	38	2.5	
39 years old.....	39	2.6	
40 years old.....	40	2.0	
41 years old.....	41	2.0	
42 years old.....	42	1.7	
43 years old.....	43	1.7	
44 years old.....	44	1.5	
45 years old.....	45	1.5	
46 years old.....	46	1.7	
47 years old.....	47	1.4	
48 years old.....	48	1.7	
49 years old.....	49	1.2	
50 years old.....	50	1.6	
51 years old.....	51	1.3	
52 years old.....	52	1.0	
53 years old.....	53	1.0	
54 years old.....	54	1.2	
55 years old.....	55	1.0	
56 years old.....	56	1.4	
57 years old.....	57	1.5	
58 years old.....	58	1.5	
59 years old.....	59	1.5	
60 years old.....	60	1.9	
61 years old.....	61	1.3	
62 years old.....	62	1.1	
63 years old.....	63	0.9	
64 years old.....	64	1.6	
65 years old.....	65	2.0	

[DECK 1 Cols.14-15]
AGE

[VAR: AGE] Continued
AGE(U.S.A.)

1988.10
N=1563

COL.114-15

	CODE	
66 years old.....	66	1.3
67 years old.....	67	1.3
68 years old.....	68	1.9
69 years old.....	69	1.7
70 years old.....	70	1.3
71 years old.....	71	0.8
72 years old.....	72	1.8
73 years old.....	73	1.3
74 years old.....	74	1.6
75 years old.....	75	1.2
76 years old.....	76	1.1
77 years old.....	77	0.8
78 years old.....	78	1.1
79 years old.....	79	0.8
80 years old.....	80	0.5
81 years old.....	81	0.5
82 years old.....	82	0.4
83 years old.....	83	0.5
84 years old.....	84	0.1
85 years old.....	85	0.1
86 years old.....	86	0.1
87 years old.....	87	0.3
88 years old.....	88	0.2
89 years old.....	89	0.1
90 years old.....	90	0.1
91 years old.....	91	0.0
92 years old.....	92	0.1
93 years old.....	93	0.1
94 years old.....	94	0.0
95 years old.....	95	0.0
96 years old.....	96	0.1

[DECK 1 Cols.16]
EDUC

350-51.

Wie alt waren Sie, als Sie Ihre Schul-bzw. Universitätsausbildung
beendeten?[VAR: EDUC]
EDUCATION

	CODE	1987.10 N=1000	COL.16
15 Jahre und jünger.....1		33.6	
16 Jahre und 19 Jahre.....2		42.7	
20 Jahre und älter.....3		21.7	
weiß nicht/keine Antwort...9		2.0	

Q.77

A quel âge avez-vous terminé vos études?

[VAR: EDUC]
EDUCATION

	CODE	1987.10 N=1013	COL.16
7~15.....1		30.9	
16~19.....2		46.2	
20~60.....3		22.6	
N.S.P.....9		0.3	

CD.7

Terminal education age

At what age did you complete your full-time education?

(WRITE IN) _____

[VAR: EDUC]
EDUCATION

	CODE	1987.10 N=1043	COL.16
10-15.....1		45.5	
16-19.....2		40.1	
20-.....3		13.8	
Don't know.....9		0.6	

F 3 [学 歴] [回答票19] あなたが最後に卒業された学校はどれですか。
(中退・在学中は卒業とみなす)

[VAR: EDUC] RESPONDENT'S EDUCATION

学歴

1 9 8 8 . 1 0
コ ー ド N = 2 2 6 5

カラム 1 - 1 6

小卒・旧高小・新中卒・・・	1	3 0 . 8
旧中・新高卒・・・・・・・・	2	4 8 . 5
旧高専・大・新大卒・・・	3	1 9 . 7
不 明・・・・・・・・	9	1 . 0

F 3 [学 歴] [回答票19] あなたが最後に卒業された学校はどれですか。
(中退・在学中は卒業とみなす)

[VER: EDUC] RESPONDENT'S EDUCATION

学歴

1 9 8 8 . 1 0
コ ー ド N = 1 0 1 7

カラム 1 - 1 6

小卒・旧高小・新中卒・・・	1	2 8 . 2
旧中・新高卒・・・・・・・・	2	5 0 . 2
旧高専・大・新大卒・・・	3	2 0 . 6
不 明・・・・・・・・	9	0 . 9

Q.913

What was the last grade or class you COMPLETED in school?

[VAR: EDUC]

EDUCATION

1988.10
CODE N=1563

COL.116

None, or grades 1-4.....1	20.2
Grades 5, 6, or 7.....1	
Grade 8.....1	
High school incomplete, grades 9-11.....1	
High school graduate, grade 12.....2	59.2
Technical, trade or, business.....2	
College, university, incomplete.....2	
College, University, graduate.....3	20.3
Undesignated.....9	0.3

[DECK 1 Cols.17-18]
SIZE

Urban-Rural

[VAR: SIZE]
URBAN-RURAL

	CODE	1987.10 N=1000	COL.17-18
Rural.....	11	3.5	
2000 ~	12	6.8	
5000 ~	13	11.8	
20000 ~	14	8.0	
50000 ~	15	6.1	
100000 ~	16	15.5	
500000 ~	17	48.3	

Urban-Rural

[VAR: SIZE]
URBAN-RURAL

	CODE	1987.10 N=1013	COL17-18
Rural.....	21	25.9	
2000 ~	22	16.4	
20000 ~	23	12.9	
100000 ~	24	28.4	
Paris	25	16.4	

Urban-Rural

[VAR: SIZE]
URBAN-RURAL

	CODE	1987.10 N=1043	COL.17-18
Rural.....	31	12.8	
Urban.....	32	53.7	
Metropolitan.....	33	33.5	

[VER: SIZE] URBAN-RURAL
都市規模

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 1-17~18

郡部	61	25.1
10万人未満の市	62	20.5
10万人以上の市	63	19.5
30万人以上の市	64	16.5
大都市	65	18.5

[VER: SIZE] URBAN-RURAL
都市規模

コード 1988. 10
N = 1017

カラム 1-17~18

郡部	61	24.2
10万人未満の市	62	19.8
10万人以上の市	63	20.1
30万人以上の市	64	17.4
大都市	65	18.6

CITY SIZE

[VAR: SIZE]
URBAN-RURAL

COL.117-18

Not Used	41	
Open Country	42	20.9
Under 2,500	43	5.7
2,500 - 4,999	44	1.3
5,000 - 9,999	45	2.6
10,000 - 24,999	46	5.2
25,000 - 49,999	47	2.9
50,000 - 99,999	48	5.0
100,000 - 249,999	49	7.1
250,000 - 499,999	50	5.8
500,000 - 999,999	51	7.3
1 Million+	52	36.3

[DECK 1 Cols.19-20]
OCCR

Sind Sie persönlich berufstätig?

Welchen Beruf üben Sie zur Zeit aus bzw. haben Sie zuletzt ausgeübt?

[VAR: OCCR]

RESPONDENT'S OCCUPATION

	CODE	1987.10 N=1000	COL.19-20
Angestellte			
einfache Angestellte.....1		7.4	
mittlere Angestellte.....2		8.7	
qualifizierte Angestellte..3		8.8	
leitende Angestellte.....4		3.5	
Arbeiter			
ungelernte Arbeiter.....5		0.7	
angelernte Arbeiter.....6		4.5	
einfache Facharbeiter.....7		6.0	
qualifizierte Facharbeiter.....8		5.5	
Selbständige/Freie Berufe/Landwirte			
kleinere Selbständige.....11		3.6	
mittlere Selbständige.....12		1.1	
größere Selbständige.....13		0.2	
Freie Berufe			
(z.B.Arzt, Anwalt).....14		1.0	
Selbständige Landwirte....15		0.5	
Beamte			
eindacher Dienst.....16		0.8	
mittlerer Dienst.....17		1.3	
gehobener Dienst.....18		1.4	
höherer Dienst.....19		1.3	
Rentner, Pensionär, (nicht mehr voll berufstätig)			
früher berufstätig.....20			
früher nicht berufstätig..20		15.4	
IN Ausbildung			
Lehrling.....21		0.8	
Schüler, Student.....22		7.8	
Nicht berufstätig			
House-Wife.....23		18.0	
aber früher berufstätig gewesen.....24			
(noch) nie berufstätig gewesen.....24		0.8	
NA.....0		0.9	

B - Quelle est celle du chef de famille?

Retraité.....
ou chômeur..... ---> Préciser l'ancienne profession
(en clair)

Si à son compte ---> Nombre de salariés

Si salarié

Etat, collect. Locales.....

Fonction publique.....

Secteur nationalisé.....

Secteur privé.....

---> (Si doute préciser en clair)

[VAR: OCCR]

RESPONDENT'S OCCUPATION

	CODE	1987.10 N=1013	COL.19-20
Agriculteur exploitant....	31	4.2	
Artisan, commerçant.....	32	4.6	
Chef d'entreprise.....	33	0.2	
Profession libérale.....	34		
Cadre ; Prof. intellect. sup.....	34	4.7	
Contremaître, agent de maîtrise.....	35		
Technicien.....	35		
Autre profession intermédiaire.....	35	11.5	
Employé.....	36	17.1	
Ouvrier qualifié.....	37	8.8	
Ouvrier non qualifié.....	38	3.7	
Etudiant, écolier.....	39	5.1	
Retraité.....	40	20.7	
Autre inactif.....	41	19.2	
(Coder les chômeurs dans.. leur ancienne profession)	42	0.0	

[DECK 1 Cols.19-20]
OCCR

CD.11

DETAILS OF RESPONDENT
(WRITE IN)

OCCUPATION _____

Enter any professional qualifications/apprenticeships served for
present occupation._____

INDUSTRY: _____

CODE RESPONDENT'S OCCUPATION

[VAR: OCCR]

RESPONDENT'S OCCUPATION

	CODE	1987.10 N=1043	COL.19-20
Self employed			
Farmers, fishermen.....51		1.0	
Professional-lawyers, accountants, etc.....52		1.3	
Bussiness-shop owners, craftsman,proprietors.....53		5.2	
.....			
Employed			
Manual worker.....54		24.5	
White collar-office worker.....55		16.0	
Executive-top management,director.....56		6.7	
.....			
Not employed			
Retired.....57		15.0	
Housewife, not otherwise employed.....58		20.8	
Student, military.....59		3.3	
unemployed.....50		6.2	

F 4 〔本人職業〕あなたのご職業は何ですか。
(具体的に記入して下の該当する項目に○をつける)

[]

自 営 者			被 傭 者				家族従業者			無 職		
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93
農	商	自	管	専	事	労	農	商	自	無	学	そ
林	工			門			林	工		職		の
	サ	由	理	・	務	務		サ	由			他
漁	ー			技			漁	ー		の		の
業	ビ		職	術	職	職	業	ビ		主		無
	ス	業		職				ス	業	婦	生	職
	業							業				

[VAR: OCCR] RESPONDENT'S OCCUPATION

本人職業

		1 9 8 8 . 1 0	
		コード	N = 2 2 6 5
自 営 業	農林漁業	8 1	6 . 0
	商工サービス業	8 2	8 . 0
	自由業	8 3	1 . 1
被 傭 者	管理職	8 4	2 . 1
	専門・技術職	8 5	1 . 8
	事務職	8 6	1 6 . 1
	労務職	8 7	1 8 . 9
家 族 従 業 者	農林漁業	8 8	3 . 9
	商工サービス業	8 9	5 . 2
	自由業	9 0	0 . 3
無 職	無職の主婦	9 1	2 3 . 4
	学生	9 2	3 . 0
	その他の無職	9 3	1 0 . 3

カラム 1 - 1 9 ~ 2 0

F 4 〔本人職業〕あなたのご職業は何ですか。
(具体的に記入して下の該当する項目に○をつける)

[]

自 営 者			被 傭 者				家族従業者			無 職		
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93
農	商	自	管	専	事	労	農	商	自	無	学	そ
林	工			門			林	工		職		の
	サ		理		務	務	漁	サ	由	の		の
漁	ー	由		技				ー				
	ビ		職	術	職	職	業	ビ		主		無
業	ス	業		職	職			ス	業	婦	生	職
	業							業				

[VER: OCCR] RESPONDENT'S OCCUPATION
本人職業

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 1 - 1 9 ~ 2 0

自 営 業	農林漁業	8 1	4 . 4
	商工サービス業	8 2	9 . 1
	自由業	8 3	1 . 5
被 傭 者	管理職	8 4	2 . 6
	専門・技術職	8 5	1 . 7
	事務職	8 6	1 5 . 9
	労務職	8 7	1 9 . 3
家 族 従 業 者	農林漁業	8 8	3 . 0
	商工サービス業	8 9	4 . 5
	自由業	9 0	0 . 0
無 職	無職の主婦	9 1	2 4 . 1
	学生	9 2	3 . 6
	その他の無職	9 3	1 0 . 2

[DECK 1 Cols.19-20]
Q.907

Q.907 (HAND RESPONDENT CARD 9-1)

Please tell me which of these categories on this card most nearly describes the kind of work that you do. Just call off the letter, please.

(INTERVIEWER: IF THE RESPONDENT IS UNEMPLOYED AND NEITHER HOUSEWIFE OR RETIRED, ASK WHAT TYPE OF WORK HE/SHE WOULD DO IF EMPLOYED)

[VAR: OCCR]

RESPONDENT'S OCCUPATION

	CODE	1988.10 N=1563	COL.119-20
[]A.....	61	12.4	
[]B.....	62	10.7	
[]C.....	63	6.0	
[]D.....	64	4.3	
[]E.....	65	1.9	
[]F.....	66	0.9	
[]G.....	67	6.5	
[]H.....	68	2.6	
[]I.....	69	1.7	
[]J.....	70	5.8	
[]K.....	71	2.9	
[]L.....	72	0.3	
[]M.....	73	17.6	
[]N.....	74	2.8	
[]O.....	75	10.2	
[]Other.....	76	0.6	
(SPECIFY)			
[]Inactive.....	77	9.1	
[]Can't say.....	60	3.8	

*[]A~O
See next page
Card 9-1

Q.907

CARD 9-1

- A. Professional Worker for example, lawer, doctor, scientist, teacher, engineer, nurse, accountant, programmer, systems analyst, musician.
- B. Works At Skilled Trade Or Craft for example, printer baker, tailor, electrician, machinist, linesman, railroad engineer, plumber or does mechanic work such as garage mechanic, carpenter, etc.
- C. Semi-Skilled Worker for example, operates a machine in a factory, is an assembly line worke in as factory, drives a truck, taxi cab or bus, etc.
- D. Manager, Executive or Offical in business, goverment agency or other organization.
- E. Runs Own Business With Two Or More Employees such as a store, factory, plumbing contracting, etc.
- F. Is A Farm Owner or Farm Manager.
- G. A Clerical Or Office Worker in Business, Government agency, or other type of organization - such as typist, postal clerk, telephone operator, computer operator, keypunch operator, or bank clerk, etc.
- H. Sales Worker for example, a clerk in a store, a door-to-door salesman.
- I. Manufacturer's Representative outside salesman/woman, sales representative.
- J. Service Worker who performs services, for example, a policeman/woman, fireman, waiter or waitress, maid, nurse's aid, attendant, barber, or beautician, etc.
- K. Laboring Worker (Other Than Farm) for example, plumber's helper, longshoreman, garbageman, or other physical work.
- L. Is A Farm Laborer Or Helper, farm foreman.
- M. Retired
- N. Full-Time Student
- O. Housewife

[DECK 2 Cols.11-12]
INCOME F

352-53.

Wenn Sie mal alles zusammenrechnen: wie noch ist dann das monatliche Netto-Ein-kommen, das Sie alle zusammen hier im Haushalt haben nach Abzug der Steuern und Sozialversicherung? Nennen Sie bitte die entsprechende Ziffer!

LISTE E vorlegen

11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

LISTE E

11			unter	500	DM
12	500	bis	unter	1 000	DM
13	1 000	bis	unter	1 500	DM
14	1 500	bis	unter	2 000	DM
15	2 000	bis	unter	2 500	DM
16	2 500	bis	unter	3 000	DM
17	3 000	bis	unter	3 500	DM
18	3 500	bis	unter	4 000	DM
19	4 000	bis	unter	5 000	DM
20	5 000	bis	unter		DM

[VAR: INCOME F]

TOTAL FAMILY INCOME

	CODE	1987.10 N=1000	COL.11-12
unter 500 DM....	11	1.0	
500 bis unter 1000 DM....	12	5.3	
1000 bis unter 1500 DM....	13	10.0	
1500 bis unter 2000 DM....	14	14.9	
2000 bis unter 2500 DM....	15	14.8	
2500 bis unter 3000 DM....	16	14.0	
3000 bis unter 3500 DM....	17	12.0	
3500 bis unter 4000 DM....	18	7.4	
4000 bis unter 5000 DM....	19	5.5	
5000 bis und mehr DM....	20	3.6	
NA.....	10	11.5	

[DECK 2 Cols.11-12]
INCOME

I - Nous désirons analyser les résultats de cette étude en fonction des revenus familiaux des personnes que nous avons interrogées. Voici une échelle de revenus mensuels. A quel niveau vous situez-vous en comptant toutes les rentrées d'argent de votre foyer, telles que salaires, allocations familiales, pensions et revenus. Citez moi la lettre correspondant à votre réponse. (Montrer liste - Insister pour obtenir une réponse. Noter la lettre)

[VAR: INCOME]

TOTAL FAMILY INCOME

TOTAL FAMILY INCOME		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.11-12
N.S.P.....	30	0.4	
~3999FF.....	31	11.0	
4000~.....	32	18.6	
6000~.....	33	15.3	
8000~.....	34	14.2	
10000~.....	35	12.0	
12500~.....	36	6.8	
15000~.....	37	6.4	
20000~.....	38	4.5	
NA.....	39	10.8	

[DECK 2 Cols.11-12]
INCOME FSHOW CARD AF

CD.15

Please indicate into which of these categories your total family income falls. That is the total income before tax from all sources of all the members of your family in your household.

[VAR: INCOME F]

TOTAL FAMILY INCOME

	CODE	1987.10 N=1043	COL.11-12
£2,499 or less.....	41	10.4	
£2,500 - £3,999.....	42	5.1	
£4,000 - £5,499.....	43	6.7	
£5,500 - £6,999.....	44	4.6	
£7,000 - £8,499.....	45	3.9	
£8,500 - £9,999.....	46	3.5	
£10,000 - £12,499.....	47	8.4	
£12,500 - £14,999.....	48	6.9	
£15,000 - £17,499.....	49	5.3	
£17,500 - £19,999.....	50	3.3	
£20,000 - £22,499.....	51	2.3	
£22,500 - £24,999.....	52	2.3	
£25,000 - £27,499.....	53	1.6	
£27,500 or over.....	54	3.5	
Refused.....	55	11.9	
Don't know.....	59	20.3	

F 11 「世帯収入」〔回答票22〕では、お宅の収入は、ご家族全部あわせて、去年1年間でおおよそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答え下さい。

[VAR: INCOMEH] FAMILY INCOME

世帯収入

	コード	1988.10 N = 2265	カラム 2-11~12
200万円未満	81	5.7	
200万円～400万円未満	82	20.8	
400万円～600万円未満	83	22.7	
600万円～800万円未満	84	15.3	
800万円～1000万円未満	85	7.5	
1000万円～1500万円未満	86	4.5	
1500万円～2000万円未満	87	1.1	
2000万円以上	88	0.8	
わからない	89	21.5	

F 11 「世帯収入」〔回答票22〕では、お宅の収入は、ご家族全部あわせて、去年1年間でおおよそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答え下さい。

[VAR: INCOMEH] FAMILY INCOME

世帯収入

	コード	1988.10 N = 1017	カラム 2-11~12
200万円未満	81	6.2	
200万円～400万円未満	82	18.7	
400万円～600万円未満	83	24.7	
600万円～800万円未満	84	14.3	
800万円～1000万円未満	85	9.4	
1000万円～1500万円未満	86	3.4	
1500万円～2000万円未満	87	1.6	
2000万円以上	88	0.5	
わからない	89	21.2	

Q.917 (SHOW RESPONDENT CARD 9-3)

Would you please give me the letter of the group which best represents the total annual income, before taxes, of all the members of your immediate family living in your household?

[VAR: INCOMEF]

TOTAL FAMILY INCOME

CODE 1988.10
N=1563

COL.211-12

Under 5000\$	61	5.8
5000 ~	62	8.9
10000 ~	63	11.9
15000 ~	64	12.8
20000 ~	65	13.2
25000 ~	66	9.0
30000 ~	67	7.7
35000 ~	68	6.5
40000 ~	69	9.0
50000 ~	70	7.7
70000 ~	71	0.7
100000 ~	72	2.0

問1～問75

Question No.1 To 75

Q.1 121.

Wenn sie einmal den jetzigen Lebensstandard der Deutsch mit dem von vor 10 Jahren vergleichen: würden Sie sagen, es geht den Deutschen heuteINT.: bitte vorlesen

[VAR: #7.30B]

STANDARD OF LIVING IN COUNTRY 10 YEARS AGO

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 21
viel besser	1	19.2	
etwas besser.....	2	42.0	
gleich gut.....	3	26.0	
etwas schlechter oder	4	9.6	
viel schlechter?	5	1.4	
weiß nicht,NA.....	9	1.8	

Q.1

Diriez-vous que depuis une dizaine d'années, le niveau de vie de l'ensemble des Français va...

[VAR: #7.30B]

STANDARD OF LIVING IN COUNTRY 10 YEARS AGO

	CODE	1987.10 N=1013	COL.21
beaucoup mieux.....	1	2.6	
un peu mieux.....	2	18.5	
c'est pareil.....	3	17.1	
un peu moins bien.....	4	37.4	
beaucoup moins bien.....	5	23.0	
NSP.....	9	1.5	

Q.1

Compared with ten years ago do you think the standard in living in Britain as a whole is ...(READ OUT)

[VAR: #7.30B]

STANDARD OF LIVING IN COUNTRY 10 YEARS AGO

	CODE	1987.10 N=1043	COL.21
Much better.....	1	21.4	
Slightly better.....	2	40.0	
About the same.....	3	13.0	
Slightly worse.....	4	15.0	
or Much worse?.....	5	8.0	
Don't know.....	9	2.7	

* 問 1 (カード 1) 日本人全体の生活水準は、この 10 年間でどう変わったと思いますか。

[VAR: #7.30B] STANDARD OF LIVING IN COUNTRY 10 YEARS AGO
国の生活水準 10 年の変化

	1988. 10	
コード	N = 2265	カラム 1-21
非常によくなった	1	25.1
ややよくなった	2	49.8
変わらない	3	16.7
ややわるくなった	4	4.5
非常にわるくなった	5	0.8
その他 (記入)	8	0.0
D. K.	9	3.1

注) * 印は調査 (A), (B) でスプリットの質問

* 問 1 (カード 1) 日本人全体の生活水準は、この 10 年間でどう変わったと思いますか。

[VAR: #7.30B] STANDARD OF LIVING IN COUNTRY 10 YEARS AGO
国の生活水準 10 年の変化

	1988. 10	
コード	N = 1017	カラム 1-21
よくなった	1	39.9
ややよくなった	2	34.8
変わらない	3	17.0
ややわるくなった	4	3.2
わるくなった	5	1.4
その他 (記入)	8	0.1
D. K.	9	3.5

Q.1

Compared with ten years ago do you think the standard of living of Americans as a whole is ... (READ)

[VAR: #7.30B]
STANDARD OF LIVING IN COUNTRY 10 YEARS AGO

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.121
Much better	1	17.0
Slightly better	2	32.0
About the same	3	18.0
Slightly worse, or	4	21.8
Much worse	5	9.3
Don't know (DON'T READ)	9	1.9

Q.2 122.

Und wie verhält es sich mit Ihrem persönlichen Lebensstandard,
verglichen mit dem vor zehn Jahren? Ist er.....

INT.: bitte vorlesen

[VAR: #7.30A]

YOUR STANDARD OF LIVING 10 YEARS AGO

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 22
viel besser	1	16.6	
etwas besser.....	2	38.9	
gleich gut.....	3	33.3	
etwas schlechter oder	4	8.0	
viel schlechter?	5	2.0	
weiß nicht,NA.....	9	1.2	

Q.2

Diriez-vous que depuis une dizaine d'années, votre niveau de vie à
vous va...

[VAR: #7.30A]

YOUR STANDARD OF LIVING 10 YEARS AGO

	CODE	1987.10 N=1013	COL.22
beaucoup mieux.....	1	6.7	
un peu mieux.....	2	19.4	
c'est pareil.....	3	25.9	
un peu moins bien.....	4	29.7	
beaucoup moins bien.....	5	16.5	
NSP.....	9	1.8	

Q.2 Compared with ten years ago do you think your standard of
living is ...(READ OUT)

[VAR: #7.30A]

YOUR STANDARD OF LIVING 10 YEARS AGO

	CODE	1987.10 N=1043	COL.22
Much better.....	1	24.0	
Slightly better.....	2	30.4	
About the same.....	3	25.2	
Slightly worse.....	4	11.8	
or Much worse?.....	5	6.7	
Don't know.....	9	1.9	

* 問 2 [カード1] あなたの生活水準は、この10年間でどう変わりましたか。[VAR: #7.30A] YOUR STANDARD OF LIVING 10 YEARS AGO
あなたの生活水準10年の変化

	1988. 10	
コード	N = 2265	カラム 1-22
非常によくなった.....	1	7.2
ややよくなった.....	2	43.7
変わらない.....	3	37.9
ややわるくなった.....	4	7.9
非常にわるくなった.....	5	1.3
その他〔記入〕.....	8	0.1
D. K.	9	1.9

注) *印は調査(A)。(B)でスプリットの質問

* 問 2 [カード1] あなたの生活水準は、この10年間でどう変わりましたか。[VAR: #7.30A] YOUR STANDARD OF LIVING 10 YEARS AGO
生活水準10年の変化

	1988. 10	
コード	N = 1017	カラム 1-22
よくなった.....	1	16.3
ややよくなった.....	2	37.1
変わらない.....	3	35.5
ややわるくなった.....	4	7.0
わるくなった.....	5	2.7
その他〔記入〕.....	8	0.0
D. K.	9	1.5

Q.2

Compared with ten years ago do you think your standard of living is
...(READ)[VAR: #7.30A]
YOUR STANDARD OF LIVING 10 YEARS AGO

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.122
Much better.....	1	25.9
Slightly better.....	2	27.0
About the same.....	3	26.2
Slightly worse, or.....	4	14.3
Much worse.....	5	6.0
Don't know (DON'T READ)....	9	0.6

Q.3.123.

Glauben Sie, daß Ihre Lebensbedingungen in den nächsten fünf Jahren besser oder schlechter werden? Werden sie:

INT.: bitte vorlesen

[VAR: #7.31]

LIVING CONDITIONS IN FUTURE

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 23
viel besser	1	3.8	
etwas besser.....	2	27.4	
gleich bleiben.....	3	47.6	
etwas schlechter.....	4	15.6	
viel schlechter?	5	1.0	
weiß nicht,NA.....	9	4.6	

Q.3

Pensez-vous que vos conditions de vie vont s'améliorer ou se détériorer au cours des 5 prochaines années? (Montrer liste)

[VAR: #7.31]

LIVING CONDITIONS IN FUTURE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.23
Vont s'améliorer beaucoup..	1	6.7	
Vont s'améliorer un petit peu.....	2	25.1	
Vont rester semblables.....	3	28.5	
Vont se détériorer un petit peu.....	4	27.4	
Vont se détériorer beaucoup.....	5	6.4	
NSP.....	9	5.8	

Q.3

Over the next five years do you think your living conditions will get ... (READ OUT)

[VAR: #7.31]

LIVING CONDITIONS IN FUTURE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.23
Much better.....	1	11.8	
Slightly better.....	2	28.2	
About the same.....	3	38.6	
Slightly worse.....	4	12.8	
or Much worse?.....	5	3.1	
Don't know.....	9	5.5	

* 問 3 [カード2] これから先の5年間に、あなたの生活状態はよくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。

[VAR: #7.31] LIVING CONDITIONS IN FUTURE
今後の生活水準

	1988. 10	
コード	N = 2265	カラム 1-23
非常によくなるだろう	1	2.6
ややよくなるだろう	2	22.4
変わらないだろう	3	52.2
ややわるくなるだろう	4	14.8
非常にわるくなるだろう	5	1.5
その他〔記入〕	8	0.0
D. K.	9	6.5

注) *印は調査(A)。(B)でスプリットの質問

* 問 3 [カード2] これから先の5年間に、あなたの生活状態はよくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。

[VAR: #7.31] LIVING CONDITIONS INFUTURE
今後の生活水準

	1988. 10	
コード	N = 1017	カラム 1-23
よくなるだろう	1	7.7
ややよくなるだろう	2	20.1
変わらないだろう	3	50.3
ややわるくなるだろう	4	10.3
わるくなるだろう	5	4.3
その他〔記入〕	8	0.2
D. K.	9	7.1

Q.3

Over the next five years do you think your living conditions will get ... (READ)

[VAR: #7.31]
LIVING CONDITIONS IN FUTURE

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.123
Much better	1	17.1
Slightly better	2	29.9
About the same	3	35.0
Slightly worse, or	4	8.6
Much worse	5	3.7
Don't know (DON'T READ)	9	5.7

Q.4 124.

Glauben Sie, daß die Menschheit in Zukunft glücklicher sein wird oder unglücklicher? Oder wird sich nichts ändern?

[VAR: #7.18E]

HAPPINESS IN FUTURE

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 24
glücklicher.....	1	12.8	
unglücklicher.....	2	33.7	
keine Änderung.....	3	43.4	
weiß nicht,NA.....	9	10.1	

Q.4

Pensez-vous que dans l'avenir, les gens vont devenir plus heureux ou moins heureux?

[VAR: #7.18E]

HAPPINESS IN FUTURE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.24
Plus heureux.....	1	15.6	
Moins heureux.....	2	55.2	
Pas de changement.....	3	19.3	
(spontané)			
NSP.....	9	9.9	

Q.4

Thinking of the country as a whole do you think that people will be happier in years to come or will they be less happy than they are now?

[VAR: #7.18E]

HAPPINESS IN FUTURE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.24
Happier.....	1	18.0	
Less happy.....	2	51.3	
About the same.....	3	20.9	
Don't know.....	9	9.8	

問 4 これから先、ひとびとは幸福になると思いますか、不幸になると思いますか。

[VAR: #7.18E] HAPPINESS IN FUTURE
幸福になるか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 1 - 2 4
幸福に	1 2 2 . 1	
不幸に	2 1 1 . 6	
変わらない	3 4 7 . 7	
その他〔記入〕	8 0 . 9	
D. K.	9 1 7 . 7	

問 4 これから先、ひとびとは幸福になると思いますか、不幸になると思いますか。

[VAR: #7.18E] HAPPINESS IN FUTURE
幸福になるか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 1 - 2 4
幸福に	1 2 4 . 5	
不幸に	2 1 1 . 8	
変わらない	3 4 4 . 1	
その他〔記入〕	8 1 . 0	
D. K.	9 1 8 . 7	

Q.4

Do you think people, in general, will be more happy, or less happy than they are now?

[VAR: #7.18E]
HAPPINESS IN FUTURE

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.124
More happy.....	1 28.7	
Less happy.....	2 37.3	
No change.....	3 24.5	
Other (PLEASE SPECIFY)_____	8 2.1	
Don't know.....	9 7.4	

Q.5 125.

Und wie wird sich die innere Zufriedenheit der Menschen entwickeln?
Wird sie zunehmen oder wird sie abnehmen?

[VAR: #7.18B]

PEACE OF MIND

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 25
zunehmen.....	1	11.3	
abnehmen.....	2	47.4	
gleich bleiben.....	3	33.2	
sonstiges,und zwar:_____	8	0.2	
weiß nicht,NA.....	9	7.9	

Q.5

Et pour ce qui est de leur sérénité pensez-vous qu'elle va
augmenter ou diminuer?

[VAR: #7.18B]

PEACE OF MIND

	CODE	1987.10 N=1013	COL.25
Augmenter.....	1	15.3	
Diminuer.....	2	56.8	
Pas de changement.....	3	16.6	
(spontané)			
Autre réponse (préciser) _____	8	0.7	
NSP.....	9	10.7	

Q.5

What do you think about people's peace of mind? Will it increase or
decrease?

[VAR: #7.18B]

PEACE OF MIND

	CODE	1987.10 N=1043	COL.25
Increase.....	1	17.3	
Decrease.....	2	59.3	
Not change.....	3	16.1	
Other (WRITE IN) _____	8	1.5	
Don't know.....	9	5.8	

問 5 これから先、心のやすらかさは、ますと思いますか、へると思いますか。

[VAR: #7.18B] PEACE OF MIND
心の安らかさはますか

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 1 - 2 5
ふえる	1	1 7 . 3	
へる	2	3 7 . 4	
変わらない	3	3 6 . 1	
その他〔記入〕	8	0 . 4	
D. K.	9	8 . 8	

問 5 これから先、心のやすらかさは、ますと思いますか、へると思いますか。

[VAR: #7.18B] PEACE OF MIND
心の安らかさはますか

		1 9 8 8 . 1 0	
コ ー ド		N = 1 0 1 7	カ ラ ム 1 - 2 5
ふえる	1	1 7 . 7	
へ る	2	3 6 . 7	
変わらない	3	3 5 . 3	
その他〔記入〕	8	0 . 5	
D. K.	9	9 . 8	

Q.5

How about people's peace of mind? Do you think it will increase or decrease?

[VAR: #7.18B]
PEACE OF MIND

	CODE	1988.10 N=1563	COL.125
Increase.....	1	31.0	
Decrease.....	2	46.6	
Not change.....	3	16.1	
Other (PLEASE SPECIFY)_____	8	1.3	
Don't know.....	9	4.9	

Q.6 126.

Wie steht es mit der Freiheit des Einzelnen? Wird sie zunehmen oder abnehmen?

[VAR: #7.18C]

FREEDOM

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 26
zunehmen.....	1	21.2	
abnehmen.....	2	33.4	
nicht verändern.....	3	38.1	
weiß nicht,NA.....	9	7.3	

Q.6

Et pour ce qui est de la liberté de l'individu, aura-t-elle tendance à augmenter ou à diminuer?

[VAR: #7.18C]

FREEDOM

	CODE	1987.10 N=1013	COL.26
Augmenter.....	1	29.6	
Diminuer.....	2	42.1	
Pas de changement.....	3	21.9	
(spontané)			
NSP.....	9	6.4	

Q.6

Do you think people will have more freedom or less freedom than they do now?

[VAR: #7.18C]

FREEDOM

	CODE	1987.10 N=1043	COL.26
More freedom.....	1	42.5	
Less freedom.....	2	32.2	
About the same.....	3	21.1	
Don't know.....	9	4.2	

問 6 では、人間の自由は、ふえると思いますか、へると思いますか。

[VAR: #7.18C] FREEDOM
人間の自由はふえるか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 1 - 2 6
ふえる	1 3 7.5	
へ る	2 1 7.7	
変わらない	3 3 4.9	
その他〔記入〕	8 0.1	
D. K.	9 9.7	

問 6 では、人間の自由は、ふえると思いますか、へると思いますか。

[VAR: #7.18C] FREEDOM
人間の自由はふえるか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 1 - 2 6
ふえる	1 3 6.1	
へ る	2 1 9.5	
変わらない	3 3 4.7	
その他〔記入〕	8 0.3	
D. K.	9 9.4	

Q.6

What about people's freedom? Do you think it will increase or decrease?

[VAR: #7.18C]
FREEDOM

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.126
Increase.....	1 29.9	
Decrease.....	2 37.4	
Not change.....	3 27.6	
Other (PLEASE SPECIFY)_____	8 1.4	
Don't know.....	9 3.8	

Q.7 127.

Glauben Sie, daß sich die Gesundheit der Menschen in der Zukunft verbessern wird oder wird sie sich verschlechtern?

[VER: #7.18]

PEOPLE'S HEALTH

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 27
verbessern.....	1	25.5	
verschlechtern.....	2	43.8	
keine Änderung.....	3	23.7	
weiß nicht,NA.....	9	7.0	

Q.7

Pensez-vous que dans l'avenir, l'état de santé des gens va s'améliorer ou se détériorer?

[VAR: #7.18]

PEOPLE'S HEALTH

	CODE	1987.10 N=1013	COL.27
S'améliorer.....	1	49.3	
Se détériorer.....	2	35.2	
Pas de changement.....	3	10.3	
(spontané)			
NSP.....	9	5.2	

Q.7

And do you think people will be generally healthier in the future or will they be less healthy?

[VAR: #7.18]

PEOPLE'S HEALTH

	CODE	1987.10 N=1043	COL.27
Healthier.....	1	61.6	
Less healthy.....	2	24.1	
About the same.....	3	10.6	
Don't know.....	9	3.7	

問 7 これから先、人間の健康の面はよくなってゆくと思いますか、わるくなると思いますか。

[VAR: #7.18] PEOPLE'S HEALTH

人間の健康の面はよくなるか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 1 - 2 7
よくなる	1 4 1 . 3	
わるくなる	2 3 1 . 2	
変わらない	3 2 1 . 5	
その他〔記入〕	8 0 . 1	
D. K.	9 5 . 9	

問 7 これから先、人間の健康の面はよくなってゆくと思いますか、わるくなると思いますか。

[VAR: #7.18] PEOPLE'S HEALTH

人間の健康の面はよくなるか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 1 - 2 7
よくなる	1 4 2 . 3	
わるくなる	2 2 9 . 3	
変わらない	3 2 1 . 5	
その他〔記入〕	8 0 . 2	
D. K.	9 6 . 7	

Q.7

Do you think that people's health will improve in the future, or do you think it will get worse?

[VAR: #7.18]

PEOPLE'S HEALTH

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.127
Improve.....1	63.9	
Get worse.....2	25.5	
Not change.....3	7.9	
Other (PLEASE SPECIFY)_____8	0.6	
Don't know.....9	2.1	

Q.8 128.

Es gibt im Augenblick eine Reihe von Diskussionen, was die Ziele der Bundesrepublik Deutschland in den nächsten 10 bis 15 Jahren sein sollten. Auf dieser Liste sind einige Ziele aufgeführt, denen verschiedene Leute den Vorrang einräumen würden. Würden Sie mir bitte sagen, welches davon Sie selbst für das wichtigste auf längere Sicht halten.

[VAR: #8.80]

THE COUNTRY'S GOAL

INT.: LISTE 1 vorlegen; nur eine Nennung möglich!

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 28
	1	38.1	
	2	29.5	
	3	8.8	
	4	18.8	
sonstiges, und zwar: _____	8	1.2	
weiß nicht, NA.....	9	3.6	

LISTE 1

- 1 Aufrechterhaltung von Sicherheit und Ordnung in der Bundesrepublik
- 2 verstärktes Mitspracherecht der Bevölkerung bei wichtigen Regierungsentscheidungen
- 3 Kampf gegen Preissteigerungen
- 4 Schutz der freien Meinungsäußerung

Q.8

On entend dire beaucoup de choses au sujet des buts que la France devrait s'efforcer d'atteindre au cours des dix ou quinze prochaines années. Sur cette liste sont mentionnés des buts que certains voudraient voir atteints en priorité. Voudriez-vous m'indiquer celui qui vous paraît à vous comme le plus important à long terme? (Montrer liste, 1 seule réponse possible)

[VAR: #8.80]

THE COUNTRY'S GOAL

	CODE	1987.10 N=1013	COL.28
Maintenir l'ordre dans le pays.....	1	35.6	
Augmenter la participation des citoyens aux décisions du gouvernement.....	2	15.4	
Combattre la hausse des prix.....	3	21.5	
Gaeantir la liberté d'expression.....	4	22.0	
Autre réponse (préciser) _____	8	3.7	
NSP.....	9	1.8	

SHOW CARD A

Q.8

There is a lot of talk these days about what the country's goals should be for the next ten or fifteen years. On this card are listed some of the goals that different people say should be given top priority. Would you please say which one of them you yourself consider most important in the long run?

CODE ONE ONLY

[VAR: #8.80]
 THE COUNTRY'S GOAL

	CODE	1987.10 N=1043	COL.28
Maintaining order in the nation.....1		40.4	
Giving the people more say in important government decisions.....2		31.4	
Fighting rising prices.....3		14.3	
Protecting freedom of speech.....4		11.0	
Other (WRITE IN) _____8		1.9	
Don't know.....9		1.0	

問 8 [カード3] わが国の向こう10年から15年間の国家目標をどう設定したらよいかについて、最近盛んに議論されています。ここにいろいろな人が最も重視する目標がいくつかあげてあります。あなたはこれらの中で何が最も重要だと思いますか。(○は1つ)

[VAR: #8.80] THE COUNTRY'S GOAL

国家目標

		1988. 10	
コード		N = 2265	カラム 1-28
国家の秩序を維持すること・・・	1	20.6	
重要な政策を決める時、人々に			
もっと発言させること・・・	2	27.1	
物価の上昇をくいとめること・・・	3	35.1	
言論の自由を守ること・・・	4	7.5	
その他〔記入〕・・・	8	0.6	
D. K.	9	9.1	

問 8 [カード3] わが国の向こう10年から15年間の国家目標をどう設定したらよいかについて、最近盛んに議論されています。ここにいろいろな人が最も重視する目標がいくつかあげてあります。あなたはこれらの中で何が最も重要だと思いますか。(○は1つ)

[VAR: #8.80] THE COUNTRY'S GOAL

国家目標

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 1-28
国家の秩序を維持すること・・・	1	20.2	
重要な政策を決める時、人々に			
もっと発言させること・・・	2	27.4	
物価の上昇をくいとめること・・・	3	36.1	
言論の自由を守ること・・・	4	6.7	
その他〔記入〕・・・	8	0.9	
D. K.	9	8.8	

Q.8 (HAND CARD 8)

There is a lot of talk these days about what the country's goals should be for the next ten or fifteen years. On this card are listed some of the goals that different people believe should be given top priority. Which one of them do you yourself consider most important in the long run? Just call off the letter, please. (ONLY ONE RESPONSE PERMITTED)

CODE ONE ONLY

[VAR: #8.80]

THE COUNTRY'S GOAL

1988.10
CODE N=1563

COL.128

Maintaining order in the nation.....1	29.4
Giving the people more say in important government decisions.....2	33.1
Fighting rising prices.....3	22.6
Protecting freedom of speech.....4	10.9
Other (PLEASE SPECIFY) _____8	2.2
Don't know.....9	1.7

Q.9 129-33.

Ich lese Ihnen jetzt einige Dinge vor. Bitte sagen Sie mir, in welchem Ausmaße Sie sich darüber Sorgen machen. Sind Sie darüber sehr, ziemlich, etwas oder gar nicht besorgt?

LISTE 2 vorlegen

INT.: Einzelnen vorlesen und bewerten lassen

	sehr be- sorgt	ziem- lich be- sorgt	etwas be- sorgt	gar nicht be- sorgt	(weiß nicht)
a) schwere Krankheit.....	1	2	3	4	9
b) Autounfall.....	1	2	3	4	9
c) Arbeitslosigkeit.....	1	2	3	4	9
d) krieg.....	1	2	3	4	9
e) Atomkraftunfall.....	1	2	3	4	9

a) schwere Krankheit

[VAR: #2.30]

EXTENT OF WORRY: SERIOUS ILLNESS

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 29
sehr besorgh.....	1	16.8	
ziemlich besorgh.....	2	21.8	
etwas besorgh.....	3	35.4	
gar nicht besorgh.....	4	25.5	
weiß nicht,NA.....	9	0.5	

b) Autounfall

[VAR: #2.30D]

EXTENT OF WORRY: CAR ACCIDENT

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 30
sehr besorgh.....	1	8.5	
ziemlich besorgh.....	2	13.6	
etwas besorgh.....	3	40.5	
gar nicht besorgh.....	4	35.7	
weiß nicht,NA.....	9	1.7	

Q.9 Continued

c) Arbeitslosigkeit

[VAR: #2.30E]

EXTENT OF WORRY: UNEMPLOYMENT

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 31
sehr besorgh.....	1	13.0	
ziemlich besorgh.....	2	16.3	
etwas besorgh.....	3	25.2	
gar nicht besorgh.....	4	43.2	
weiß nicht,NA.....	9	2.3	

d) krieg

[VAR: #2.30F]

EXTENT OF WORRY: WAR

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 32
sehr besorgh.....	1	19.9	
ziemlich besorgh.....	2	20.5	
etwas besorgh.....	3	32.4	
gar nicht besorgh.....	4	26.1	
weiß nicht,NA.....	9	1.1	

e) Atomkraftunfall

[VAR: #2.30G]

EXTENT OF WORRY: NUCLEAR POWER ACCIDENT

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 33
sehr besorgh.....	1	30.3	
ziemlich besorgh.....	2	28.3	
etwas besorgh.....	3	27.8	
gar nicht besorgh.....	4	12.4	
weiß nicht,NA.....	9	1.2	

Q.9

On éprouve parfois de l'inquiétude pour soi-même ou pour des proches. Pouvez-vous me dire si les risques suivants vous inquiètent. (Enumérer, Montrer liste, 1 réponse par ligne)

	Beau- Coup	Assez	Un peu	Pas du tout	N.S.P.	
a) Maladie grave.....	1	2	3	4	9	COL.29
b) Accident de la route...	1	2	3	4	9	COL.30
c) Chômage.....	1	2	3	4	9	COL.31
d) Guerre.....	1	2	3	4	9	COL.32
e) Accident de centrale... nucléaire	1	2	3	4	9	COL.33

a) Maladie grave

[VAR: #2.30]

EXTENT OF WORRY:SERIOUS ILLNESS

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.29
Beaucoup.....	1	50.5	
Assez.....	2	24.6	
Un peu.....	3	17.7	
Pas du tout.....	4	7.0	
N.S.P.....	9	0.2	

b) Accident de la route

[VAR: #2.30D]

EXTENT OF WORRY:CAR ACCIDENT

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.30
Beaucoup.....	1	43.7	
Assez.....	2	27.6	
Un peu.....	3	20.5	
Pas du tout.....	4	8.0	
N.S.P.....	9	0.1	

Q.9 Continued

c) Chômage

[VAR: #2.30E]

EXTENT OF WORRY:UNEMPLOYMENT

	CODE	1987.10 N=1013	COL.31
Beaucoup.....	1	54.2	
Assez.....	2	19.8	
Un peu.....	3	14.7	
Pas du tout.....	4	10.1	
N.S.P.....	9	1.2	

d) Guerre

[VAR: #2.30F]

EXTENT OF WORRY:WAR

	CODE	1987.10 N=1013	COL.32
Beaucoup.....	1	30.9	
Assez.....	2	16.7	
Un peu.....	3	28.2	
Pas du tout.....	4	23.4	
N.S.P.....	9	0.8	

e) Accident de centrale nucléaire

[VAR: #2.30G]

EXTENT OF WORRY:UNCLEAR POWER ACCIDENT

	CODE	1987.10 N=1013	COL.33
Beaucoup.....	1	25.8	
Assez.....	2	16.5	
Un peu.....	3	31.6	
Pas du tout.....	4	23.6	
N.S.P.....	9	2.6	

SHOW CARD B

Q.9

From the answers on this card, to what extent do you worry, either for yourself or for your family, about each of the following?

(READ OUT)

	Very much	Somewhat	Slightly	Not at all	Don't know	COL.
Serious illness.....	1.....	2.....	3.....	4.....	9.....	(29)
Car accident.....	1.....	2.....	3.....	4.....	9.....	(30)
Unemployment.....	1.....	2.....	3.....	4.....	9.....	(31)
War.....	1.....	2.....	3.....	4.....	9.....	(32)
Nuclear power accident..	1.....	2.....	3.....	4.....	9.....	(33)

A. Serious illness

[VAR: #2.30]

EXTENT OF WORRY: SERIOUS ILLNESS

		1987.10	
	CODE	N=1043	COL.29
Very much.....	1	31.7	
Somewhat.....	2	17.6	
Slightly.....	3	30.7	
Not at all.....	4	19.7	
Don't know.....	9	0.3	

B. Car accident

[VAR: #2.30D]

EXTENT OF WORRY: CAR ACCIDENT

		1987.10	
	CODE	N=1043	COL.30
Very much.....	1	23.6	
Somewhat.....	2	16.1	
Slightly.....	3	33.1	
Not at all.....	4	26.7	
Don't know.....	9	0.5	

Q.9 Continued
C. Unemployment

[VAR: #2.30E]

EXTENT OF WORRY: UNEMPLOYMENT

	CODE	1987.10 N=1043	COL.31
Very much.....	1	31.6	
Somewhat.....	2	13.6	
Slightly.....	3	22.3	
Not at all.....	4	31.9	
Don't know.....	9	0.5	

D.War

[VAR: #2.30F]

EXTENT OF WORRY: WAR

	CODE	1987.10 N=1043	COL.32
Very much.....	1	24.9	
Somewhat.....	2	15.2	
Slightly.....	3	26.1	
Not at all.....	4	33.0	
Don't know.....	9	0.8	

E.Nuclear power accident

[VAR: #2.30G]

EXTENT OF WORRY: NUCLEAR POWER ACCIDENT

	CODE	1987.10 N=1043	COL.33
Very much.....	1	34.3	
Somewhat.....	2	18.5	
Slightly.....	3	23.3	
Not at all.....	4	23.3	
Don't know.....	9	0.6	

- 問9 [カード4] ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になる
ことがあると思います。
あなたは、次のような危険について不安を感じるがありますか。

1	2	3	4	8	9
非常に 感じる	かなり 感じる	少しは 感じる	全く感 じない	その他	D K

- a. まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか。
b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか。
c. では、「失業」についてはどうでしょうか。
d. では、「戦争」についてはどうでしょうか。
e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか。

	非常に 感じる	かなり 感じる	少しは 感じる	全く感 じない	その他	D K
a. 重い病気	1	2	3	4	8	9
b. 交通事故	1	2	3	4	8	9
c. 失業	1	2	3	4	8	9
d. 戦争	1	2	3	4	8	9
e. 原子力施設の事故	1	2	3	4	8	9

a. 重い病気

[VAR: #2.30] EXTENT OF WORRY : SERIOUS ILLNESS

不安感－重い病気

1988. 10
コード N = 2265

カラム 1-29

非常に感じる	1	21.9
かなり感じる	2	24.9
少しは感じる	3	38.7
全く感じない	4	13.6
その他	8	0.0
D. K.	9	1.0

b. 交通事故

[VAR: #2.30D] EXTENT OF WORRY : CAR ACCIDENT

不安感－交通事故

1988. 10
コード N = 2265

カラム 1-30

非常に感じる	1	26.0
かなり感じる	2	31.1
少しは感じる	3	32.4
全く感じない	4	9.2
その他	8	0.0
D. K.	9	1.3

[つづく]

問 9 (つづき)

c. 失業

[VAR: #2.30E] EXTENT OF WORRY : UNEMPLOYMENT
不安感－失業

1988. 10
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 3 1

非常に感じる	1	8.2
かなり感じる	2	14.4
少しは感じる	3	30.7
全く感じない	4	41.1
その他	8	0.5
D. K.	9	5.1

d. 戦争

[VAR: #2.30F] EXTENT OF WORRY : WAR
不安感－戦争

1988. 10
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 3 2

非常に感じる	1	11.3
かなり感じる	2	13.3
少しは感じる	3	36.4
全く感じない	4	32.9
その他	8	0.1
D. K.	9	5.9

e. 原子力施設の事故

[VAR: #2.30G] EXTENT OF WORRY : NUCLEAR POWER ACCIDENT
不安感－原子力施設の事故

1988. 10
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 3 3

非常に感じる	1	18.8
かなり感じる	2	24.8
少しは感じる	3	34.4
全く感じない	4	15.5
その他	8	0.1
D. K.	9	6.4

問9 [カード4] ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になる
ことがあると思います。
あなたは、次のような危険について不安を感じることがありますか。

1 非常に 感じる	2 かなり 感じる	3 少しは 感じる	4 全く感 じない	8 その他	9 DK
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------	---------

- a. まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか。
b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか。
c. では、「失業」についてはどうでしょうか。
d. では、「戦争」についてはどうでしょうか。
e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか。

	非常に 感じる	かなり 感じる	少しは 感じる	全く感 じない	その他	DK
a. 重い病気	1	2	3	4	8	9
b. 交通事故	1	2	3	4	8	9
c. 失業	1	2	3	4	8	9
d. 戦争	1	2	3	4	8	9
e. 原子力施設の事故	1	2	3	4	8	9

a. 重い病気

[VAR: #2.30] EXTENT OF WORRY : SERIOUS ILLNESS
不安感—重い病気

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-29

非常に感じる	1	20.7
かなり感じる	2	26.1
少しは感じる	3	39.0
全く感じない	4	13.0
その他	8	0.1
D. K.	9	1.1

b. 交通事故

[VAR: #2.30D] EXTENT OF WORRY : CAR ACCIDENT
不安感—交通事故

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-30

非常に感じる	1	21.9
かなり感じる	2	31.8
少しは感じる	3	35.9
全く感じない	4	8.8
その他	8	0.1
D. K.	9	1.5

[つづく]

問9 [つづき]

c. 失業

[VAR: #2.30E] EXTENT OF WORRY : UNEMPLOYMENT
不安感—失業

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 1-31
非常に感じる	1	7.7	
かなり感じる	2	13.4	
少しは感じる	3	31.9	
全く感じない	4	41.8	
その他	8	0.6	
D. K.	9	4.7	

d. 戦争

[VAR: #2.30F] EXTENT OF WORRY : WAR
不安感—戦争

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 1-32
非常に感じる	1	10.8	
かなり感じる	2	13.9	
少しは感じる	3	34.7	
全く感じない	4	34.4	
その他	8	0.3	
D. K.	9	5.9	

e. 原子力施設の事故

[VAR: #2.30G] EXTENT OF WORRY : NUCLEAR POWER ACCIDENT
不安感—原子力施設の事故

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 1-33
非常に感じる	1	19.1	
かなり感じる	2	24.5	
少しは感じる	3	33.2	
全く感じない	4	16.5	
その他	8	0.0	
D. K.	9	6.7	

[DECK 1 Cols.29-30]
Q.9

Q.9 (HAND CARD 9)

To what extent do you worry, either for yourself or for your family, about each of the following? Would you say very much, somewhat, slightly, or not at all?

(READ EACH IN TURN)

	Very Much	Somewhat	Slightly	Not at all	Don't know
Serious illness	1	2	3	4	9
Car accident	1	2	3	4	9
Unemployment	1	2	3	4	9
War	1	2	3	4	9
Nuclear power accident	1	2	3	4	9

A.Serious illness

[VAR: #2.30]

EXTENT OF WORRY: SERIOUS ILLNESS

1988.10
CODE N=1563

COL.129

Very much.....1	32.3
Somewhat.....2	33.5
Slightly.....3	22.3
Not at all.....4	11.5
Don't know.....9	0.4

B.Car accident

[VAR: #2.30D]

EXTENT OF WORRY: CAR ACCIDENT

1988.10
CODE N=1563

COL.130

Very much.....1	21.9
Somewhat.....2	29.0
Slightly.....3	28.9
Not at all.....4	19.8
Don't know.....9	0.4

[DECK 1 Cols.31-33]
Q.9

Q.9 Continued

C.Car accident

[VAR: #2.30E]

EXTENT OF WORRY: UNEMPLOYMENT

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.131
Very much.....1	22.3	
Somewhat.....2	19.3	
Slightly.....3	22.8	
Not at all.....4	33.9	
Don't know.....9	1.7	

D.War

[VAR: #2.30F]

EXTENT OF WORRY: WAR

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.132
Very much.....1	21.8	
Somewhat.....2	25.2	
Slightly.....3	27.4	
Not at all.....4	24.3	
Don't know.....9	1.2	

E.Nuclear power accident

[VAR: #2.30G]

EXTENT OF WORRY: NUCLEAR POWER ACCIDENT

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.133
Very much.....1	25.7	
Somewhat.....2	24.4	
Slightly.....3	24.3	
Not at all.....4	23.6	
Don't know.....9	1.9	

Q.10 135-44.

Müssen Sie oder Ihre Familie Ihre Ausgaben auf irgendeinem der Bereiche, die ich gleich vorlesen werde, stärker einschränken, als es Ihnen lieb ist? INT.: Bitte vorlesen

	ja	nein	(weiß nicht keine Antwort)
a) medizinische Versorgung.....	1	2	9
b) Auto.....	1	2	9
c) Haushaltsgeräte.....	1	2	9
d) Essen und Trinken.....	1	2	9
e) Schönheitspflege.....	1	2	9
f) Urlaub und Freizeit.....	1	2	9
g) Kleidung.....	1	2	9
h) Wohnung.....	1	2	9
i) Ausgaben für die Kinder.....	1	2	9
j) Tabak, Alkohol.....	1	2	9

O. Household

[VAR: #7.80]

HOUSEHOLD EXPENSES:TOTAL

	CODE	1987.10	
		N=1043	COL.34
Missing.....	0	100.0	

a) medizinische Versorgung

[VAR: #7.80A]

HOUSEHOLD EXPENSES: HEALTH CARE

	CODE	1987.10	
		N=1000	COL. 35
ja.....	1	6.3	
nein.....	2	91.6	
weiß nicht keine Antwort...9		2.1	

b) Auto

[VAR: #7.80B]

HOUSEHOLD EXPENSES: MOTORING COSTS

	CODE	1987.10	
		N=1000	COL. 36
ja.....	1	21.0	
nein.....	2	74.6	
weiß nicht keine Antwort...9		4.4	

Q.10 Continued

c) Haushaltsgeräte

[VAR: #7.80C]

HOUSEHOLD EXPENSES: HOME APPLIANCES

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 37
ja.....	1	12.4	
nein.....	2	84.8	
weiß nicht keine Antwort...	9	2.8	

d) Essen und Trinken

[VAR: #7.80D]

HOUSEHOLD EXPENSES: FOOD

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 38
ja.....	1	8.2	
nein.....	2	90.6	
weiß nicht keine Antwort...	9	1.2	

e) Schönheitspflege

[VAR: #7.80E]

HOUSEHOLD EXPENSES: BEAUTY CARE

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 39
ja.....	1	12.3	
nein.....	2	80.9	
weiß nicht keine Antwort...	9	6.8	

f) Urlaub und Freizeit

[VAR: #7.80F]

HOUSEHOLD EXPENSES: VACATION AND LEISURE

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 40
ja.....	1	35.2	
nein.....	2	61.3	
weiß nicht keine Antwort...	9	3.5	

Q.10 Continued

g) Kleidung

[VAR: #7.80G]

HOUSEHOLD EXPENSES: CLOTHES

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 41
ja.....	1	19.2	
nein.....	2	79.3	
weiß nicht keine Antwort...	9	1.5	

h) Wohnung

[VAR: #7.80H]

HOUSEHOLD EXPENSES: HOUSING

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 42
ja.....	1	14.3	
nein.....	2	83.6	
weiß nicht keine Antwort...	9	2.1	

i) Ausgaben für die Kinder

[VAR: #7.80I]

HOUSEHOLD EXPENSES: EXPENSES FOR CHILDREN

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 43
ja.....	1	9.3	
nein.....	2	78.9	
weiß nicht keine Antwort...	9	11.8	

j) Tabak, Alkohol

[VAR: #7.80J]

HOUSEHOLD EXPENSES: SMOKING OR DRINKING

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 44
ja.....	1	12.9	
nein.....	2	80.0	
weiß nicht keine Antwort...	9	7.1	

Q.10

Est-ce que vous (ou votre foyer) êtes obligé de vous imposer
régulièrement des restrictions sur certains postes de votre budget?

[VAR: #7.80]

HOUSEHOLD EXPENSES: TOTAL

	CODE	1987.10 N=1013	COL.34
Oui.....	1	69.4	
Non.....	2 (Passer à 2.11)	30.6	

Q.10 bis

Sur quels postes particulièrement?
(Enumérer, 1 réponse par ligne)

	OUI	NON	NON concerné	
a) Soins médicaux.....	1.....	2.....	9	COL.35
b) Voiture.....	1.....	2.....	9	COL.36
c) Achat d'équipement.....	1.....	2.....	9	COL.37
ménager				
d) Alimentation.....	1.....	2.....	9	COL.38
e) Soins de beauté.....	1.....	2.....	9	COL.39
f) Vacances et loisirs.....	1.....	2.....	9	COL.40
g) Habillement.....	1.....	2.....	9	COL.41
h) Logement.....	1.....	2.....	9	COL.42
i) Dépenses pour les.....	1.....	2.....	9	COL.43
enfants				
j) Tabac - Boissons	1.....	2.....	9	COL.44

(Col A.45 vierge)

a) Soins médicaux

[VAR: #7.80A]

HOUSEHOLD EXPENSES: HEALTH CARE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.35
Oui.....	1	9.7	
Non.....	2	89.8	
Non concerné.....	9	0.5	

b) Voiture

[VAR: #7.80B]

HOUSEHOLD EXPENSES: MOTORING COSTS

	CODE	1987.10 N=1013	COL.36
Oui.....	1	37.7	
Non.....	2	54.6	
Non concerné.....	9	7.7	

Q.10 Continued

c) Achat d'équipement ménager

[VAR: #7.80C]

HOUSEHOLD EXPENSES: HOME APPLIANCES

	CODE	1987.10 N=1013	COL.37
Oui.....	1	40.2	
Non.....	2	56.4	
Non concerné.....	9	3.5	

d) Alimentation

[VAR: #7.80D]

HOUSEHOLD EXPENSES: FOOD

	CODE	1987.10 N=1013	COL.38
Oui.....	1	19.1	
Non.....	2	80.4	
Non concerné.....	9	0.6	

e) Soins de beauté

[VAR: #7.80E]

HOUSEHOLD EXPENSES: BEAUTY CARE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.39
Oui.....	1	32.8	
Non.....	2	51.8	
Non concerné.....	9	15.4	

f) Vacances et loisirs

[VAR: #7.80F]

HOUSEHOLD EXPENSES: VACATION AND LEISURE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.40
Oui.....	1	49.6	
Non.....	2	45.6	
Non concerné.....	9	4.8	

Q.10 Continued
g) Habillement

[VAR: #7.80G]

HOUSEHOLD EXPENSES: CLOTHES

	CODE	1987.10 N=1013	COL.41
Oui.....	1	46.4	
Non.....	2	52.0	
Non concerné.....	9	1.6	

h) Logement

[VAR: #7.80H]

HOUSEHOLD EXPENSES: HOUSING

	CODE	1987.10 N=1013	COL.42
Oui.....	1	20.5	
Non.....	2	75.3	
Non concerné.....	9	4.1	

i) Dépenses pour les enfants

[VAR: #7.80I]

HOUSEHOLD EXPENSES:EXPENSES FOR CHILDREN

	CODE	1987.10 N=1013	COL.43
Oui.....	1	17.2	
Non.....	2	61.6	
Non concerné.....	9	21.2	

j) Tabac - Boissons

[VAR: #7.80J]

HOUSEHOLD EXPENSES: SMOKING OR DRINKING

	CODE	1987.10 N=1013	COL.44
Oui.....	1	19.7	
Non.....	2	60.9	
Non concerné.....	9	19.3	

Q.10

Do you or your family have to limit your spending more than you would wish in any of the following areas? (READ OUT)

	Yes	No	Don't know/ Not applicable	COL.
Health care.....	1	0	9	(35)
Motoring costs.....	1	0	9	(36)
Home appliances.....	1	0	9	(37)
.....	1	0	9	(38)
Food.....	1	0	9	(38)
Beauty care.....	1	0	9	(39)
Vacation and leisure.....	1	0	9	(40)
.....	1	0	9	(41)
Clothes.....	1	0	9	(41)
Housing.....	1	0	9	(42)
Expenses for children.....	1	0	9	(43)
.....	1	0	9	(43)
Smoking or drinking.....	1	0	9	(44)

O. Household

[VAR: #7.80]

HOUSEHOLD EXPENSES:TOTAL

	CODE	1987.10 N=1043	COL.34
Missing.....	0	100.0	

A. Health care

[VAR: #7.80A]

HOUSEHOLD EXPENSES:HEALTH CARE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.35
Yes.....	1	26.1	
No.....	2	67.8	
Don't know/Not applicable..	9	6.1	

B. Motoring costs

[VAR: #7.80B]

HOUSEHOLD EXPENSES:MOTORING COSTS

	CODE	1987.10 N=1043	COL.36
Yes.....	1	35.9	
No.....	2	44.2	
Don't know/Not applicable..	9	19.9	

Q.10 Continued
 C. Home appliances

[VAR: #7.80C]
 HOUSEHOLD EXPENSES:HOME APPLIANCES

	CODE	1987.10 N=1043	COL.37
Yes.....	1	46.1	
No.....	2	50.8	
Don't know/Not applicable..	9	3.1	

D. Food

[VAR: #7.80D]
 HOUSEHOLD EXPENSES:FOOD

	CODE	1987.10 N=1043	COL.38
Yes.....	1	29.1	
No.....	2	69.9	
Don't know/Not applicable..	9	1.1	

E. Beauty care

[VAR: #7.80E]
 HOUSEHOLD EXPENSES:BEAUTY CARE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.39
Yes.....	1	19.8	
No.....	2	59.0	
Don't know/Not applicable..	9	21.3	

F. Vacation and leisure

[VAR: #7.80F]
 HOUSEHOLD EXPENSES:VACATION AND LEISURE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.40
Yes.....	1	57.2	
No.....	2	39.1	
Don't know/Not applicable..	9	3.6	

Q.10 Continued
G. Clothes

[VAR: #7.80G]

HOUSEHOLD EXPENSES:CLOTHES

	CODE	1987.10 N=1043	COL.41
Yes.....	1	52.5	
No.....	2	46.2	
Don't know/Not applicable..	9	1.2	

H. Housing

[VAR: #7.80H]

HOUSEHOLD EXPENSES:HOUSING

	CODE	1987.10 N=1043	COL.42
Yes.....	1	39.7	
No.....	2	53.0	
Don't know/Not applicable..	9	7.3	

I. Expenses for children

[VAR: #7.80I]

HOUSEHOLD EXPENSES:EXPENSES FOR CHILDREN

	CODE	1987.10 N=1043	COL.43
Yes.....	1	22.1	
No.....	2	35.4	
Don't know/Not applicable..	9	42.5	

J. Smoking or drinking

[VAR: #7.80J]

HOUSEHOLD EXPENSES:SMOKING OR DRINKING

	CODE	1987.10 N=1043	COL.44
Yes.....	1	24.4	
No.....	2	53.5	
Don't know/Not applicable..	9	22.1	

問 1 0

問 1 0

a. 家計のやりくりをしなければならないことがありますか。

[VAR: #7.80] HOUSEHOLD EXPEENSES

家計の節約

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 3 4

ある	1	5 3 . 3
ない	2	4 1 . 5
その他	8	0 . 2
D. K.	9	5 . 1

1 ある
2 ない → 問 1 1 へ
8 その他〔記入〕

9 D. K.

b. [カード5] 特にどこを節約しますか。 下記のうちからいくつでも上げて下さい。

	あり	なし
a. 医療	1	2
b. 車の費用	1	2
c. 家庭用品	1	2
d. 食料品	1	2
e. 美容	1	2
f. レジャー・休暇	1	2
g. 衣料費	1	2
h. 住居費	1	2
i. 子供の養育費	1	2
j. タバコ・酒	1	2
8. その他		
9. D. K.		

a. 医療

[VAR: #7.80A] HOUSEHOLD EXPENSES : HEALTH CARE

家計の節約－医療

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 3 5

あり	1	5 . 6
なし	2	9 3 . 7
その他	8	0 . 2
D. K.	9	0 . 5

b. 車の費用

[VAR: #7.80B] HOUSEHOLD EXPENSES : MOTORING COSTS

家計の節約－車

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 3 6

あり	1	1 2 . 5
なし	2	8 6 . 8
その他	8	0 . 2
D. K.	9	0 . 5

[つづく]

問10 [つづき]

c. 家庭用品

[VAR: #7.80C] HOUSEHOLD EXPENSES : HOME APPLIANCES
家計の節約-家庭用品

	コード	1988. 10 N = 2265	カラム 1-37
あり	1	18.1	
なし	2	81.2	
その他	8	0.2	
D. K.	9	0.5	

d. 食料品

[VAR: #7.80D] HOUSEHOLD EXPENSES : FOOD
家計の節約-食料品

	コード	1988. 10 N = 2265	カラム 1-38
あり	1	15.3	
なし	2	84.0	
その他	8	0.2	
D. K.	9	0.5	

e. 美容

[VAR: #7.80E] HOUSEHOLD EXPENSES : BEAUTY CARE
家計の節約-美容

	コード	1988. 10 N = 2265	カラム 1-39
あり	1	16.5	
なし	2	82.8	
その他	8	0.2	
D. K.	9	0.5	

f. レジャー・休暇

[VAR: #7.80F] HOUSEHOLD EXPENSES : VACATION AND LEISURE
家計の節約-バカンス、休暇

	コード	1988. 10 N = 2265	カラム 1-40
あり	1	30.4	
なし	2	68.9	
その他	8	0.2	
D. K.	9	0.5	

[つづく]

問10 [つづき]

g. 衣料費

[VAR: #7.80G] HOUSEHOLD EXPENSES : CLOTHES

家計の節約—衣服

	コード	1988. 10 N = 2265
あり	1	27.8
なし	2	71.6
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

カラム 1-41

h. 住居費

[VAR: #7.80H] HOUSEHOLD EXPENSES : HOUSING

家計の節約—住居

	コード	1988. 10 N = 2265
あり	1	7.1
なし	2	92.2
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

カラム 1-42

i. 子供の養育費

[VAR: #7.80I] HOUSEHOLD EXPENSES : EXPENSES FOR CHILDREN

家計の節約—子供の養育

	コード	1988. 10 N = 2265
あり	1	4.5
なし	2	94.9
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

カラム 1-43

j. タバコ・酒

[VAR: #7.80J] HOUSEHOLD EXPENSES : SMOKING OR DRINKING

家計の節約—タバコ、アルコール

	コード	1988. 10 N = 2265
あり	1	14.7
なし	2	84.6
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

カラム 1-44

問10

a. 家計のやりくりをしなければならないことがありますか。

[VAR: #7.80] HOUSEHOLD EXPENSES

家計の節約

	コード	1988. 10 N=1017	カラム 1-34
ある	1	53.4	
ない	2	42.1	
その他	8	0.2	
D. K.	9	4.3	

1 ある	→ 問11へ	9 D. K.
2 ない		
8 その他〔記入〕		

b. [カード5] 特にどこを節約しますか。 下記のうちからいくつでも上げて下さい。

	あり	なし
a. 医療	1	2
b. 車の費用	1	2
c. 家庭用品	1	2
d. 食料品	1	2
e. 美容	1	2
f. レジャー・休暇	1	2
g. 衣料費	1	2
h. 住居費	1	2
i. 子供の養育費	1	2
j. タバコ・酒	1	2
	8. その他	
	9. D. K.	

a. 医療

[VAR: #7.80A] HOUSEHOLD EXPENSES : HEALTH CARE

家計の節約—医療

	コード	1988. 10 N=1017	カラム 1-35
あり	1	5.3	
なし	2	94.0	
その他	8	0.2	
D. K.	9	0.5	

b. 車の費用

[VAR: #7.80B] HOUSEHOLD EXPENSES : MOTORING COSTS

家計の節約—車

	コード	1988. 10 N=1017	カラム 1-36
あり	1	13.6	
なし	2	85.7	
その他	8	0.2	
D. K.	9	0.5	

〔つづく〕

問10 [つづき]

c. 家庭用品

[VAR: #7.80C] HOUSEHOLD EXPENSES : HOME APPLIANCES

家計の節約—家庭用品

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-37

あり	1	20.1
なし	2	79.3
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

d. 食料品

[VAR: #7.80D] HOUSEHOLD EXPENSES : FOOD

家計の節約—食料品

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-38

あり	1	17.7
なし	2	81.6
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

e. 美容

[VAR: #7.80E] HOUSEHOLD EXPENSES : BEAUTY CARE

家計の節約—美容

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-39

あり	1	16.6
なし	2	82.7
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

f. レジャー・休暇

[VAR: #7.80F] HOUSEHOLD EXPENSES : VACATION AND LEISURE

家計の節約—バカンス、休暇

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-40

あり	1	28.4
なし	2	70.9
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

[つづく]

問10〔つづき〕

g. 衣料費

[VAR: #7.80G] HOUSEHOLD EXPENSES : CLOTHES

家計の節約—衣服

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-41

あり	1	26.5
なし	2	72.9
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

h. 住居費

[VAR: #7.80H] HOUSEHOLD EXPENSES : HOUSING

家計の節約—住居

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-42

あり	1	7.5
なし	2	91.8
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

i. 子供の養育費

[VAR: #7.80I] HOUSEHOLD EXPENSES : EXPENSES FOR CHILDREN

家計の節約—子供の養育

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-43

あり	1	4.7
なし	2	94.6
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

j. タバコ・酒

[VAR: #7.80J] HOUSEHOLD EXPENSES : SMOKING OR DRINKING

家計の節約—タバコ、アルコール

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-44

あり	1	15.0
なし	2	84.3
その他	8	0.2
D. K.	9	0.5

[DECK 1 Cols.35-36]
Q.10

Q.10

Do you or your family have to limit your spending more than you would like in any of the following areas? (READ)

	Yes	No	Don't know/ Not applicable
Health care	1	2	9
Automobile costs	1	2	9
Home appliances	1	2	9
Food	1	2	9
Beauty care	1	2	9
Vacation and leisure	1	2	9
Clothes	1	2	9
Housing	1	2	9
Expenses for children	1	2	9
Smoking or drinking	1	2	9

A.Health care

[VAR: #7.80A]

HOUSEHOLD EXPENSES: HEALTH CARE

1988.10
CODE N=1563

COL.135

Yes.....	1	41.8
No.....	2	57.0
Don't know/Not applicable..	9	1.2

B.Automobile costs

[VAR: #7.80B]

HOUSEHOLD EXPENSES: AUTOMOBILE COSTS

1988.10
CODE N=1563

COL.136

Yes.....	1	58.2
No.....	2	38.0
Don't know/Not applicable..	9	3.8

[DECK 1 Cols.37-40]

Q.10

Q.10 Continued

C.Home appliances

[VAR: #7.80C]

HOUSEHOLD EXPENSES: HOME APPLIANCES

	1988.10
CODE	N=1563

COL.137

Yes.....1	39.7
No.....2	58.5
Don't know/Not applicable..9	1.8

D.Food

[VAR: #7.80D]

HOUSEHOLD EXPENSES: FOOD

	1988.10
CODE	N=1563

COL.138

Yes.....1	38.4
No.....2	61.2
Don't know/Not applicable..9	0.4

E.Beauty care

[VAR: #7.80E]

HOUSEHOLD EXPENSES: BEAUTY CARE

	1988.10
CODE	N=1563

COL.139

Yes.....1	27.4
No.....2	66.3
Don't know/NOT applicable..9	6.3

F.Vacation and leisure

[VAR: #7.80F]

HOUSEHOLD EXPENSES: VACATION AND LEISURE

	1988.10
CODE	N=1563

COL.140

Yes.....1	58.6
No.....2	38.8
Don't know/Not applicable..9	2.6

[DECK 1 Cols.41-44]
Q.10

Q.10 Continued

G.Clothes

[VAR: #7.80G]

HOUSEHOLD EXPENSES: CLOTHES

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.141

Yes.....1	50.0
No.....2	49.4
Don't know/Not applicable..9	0.6

H.Housing

[VAR: #7.80H]

HOUSEHOLD EXPENSES: HOUSING

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.142

Yes.....1	43.4
No.....2	54.1
Don't know/Not applicable..9	2.4

I.Expences for children

[VAR: #7.80I]

HOUSEHOLD EXPENSES: EXPENSES FOR CHILDREN

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.143

Yes.....1	33.3
No.....2	44.5
Don't know/Not applicable..9	22.1

J.Smoking or drinking

[VAR: #7.80J]

HOUSEHOLD EXPENSES: SMOKING OR DRINKING

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.144

Yes.....1	18.0
No.....2	59.3
Don't know/Not applicable..9	22.6

BLANK

{VAR: - }

BLANK

1987. 10
CODE N=1000
BLANK 0 100. 0

COL. 45

{VAR: - }

BLANK

1987. 10
CODE N=1013
BLANK 0 100. 0

COL. 45

{VAR: - }

BLANK

1987. 10
CODE N=1043
BLANK 0 100. 0

COL. 45

{VAR: - } BLANK

空白

1988. 10
コード N=2265
BLANK 0 100. 0

カラム 1-45

{VAR: - } BLANK

空白

1988. 10
コード N=1017
BLANK 0 100. 0

カラム 1-45

{VAR: - }

BLANK

1988. 10
CODE N=1563
BLANK 0 100. 0

COL. 145

Q.11 146.

In welchem Maße verehren Sie Ihre Vorfahren? Würden Sie sagen:
überdurchschnittlich, durchschnittlich oder unterdurchschnittlich?

[VAR: #4.11]

RESPECT FOR ANCESTORS

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 46
überdurchschnittlich.....	1	9.1	
unterdurchschnittlich.....	2	15.7	
durchschnittlich.....	3	64.7	
sonstiges, und zwar.....	8	0.4	
weiß nicht, NA.....	9	10.1	

Q.11

Diriez-vous que vous êtes plutôt plus porté ou plutôt moins porté
que la moyenne des gens à honorer la mémoire de vos ancêtres (c'est
à dire arrières grands-parents ou parents plus anciens)?

[VAR: #4.11]

RESPECT FOR ANCESTORS

	CODE	1987.10 N=1013	COL.46
Plus que la moyenne.....	1	29.0	
Moins que la moyenne.....	2	16.5	
Comme les autres.....	3	49.8	
Autre réponse (préciser).....	8	1.4	
NSP.....	9	3.4	

Q.11

Would you say you are on the whole more inclined than the average
person to respect the memory of your direct ancestors (deceased
family members)?

[VAR: #4.11]

RESPECT FOR ANCESTORS

	CODE	1987.10 N=1043	COL.46
More than the average.....	1	41.9	
Less than the average.....	2	8.7	
About the same.....	3	45.7	
Other (WRITE IN).....	8	0.3	
Don't know.....	9	3.4	

* 問 1 1 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも普通より尊ばない方ですか。

[VAR: #4.11] RESPECT FOR ANCESTORS

先祖を尊ぶか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 1 - 4 6
普通より尊ぶ方	1 4 7 . 5	
普通より尊ばない方	2 8 . 4	
普 通	3 4 2 . 5	
その他〔記入〕	8 0 . 0	
D. K.	9 1 . 5	

* 問 1 1 あなたはどちらかといえば、先祖を尊ぶ方ですか、それとも尊ばない方ですか。

[VAR: #4.11] RESPECT FOR ANCESTORS

先祖を尊ぶか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 1 - 4 6
尊ぶ方	1 5 5 . 5	
尊ばない方	2 8 . 1	
普 通	3 3 5 . 5	
その他〔記入〕	8 0 . 0	
D. K.	9 1 . 0	

Q.11

Would you say you are, on the whole, more inclined than the average American to respect your ancestors or less?

[VAR: #4.11]

RESPECT FOR ANCESTORS

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.146
More than the average American..1	73.1	
Less than the average American..2	8.1	
Average.....3	17.0	
Other (PLEASE SPECIFY) _____8	0.2	
Don't know.....9	1.7	

Q.12 147.

Angenommen, Sie könnten keine kinder bekommen. Würden Sie es in Betracht ziehen, ein Kind zu adoptieren, damit die Familie fortbesteht, auch wenn es nicht mit Ihnen blutsverwandt ist, oder würden Sie das nicht in Betracht ziehen?

[VAR: #4.10]

ADOPT A CHILD

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 47
würde adoptieren.....1		39.5	
würde nicht adoptieren.....2		28.8	
kommt darauf an.....3		24.0	
sonstiges, und zwar:_____8		1.0	
weiß nicht,NA.....9		6.7	

Q.12

Lorqu'on n'a pas d'enfants, pensez-vous qu'il est désirable pour assurer la lignée familiale, même s'il n'y a pas de lien du sang, d'avoir recours à l'adoption ou bien pensez-vous que cela n'est pas désirable?

[VAR: #4.10]

ADOPT A CHILD

	CODE	1987.10 N=1013	COL.47
Désirable.....1		63.9	
Pas désirable.....2		21.1	
Cela dépend (spontané).....3		9.6	
Autre réponse (préciser)____8		2.7	
NSP.....9		2.8	

Q.12

If you never had children yourself would you think it desirable to adopt a child in order to continue the family line, even if there is no blood relationship, or do you not think this is important?

[VAR: #4.10]

ADOPT A CHILD

	CODE	1987.10 N=1043	COL.47
Desirable.....1		34.3	
Undesirable.....2		44.6	
Maybe/it depends.....3		11.9	
Other (WRITE IN)_____8		5.8	
Don't know.....9		3.4	

* 問 1 2 子供がないときは、血のつながりががない他人の子供を、養子にとって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

[VAR: #4.10] ADOPT A CHILD

他人の子供を養子にするか

		1 9 8 8. 1 0	
コ ー ド		N = 2 2 6 5	カ ラ ム 1 - 4 7
つがせた方がよい	1	1 9 . 1	
つがせる必要はない	2	4 2 . 4	
場合による	3	3 0 . 5	
その他〔記入〕	8	0 . 2	
D. K.	9	7 . 8	

* 問 1 2 子供がないときは、たとえ血のつながりががない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

[VAR: #4.10] ADOPT A CHILD

他人の子供を養子にするか

		1 9 8 8. 1 0	
	コード	N = 1 0 1 7	カラム 1 - 4 7
つがせた方がよい	1	2 0 . 3	
つがせる必要はない	2	4 2 . 9	
場合による	3	2 6 . 1	
その他〔記入〕	8	0 . 2	
D. K.	9	1 0 . 6	

Q.12

If you had no children, would you think it desirable to adopt a child in order to continue the family line, even if there is no blood relationship? Or do you not think this is important?

[VAR: #4.10]

ADOPT A CHILD

	1988.10		COL.147
	CODE	N=1563	
Would adopt	1	52.3	
Would not adopt	2	34.5	
Depends	3	8.2	
Other (PLEASE SPECIFY) _____	8	1.8	
Don't know	9	3.1	

Q.13 148.

Welche kinderzahl ist Ihrer Meinung nach heutzutage für eine Familie ideal?

[VAR: #4.80]

IDEAL NUMBER OF CHILDREN

Kinder

	CODE	1987.10 N=1000	COL.48
1 Kind.....	1	13.3	
2 Kinder.....	2	60.4	
3 Kinder.....	3	15.2	
4 Kinder.....	4	2.2	
5 Kinder.....	5	0.2	
6 Kinder.....	6	0.1	
7 Kinder.....	7	0.0	
8 und mehr Kinder.....	8	0.0	
weiß nicht,NA.....	9	4.4	
keine Kinder.....	0	4.2	

Q.13

Quel est le nombre d'enfants que vous considérez actuellement comme idéal pour une famille en général?

[VAR: #4.80]

IDEAL NUMBER OF CHILDREN

	CODE	1987.10 N=1013	COL.48
None.....	0	0.0	
1.....	1	2.8	
2.....	2	45.7	
3.....	3	42.6	
4.....	4	5.2	
5.....	5	0.9	
More than 5.....	6	0.2	
It depends no idea.....	7	0.0	
NSP.....	9	2.6	

Q.13

What do you think is the ideal number of children in a family?

[VAR: #4.80]

IDEAL NUMBER OF CHILDREN

	CODE	1987.10 N=1043	COL.48
None.....	0	1.3	
1.....	1	1.5	
2.....	2	60.8	
3.....	3	18.6	
4.....	4	9.6	
5.....	5	1.1	
More than 5.....	6	0.9	
Other,DK.....	9	6.2	

問 1 3 現在、一般的な家庭にとって望ましい子供の数は何人だと思いますか。

[VAR: #4.80] IDEAL NUMBER OF CHILDREN
望ましい子供の数

_____ 人

9 D. K.

1 9 8 8 . 1 0			カラム 1 - 4 8	
コード	N = 2 2 6 5			
1 人	1	0 . 9		
2 人	2	3 5 . 6		
3 人	3	5 5 . 4		
4 人	4	3 . 6		
5 人	5	1 . 0		
6 人	6	0 . 1		
7 人	7	0 . 0		
D. K.	9	3 . 4		

問 1 3 現在、一般的な家庭にとって望ましい子供の数は何人だと思いますか。

[VAR: #4.80] IDEAL NUMBER OF CHILDREN
望ましい子供の数

_____ 人

9 D. K.

1 9 8 8 . 1 0			カラム 1 - 4 8	
コード	N = 1 0 1 7			
1 人	1	0 . 6		
2 人	2	3 3 . 2		
3 人	3	5 5 . 4		
4 人	4	4 . 6		
5 人	5	1 . 1		
6 人	6	0 . 3		
7 人	7	0 . 0		
D. K.	9	4 . 8		

Q.13

What do you think is the ideal number of children in a family?
(DO NOT READ)

[VAR: #4.80]

IDEAL NUMBER OF CHILDREN

	CODE	1988.10 N=1563	COL.148
One.....	1	2.1	
Two.....	2	49.6	
Three.....	3	24.3	
Four.....	4	13.2	
Five.....	5	2.1	
More than 5.....	6	2.3	
None.....	0	0.8	
Other/Don't know.....	9	5.6	

Q.14 149-53.

Haben Sie innerhalb der letzten vier Wochen an einer der folgenden Krankheiten gelitten?

INT.: Einzelne vorlesen

	ja	nein	weiß nicht
a) Kopfschmerzen, migräne.....	1	2	9
b) Rückenschmerzen.....	1	2	9
c) Nervosität.....	1	2	9
d) Depressionen.....	1	2	9
e) Schlaflosigkeit.....	1	2	9

a) Kopfschmerzen, migräne

[VAR: #2.80]

HEALTH PROBLEMS: HEADACHES.MIGRAINES

	1987.10	
CODE	N=1000	COL. 49
ja.....1	40.6	
nein.....2	58.3	
weiß nicht,NA.....9	1.1	

b) Rückenschmerzen

[VAR: #2.80B]

HEALTH PROBLEMS: BACKACHES

	1987.10	
CODE	N=1000	COL. 50
ja.....1	32.9	
nein.....2	65.8	
weiß nicht,NA.....9	1.3	

Q.14 Continued

c) Nervosität

[VAR: #2.80C]

HEALTH PROBLEMS: NERVOUSNESS

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 51
ja.....	1	25.1	
nein.....	2	72.7	
weiß nicht,NA.....	9	2.2	

d) Depressionen

[VAR: #2.80D]

HEALTH PROBLEMS: DEPRESSION

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 52
ja.....	1	7.7	
nein.....	2	90.6	
weiß nicht,NA.....	9	1.7	

e) Schlaflosigkeit

[VAR: #2.80E]

HEALTH PROBLEMS: INSOMNIA

	CODE	1987.10 N=1000	COL. 53
ja.....	1	25.9	
nein.....	2	72.5	
weiß nicht,NA.....	9	1.6	

[DECK 1 Cols.49-50]
Q.14

Q.14

Avez-vous souffert au cours des 4 dernières semaines de...

	OUI	NON	NSP	
a) Maux de tête, migraines...	1	2	9	COL.49
b) Mal au dos.....	1	2	9	COL.50
c) Nervosité.....	1	2	9	COL.51
d) Etat dépressif.....	1	2	9	COL.52
e) Insomnies.....	1	2	9	COL.53

a) Maux de tête, migraines

[VAR: #2.80]

HEALTH PROBLEMS: HEADACHES, MIGRAINES

	CODE	1987.10	
		N=1013	COL.49
Oui.....	1	35.8	
Non.....	2	63.9	
NSP.....	9	0.3	

b) Mal au dos

[VAR: #2.80B]

HEALTH PROBLEMS: BACKACHES

	CODE	1987.10	
		N=1013	COL.50
Oui.....	1	46.3	
Non.....	2	53.6	
NSP.....	9	0.1	

Q.14 Continued
c) Nervousité

[VAR: #2.80C]

HEALTH PROBLEMS: NERVOUSNESS

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.51
Oui.....	1	55.8	
Non.....	2	44.0	
NSP.....	9	0.2	

d) Etat dépressif

[VAR: #2.80D]

HEALTH PROBLEMS: DEPRESSION

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.52
Oui.....	1	19.5	
Non.....	2	80.2	
NSP.....	9	0.3	

e) Insomnies

[VAR: #2.80E]

HEALTH PROBLEMS: INSOMNIA

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.53
Oui.....	1	31.9	
Non.....	2	67.9	
NSP.....	9	0.2	

Q.14

During the last 4 weeks have you suffered from any of the following? (READ OUT)

	Yes	No	Don't know	COL.
Headaches/migraines.....	1.....	2.....	9.....	(49)
Backaches.....	1.....	2.....	9.....	(50)
Nervousness.....	1.....	2.....	9.....	(51)
Depression.....	1.....	2.....	9.....	(52)
Insomnia.....	1.....	2.....	9.....	(53)

A. Headaches/migraines

[VAR: #2.80]

HEALTH PROBLEMS:HEADACHES

	CODE	1987.10 N=1043	COL.49
Yes.....	1	36.1	
No.....	2	63.5	
Don't know.....	9	0.4	

B. Backaches

[VAR: #2.80B]

HEALTH PROBLEMS:BACKACHES, MIGRAINES

	CODE	1987.10 N=1043	COL.50
Yes.....	1	35.5	
No.....	2	64.0	
Don't know.....	9	0.6	

Q.14 Continued
 C. Nervousness

[VAR: #2.80C]
 HEALTH PROBLEMS:NERVOUSNESS

	CODE	1987.10	
		N=1043	COL.51
Yes.....	1	19.7	
No.....	2	79.7	
Don't know.....	9	0.7	

D. Depression

[VAR: #2.80D]
 HEALTH PROBLEMS:DEPRESSION

	CODE	1987.10	
		N=1043	COL.52
Yes.....	1	20.9	
No.....	2	78.4	
Don't know.....	9	0.7	

E. Insomnia

[VAR: #2.80E]
 HEALTH PROBLEMS:INSOMNIA

	CODE	1987.10	
		N=1043	COL.53
Yes.....	1	18.5	
No.....	2	80.4	
Don't know.....	9	1.1	

問 1 4 (カード 6) ここ 1 ヶ月の間に次にあげるものに悩みましたか。
(かかりましたか。)

	偏頭痛	かかったことあり	なし
a. 頭痛、偏頭痛	1	2
b. 背中の痛み	1	2
c. いらいら	1	2
d. うつ状態	1	2
e. 不眠症	1	2
		8. その他	
		9. D. K.	

a. 頭痛、偏頭痛

[VAR: #2.80] HEALTH PROBLEMS : HEADACHES, MIGRAINES

病気ー頭痛、偏頭痛

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 4 9

かかったことあり	1	2 1 . 9
なし	2	7 6 . 9
その他	8	1 . 1

b. 背中の痛み

[VAR: #2.80B] HEALTH PROBLEMS : BACKACHES

病気ー背中の痛み

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 5 0

かかったことあり	1	1 9 . 1
なし	2	7 9 . 8
その他	8	1 . 1

[つづく]

問14 [つづき]

c. いらいら

[VAR: #2.80C] HEALTH PROBLEMS : NERVOUSNESS

病気-神経の興奮

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 1-51

かかったことあり	1	25.7
なし	2	73.2
その他	8	1.1

d. うつ状態

[VAR: #2.80D] HEALTH PROBLEMS : DEPRESSION

病気-鬱病

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 1-52

かかったことあり	1	5.4
なし	2	93.4
その他	8	1.1

e. 不眠症

[VAR: #2.80E] HEALTH PROBLEMS : INSOMNIA

病気-不眠症

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 1-53

かかったことあり	1	12.0
なし	2	86.8
その他	8	1.1

問14 [カード6] ここ1ヶ月の間に次にあげるものに悩みましたか。
(かかりましたか。)

	かかったことあり	なし
a. 頭痛、偏頭痛	1	2
b. 背中の痛み	1	2
c. いらいら	1	2
d. うつ状態	1	2
e. 不眠症	1	2
	8. その他	
	9. D. K.	

a. 頭痛、偏頭痛

[VAR: #2.80] HEALTH PROBLEMS : HEADACHES, MIGRAINES

病気—頭痛、偏頭痛

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-49

かかったことあり	1	22.5
なし	2	77.0
その他	8	0.5

b. 背中の痛み

[VAR: #2.80B] HEALTH PROBLEMS : BACKACHES

病気—背中の痛み

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-50

かかったことあり	1	19.2
なし	2	80.3
その他	8	0.5

[つづく]

問14 [つづき]
c. いらいら

[VAR: #2.80C] HELTH PROBLEMS : NERVOUSNESS
病気—神経の興奮

		1988. 10		
コード		N = 1017	カラム 1-51	
かかったことあり	1	26.2		
なし	2	73.4		
その他	8	0.5		

d. うつ状態

[VAR: #2.80D] HELTH PROBLEMS : DEPRESSION
病気—鬱病

		1988. 10		
コード		N = 1017	カラム 1-52	
かかったことあり	1	5.7		
なし	2	93.8		
その他	8	0.5		

e. 不眠症

[VAR: #2.80E] HELTH PROBLEMS : INSOMNIA
病気—不眠症

		1988. 10		
コード		N = 1017	カラム 1-53	
かかったことあり	1	12.2		
なし	2	87.3		
その他	8	0.5		

[DECK 1 Cols.49-50]

Q.14

Q.14

During the last four weeks have you suffered from any of the following? (READ EACH IN TURN)

	Yes	No	Don't know
Headaches/migraines	1	2	9
Backaches	1	2	9
Nervousness	1	2	9
Depression	1	2	9
Insomnia	1	2	9

A.Headaches/migraines

[VAR: #2.80]

HEALTH PROBLEMS: HEADACHES/MIGRAINES

1988.10
CODE N=1563

COL.149

Yes.....1	34.6
No.....2	64.8
Don't know.....9	0.6

B.Backaches

[VAR: #2.80B]

HEALTH PROBLEMS: BACKACHES

1988.10
CODE N=1563

COL.150

Yes.....1	37.8
No.....2	61.7
Don't know.....9	0.5

[DECK 1 Cols.51-53]
Q.14

Q.14 Continued

C.Nervousness

[VAR: #2.80C]

HEALTH PROBLEMS: NERVOUSNESS

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.151

Yes.....	1	30.3
No.....	2	69.0
Don't know.....	9	0.8

D.Depression

[VAR: #2.80D]

HEALTH PROBLEMS: DEPRESSION

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.152

Yes.....	1	20.7
No.....	2	78.2
Don't know.....	9	1.0

E. Insomnia

[VAR: #2.80E]

HEALTH PROBLEMS: INSOMNIA

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.153

Yes.....	1	16.9
No.....	2	82.4
Don't know.....	9	0.7

Q.15 154.

Würden Sie sagen, daß Ihr Gesundheitszustand-verglichen mit anderen Personen Ihres Alters-sehr zufriedenstellend, zufriedenstellend, weniger zufriedenstellend oder nicht zufriedenstellend ist?

[VAR: #2.3G]

SATISFACTION WITH HEALTH

	CODE	1987.10 N=1000	COL.54
sehr zufriedenstellen.....1		19.2	
zufriedenstellend.....2		61.3	
weniger zufriedenstellend..3		14.2	
nicht zufriedenstellend....4		2.6	
weiß nicht,NA.....9		2.7	

Q.15

Par rapport aux personnes de votre âge, pensez-vous que votre état de santé est... (Enumérez)

[VAR: #2.3G]

SATISFACTION WITH HEALTH

	CODE	1987.10 N=1013	COL.54
très satisfaisant.....1		22.6	
satisfaisant.....2		64.4	
peu satisfaisant.....3		11.4	
pas satisfaisant du tout...4		1.6	
NSP.....9		0.1	

Q.15

For your age how satisfied are you with your health? Would you say ... (READ OUT)

[VAR: #2.3G]

SATISFACTION WITH HEALTH

	CODE	1987.10 N=1043	COL.54
Very satisfied1		40.2	
Fairly satisfied.....2		47.2	
Fairly dissatisfied.....3		8.4	
or Very dissatisfied.....4		4.0	
Don't know.....9		0.2	

問 1 5 [カード 7] あなたと同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

[VAR: #2.3G] SATISFACTION WITH HEALTH

健康状態満足か

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 1 - 5 4
非常に満足している	1 1 3 . 6	
満足している	2 5 7 . 5	
あまり満足していない	3 2 1 . 1	
満足していない	4 5 . 4	
その他〔記入〕	8 0 . 1	
D. K.	9 2 . 3	

問 1 5 [カード 7] あなたと同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

[VAR: #2.3G] SATISFACTION WITH HEALTH

健康状態満足か

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 1 - 5 4
非常に満足している	1 1 5 . 4	
満足している	2 5 7 . 4	
あまり満足していない	3 2 0 . 1	
満足していない	4 5 . 2	
その他〔記入〕	8 0 . 1	
D. K.	9 1 . 8	

Q.15

For your age, how satisfied are you with your health? Would you say
... (READ)

[VAR: #2.3G]

SATISFACTION WITH HEALTH

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.154
Very satisfied	1 46.1	
Fairly satisfied	2 41.0	
Fairly dissatisfied, or	3 8.4	
Very dissatisfied	4 4.3	
Don't know (DO NOT READ)	9 0.2	

Q16. 155.

Wenn die Menschen in der bundesdeutschen Gesellschaft nach ihrem Lebensstandard in fünf Klassen geteilt werden Könnten - wie auf der folgenden Liste - welcher Schicht würden Sie sich dann zuordnen?

[VAR: #1.8]

LIVING CLASS

LISTE 3 vorlegen

	1987.10	
CODE	N=1000	COL.55
Oberschicht.....1	0.9	
obere Mittelschicht.....2	15.9	
mittlere Mittelschicht.....3	53.7	
untere Mittelschicht.....4	21.5	
Unterschicht.....5	3.4	
weiß nicht / keine Angabe..9	4.6	

Q.16

Tout bien considéré, à quel échelon à peu près vous trouvez vous en ce qui concerne votre niveau de vie? Veuillez répondre à l'aide de cette échelle. 1 signifie l'échelon supérieur et 5 l'échelon le plus bas.

(Montrer échelle. Inscrire dans le cadre un code de 1 à 5.)

[VAR: #1.8]

LIVING CLASS

	1987.10	
CODE	N=1013	COL.55
Échelon supérieur.....1	1.8	
.....2	10.8	
.....3	61.2	
.....4	18.9	
Échelon le plus bas.....5	6.3	
NSP.....9	1.1	

SHOW CARD C

Q.16

From the answers on this card, how would you classify your standard of living?

[VAR: #1.8]

LIVING CLASS

	1987.10	
CODE	N=1043	COL.55
Upper.....1	0.4	
Upper middle.....2	7.2	
Middle.....3	53.6	
Lower middle.....4	28.1	
Lower.....5	8.1	
Don't know.....9	2.6	

* 問 1 6 [カード 8] かりに現在の日本社会全体を、ここにかいてあるように 5 つの層に分けるとすれば、お宅はこのどれにはいると思いますか。

[VAR: #1.8] LIVING CLASS
社会的階層

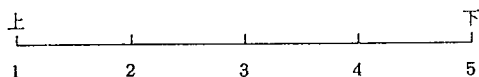
1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 5 5

上	1	1 . 1
中の上	2	1 0 . 9
中の中	3	5 3 . 6
中の下	4	2 6 . 9
下	5	5 . 4
その他〔記入〕	8	0 . 0
D. K.	9	2 . 1

* 問 1 6 [カード 8] かりに現在の日本社会全体を、ここにかいてあるように 5 つの層に分けるとすれば、お宅はこのどれにはいると思いますか。

[VAR: #1.8] LIVING CLASS
社会的階層



1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 1 - 5 5

上	1	0 . 4
中の上	2	1 0 . 0
中の中	3	6 1 . 3
中の下	4	2 0 . 2
下	5	4 . 4
その他〔記入〕	8	0 . 2
D. K.	9	3 . 5

Q.16 (HAND CARD 16)

Using the classifications on this card, how would you classify your current standard of living? Just call off the letter, please.

[VAR: #1.8]
LIVING CLASS

1988.10
CODE N=1563

COL.155

Upper	1	1.5
Upper middle	2	16.7
Middle	3	54.5
Lower middle	4	21.6
Lower	5	5.2
Don't know	9	0.5

Q.17 156.

Wenn Sie die Wahl hätten, was würden Sie vorziehen: mehr Geld oder mehr Freizeit?

[VAR: #7.81]

CHOOSE MONEY OR FREE TIME

	CODE	1987.10 N=1000	COL.56
mehr Geld.....	1	43.9	
mehr Freizeit.....	2	40.7	
weiß nicht,NA.....	9	15.4	

Q.17

Quelle est votre préférence entre...

(Enumérer, 1 seule réponse)

[VAR: #7.81]

CHOOSE MONEY OR FREE TIME

	CODE	1987.10 N=1013	COL.56
Une amélioration de votre pouvoir d'achat.....	1	66.8	
Un temps libre plus long...	2	25.0	
NSP.....	9	8.2	

Q.17

If you had to choose which would you prefer, more money or more free time?

[VAR: #7.81]

CHOOSE MONEY OR FREE TIME

	CODE	1987.10 N=1043	COL.56
More money.....	1	66.0	
More free time.....	2	27.2	
Don't know.....	9	6.8	

* 問 1 7 [カード 9] あなたは次のうちどちらが好ましいと思いますか。

[VAR: #7.81] CHOOSE MONEY OR FREE TIME

収入か余暇か

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 5 6

収入が増えること	1	6 0 . 6
余暇〔自由な時間〕が		
増えること	2	3 2 . 7
その他〔記入〕	8	1 . 5
D. K.	9	5 . 3

* 問 1 7 [カード 9] あなたは次のうちどちらが好ましいと思いますか。

[VAR: #7.81] CHOOSE MONEY OR FREE TIME

収入か余暇か

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 1 - 5 6

欲しい物がもっと買えるようにな		
ること	1	3 7 . 9
自由な時間がもっと長くなること		
.	2	4 7 . 9
その他〔記入〕	8	2 . 5
D. K.	9	1 1 . 8

Q.17

If you had to choose, which would you prefer, more or more free time?

[VAR: #7.81]

CHOOSE MONEY OR FREE TIME

1988.10
CODE N=1563

COL.156

More money	1	65.3
More free time	2	30.1
Don't know	9	4.7

Q.18 157.

Angenommen, Sie hätten genug Geld verdient, um für den Rest Ihres Lebens so bequem zu leben, wie Sie möchten: würden Sie dann weiterhin arbeiten oder würden Sie aufhören zu arbeiten?

[VAR: #2.8]

IF HAD ENOUGH MONEY, STILL WORK?

	CODE	1987.10 N=1000	COL.57
weiterhin arbeiten.....	1	39.4	
aufhören zu arbeiten.....	2	47.7	
sonstiges, und zwar_____	8	4.3	
weiß nicht,NA.....	9	8.6	

Q.18

S'il voous arrivait d'avoir assez d'argent pour vivre aussi à l'aise que vous le désirez pendant tout le reste de votre existence, est-ce que vous continueriez quand même à travailler ou est-ce que vous vous arrêteriez de travailler?

[VAR: #2.8]

IF HAD ENOUGH MONEY, STILL WORK?

	CODE	1987.10 N=1013	COL.57
Continuerait de travailler.	1	55.2	
S'arrêterait de travailler.	2	33.7	
Autre réponse (préciser)____	8	7.4	
NSP.....	9	3.8	

Q.18

If you were to get enough money to live as comfortably as you would like for the rest of your life would you still want to work or would you stop working?

[VAR: #2.8]

IF HAD ENOUGH MONEY, STILL WORK?

	CODE	1987.10 N=1043	COL.57
Would still want to work...	1	55.7	
Stop working.....	2	34.1	
Other (WRITE IN)_____	8	6.3	
Don't know.....	9	3.8	

問 1 8 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、
それとも働くのをやめますか。

[VAR: #2.8] IF HAD ENOUGH MONEY, STILL WORK?

一生働くか

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 1 - 5 7
ずっと働く	1	6 4 . 1	
働くのをやめる	2	2 4 . 1	
その他〔記入〕	8	1 . 5	
D. K.	9	1 0 . 4	

問 1 8 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、
それとも働くのをやめますか。

[VAR: #2.8] IF HAD ENOUGH MONEY, STILL WORK?

一生働くか

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 1 0 1 7	カラム 1 - 5 7
ずっと働く	1	6 0 . 3	
働くのをやめる	2	2 7 . 3	
その他〔記入〕	8	1 . 4	
D. K.	9	1 1 . 0	

Q.18

If you were to get enough money to live as comfortably as you would like for the rest of your life, would you continue to work or would you stop working?

[VAR: #2.8]

IF HAD ENOUGH MONEY, STILL WORK ?

		1988.10	
CODE		N=1563	COL.157
Continue to work.....	1	57.8	
Stop working.....	2	30.4	
Other (PLEASE SPECIFY)_____	8	8.7	
Don't know.....	9	3.1	

Q.19 158.

Auf dieser Liste stehen zwei Meinungen über die Art zu Leben.
Welche kommt Ihrer eigenen Meinung am nächsten?

[VAR: #7.25]

LIFE WITHOUT WORK

INT.: LISTE 4 vorlegen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.58
Erste Meinung:			
Ohne Arbeit ist das Leben			
armseliggleichgültig			
wieviel Geld man besitzt,...1		39.8	
Zweite Meinung:			
Solange man Geld hat,			
braucht das Leben nicht			
armselig zu sein auch wenn			
man keine Arbeit hat,.....2		52.5	
weiß nicht,NA.....9		7.7	

Q.19

De ces deux opinions, quelle est celle dont vous vous sentez le
plus proche? (Montrer liste)

[VAR: #7.25]

LIFE WITHOUT WORK

	CODE	1987.10 N=1013	COL.58
Même si on s de l'argent,			
la vie sans travail			
n'a pas de sens.....1		51.0	
Pourvu qu'on ait de			
l'argent, que l'on travaille			
ou pas, la vie a un sens...2		43.3	
NSP.....9		5.6	

SHOW CARD D

Q.19

Which of these opinions comes closest to your own?

[VAR: #7.25]

LIFE WITHOUT WORK

	CODE	1987.10 N=1043	COL.58
No matter how much money			
you have life without			
work is wasted.....1		54.4	
As long as you have money			
life isn't wasted even			
if you don't have a job....2		37.8	
Don't know.....9		7.9	

問 19 [カード 10] 仕事について、次の 2 つの意見があります。どちらがあなたの気持ちに近いですか。

[VAR: #7.25] LIFE WITHOUT WORK

お金と仕事

コード 1988.10
N = 2265

カラム 1-58

いくらお金があっても、仕事が		
なければ、人生はつまらない・・・	1	72.8
お金があれば、仕事がなくても、		
人生がつまらないとは思わない・・・	2	19.8
その他〔記入〕・・・	8	1.0
D. K.	9	6.4

問 19 [カード 10] 仕事について、次の 2 つの意見があります。どちらがあなたの気持ちに近いですか。

[VAR: #7.25] LIFE WITHOUT WORK

お金と仕事

コード 1988.10
N = 1017

カラム 1-58

いくらお金があっても、仕事が		
なければ、人生はつまらない・・・	1	70.2
お金があれば、仕事がなくても、		
人生がつまらないとは思わない・・・	2	21.2
その他〔記入〕・・・	8	0.8
D. K.	9	7.8

Q.19 (HAND CARD 19)

Please read the two statements on this card. Which of these comes closest to your own opinion? Just call off the letter, please.

[VAR: #7.25]

LIFE WITHOUT WORK

CODE 1988.10
N=1563

COL.158

No matter how much money	
you have, life without work	
is unfulfilling.....1	64.6
As long as you have money,	
life is fulfilling even if	
you don't have a job.....2	32.0
Don't know.....9	3.5

Q.20 159.

Hier auf der Liste stehen einige Dinge, die man normalerweise bei seiner Arbeit berücksichtigt. Welches würden Sie persönlich als das Wichtigste ansehen?

[VAR: #7.24]

MOST IMPORTANT ASPECT OF JOB

INT.: LISTE 5 vorlegen; nur eine Nennung möglich!

	1987.10	
CODE	N=1000	COL.59
1	12.9	
2	36.0	
3	20.2	
4	23.2	
weiß nicht, NA.....9	7.7	

LISTE 5

- 1 ein gutes Gehalt, so daß man sich um Geld keine Sorgen zu machen braucht
- 2 einen sicheren Arbeitsplatz ohne Gefahr eines Konkurses oder eingetragener Arbeitslosigkeit
- 3 mit Menschen zusammenarbeiten, die man mag
- 4 eine verantwortungsvolle Arbeit ausüben, die einem das Gefühl guter persönlicher Leistungen vermittelt

Q.20

Voici sur cette liste, quelques traits qui peuvent être considérés comme importants pour un emploi ou une carrière, quel est celui que vous, vous estimez le plus important?

(Montrer liste, 1 seule réponse)

[VAR: #7.24]

MOST IMPORTANT ASPECT OF JOB

	1987.10	
CODE	N=1013	COL.59
Un bon salaire afin de ne pas avoir de soucis d'argent.....1	16.7	
Un emploi sûr sans risque de cessation d'activité ou de chômage...2	40.4	
Une bonne ambiance de travail.....3	6.6	
Un travail qui donne l'impression de réussir quelque chose.....4	35.0	
NSP.....9	1.3	

SHOW CARD E

Q.20

Here are some of the things people usually take into account in relation to their work. Which one would you personally place first?

CODE ONE ONLY

[VAR: #7.24]

MOST IMPORTANT ASPECT OF JOB

	CODE	1987.10 N=1043	COL.59
A good salary so that you do not have any worries about money.....1		16.5	
A safe job with no risk of closing down or unemployment.....2		29.1	
Working with people you like.....3		14.9	
Doing an important job which gives you a feeling of accomplishment.....4		37.0	
Don't know.....9		2.6	

* 問 2 0 [カード 1 1] ここに仕事について、ふだん問題になることがあります。
あなたは、どれに一番関心がありますか。

[VAR: #7.24] MOST IMPORTANT ASPECT OF JOB
就職の第 1 の条件

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 5 9

お金のことを気にしないですむ

程よい給料	1	1 9 . 8
倒産や失業の恐れがない仕事 . .	2	1 5 . 4
気の合った人たちと働くこと . .	3	2 9 . 2
やりとげたいという感じがもてる		
仕事	4	2 9 . 4
その他〔記入〕	8	0 . 5
D. K.	9	5 . 7

* 問 2 0 [カード 1 1] ここに仕事について、ふだん問題になることがあります。
あなたは、どれに一番関心がありますか。

[VAR: #7.24] MOST IMPORTANT ASPECT OF JOB
就職の第 1 の条件

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 1 - 5 9

かなりよい給料がもらえること .	1	1 5 . 9
倒産や失業の恐れがない仕事 . .	2	1 4 . 8
気の合った人たちと働くこと . .	3	3 0 . 2
やりとげたいという感じがもてる		
仕事	4	3 0 . 8
その他〔記入〕	8	0 . 5
D. K.	9	7 . 8

[DECK 1 Cols.59]
Q.20

Q.20 (HAND CARD 20)

Here are some of the things people usually take into account in relation to their work. Which one would you personally place first? Just call off the letter, please.

CODE ONE ONLY

[VAR: #7.24]

MOST IMPORTANT ASPECT OF JOB

	1988.10
CODE	N=1563

COL.159

A good salary so that you do not have any worries about money.....1	20.9
A safe job with no risk of closing down or unemployment.....2	21.6
Working with people, you like.....3	11.3
Doing an important job which gives you a feeling of accomplishment.....4	43.6
Other(PLEASE SPECIFY)_____8	0.4
Don't know.....9	2.1

[DECK 1 Cols.60]
Q21

Q.21 160.

Kommt es vor, daß Ihr Arbeitsleben in Ihrem wöchentlichen Zeitplan manchmal mit dem privaten Leben oder dem Familienleben in Konflikt gerät?

[VAR: #2.81]

WORK CONFLICTS WITH PRIVATE LIFE

	CODE	1987.10 N=1000	COL.60
ja.....	1	30.2	
nein.....	2	37.6	
trifft nicht zu.....	3	28.5	
weiß nicht,NA.....	9	3.7	

Q.21

Et maintenant, est-ce que dans l'organisation de votre semaine, votre vie de travail vient parfois en conflit avec votre vie personnelle ou familiale?

[VAR: #2.81]

WORK CONFLICTS WITH PRIVATE LIFE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.60
Oui.....	1	26.0	
Non.....	2	30.0	
Ne travaille pas.....	3	43.5	
N.S.P.....	9	0.5	

Q.21

In your weekly schedule does your work life sometimes conflict with your private life or your family life?

[VAR: #2.81]

WORK CONFLICTS WITH PRIVATE LIFE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.60
Yes.....	1	31.9	
No.....	2	31.0	
Not in paid employment/ not applicable.....	3	36.3	
Don't know.....	9	0.8	

問 2 1 現在、あなたの一週間の予定を立てるとき、仕事上のことがあなたの個人生活や家庭生活とよくぶつかりますか。

[VAR: #2.81] WORK CONFLICTS WITH PRIVATE LIFE
仕事と個人生活

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 1 - 6 0
はい	1	3 5 . 2	
いいえ	2	5 8 . 4	
その他〔記入〕	8	0 . 8	
D. K.	9	5 . 6	

問 2 1 現在、あなたの一週間の予定を立てるとき、仕事上のことがあなたの個人生活や家庭生活とよくぶつかりますか。

[VAR: #2.81] WORK CONFLICTS WITH PRIVATE LIFE
仕事と個人生活

		1 9 8 8 . 1 0	
コ ー ド		N = 1 0 1 7	カ ラ ム 1 - 6 0
はい	1	3 4 . 6	
いいえ	2	5 8 . 8	
その他〔記入〕	8	0 . 7	
D. K.	9	5 . 9	

Q.21

In your weekly schedule does your work life sometimes conflict with your private life or your family life?

[VAR: #2.81]
WORK CONFLICTS WITH PRIVATE LIFE

	CODE	1988.10 N=1563	COL.160
Yes.....	1	40.6	
No.....	2	36.1	
Not in paid employment/ not applicable.....	3	22.4	
Don't know.....	9	0.8	

Q.22 161.

Es gibt viele unterschiedliche Einstellungen zum Leben. Welche unter den folgenden kommt Ihrer eigenen Lebenseinstellung am nächsten?

[VAR: #2.4]

ATTITUDES TOWARDS LIFE

INT.: LISTE 6 vorlegen; nur eine Nennung möglich

	CODE	1987.10 N=1000	COL.61
	1	2.8	
	2	15.6	
	3	32.4	
	4	21.5	
	5	15.6	
	6	2.1	
sonstiges, und zwar:	8	1.6	
weiß nicht, NA.....	9	8.4	

LISTE 6

- 1 Hart arbeiten und reich werden
- 2 Fleißig und ernsthaft arbeiten und sich einen Namen machen
- 3 Ein Leben nach seinem eigenen Geschmack führen-ohne an Geld oder Ruhm zu denken
- 4 Jeden Tag leben, wie er kommtfroh und ohne sich zu sorgen
- 5 Allem Bösen in der Welt widerstehen und ein gerechtes Leben führen
- 6 Sein Leben für die Allgemeinheit opfern, und nicht an sich selbst denken

Q.22

Il existe toutes sortes d'attitudes à l'égard de la vie. Dans la liste suivante, qu'est-ce qui correspond le mieux à votre idéal de vie?

(Montrer liste - 1 seule réponse)

[VAR: #2.4]

ATTITUDES TOWARDS LIFE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.61
Travailler avec acharnement et devenir riche.....1		8.1	
Etudier sérieusement et devenir quelqu'un de connu.2		5.5	
Ne pas se préoccuper de l'argent, ni de la célébirté et vivre selon vos goûts.....3		36.9	
Prendre la vie du bon côté, sans se tracasser....4		29.3	
Résister à tous les démons du monde et vivre une vie pure et juste.....5		8.9	
Ne jamais penser à soi et se consacrer entièrement au bien de la société.....6		3.7	
Autre réponse(préciser)____8		3.4	
N.S.P.....9		4.2	

SHOW CARD F

Q.22

There are all sorts of attitudes towards life. Which one of the following statements would you say comes closest to your way of life?

CODE ONE ONLY

[VAR: #2.4]

ATTITUDES TOWARDS LIFE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.61
Work hard and get rich.....1		7.3	
Study earnestly and make a name for yourself...2		3.6	
Don't think about money or fame; just live a life that suits your own taste..3		38.0	
Live each day as it comes cheerfully and without worrying.....4		42.0	
Resist all evils in the world and live a pure and just life.....5		5.0	
Never think of yourself, give every thing in service of society.....6		1.7	
Other (WRITE IN) _____8		1.3	
Don't know.....9		1.1	

*問 2 2 [カード 1 2] 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるもののうちで、
どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。

[VAR: #2.4] ATTITUDES TOWARDS LIFE
くらし方

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5 カラム 1 - 6 1

一生けんめい働き、金持ちになる		
こと	1	1 3 . 8
まじめに勉強して、名をあげる		
こと	2	1 . 7
金や名誉を考えずに、自分の趣味		
にあったくらし方をすること . .	3	3 7 . 3
その日その日を、のんきにクヨク		
ヨしないでくらすこと	4	3 2 . 0
世の中の正しくないことを押しの		
けて、どこまでも清く正しくく		
らすこと	5	5 . 9
自分や一身のことを考えずに社会		
のためにすべてを捧げてくらす		
こと	6	2 . 9
その他〔記入〕	8	1 . 2
D. K.	9	5 . 2

*問 2 2 [カード 1 2] 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるもののうちで、
どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。

[VAR: #2.4] ATTITUDES TOWARDS LIFE
くらし方

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7 カラム 1 - 6 1

金持ちになること	1	6 . 4
名をあげること	2	1 . 3
自分の趣味にあったくらし方をす		
ること	3	4 7 . 5
のんきにクヨクヨしないでくらす		
こと	4	2 8 . 8
清く正しくくらすこと	5	1 0 . 2
社会のためにすべてを捧げてく		
らすこと	6	2 . 3
その他〔記入〕	8	0 . 4
D. K.	9	3 . 1

Q.22 (HAND CARD 22)

There are all sorts of attitudes towards life. Which one of the following statements would you say comes closest to your way of life? Just call off the letter, please.

CODE ONE ONLY

[VAR: #2.4]

ATTITUDES TOWARDS LIFE

	CODE	1988.10 N=1563	COL.161
Work hard and get rich.....1		6.1	
Study earnestly and make a name for yourself...2		7.2	
Don't think about money or fame; just live a life that suits your own taste..3		33.2	
Live each day as it comes, cheerfully and without worrying.....4		37.1	
Resist all evils in the world and live a pure and just life.....5		11.2	
Never think of yourself, give everything in service of society.....6		2.8	
Other (PLEASE SPECIFY) _____8		0.8	
Don't know.....9		1.5	

Q.23 162.

Wie empfinden Sie die Lebensqualität in Ihrer Wohngegend? Sind Sie damit:

[VAR: #2.3F]

QUALITY OF LIFE IN THE AREA WHERE YOU LIVE

INT.: bitte vorlesen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.62
sehr zufrieden.....	1	21.8	
zufrieden.....	2	65.9	
unzufrieden oder.....	3	9.7	
sehr unzufrieden.....	4	0.9	
weiß nicht,NA.....	9	1.7	

Q.23

Que pensez-vous de votre cadre de vie puotidien, c'est à dire ce qui entoure le logement où vous vivez? Dans l'ensemble, en êtes-vous...

[VAR: #2.3F]

QUALITY OF LIFE IN THE AREA WHERE YOU LIVE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.62
très satisfait(e).....	1	23.9	
satisfait(e).....	2	60.1	
peu satisfait(e).....	3	12.2	
pas satisfait(e) du tout...	4	3.7	
N.S.P.	9	0.1	

SHOW CARD G

Q.23

How do you feel about the quality of life in the area where you live?

[VAR: #2.3F]

QUALITY OF LIFE IN THE AREA WHERE YOU LIVE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.62
Very satisfied.....	1	28.2	
Fairly satisfied.....	2	57.9	
Fairly dissatisfied.....	3	8.9	
Very dissatisfied.....	4	4.9	
Don't know.....	9	0.1	

* 問 2 3 [カード 1 3] お宅の付近の環境や住みやすさについて、全体としてどう思っていますか。

[VAR: #2.3F] QUALITY OF LIFE IN THE AREA WHERE YOU LIVE
生活環境満足か

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 1 - 6 2
満足している	1	3 6 . 2	
やや満足している	2	4 3 . 4	
あまり満足していない	3	1 5 . 4	
満足していない	4	4 . 3	
その他〔記入〕	8	0 . 0	
D. K.	9	0 . 6	

* 問 2 3 [カード 1 3] お宅の付近の生活環境について、全体としてどう思っていますか。

[VAR: #2.3F] QUALITY OF LIFE IN THE AREA WHERE YOU LIVE
生活環境満足か

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 1 0 1 7	カラム 1 - 6 2
満足している	1	2 9 . 5	
やや満足している	2	4 6 . 5	
あまり満足していない	3	1 7 . 7	
満足していない	4	4 . 9	
その他〔記入〕	8	0 . 2	
D. K.	9	1 . 2	

Q.23

How do you feel about the quality of life in the area where you live? (READ)

[VAR: #2.3F]
QUALITY OF LIFE IN THE AREA WHERE YOU LIVE

		1988.10	
CODE		N=1563	COL.162
Very satisfied.....	1	40.0	
Fairly satisfied.....	2	46.3	
Fairly dissatisfied,or.....	3	9.1	
Very dissatisfied.....	4	3.9	
Don't know (DO NOT READ)...	9	0.7	

Q.24a 163.

Inwieweit ist Sicherheit in Ihrer Nachbarschaft ein Problem? Wie verhält es sich mit Einbruch-Diebstählen? Bitte antworten Sie anhand der Liste.

[VAR: #5.80A]

SAFTY IN NEIGHBOURHOOD:BURGLARY

INT.: LISTE 7 vorlegen; nur eine Nennung

	CODE	1987.10 N=1000	COL.63
ernstes Problem.....	1	2.8	
Problem.....	2	12.9	
kein sehr ernstes Problem..	3	38.3	
gar kein Problem.....	4	42.2	
weiß nicht,NA.....	9	3.8	

Q.24b 164.

Und wie verhält es sich mit Ihrer persönlichen Sicherheit? Sind z.B.Raubüberfälle in Ihrer Nachbarschaft ein ernstes Problem?

[VAR: #5.80B]

PERSONAL SAFETY

INT.: LISTE 7 vorlegen; nur eine Nennung

	CODE	1987.10 N=1000	COL.64
	1	1.4	
	2	7.1	
	3	31.3	
	4	50.5	
weiß nicht,NA.....	9	9.7	

LISTE 7

- 1 ernstes Problem
- 2 Problem
- 3 kein sehr ernstes Problem
- 4 gar kein Problem

Q.24a

Des problèmes plus ou moins graves peuvent se poser à propos de la sécurité dans le voisinage. Tout d'abord, en ce qui concerne le cambriolage, veuillez vous aider de la liste pour me répondre.
(Montrer liste)

[VAR: #5.80A]

SAFETY IN NEIGHBOURHOOD: BURGLARY

	1987.10	
CODE	N=1013	COL.63
Cambriolage		
Est un problème grave.....1	29.5	
Pose un problème.....2	39.4	
N'est pas un problème		
grave.....3	15.2	
Ne pose aucun problème.....4	15.2	
N.S.P.9	0.7	

Q.24b

Et la sécurité individuelle face à une agression?
(Laisser liste)

[VAR: #5.80B]

PERSONAL SAFETY

	1987.10	
CODE	N=1013	COL.64
Sécurité individuelle face à une agression		
Est un problème grave.....1	43.5	
Pose un problème.....2	30.0	
N'est pas un problème		
grave.....3	10.3	
Ne pose aucun problème.....4	15.0	
N.S.P.9	1.2	

SHOW CARD H

Q.24a)

How much of a problem is safety in this neighbourhood as far as the following are concerned? First of all burglary, how serious a problem is this? RECORD BELOW.

Q.24b)

And personal safety, that is things like mugging, how serious a problem is this?

RECORD BELOW.

	A serious problem	A problem	Not a serious problem	Not a problem at all	Don't know	COL.
Burglary.....	1.....	2.....	3.....	4.....	9	(63)
Personal safety/ mugging.....	1.....	2.....	3.....	4.....	9	(64)

[VAR: #5.80A]

SAFETY IN NEIGHBOURHOOD: BURGLARY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.63
A serious problem.....	1	14.0	
A problem.....	2	26.2	
Not a serious problem.....	3	42.1	
Not a problem at all.....	4	15.9	
Don't know.....	9	1.8	

[VAR: #5.80B]

PERSONAL SAFETY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.64
A serious problem.....	1	7.0	
A problem.....	2	14.0	
Not a serious problem.....	3	43.5	
Not a problem at all.....	4	33.8	
Don't know.....	9	1.6	

問 2 4 [カード14] 近所の治安についておうかがいします。次に挙げるようなことで問題になっていることがありますか。

- a. 「強盗にはいられること」については、どうですか。
b. 「急に襲われて身の危険を感じる」については、どうですか。

	重大な問題になっている	問題になっている	大して問題にはなっていない	全然問題にはなっていない	その他	D K
a. 強盗にはいられること	1	2	3	4	8	9
b. 急に襲われて身の危険を感じる	1	2	3	4	8	9

a. 強盗にはいられること

[VAR: #5.80A] SAFETY IN NEIGHBORHOOD : BURGLARY
近所の治安—強盗にはいられること

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 1-63

重大な問題になっている・・・	1	2.4
問題になっている・・・	2	6.3
大して問題にはなっていない	3	34.3
全然問題にはなっていない・	4	53.6
その他・	8	0.1
D. K.	9	3.4

b. 急に襲われて身の危険を感じる

[VAR: #5.80B] PERSONAL SAFETY
近所の治安—急に襲われて身の危険を感じる

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 1-64

重大な問題になっている・・・	1	2.7
問題になっている・・・	2	6.3
大して問題にはなっていない	3	32.0
全然問題にはなっていない・	4	55.0
その他・	8	0.1
D. K.	9	3.9

問24 [カード14] 近所の治安についておうかがいします。次に挙げるようなことで問題になっていることがありますか。

a. 「強盗にはいられること」については、どうですか。

b. 「急に襲われて身の危険を感じる事」については、どうですか。

	重大な問題になっている	問題になっている	大して問題にはなっていない	全然問題にはなっていない	その他	D K
a. 強盗にはいられること	1	2	3	4	8	9
b. 急に襲われて身の危険 を感じる事	1	2	3	4	8	9

a. 強盗にはいられること

[VAR: #5.80A] SAFETY IN NEIGHBORHOOD : BURGLARY

近所の治安—強盗にはいられること

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-63

重大な問題になっている・・・	1	2.5
問題になっている・・・	2	8.7
大して問題にはなっていない ・・・・・・・・・・・・・・・・	3	36.8
全然問題にはなっていない・	4	48.5
その他・・・・・・・・	8	0.3
D. K. ・・・・・・・・	9	3.3

b. 急に襲われて身の危険を感じる事

[VAR: #5.80B] PERSONAL SAFETY

近所の治安—急に襲われて身の危険を感じる事

1988. 10
コード N = 1017

カラム 1-64

重大な問題になっている・・・	1	2.8
問題になっている・・・	2	8.3
大して問題にはなっていない ・・・・・・・・・・・・・・・・	3	34.3
全然問題にはなっていない・	4	50.7
その他・・・・・・・・	8	0.3
D. K. ・・・・・・・・	9	3.6

Q.24a (HAND CARD 24)

How much of a problem is safety in your neighborhood as far as the following are concerned? First of all burglary. How serious a problem is this?

Q.24b (RETAIN HAND CARD 24)

And how about personal safety, that is things like mugging? How serious a problem is this in your neighborhood?

RECORD BELOW.

	A Serious Problem	A Problem	Not a Serious Problem	Not a Problem at all	Don't know
A.24A Burglary	1	2	3	4	9
A.24B Personal safety/ mugging	1	2	3	4	9

24a

[VAR: #5.80A]

SAFETY IN NEIGHBORHOOD: BURGLARY

1988.10
CODE N=1563

COL.163

A serious problem.....1	8.6
A problem.....2	16.2
Not a serious problem.....3	44.8
Not a problem at all.....4	29.6
Don't know.....9	0.8

24b

[VAR: #5.80B]

PERSONAL SAFETY

1988.10
CODE N=1563

COL.164

A serious problem.....1	4.7
A problem.....2	8.2
Not a serious problem.....3	37.9
Not a problem at all.....4	48.2
Don't know.....9	1.0

Q.25 165.

Über die faule Grille und die arbeitsame Ameise wird folgende Geschichte erzählt: Die Grille sang den ganzen Sommer lang und hatte deshalb nichts zu essen, als der Winter kam. Sie ging zur Ameise, die den ganzen Sommer gearbeitet hatte, und bat um Hilfe. Auf dieser Liste stehen zwei mögliche Antworten der Ameise auf die Bitte der Grille. Was ist Ihrer Ansicht nach der bessere Schluß?

[VAR: #7.82]

THE IDLE GRASSHOPPER AND DILIGENT ANT

INT.: LISTE 8 vorlegen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.65
Die Ameise sagt:			
"Ich gebe Dir nichts;			
Hunger ist Dein Lohn, denn			
Du warst faul." Dann			
schickte sie die Grille			
fort.....1		12.9	
Die Ameise sagte:			
"Es ist ein Fehler von Dir,			
daß Du faul warst. Du			
sollst künftig mehr			
arbeiten". Dann gab sie ihr			
etwas zu essen.....2		77.8	
sonstiges, und zwar:_____8		1.3	
weiß nicht, NA.....9		8.0	

Q.25

Vous connaissez la fable de La Fontaine "La Cigale et la Fourmi".
(Montrer liste)

Ayant chanté tout l'été, la cigale paresseuse n'avait rien à manger quand l'hiver est arrivé. Elle est allée voir la fourmi qui, elle, avait travaillé tout au long de l'été afin de lui demander du secours. Qu'auriez-vous fait à la place de la fourmi?

[VAR: #7.82]

THE AN IDLE GRASSHOPPER AND DILIGENT ANT

	CODE	1987.10 N=1013	COL.65
J'aurais, comme la fourmi			
de la fable, renvoyé la			
cigale en lui disant			
qu'elle n'avait que ce			
qu'elle mérite.....1		13.9	
J'aurais fait la morale			
à la cigale et ensuite, je			
lui aurais donné à manger..2		78.8	
Autre réponse (Préciser)_____8		5.5	
N.S.P.9		1.8	

SHOW CARD I
Q.25

There is a story of an idle grasshopper and diligent ant in one of Aesop's fables. When winter came, the grasshopper who spent the summer singing came for help to the ant who worked all through the summer. The ant could have given either of the following two replies. Which one of the two do you think suits you best as the conclusion of the story?

[VAR: #7.82]
THE IDLE GRASSHOPPER AND DILIGENT ANT

	CODE	1987.10 N=1043	COL.65
A: The ant sends the grasshopper away because it is only natural that the grasshopper should suffer now.....1		12.6	
B: The ant first admonishes the grasshopper, saying, "You are to blame for having been idle. You should work harder from now on," and then shares his food.....2		82.6	
Other (WRITE IN) _____8		0.1	
Don't know.....9		4.7	

問 2 5 [カード 15] イソップの童話の中に、怠け者のキリギリスと、働き者のアリの話があります。
夏の間歌をうたっていたキリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところにやって来ました。この時のアリの答えには、次のような 2 つの型があります。
あなたは、このお話のむすびとして、この中のどちらがご自分の気持ちにじっくりしますか。

[VAR: #7.82] THE IDLE GRASSHOPPER AND DILIGENT ANT

アリとキリギリス

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 6 5

夏の間怠けていたのだから、困る のが当然だと追い返してしまう・	1	1 5 . 3
怠けていたのはいけないけれども、 これからちゃんと働くのですよ、 といさめた上で、食べ物をわけて あげる・	2	7 5 . 0
その他〔記入〕	8	0 . 3
D. K.	9	9 . 4

問 2 5 [カード 15] イソップの童話の中に、怠け者のキリギリスと、働き者のアリの話があります。
夏の間歌をうたっていたキリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところにやって来ました。この時のアリの答えには、次のような 2 つの型があります。
あなたは、このお話のむすびとして、この中のどちらがご自分の気持ちにじっくりしますか。

[VAR: #7.82] THE IDLE GRASSHOPPER AND DILIGENT ANT

アリとキリギリス

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 1 - 6 5

夏の間怠けていたのだから、困る のが当然だと追い返してしまう・	1	1 5 . 6
怠けていたのはいけないけれども、 これからちゃんと働くのですよ、 といさめた上で、食べ物をわけて あげる・	2	7 4 . 3
その他〔記入〕	8	0 . 6
D. K.	9	9 . 4

Q.25 (HAND CARD 25)

There is a story of a lazy grasshopper and a hard-working ant in one of Aesop's fables. When winter came, the grasshopper who spent the summer singing came for help to the ant who worked all through the summer. The ant could have given either of the two replies you see on this card. Which one of the two do you think suits you best as the conclusion of the story? Just call off the letter, please.

[VAR: #7.82]

THE IDLE GRASSHOPPER AND DILIGENT ANT

1988.10
CODE N=1563

COL.165

The ant sends the
grasshopper away because
it is only natural that
the grasshopper should
suffer now.....1 11.6
The ant first admonishes
the grasshopper, saying,
"You are to blame for
having been lazy. You
should work harder from
now on," and then shares
his food.....2 85.1
Other (PLEASE SPECIFY) 8 0.6
Don't know.....9 2.7

Q.26a) 166.

Was ist für Sie persönlich das Wichtigste im Leben?

[VAR: #2.7]

THE MOST IMPORTANT THING IN LIFE

INT.: Nur eine Nennung!

	CODE	1987.10	
		N=1000	COL.66
weiß nicht.....	9	4.1	
NA.....	1	95.9	

Q.26b) 167.

Und welche anderen Dinge sind Ihnen persönlich im Leben noch sehr wichtig?

[VAR: #2.7B]

OTHER IMPORTANT THINGS

INT.: keine Beispiele nennen;
mehrere Antworten möglich\

	CODE	1987.10	
		N=1000	COL.67
weiß nicht.....	9	10.6	
NA.....	1	89.4	

Q.26a

Quelle est, pour vous, la chose la plus importante dans la vie?
(Une seule réponse)

[VAR: #2.7]

THE MOST IMPORTANT THING IN LIFE

	CODE	1987.10	
		N=1013	COL.66
<hr/>			
Réponse.....	1	99.7	
N.S.P.....	9	0.3	

Q.26b

Et ensuite, quelles sont les autres choses qui sont très importantes pour vous? Vous pouvez donner autant de réponses que vous le voulez.

[VAR: #2.7B]

OTHER IMPORTANT THINGS

	CODE	1987.10	
		N=1013	COL.67
<hr/>			
Réponse.....	1	96.5	
N.S.P.....	9	3.5	

Q.26a)
 What is the single most important thing in life for you? Please
 tell me one thing only. WRITE IN.

[VAR: #2.7]
 THE MOST IMPORTANT THING IN LIFE

	CODE	1987.10	
		N=1043	COL.66
Answered.....	1	99.5	
Don't know.....	9	0.5	

Q.26b)
 What other things are very important to you? You can mention as
 many things as you like. DO NOT PROMPT PROBE. What else?

WRITE IN.

[VAR: #2.7B]
 OTHER IMPORTANT THINGS

	CODE	1987.10	
		N=1043	COL.67
Answered.....	1	97.0	
Don't know.....	9	3.0	

問 2 6 あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください

[VAR: #2.7] THE MOST IMPORTANT THING IN LIFE

一番大切なもの

カラム 1 - 6 6

<p>一番大切と思うもの _____</p> <p>9 D. K.</p>

問 2 6 b. そのほか、非常に大切と思うものをいくつでもあげてください

[VAR: #2.7B] OTHER IMPORTANT THINGS

その他 非常に大切なもの

カラム 1 - 6 7

<p>9 D. K.</p>

問 2 6 あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください

[VAR: #2.7] THE MOST IMPORTANT THING IN LIFE

一番大切なもの

コード 1 9 8 8 . 1 0
N = 1 0 1 7

カラム 1 - 6 6

<p>一番大切と思うもの _____</p> <p>9 D. K.</p>

問 2 6 b. そのほか、非常に大切と思うものをいくつでもあげてください

[VAR: #2.7B] OTHER IMPORTANT THINGS

その他 非常に大切なもの

カラム 1 - 6 7

<p>9 D. K.</p>

Q.26a

What is the single most important thing in life for you? Please tell me one thing only.

[VAR: #2.7]

THE MOST IMPORTANT THING IN LIFE

COL.166

Don't know.....0 100.0

Q.26b

What other things are very important to you? You can mention as many things as you like. PROMPT: What else?

WRITE IN.

[VAR: #2.7B]

OTHER IMPORTANT THINGS

COL.167

Don't know.....0 100.0

Q.27 168-74.

Wie wichtig sind die Bereiche in Ihrem Leben, die ich Ihnen gleich vorlese. Bitte antworten Sie anhand dieser Liste.

LISTE 9 vorlegen

	überhaupt nicht wichtig					sehr wicht- tig	(weiß nicht k.A.)
a) Ihre engere Familie.....1 und Ihre Kinder	2	3	4	5	6	7	9
b) Karriere und Arbeit.....1	2	3	4	5	6	7	9
c) Freizeit und1 Entspannung	2	3	4	5	6	7	9
d) Freunde und.....1 Bekannte	2	3	4	5	6	7	9
e) Eltern, Geschwister.....1 und andere Verwandte	2	3	4	5	6	7	9
f) Religion und Kirche.....1	2	3	4	5	6	7	9
g) Politik.....1	2	3	4	5	6	7	9

a) Ihre engere Familie und Ihre Kinder

[VAR: #5.81]

IMPORTANCE: IMMEDIATE FAMILY AND CHILDREN

	CODE	1987.10 N=1000	COL.68
überhaupt nicht wichtig....1		1.6	
.....2		1.2	
.....3		0.9	
.....4		4.6	
.....5		5.4	
.....6		14.8	
sehr wichtig.....7		66.9	
weiß nicht k.A.....9		4.6	

b) Karriere und Arbeit

[VAR: #5.81B]

IMPORTANCE: CAREER AND WORK

	CODE	1987.10 N=1000	COL.69
überhaupt nicht wichtig....1		8.5	
.....2		7.3	
.....3		10.7	
.....4		20.0	
.....5		22.3	
.....6		17.1	
sehr wichtig.....7		12.0	
weiß nicht k.A.....9		2.1	

[DECK 1 Cols.70-72]
Q.27

Q.27 Continued

c) Freizeit und Entspannung

[VAR: #5.81C]

IMPORTANCE: FREE TIME AND RELAXATION

	CODE	1987.10 N=1000	COL.70
überhaupt nicht wichtig....	1	0.3	
	2	1.5	
	3	2.7	
	4	11.8	
	5	25.4	
	6	30.1	
sehr wichtig.....	7	27.0	
weiß nicht k.A.....	9	1.2	

d) Freunde und Bekannte

[VAR: #5.81D]

IMPORTANCE: FRIENDS

	CODE	1987.10 N=1000	COL.71
überhaupt nicht wichtig....	1	0.4	
	2	0.5	
	3	4.2	
	4	9.4	
	5	21.2	
	6	34.2	
sehr wichtig.....	7	29.0	
weiß nicht k.A.....	9	1.1	

e) Eltern, Geschwister und andere Verwandte

[VAR: #5.81E]

IMPORTANCE: PARENTS AND OTHER RELATIVE

	CODE	1987.10 N=1000	COL.72
überhaupt nicht wichtig....	1	1.7	
	2	2.1	
	3	4.9	
	4	9.3	
	5	17.1	
	6	29.9	
sehr wichtig.....	7	33.6	
weiß nicht k.A.....	9	1.4	

Q.27 Continued

f) Religion und Kirche

[VAR: #5.81F]

IMPORTANCE: RELIGION AND CHURCH

	CODE	1987.10 N=1000	COL.73
überhaupt nicht wichtig....	1	15.6	
.....	2	13.8	
.....	3	15.3	
.....	4	16.6	
.....	5	16.4	
.....	6	11.9	
sehr wichtig.....	7	9.4	
weiß nicht k.A.....	9	1.0	

g) Politik

[VAR: #5.81G]

IMPORTANCE: POLITICS

	CODE	1987.10 N=1000	COL.74
überhaupt nicht wichtig....	1	9.8	
.....	2	11.1	
.....	3	17.0	
.....	4	21.3	
.....	5	21.2	
.....	6	12.9	
sehr wichtig.....	7	5.9	
weiß nicht k.A.....	9	0.8	

Q.27

Pour chacun des domaines de la vie que je vais vous citer, je vais vous demander d'attribuer une note de 1 à 7 selon l'importance que vous lui accordez. 1 signifie que ce n'est pas important du tout, 7 signifie que c'est très important, les notes intermédiaires servent à nuancer votre jugement.

(Enumérer-Montrer liste- Inscrire une note de 1 à 7 per item)

a) Votre foyer et vos.....
enfants si vous en avez

b) La profession et le.....
travail (ou carrière)

c) Le temps libre et la....
détente

d) Les amis et.....
connaissances

e) Les parents, frères.....
et soeurs

f) La religion.....

g) La politique.....

a) Votre foyer et vos enfants si vous en avez
[VAR: #5.81]

IMPORTANCE:IMMEDIATE FAMILY AND CHILDREN

	CODE	1987.10 N=1013	COL.68
Pas important du tout.....1		2.0	
.....2		1.0	
.....3		0.5	
.....4		1.6	
.....5		4.1	
.....6		8.6	
Très important.....7		80.1	
N.S.P.....9		2.2	

b) La profession et le travail (ou carrière)
[VAR: #5.81B]

IMPORTANCE:CAREER AND WORK

	CODE	1987.10 N=1013	COL.69
Pas important du tout.....1		4.7	
.....2		1.8	
.....3		1.8	
.....4		4.7	
.....5		15.2	
.....6		26.7	
Très important.....7		43.5	
N.S.P.....9		1.6	

Q.27 Continued

c) Le temps libre et la détente

[VAR: #5.81C]

IMPORTANCE:FREE TIME AND RELAXATION

	CODE	1987.10 N=1013	COL.70
Pas important du tout.....	1	1.5	
.....	2	2.0	
.....	3	6.5	
.....	4	16.2	
.....	5	23.6	
.....	6	23.9	
Très important.....	7	25.8	
N.S.P.....	9	0.6	

d) Les amis et connaissances

[VAR: #5.81D]

IMPORTANCE:FRIENDS

	CODE	1987.10 N=1013	COL.71
Pas important du tout.....	1	1.7	
.....	2	3.5	
.....	3	7.0	
.....	4	14.7	
.....	5	23.7	
.....	6	24.7	
Très important.....	7	24.7	
N.S.P.....	9	0.1	

e) Les parents, frères et soeurs

[VAR: #5.81E]

IMPORTANCE:PARENT AND OTHER RELATIVE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.72
Pas important du tout.....	1	1.8	
.....	2	2.0	
.....	3	4.2	
.....	4	8.5	
.....	5	14.4	
.....	6	24.1	
Très important.....	7	44.1	
N.S.P.....	9	0.9	

Q.27 Continued

f) La religion

[VAR: #5.81F]

IMPORTANCE:RELIGION AND CHURCH

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.73
Pas important du tout.....	1	25.8	
.....	2	11.8	
.....	3	12.2	
.....	4	14.7	
.....	5	12.2	
.....	6	11.1	
Très important.....	7	11.9	
N.S.P.....	9	0.2	

g) La politique

[VAR: #5.81G]

IMPORTANCE:POLITICS

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.74
Pas important du tout.....	1	36.2	
.....	2	14.7	
.....	3	13.5	
.....	4	12.0	
.....	5	11.7	
.....	6	6.3	
Très important.....	7	5.0	
N.S.P.....	9	0.4	

SHOW CARD J

Q.27

Using this scale can you tell me how important each of the following is to you?

READ OUT EACH ITEM IN TURN.

	Not important at all	Very important	Don't know	COL.
Your immediate family and.....1...2...3...4...5...6...7...9				(68)
children if you have any				
Career and work.....1...2...3...4...5...6...7...9				(69)
Free time and relaxation.....1...2...3...4...5...6...7...9				(70)
Friends and acquaintances.....1...2...3...4...5...6...7...9				(71)
Parents, brothers, sisters.....1...2...3...4...5...6...7...9				(72)
and other relatives				
Religion and church.....1...2...3...4...5...6...7...9				(73)
Politics.....1...2...3...4...5...6...7...9				(74)

A. Your immediate family and children if you have any...

[VAR: #5.81]

IMPORTANCE:IMMEDIATE FAMILY AND CHILDREN

	CODE	1987.10 N=1043	COL.68
Not important at all.....1		1.2	
2		0.2	
3		0.3	
4		1.1	
5		2.2	
6		4.5	
Very important.....7		88.9	
Don't know.....9		1.6	

B. Career and work

[VAR: #5.81B]

IMPORTANCE:CAREER AND WORK

	CODE	1987.10 N=1043	COL.69
Not important at all.....1		16.5	
2		2.9	
3		4.1	
4		14.2	
5		15.1	
6		15.5	
Very important.....7		26.4	
Don't know.....9		5.4	

Q.27 Continued
 C. Free time and relaxation

[VAR: #5.81C]
 IMPORTANCE:FREE TIME AND RELAXATION

	CODE	1987.10 N=1043	COL.70
Not important at all.....	1	3.4	
	2	3.1	
	3	6.8	
	4	19.0	
	5	25.9	
	6	19.0	
Very important.....	7	21.5	
Don't know.....	9	1.4	

D. Friends and acquaintances

[VAR: #5.81D]
 IMPORTANCE:FRIENDS

	CODE	1987.10 N=1043	COL.71
Not important at all.....	1	1.2	
	2	1.9	
	3	5.8	
	4	15.3	
	5	21.7	
	6	27.1	
Very important.....	7	26.7	
Don't know.....	9	0.3	

E. Parents, brothers, sisters and other relatives

[VAR: #5.81E]
 IMPORTANCE:PARENTS AND OTHER RELATIVE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.72
Not important at all.....	1	3.3	
	2	2.4	
	3	3.4	
	4	6.5	
	5	10.6	
	6	19.4	
Very important.....	7	52.6	
Don't know.....	9	1.8	

F. Religion and church

[VAR: #5.81F]

IMPORTANCE:RELIGION AND CHURCH

		1987.10	
	CODE	N=1043	COL.73
Not important at all.....	1	20.4	
	2	12.8	
	3	15.0	
	4	15.5	
	5	11.8	
	6	10.5	
Very important.....	7	13.8	
Don't know.....	9	0.2	

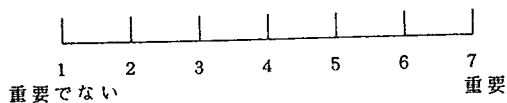
G . Politics

[VAR: #5.81G]

IMPORTANCE:POLITICS

		1987.10	
	CODE	N=1043	COL.74
Not important at all.....	1	24.2	
	2	13.6	
	3	16.9	
	4	19.3	
	5	13.9	
	6	5.8	
Very important.....	7	6.0	
Don't know.....	9	0.4	

問 2 7 [カード 1 6] 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って
1～7 の評価をつけてください。



- a. まず、「家族や子供」についてはどうですか。
- b. では、「職業や仕事」についてはどうですか。
- c. では、「自由になる時間とくつろぎ」についてはどうですか。
- d. では、「友人、知人」についてはどうですか。
- e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」についてはどうですか。
- f. では、「宗教」についてはどうですか。
- g. では、「政治」についてはどうですか。

a. まず、「家族や子供」についてはどうですか。

[VAR: #5.81] IMPORTANCE : IMMEDIATE FAMILY AND CHILDREN
生活領域の重要性—あなた自身の家族と子供

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 6 8

重要でない	1	0.6
	2	0.2
	3	0.4
	4	2.6
	5	4.4
	6	7.5
重要	7	82.6
その他	8	0.2
D. K.	9	1.5

b. では、「職業や仕事」についてはどうですか。

[VAR: #5.81B] IMPORTANCE : CAREER AND WORK
生活領域の重要性—職業や仕事

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 6 9

重要でない	1	1.4
	2	0.9
	3	1.3
	4	8.4
	5	12.3
	6	17.6
重要	7	54.6
その他	8	0.5
D. K.	9	3.1

[つづく]

問 2 7 (つづき)

c. では、「自由になる時間とくつろぎ」についてはどうですか。

〔VAR: #5.81C〕 IMPORTANCE : FREE TIME AND RELAXATION
生活領域の重要性—自由になる時間とくつろぎ

		1 9 8 8. 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 1 - 7 0
重要でない	1	0.6	
	2	1.1	
	3	3.1	
	4	17.0	
	5	24.2	
	6	20.8	
重要	7	31.2	
その他	8	0.1	
D. K.	9	1.9	

d. では、「友人、知人」についてはどうですか。

〔VAR: #5.81D〕 IMPORTANCE : FRIENDS
生活領域の重要性—友人、知人

		1 9 8 8. 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 1 - 7 1
重要でない	1	0.4	
	2	0.7	
	3	1.5	
	4	8.7	
	5	20.4	
	6	27.5	
重要	7	39.4	
その他	8	0.0	
D. K.	9	1.5	

e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」についてはどうですか。

〔VAR: #5.81E〕 IMPORTANCE : PARENTS AND OTHER RELATIVE
生活領域の重要性—両親、兄弟、姉妹、親戚

		1 9 8 8. 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 1 - 7 2
重要でない	1	0.5	
	2	0.4	
	3	1.0	
	4	5.1	
	5	10.6	
	6	22.6	
重要	7	58.1	
その他	8	0.0	
D. K.	9	1.6	

〔つづく〕

問 2 7 (つづき)

f. では、「宗教」についてはどうですか。

[VAR: #5.81F] IMPORTANCE : RELIGION AND CHURCH
生活領域の重要性—宗教

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	
重要でない	1	1 2 . 4
.	2	8 . 7
.	3	1 3 . 1
.	4	2 4 . 5
.	5	1 5 . 9
.	6	7 . 8
重要	7	1 3 . 8
その他	8	0 . 2
D. K.	9	3 . 6

カラム 1 - 7 3

g. では、「政治」についてはどうですか。

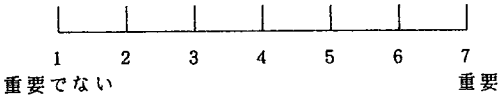
[VAR: #5.81G] IMPORTANCE : POLITICS
生活領域の重要性—政治、公的生活

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	
重要でない	1	2 . 8
.	2	5 . 3
.	3	8 . 9
.	4	2 4 . 5
.	5	2 0 . 9
.	6	1 5 . 0
重要	7	1 8 . 2
その他	8	0 . 1
D. K.	9	4 . 4

カラム 1 - 7 4

a. 家族、子供	-----	
b. 職業、仕事	-----	
c. 自由になる時間とくつろぎ	-----	
d. 友人、知人	-----	
e. 両親、兄弟、姉妹、親戚	-----	
f. 宗教	-----	
g. 政治	-----	
	8 その他	
	9 D. K.	

問27 (カード16) 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1～7の評価をつけてください。



- a. まず、「家族や子供」についてはどうですか。
- b. では、「職業や仕事」についてはどうですか。
- c. では、「自由になる時間とくつろぎ」についてはどうですか。
- d. では、「友人、知人」についてはどうですか。
- e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」についてはどうですか。
- f. では、「宗教」についてはどうですか。
- g. では、「政治」についてはどうですか。

a. まず、「家族や子供」についてはどうですか。

[VAR: #5.81] IMPORTANCE : IMMEDIATE FAMILY AND CHILDREN
生活領域の重要性—あなた自身の家族と子供

		1988. 10		
		コード	N = 1017	カラム 1-68
重要でない	1	1	1.0	
	2	0	0.3	
	3	0	0.6	
	4	3	3.3	
	5	3	3.9	
	6	8	8.1	
重要	7	82	2.1	
その他	8	0	0.3	
D. K.	9	0	0.4	

b. では、「職業や仕事」についてはどうですか。

[VAR: #5.81B] IMPORTANCE : CAREER AND WORK
生活領域の重要性—職業や仕事

		1988. 10		
		コード	N = 1017	カラム 1-69
重要でない	1	2	2.0	
	2	1	1.9	
	3	2	2.3	
	4	9	9.0	
	5	12	2.3	
	6	17	6.6	
重要	7	52	2.6	
その他	8	0	0.1	
D. K.	9	2	2.3	

[つづく]

問27〔つづき〕

c. では、「自由になる時間とくつろぎ」についてはどうですか。

[VAR: #5.81C] IMPORTANCE : FREE TIME AND RELAXATION
生活領域の重要性—自由になる時間とくつろぎ

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 1-70
重要でない	1	0.9	
	2	1.2	
	3	3.3	
	4	15.5	
	5	23.0	
	6	21.7	
重要	7	33.4	
その他	8	0.2	
D. K.	9	0.7	

d. では、「友人、知人」についてはどうですか。

[VAR: #5.81D] IMPORTANCE : FRIENDS
生活領域の重要性—友人、知人

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 1-71
重要でない	1	0.6	
	2	0.8	
	3	2.2	
	4	10.7	
	5	19.0	
	6	28.4	
重要	7	38.0	
その他	8	0.1	
D. K.	9	0.3	

e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」についてはどうですか。

[VAR: #5.81E] IMPORTANCE : PARENTS AND OTHER RELATIVE
生活領域の重要性—両親、兄弟、姉妹、親戚

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 1-72
重要でない	1	0.9	
	2	0.4	
	3	1.2	
	4	5.9	
	5	10.1	
	6	23.1	
重要	7	58.0	
その他	8	—	
D. K.	9	0.4	

〔つづく〕

問27 [つづき]

f. では、「宗教」についてはどうですか。

[VAR: #5.81F] IMPORTANCE : RELIGION AND CHURCH
生活領域の重要性—宗教

	コード	1988. 10 N = 1017
重要でない	1	14.2
.	2	9.1
.	3	12.0
.	4	24.4
.	5	14.9
.	6	8.7
重要	7	13.1
その他	8	0.2
D. K.	9	3.4

カラム 1-73

g. では、「政治」についてはどうですか。

[VAR: #5.81G] IMPORTANCE : POLITICS
生活領域の重要性—政治、公的生活

	コード	1988. 10 N = 1017
重要でない	1	2.3
.	2	4.3
.	3	10.1
.	4	26.5
.	5	21.0
.	6	14.4
重要	7	17.7
その他	8	0.3
D. K.	9	3.3

カラム 1-74

a. 家族、子供	-----	
b. 職業、仕事	-----	
c. 自由になる時間とくつろぎ	-----	
d. 友人、知人	-----	
e. 両親、兄弟、姉妹、親戚	-----	
f. 宗教	-----	
g. 政治	-----	
		8 その他
		9 D. K.

[DECK 1 Cols.68-69]
Q.27

Q.27 (HAND CARD 27)

Using this scale, where '7' is "very important," and '1' is "not important at all," can you tell me how important each of the following are to you? (READ EACH ITEM IN TURN.)

A.27	Not Important at all					Very Important		Don't know
	1	2	3	4	5	6	7	9
Your immediate family and children, if you have any								
Career and work	1	2	3	4	5	6	7	9
Free time and relaxation	1	2	3	4	5	6	7	9
Friends and acquaintances	1	2	3	4	5	6	7	9
Parents, brothers, sisters, and other relatives	1	2	3	4	5	6	7	9
Religion and church	1	2	3	4	5	6	7	9
Politics	1	2	3	4	5	6	7	9

A. Your immediate family and children, if you have any
[VAR: #5.81]

IMPORTANCE: IMMEDIATE FAMILY AND CHILDREN

	CODE	1988.10 N=1563	COL.168
Not important.....	1	0.6	
	2	0.0	
	3	0.4	
	4	0.9	
	5	2.0	
	6	3.9	
Very important.....	7	91.6	
Don't know.....	9	0.6	

B. Career and work

[VAR: #5.81B]

IMPORTANCE: CAREER AND WORK

	CODE	1988.10 N=1563	COL.169
Not important.....	1	10.4	
	2	2.3	
	3	6.0	
	4	11.5	
	5	18.1	
	6	17.4	
Very important.....	7	29.8	
Don't know.....	9	4.7	

[DECK 1 Cols.70-72]
Q.27

Q.27 Continued

C.Free time and relaxation

[VAR: #5.81C]

IMPORTANCE: FREE TIME AND RELAXATION

	CODE	1988.10 N=1563	COL.170
Not important.....	1	1.9	
	2	2.4	
	3	5.7	
	4	15.0	
	5	24.6	
	6	22.5	
Very important.....	7	27.0	
Don't know.....	9	0.8	

D.Friends and acquaintances

[VAR: #5.81D]

IMPORTANCE: FRIENDS AND ACQUAINTANCES

	CODE	1988.10 N=1563	COL.171
Not important.....	1	1.0	
	2	1.7	
	3	4.0	
	4	10.4	
	5	20.0	
	6	26.6	
Very important.....	7	36.0	
Don't know.....	9	0.3	

E.Parents, brothers, sisters, and other relatives

[VAR: #5.81E]

IMPORTANCE: PARENTS AND OTHER RELATIVE

	CODE	1988.10 N=1563	COL.172
Not important.....	1	1.2	
	2	0.8	
	3	2.4	
	4	4.2	
	5	9.5	
	6	18.0	
Very important.....	7	62.3	
Don't know.....	9	1.6	

[DECK 1 Cols.73-74]
Q.27

Q.27 Continued

F.Religion and church

[VAR: #5.81F]

IMPORTANCE: RELIGION AND CHURCH

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.173
Not important.....1	5.7	
2	4.2	
3	5.3	
4	8.8	
5	13.5	
6	15.0	
Very important.....7	47.2	
Don't know.....9	0.3	

G.Politics

[VAR: #5.81G]

IMPORTANCE: POLITICS

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.174
Not important.....1	11.5	
2	8.0	
3	12.2	
4	21.9	
5	21.2	
6	12.3	
Very important.....7	12.2	
Don't know.....9	0.7	

Q.28. 175.

Wie zufrieden sind Sie alles in allem mit Ihrem Familienleben, also der Zeit, die mit den Familienmitgliedern verbringen, und den Dingen, die Sie mit ihnen unternehmen? Bitte antworten Sie anhand der folgenden Liste.

[VAR: #2.3C]

SATISFACTION WITH FAMILY LIFE

INT.: LISTE 10 vorlegen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.75
sehr zufrieden.....	1	30.2	
zufrieden.....	2	51.2	
weder zufrieden noch unzufrieden (neutrall).....	3	12.7	
unzufrieden.....	4	2.9	
sehr unzufrieden.....	5	0.3	
weiß nicht, NA.....	9	2.7	

Q.28

Tout bien considéré, êtes-vous satisfait de votre vie familiale: le temps que vous passez et les choses que vous faites avec les membres de votre famille? Veuillez répondre en choisissant un point sur cette échelle.

(Tendre l'échelle-) 1 signifie que vous êtes tout à fait satisfait et 5 que vous n'êtes pas du tout satisfait. Les notes intermédiaires servent à nuancer votre jugement.

(Inscrire une note de 1 à 5)

[VAR: #2.3C]

SATISFACTION WITH FAMIRY LIFE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.75
Tout à fait satisfait.....	1	40.7	
.....	2	26.9	
.....	3	16.6	
.....	4	7.5	
Pas du tout satisfait.....	5	7.2	
N.S.P.	9	1.1	

SHOW CARD K

Q.28

All things considered how satisfied are you with your family life, that is the time you spend and the things you do with members of your family?

[VAR: #2.3C]

SATISFACTION WITH FAMILY LIFE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.75
Very satisfied.....	1	50.1	
Fairly satisfied.....	2	39.2	
Neither satisfied nor dissatisfied.....	3	6.1	
Fairly dissatisfied.....	4	2.4	
Very dissatisfied.....	5	0.9	
Don't know.....	9	1.2	

問 2 8 [カード 1 7] あなたは自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか。

[VAR: #2.3C] SATISFACTION WITH FAMILY LIFE
家庭に満足か

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 1 - 7 5
満足	1	4 3 . 5	
やや満足	2	3 8 . 7	
どちらともいえない	3	1 0 . 4	
やや不満	4	4 . 6	
不満	5	1 . 2	
その他〔記入〕	8	0 . 1	
D. K.	9	1 . 4	

問 2 8 [カード 1 7] あなたは自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか。

[VAR: #2.3C] SATISFACTION WITH FAMILY LIFE
家庭に満足か

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 1 0 1 7	カラム 1 - 7 5
満足	1	4 5 . 3	
やや満足	2	3 8 . 8	
どちらともいえない	3	1 1 . 2	
やや不満	4	3 . 6	
不満	5	0 . 5	
その他〔記入〕	8	0 . 0	
D. K.	9	0 . 5	

Q.28 (HAND CARD 28)

All things considered, how satisfied are you with your family life, -- the time you spend and the things you do with members of your family? Just call off the letter which comes closest to your feelings.

[VAR: #2.3C]

SATISFACTION WITH FAMILY LIFE

1988.10
CODE N=1563

COL.175

Completely satisfied.....1	42.8
Somewhat satisfied.....2	38.3
Neither completely satisfied nor completely dissatisfied (neutral).....3	11.2
Somewhat dissatisfied.....4	6.0
Completely dissatisfied.....5	1.2
Other (PLEASE SPECIFY)_____8	0.1
Don't know.....9	0.5

Q.29 176.

Und wie zufrieden sind Sie mit Ihrem derzeitigen Leben insgesamt?
Bitte antworten Sie wieder anhand dieser Liste.

[VAR: #2.82]

SATISFACTION WITH LIFE

INT.:LISTE 10 vorlegen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.76
	1	17.2	
	2	59.3	
	3	16.5	
	4	4.3	
	5	0.8	
weiß nicht, NA.....	9	1.9	

LISTE 10

- 1 sehr zufrieden
- 2 zufrieden
- 3 weder zufrieden noch unzufrieden (neutral)
- 4 unzufrieden
- 5 sehr unzufrieden

Q.29

Maintenant, parlons de votre vie en général. Dans quelle mesure
êtes-vous satisfait de votre vie en ce moment? Veuillez donner
votre réponse à l'aide de la même échelle.
(Inscrire une note de 1 à 5)

[VAR: #2.82]

SATISFACTION WITH LIFE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.76
Tout à fait satisfait.....	1	21.0	
2	30.8	
3	31.5	
4	10.3	
Pas du tout satisfait.....	5	5.8	
N.S.P.	9	0.6	

SHOW CARD K

Q.29

And how satisfied are you with your life as a whole these days?

[VAR: #2.82]

SATISFACTION WITH LIFE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.76
Very satisfied.....	1	31.1	
Fairly satisfied.....	2	54.5	
Neither satisfied nor dissatisfied.....	3	7.5	
Fairly dissatisfied.....	4	4.7	
Very dissatisfied.....	5	1.8	
Don't know.....	9	0.5	

問 2 9 [カード 1 7] あなたの生活についておききします。ひとくちにいったあなたは今の生活に満足していますか、それとも不満がありますか。

[VAR: #2.82] SATISFACTION WITH LIFE
生活に満足か

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 1 - 7 6
満足	1 3 2 . 8	
やや満足	2 4 1 . 4	
どちらともいえない	3 1 3 . 2	
やや不満	4 9 . 6	
不満	5 2 . 7	
その他〔記入〕	8 0 . 0	
D. K.	9 0 . 3	

問 2 9 [カード 1 7] あなたの生活についておききします。ひとくちにいったあなたは今の生活に満足していますか、それとも不満がありますか。

[VAR: #2.82] SATISFACTION WITH LIFE
生活に満足か

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 1 - 7 6
満足	1 3 2 . 2	
やや満足	2 4 4 . 9	
どちらともいえない	3 1 2 . 6	
やや不満	4 8 . 2	
不満	5 2 . 1	
その他〔記入〕	8 0 . 0	
D. K.	9 0 . 1	

Q.29 (RETAIN HAND CARD 28)

Now I want to ask about your life as a whole. How satisfied are you with your life as a whole these days? Which letter on this card comes closest to your feeling?

[VAR: #2.82]
SATISFACTION WITH LIFE

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.176
Completely satisfied.....1	31.2	
Somewhat satisfied.....2	48.6	
Neither completely satisfied nor completely dissatisfied (neutral).....3	12.3	
Somewhat dissatisfied.....4	6.7	
Completely dissatisfied....5	0.8	
Other (PLEASE SPECIFY).....8	0.1	
Don't know.....9	0.4	

Q.30 177.

Wenn Sie an erfolgreiche Leute in der heutigen Gesellschaft denken, was hat Ihrer Meinung nach mehr zu deren Erfolg beigetragen: ihre Fähigkeiten und Bemühungen oder eher Glück und Zufall?

[VAR: #7.19]

SUCCESS: ABILITY OR LUCK

	CODE	1987.10 N=1000	COL.77
Fähigkeiten und Bemühungen.....	1	57.1	
Glück und Zufall.....	2	28.2	
sonstiges, u. zwar:_____	8	7.0	
weiß nicht,NA.....	9	7.7	

Q.30

Si vous pensez aux gens qui réussissent dans la société, aujourd'hui, qu'est-ce qui, à votre avis, a joué le plus grand rôle pour leur réussite? Leurs capacités et leurs efforts, ou bien la chance et le hasard?
(Une seule réponse)

[VAR: #7.19]

SUCCESS: ABILITY OR LUCK

	CODE	1987.10 N=1013	COL.77
Leurs capacités et leurs efforts.....	1	63.7	
La chance et le hasard.....	2	21.0	
Autre réponse (préciser)_____	8	12.7	
N.S.P.	9	2.6	

Q.30

If you look at successful people in society today which do you think has played the largest part in their success, their ability and effort or luck and chance?

[VAR: #7.19]

SUCCESS: ABILITY OR LUCK

	CODE	1987.10 N=1043	COL.77
Ability and effort.....	1	56.1	
Luck and chance.....	2	32.1	
Other (WRITE IN) _____	8	8.4	
Don't know.....	9	3.4	

*問 3 0 いまの社会で成功している人をみて、その人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのどちらが大きな役割をはたしていると思いますか。

[VAR: #7.19] SUCCESS : ABILITY OR LUCK
才能か運か

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 1 - 7 7

個人の才能や努力	1	5 2 . 7
運やチャンス	2	3 5 . 2
その他〔記入〕	8	3 . 6
D. K.	9	8 . 5

*問 3 0 人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのどちらが大きな役割をはたしていると思いますか。

[VAR: #7.19] SUCCESS : ABILITY OR LUCK
才能か運か

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 1 - 7 7

個人の才能や努力	1	5 1 . 9
運やチャンス	2	3 5 . 8
その他〔記入〕	8	3 . 3
D. K.	9	8 . 9

Q.30

If you look at successful people in society today which do you think has played the largest part in their success, their ability and effort, or luck and chance?

[VAR: #7.19]
SUCCESS: ABILITY OR LUCK

1988.10
CODE N=1563

COL.177

Ability and effort	1	69.9
Luck and chance	2	23.2
Other (PLEASE SPECIFY) _____	8	4.8
Don't know	9	2.2

BLANK

[VAR: -]

BLANK

1987. 10
CODE N=1000
BLANK 0 100. 0

COL. 78~79

[VAR: -]

BLANK

1987. 10
CODE N=1013
BLANK 0 100. 0

COL. 78~79

[VAR: -]

BLANK

1987. 10
CODE N=1043
BLANK 0 100. 0

COL. 78~79

[VAR: -] BLANK

空白

1988. 10
コード N=2265
BLANK 0 100. 0

カラム 1-78~79

[VAR: -] BLANK

空白

1988. 10
コード N=1017
BLANK 0 100. 0

カラム 1-78~79

[VAR: -]

BLANK

1988. 10
CODE N=1563
BLANK 0 100. 0

COL. 178~79

[VAR: CARD1]
CARD 1 (DECK 1)

		1987. 10	
	CODE	N=1000	COL. 80
CARD 1 (DECK 1)	1	100. 0	

[VAR: CARD1]
CARD 1 (DECK 1)

		1987. 10	
	CODE	N=1013	COL. 80
CARD 1 (DECK 1)	1	100. 0	

[VAR: CARD1]
CARD 1 (DECK 1)

		1987. 10	
	CODE	N=1043	COL. 80
CARD 1 (DECK 1)	1	100. 0	

[VAR: CARD1] CARD 1 (DECK 1)
1 枚目カード (3 枚組データ)

		1988. 10	
	コード	N=2265	コラム 1-80
1 枚目カード	1	100. 0	

[VAR: CARD1] CARD 1 (DECK 1)
1 枚目カード (3 枚組データ)

		1988. 10	
	コード	N=1017	コラム 1-80
1 枚目カード	1	100. 0	

[VAR: CARD1]
CARD 1 (DECK 1)

		1988. 10	
	CODE	N=1563	COL. 180
CARD 1 (DECK 1)	1	100. 0	

[VAR: NATION]

NATION CODE

		1987. 10	
	CODE	N=1000	COL. 1
F.R.G.	1	100. 0	

[VAR: NATION]

NATION CODE

		1987. 10	
	CODE	N=1013	COL. 1
FRANCE	2	100. 0	

[VAR: NATION]

NATION CODE

		1987. 10	
	CODE	N=1043	COL. 1
UK	3	100. 0	

[VAR: NATION] NATION CODE

国コード

		1988. 10	
	コード	N=2265	カラム 2-1
日本A	5	100. 0	

[VAR: NATION] NATION CODE

国コード

		1988. 10	
	コード	N=1017	カラム 2-1
日本B	6	100. 0	

[VAR: NATION]

NATION CODE

		1988. 10	
	CODE	N=1563	COL. 201
U.S.A.	4	100. 0	

特別推進研究(1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

[DECK 2 Cols.2-10]
ID

[VAR: ID]

ID NUMBER

1987. 10

CODE

N=1000

COL. 2~10

F.R.G.: ID NUMBER *

SEE CODE BOOK FOR F.R.G. SURVEY

[VAR: ID]

ID NUMBER

1987. 10

CODE

N=1013

COL. 2~10

FRANCE: ID NUMBER . . . *

SEE CODE BOOK FOR FRANCE SURVEY

[VAR: ID]

ID NUMBER

1987. 10

CODE

N=1043

COL. 2~10

UK: ID NUMBER *

SEE CODE BOOK FOR UK SURVEY

[VAR: ID] ID NUMBER

国コード

1988. 10

コード

N=2265

カラム 2-2~10

日本A: ID NUMBER *

日本調査コードブック参照

[VAR: ID] ID NUMBER

国コード

1988. 10

コード

N=1017

カラム 2-2~10

日本B: ID NUMBER *

日本調査コードブック参照

[VAR: ID]

ID NUMBER

1988. 10

CODE

N=1563

COL. 202~10

U.S.A.: ID NUMBER *

SEE CODE BOOK FOR FRANCE SURVEY

[DECK 2 Cols.11-12]
INCOME F

352-53.

Wenn Sie mal alles zusammenrechnen: wie noch ist dann das monatliche Netto-Ein-kommen, das Sie alle zusammen hier im Haushalt haben nach Abzug der Steuern und Sozialversicherung? Nennen Sie bitte die entsprechende Ziffer!

LISTE E vorlegen

11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

LISTE E

11		unter	500	DM
12	500	bis unter	1 000	DM
13	1 000	bis unter	1 500	DM
14	1 500	bis unter	2 000	DM
15	2 000	bis unter	2 500	DM
16	2 500	bis unter	3 000	DM
17	3 000	bis unter	3 500	DM
18	3 500	bis unter	4 000	DM
19	4 000	bis unter	5 000	DM
20	5 000	bis unter		DM

[VAR: INCOME F]

TOTAL FAMILY INCOME

	CODE	1987.10 N=1000	COL.11-12
unter 500 DM....	11	1.0	
500 bis unter 1000 DM....	12	5.3	
1000 bis unter 1500 DM....	13	10.0	
1500 bis unter 2000 DM....	14	14.9	
2000 bis unter 2500 DM....	15	14.8	
2500 bis unter 3000 DM....	16	14.0	
3000 bis unter 3500 DM....	17	12.0	
3500 bis unter 4000 DM....	18	7.4	
4000 bis unter 5000 DM....	19	5.5	
5000 bis und mehr DM....	20	3.6	
NA.....	10	11.5	

[DECK 2 Cols.11-12]
INCOMEF

I - Nous désirons analyser les résultats de cette étude en fonction des revenus familiaux des personnes que nous avons interrogées. Voici une échelle de revenus mensuels. A quel niveau vous situez-vous en comptant toutes les rentrées d'argent de votre foyer, telles que salaires, allocations familiales, pensions et revenus. Citez moi la lettre correspondant à votre réponse. (Montrer liste - Insister pour obtenir une réponse. Noter la lettre)

.....

[VAR: INCOMEF]

TOTAL FAMILY INCOME

	CODE	1987.10 N=1013	COL.11-12
N.S.P.....	30	0.4	
~3999FF.....	31	11.0	
4000~.....	32	18.6	
6000~.....	33	15.3	
8000~.....	34	14.2	
10000~.....	35	12.0	
12500~.....	36	6.8	
15000~.....	37	6.4	
20000~.....	38	4.5	
NA.....	39	10.8	

[DECK 2 Cols.11-12]
INCOMEFSHOW CARD AF

CD.15

Please indicate into which of these categories your total family income falls. That is the total income before tax from all sources of all the members of your family in your household.

[VAR: INCOMEF]

TOTAL FAMILY INCOME

	CODE	1987.10 N=1043	COL.11-12
£2,499 or less.....	41	10.4	
£2,500 - £3,999.....	42	5.1	
£4,000 - £5,499.....	43	6.7	
£5,500 - £6,999.....	44	4.6	
£7,000 - £8,499.....	45	3.9	
£8,500 - £9,999.....	46	3.5	
£10,000 - £12,499.....	47	8.4	
£12,500 - £14,999.....	48	6.9	
£15,000 - £17,499.....	49	5.3	
£17,500 - £19,999.....	50	3.3	
£20,000 - £22,499.....	51	2.3	
£22,500 - £24,999.....	52	2.3	
£25,000 - £27,499.....	53	1.6	
£27,500 or over.....	54	3.5	
Refused.....	55	11.9	
Don't know.....	59	20.3	

F11 (世帯収入) [回答票22] では、お宅の収入は、ご家族全部あわせて、去年1年間でおおよそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答え下さい。

[VAR: INCOMEH] FAMILY INCOME

世帯収入

	1988. 10	
コード	N = 2265	カラム 2-11~12
200万円未満	81	5.7
200万円～400万円未満 . .	82	20.8
400万円～600万円未満 . .	83	22.7
600万円～800万円未満 . .	84	15.3
800万円～1000万円未満 . .	85	7.5
1000万円～1500万円未満 . .	86	4.5
1500万円～2000万円未満 . .	87	1.1
2000万円以上	88	0.8
わからない	89	21.5

F11 (世帯収入) [回答票22] では、お宅の収入は、ご家族全部あわせて、去年1年間でおおよそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答え下さい。

[VER: INCOMEH] FAMILY INCOME

世帯収入

	1988. 10	
コード	N = 1017	カラム 2-11~12
200万円未満	81	6.2
200万円～400万円未満 . .	82	18.7
400万円～600万円未満 . .	83	24.7
600万円～800万円未満 . .	84	14.3
800万円～1000万円未満 . .	85	9.4
1000万円～1500万円未満 . .	86	3.4
1500万円～2000万円未満 . .	87	1.6
2000万円以上	88	0.5
わからない	89	21.2

Q.917 (SHOW RESPONDENT CARD 9-3)

Would you please give me the letter of the group which best represents the total annual income, before taxes, of all the members of your immediate family living in your household?

[VAR: INCOMEH]]

TOTAL FAMILY INCOME

1988.10
CODE N=1563

COL.211-12

Under 5000\$	61	5.8
5000 ~	62	8.9
10000 ~	63	11.9
15000 ~	64	12.8
20000 ~	65	13.2
25000 ~	66	9.0
30000 ~	67	7.7
35000 ~	68	6.5
40000 ~	69	9.0
50000 ~	70	7.7
70000 ~	71	0.7
100000 ~	72	2.0

{VAR: - }
BLANK

1987. 10
CODE N=1000
BLANK 0 100. 0

COL. 13

{VAR: - }
BLANK

1987. 10
CODE N=1013
BLANK 0 100. 0

COL. 13

{VAR: - }
BLANK

1987. 10
CODE N=1043
BLANK 0 100. 0

COL. 13

{VAR: - } BLANK
空白

1988. 10
コード N=2265
BLANK 0 100. 0

カラム 2-13

{VAR: - } BLANK
空白

1988. 10
コード N=1017
BLANK 0 100. 0

カラム 2-13

{VAR: - }
BLANK

1988. 10
CODE N=1563
BLANK 0 100. 0

COL. 213

Q.31 214.

Zur staatlichen finanziellen Unterstützung von Familien ohne ausreichendes Einkommen gibt es unterschiedliche Meinungen. Die einen sagen, daß diese Unterstützung den Familien erst das Leben ermöglicht. Die anderen sagen, daß diesen Familien damit jeglicher Sinn für Verantwortung genommen wird. Welcher Meinung würden Sie sich eher anschließen?

[VAR: #4.81]

ATTITUDE TOWARDS GOVERNMENTAL ASSISTANCE

	CODE	1987.10 N=1000	COL.14
ermöglicht erst zu leben....1		57.5	
nimmt Verantwortung ab.....2		25.9	
sonstiges, und zwar:_____8		2.1	
weiß nicht,NA.....9		14.5	

Q.31

De quelle opinion vous sentez-vous le plus proche? Pour vous, faire prendre en charge par la collectivité les familles aux ressources insuffisantes...

[VAR: #4.81]

ATTITUDE TOWARDS GOVERNMENTAL ASSISTANCE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.14
cela leur donne la possibilité de vivre.....1		49.9	
cela leur enlève tout sens des responsabilités...2		35.1	
Autre réponse (préciser)_____8		8.9	
N.S.P.9		6.1	

SHOW CARD L

Q.31

Which of these opinions is closest to yours? When the state provides for families whose income is insufficient...?

[VAR: #4.81]

ATTITUDE TOWARDS GOVERNMENTAL ASSISTANCE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.14
It enables them to live....1		59.4	
It takes away their sense of responsibility.....2		29.1	
Other (WRITE IN)_____8		8.1	
Don't know.....9		3.3	

問 3 1 [カード18] 次の二つの意見のうち、どちらがあなたの意見に近いですか。

[VAR: #4.81] ATTITUDE TOWARDS GOVERNMENTAL ASSISTANCE

生活保護の考え方

- 1 収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒をみることは、その世帯に生活の道を与えることになる
- 2 収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒をみることは、その世帯から責任感を全く奪うことになる

1988. 10
コード N = 2265

カラム 2-14

その世帯に生きる道を与えること になる.....	1	53.0
その世帯から責任感を全く奪う ことになる.....	2	26.9
その他〔記入〕.....	8	1.9
D. K.	9	18.1

問 3 1 [カード18] 次の二つの意見のうち、どちらがあなたの意見に近いですか。

[VAR: #4.81] ATTITUDE TOWARDS GOVERNMENTAL ASSISTANCE

生活保護の考え方

- 1 収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒をみることは、その世帯に生活の道を与えることになる。
- 2 収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒をみることは、その世帯から責任感を全く奪うことになる

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-14

その世帯に生きる道を与えること になる.....	1	52.9
その世帯から責任感を全く奪う ことになる.....	2	25.8
その他〔記入〕.....	8	2.9
D. K.	9	18.5

Q.31 (HAND CARD 31)

Which of the opinions on this card comes closest to yours own? Just call off the letter, please, next to the phrase which best completes this statement: "When the state provides for families whose income is insufficient..."

[VAR: #4.81]

ATTITUDE TOWARDS GOVERNMENTAL ASSISTANCE

1988.10
CODE N=1563

COL.214

It enables them to live....1	46.5
It takes away their sense of responsibility.....2	42.4
Other (PLEASE SPECIFY) _____8	7.4
Don't know.....9	3.7

Q.32 215

Manche sagen, daß mit der Entwicklung der Wissenschaften und Technologie das Leben zwar bequemer wird, zugleich aber viel Menschlichkeit verlorengeht. Stimmen Sie dieser Meinung zu oder lehnen Sie sie ab?

[VAR: #7.1]

SCIENCE AND LOSS OF HUMAN FEELING

	CODE	1987.10 N=1000	COL.15
stimme zu.....	1	68.6	
lehne ab.....	2	14.5	
unentschieden.....	3	13.2	
weiß nicht,NA.....	9	3.7	

Q.32

Certains disent que le développement de la science et de la technologie facilite la vie, mais la rend de plus en plus inhumaine.

Etes-vous d'accord ou pas d'accord avec cette opinion?

[VAR: #7.1]

SCIENCE AND LOSS OF HUMAN FEELING

	CODE	1987.10 N=1013	COL.15
D'accord.....	1	60.6	
Pas d'accord.....	2	29.0	
Ne prend pas position.....	3	7.0	
N.S.P.	9	3.4	

Q.32

Some people say that with the development of science and technology life becomes more convenient, but at the same time a lot of human feeling is lost. Do you agree with this opinion or do you disagree?

[VAR: #7.1]

SCIENCE AND LOSS OF HUMAN FEELING

	CODE	1987.10 N=1043	COL.15
Agree.....	1	69.8	
Disagree.....	2	20.2	
Undecided/it depends.....	3	6.6	
Don't know.....	9	3.4	

問3 2 こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさが
なくなっていく」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

[VAR: #7.1] SCIENCE AND LOSS OF HUMAN FEELING
人間らしさはへるかコード 1988. 10
N = 2265

カラム 2-15

賛成〔人間らしさはへる〕 . . .	1	44.6
いちがいにはいえない	3	39.3
反対		
〔人間らしさ、不変、ふえる〕 .	2	9.9
その他〔記入〕	8	0.0
D. K.	9	6.1

問3 2 こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさが
なくなっていく」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

[VAR: #7.1] SCIENCE AND LOSS OF HUMAN FEELING
人間らしさはへるかコード 1988. 10
N = 1017

カラム 2-15

賛成〔人間らしさはへる〕 . . .	1	44.4
いちがいにはいえない	3	37.8
反対		
〔人間らしさ、不変、ふえる〕 .	2	11.9
その他〔記入〕	8	0.0
D. K.	9	5.9

Q.32

Some people say that with the development of science and
technology, life becomes more convenient, but at the same time a
lot of human feeling is lost. Do you agree with this opinion or do
you disagree?

[VAR: #7.1]

SCIENCE AND LOSS OF HUMAN FEELING

CODE 1988.10
N=1563

COL.215

Agree.....	1	69.0
Disagree.....	2	24.2
Undecided/it depends.....	3	5.6
Other (PLEASE SPECIFY)_____	8	0.1
Don't know.....	9	1.1

Q.33 216

Manche Leute meinen, daß man Kindern bei der Erziehung im Grundschulalter beibringen sollte, daß Geld eines der wichtigsten Dinge im Leben sei. Stimmen Sie dem zu oder lehnen Sie das ab?

[VAR: #4.5]

TEACHING CHILDREN MONEY IS IMPORTANT

	CODE	1987.10 N=1000	COL.16
stimme zu.....	1	26.2	
lehne ab.....	2	55.6	
unentschieden.....	3	15.1	
sonstiges, und zwar:_____	8	0.3	
weiß nicht,NA.....	9	2.8	

Q.33

Lorsque l'on a des enfants à l'âge de l'école primaire, certaines personnes pensent qu'il faut leur apprendre le plus tôt possible que l'argent est l'une des choses les plus importantes dans la vie. Etes-vous d'accord ou pas d'accord avec les personnes qui pensent cela?

[VAR: #4.5]

TEACHING CHILDREN MONEY IS IMPORTANT

	CODE	1987.10 N=1013	COL.16
D'accord.....	1	40.9	
Pas d'accord.....	2	53.0	
Ne prend pas position.....	3	2.9	
Autre réponse(préciser)_____	8	2.2	
N.S.P.	9	1.1	

Q.33

In bringing up children of primary school age some people think that they should be taught as early as possible that money is one of the most important things in life. Do you agree with this or not?

[VAR: #4.5]

TEACHING CHILDREN MONEY IS IMPORTANT

	CODE	1987.10 N=1043	COL.16
Agree.....	1	21.1	
Disagree.....	2	73.8	
Undecided/it depends.....	3	3.7	
Other(WRITE IN)_____	8	0.6	
Don't know.....	9	0.8	

- * 問 3 3 小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。
「小さいときから、お金は人にとって、最も大切なものの一つだと教えるのがよい」
というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

[VAR: #4.5] TEACHING CHILDREN MONEY IS IMPORTANT
子供に「金は大切」と教えるか

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 2 - 1 6
賛成	1	4 7 . 8	
反対	2	1 8 . 7	
いちがいにはいえない	3	3 0 . 7	
その他〔記入〕	8	0 . 1	
D. K.	9	2 . 7	

- * 問 3 3 小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。
「小さいときから、お金は人にとって、とても大切なものだと思えるのがよい」
というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

[VAR: #4.5] TEACHING CHILDREN MONEY IS IMPORTANT
子供に「金は大切」と教えるか

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 1 0 1 7	カラム 2 - 1 6
賛成	1	6 1 . 0	
反対	2	1 2 . 9	
いちがいにはいえない	3	2 3 . 0	
その他〔記入〕	8	0 . 2	
D. K.	9	2 . 9	

Q.33

In bringing up children of elementary school age some people think that they should be taught as early as possible that money is one of the most important things in life. Do you agree with this or not?

[VAR: #4.5]
TEACHING CHILDREN MONEY IS IMPORTANT

		1988.10	
CODE		N=1563	COL.216
Agree	1	16.6	
Disagree	2	78.4	
Undecided/it depends	3	4.1	
Other(PLEASE SPECIFY)	8	0.3	
Don't know	9	0.6	

Q.34 217.

Manche Leute meinen, wenn man hervorragende Politiker habe, sei es das Beste für ein Land, diesen Politikern alles zu überlassen, anstatt die Politik in der Bevölkerung zu diskutieren. Stimmen Sie dieser Meinung zu oder lehnen Sie sie ab?

[VAR: #8.1B]

LEAVE IT UP TO POLITICAL LEADERS

	CODE	1987.10 N=1000	COL.17
stimme zu.....	1	7.7	
lehne ab.....	2	73.4	
kommt darauf an.....	3	16.2	
weiß nicht,NA.....	9	2.7	

Q.34

Il y des gens qui disent que si l'on a des hommes politiques excellents, il vaut mieux, pour le bien du pays, leur faire entièrement confiance plutôt que de continuer à discuter politique. Etes-vous d'accord ou pas d'accord avec cette opinion?

[VAR: #8.1B]

LEAVE IT UP TO POLITICAL LEADERS

	CODE	1987.10 N=1013	COL.17
D'accord.....	1	37.9	
Pas d'accord.....	2	42.1	
Cela dépend.....	3	12.1	
N.S.P.	9	7.9	

Q.34

Some people say that if we get outstanding political leaders the best way to improve the country is to leave everything to them, rather than for people to discuss things amongst themselves. Do you agree with this or disagree?

[VAR: #8.1B]

LEAVE IT UP TO POLITICAL LEADERS

	CODE	1987.10 N=1043	COL.17
Agree.....	1	13.0	
Disagree.....	2	80.2	
Undecided/it depends.....	3	5.3	
Don't know.....	9	1.4	

* 問34 こういう意見があります。

「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人達にまかせる方がよい」
 というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

[VAR: #8.1B] LEAVE IT UP TO POLITICAL LEADERS
 政治家にまかせるか

コード 1988. 10
 N = 2265

カラム 2-17

賛成〔まかせる〕	1	13.1
反対		
〔まかせっきりはいけない〕	2	61.6
いちがいにはいえない	3	19.0
その他〔記入〕	8	0.1
D. K.	9	6.2

* 問34 こういう意見があります。

「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」
 というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

[VAR: #8.1B] LEAVE IT UP TO POLITICAL LEADERS
 政治家にまかせるか

コード 1988. 10
 N = 1017

カラム 2-17

賛成〔まかせる〕	1	12.0
反対		
〔まかせっきりはいけない〕	2	63.0
いちがいにはいえない	3	18.7
その他〔記入〕	8	0.2
D. K.	9	6.1

Q.34

Some people say that if we get outstanding political leaders, the best way to improve the country is for the people to leave everything to them, rather than for the people to discuss things among themselves. Do you agree with this, or disagree?

[VAR: #8.1B]
 LEAVE IT UP TO POLITICAL LEADERS

CODE 1988.10
 N=1563

COL.217

Agree.....	1	7.4
Disagree.....	2	88.2
Undecided/it depends.....	3	3.0
Other (PLEASE SPECIFY)_____	8	0.3
Don't know.....	9	1.2

[DECK 2 Cols.18]

Q35

Q.35 218.

Wenn Sie davon überzeugt sind, daß eine Sache richtig ist: Meinen Sie, daß Sie es durchführen sollten, auch wenn es gegen verbreitete Gebräuche verstößt - oder meinen Sie, daß Sie weniger leicht einen Fehler machen, wenn Sie den Gebräuchen folgen?

[VAR: #2.1]

CUSTOM VS. CONSCIENCE

	CODE	1987.10 N=1000	COL.18
durchführen.....	1	52.7	
den Gebräuchen folgen.....	2	16.9	
kommt darauf an.....	3	27.1	
sonstiges, und zwar:_____	8	0.1	
weiß nicht, NA.....	9	3.2	

Q.35

Si vous avez la conviction que quelque chose est juste, pensez-vous qu'il faut agir en conséquence, même si c'est contraire à l'usage ou bien pensez-vous qu'il vaut mieux se conformer à l'usage parce que c'est moins risqué?

[VAR: #2.1]

CUSTOM VS. CONSCIENCE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.18
Agir selon sa conviction...	1	75.2	
Se conformer à l'usage.....	2	14.6	
Cela dépend.....	3	5.9	
Autre réponse(préciser)_____	8	0.3	
N.S.P.	9	3.9	

Q.35

If you think a thing is right, do you think you should go ahead and do it even if it is contrary to usual custom, or do you think you are less apt to make a mistake if you follow custom?

[VAR: #2.1]

CUSTOM VS. CONSCIENCE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.18
Go ahead.....	1	69.1	
Follow custom.....	2	20.6	
Undecided/ it depends.....	3	8.3	
Other(WRITE IN)_____	8	0.3	
Don't know.....	9	1.6	

* 問35 あなたは、自分が正しいと思えば世間の慣習に反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間の慣習に、従った方がまちがいないと思いますか。

[VAR: #2.1] CUSTOM VS. CONSCIENCE

しきたりに従うか

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 2-18

おし通せ	1	19.2
従 え	2	25.7
場合による	3	52.0
その他〔記入〕	8	0.1
D. K.	9	3.0

* 問35 あなたは、自分が正しいと思えば世のしきたりに反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世のしきたりに、従った方がまちがいないと思いますか。

[VAR: #2.1] CUSTOM VS. CONSCIENCE

しきたりに従うか

コード 1988. 10
N = 1017

カラム 2-18

おし通せ	1	18.4
従 え	2	26.2
場合による	3	52.1
その他〔記入〕	8	0.3
D. K.	9	3.0

Q.35

If you think something is right, do you think you should go ahead and do it even if it is contrary to usual custom, or do you think you are less apt to make a mistake if you follow custom?

[VAR: #2.1]

CUSTOM VS. CONSCIENCE

CODE 1988.10
N=1563

COL.218

Go ahead even if contrary..1	69.9
Follow custom.....2	19.4
Undecided/ it depends.....3	9.5
Other (PLEASE SPECIFY) _____8	0.2
Don't know.....9	1.0

Q.36 219.

Manche meinen, daß nichts den Reichtum an menschlichen Gefühlen verringern kann - egal wie stark mechanisiert die Welt wird. Würden Sie dieser Meinung zustimmen oder nicht?

[VAR: #7.2]

MECHANIZATION AND HUMAN FEELING

	CODE	1987.10 N=1000	COL.19
stimme zu.....	1	20.8	
stimme nicht zu.....	2	52.7	
unentschieden.....	3	19.1	
weiß nicht,NA.....	9	7.4	

Q.36

Certains disent que, quelque mécanisé que le monde devienne, rien ne peut diminuer la richesse du coeur de l'homme.

Etes-vous d'accord ou pas d'accord avec cette opinion?

[VAR: #7.2]

MECHANIZATION AND HUMAN FEELING

	CODE	1987.10 N=1013	COL.19
D'accord.....	1	69.0	
Pas d'accord.....	2	22.1	
Ne prend pas position.....	3	4.6	
N.S.P.	9	4.2	

Q.36

Some people say that however mechanized the world gets nothing can reduce the richness of human feelings. Do you agree with this opinion or do you disagree?

[VAR: #7.2]

MECHANIZATION AND HUMAN FEELING

	CODE	1987.10 N=1043	COL.19
Agree.....	1	71.9	
Disagree.....	2	19.8	
Undecided/it depends.....	3	5.6	
Don't know.....	9	2.7	

問 3 6 こういう意見があります。
「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ（人間らしさ）はへりはしない」
というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

[VAR: #7.2] MECHANIZATION AND HUMAN FEELING
心の豊かさはへらないか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 1 9
反対〔へる〕	2	3 1.3
いちがいにはいえない	3	3 2.4
賛成〔へらない〕	1	2 9.6
その他〔記入〕	8	0.0
D. K.	9	6.6

問 3 6 こういう意見があります。
「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ（人間らしさ）はへりはしない」
というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

[VAR: #7.2] MECHANIZATION AND HUMAN FEELING
心の豊かさはへらないか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 2 - 1 9
反対〔へる〕	2	3 0.2
いちがいにはいえない	3	3 0.9
賛成〔へらない〕	1	3 2.4
その他〔記入〕	8	0.0
D. K.	9	6.6

Q.36

Some people say that no matter how mechanized the world gets, nothing can reduce the richness of human feelings. Do you agree with this opinion, or do you disagree?

[VAR: #7.2]
MECHANIZATION AND HUMAN FEELING

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.219
Agree.....1	76.1	
Disagree.....2	19.0	
Undecided/it depends.....3	3.5	
Other (PLEASE SPECIFY)_____8	0.1	
Don't know.....9	1.3	

Q.37 220.

Stimmen Sie der folgenden Aussage zu: "Das Zuhause ist der einzige Platz, wo man sich wohlfühlt und wo man ausspannen kann"?

[VAR: #4.30]

HOME IS RELAXING PLACE

	CODE	1987.10 N=1000	COL.20
ja.....	1	56.1	
nein.....	2	37.5	
sonstiges, und zwar: _____	8	2.0	
weiß nicht, NA.....	9	4.4	

Q.37

Etes-vous d'accord avec l'idée suivante: "La famille est le seul endroit où l'on se sente bien et détendu"?

[VAR: #4.30]

HOME IS RELAXING PLACE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.20
OUI.....	1	65.4	
NON.....	2	29.7	
Autre réponse (préciser) _____	8	3.3	
N.S.P.	9	1.6	

Q.37

Do you agree with the following statement: "Home is the only place where I can relax and feel good"?

[VAR: #4.30]

HOME IS RELAXING PLACE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.20
Yes.....	1	50.7	
No.....	2	48.0	
Other (WRITE IN) _____	8	0.4	
Don't know.....	9	0.9	

問37 [カード19] つぎのような考え方があります。
「家庭は、ここちよく、くつろげる、ただ1つの場所である」
というのですが、あなたはそう思いますか、そうは思いませんか。

[VAR: #4.30] HOME IS RELAXING PLACE
家庭はくつろぐ場所

	1988.10	
コード	N = 2265	カラム 2-20
そう思う.....1	80.3	
そうは思わない.....2	16.3	
その他(記入).....8	0.6	
D. K.9	2.8	

問37 [カード19] つぎのような考え方があります。
「家庭は、ここちよく、くつろげる、ただ1つの場所である」
というのですが、あなたはそう思いますか、そうは思いませんか。

[VAR: #4.30] HOME IS RELAXING PLACE
家庭はくつろぐ場所

	1988.10	
コード	N = 1017	カラム 2-20
そう思う.....1	78.5	
そうは思わない.....2	18.2	
その他(記入).....8	0.3	
D. K.9	3.0	

Q.37

Do you agree with the following statement: "Home is the only place where I can relax and feel good"?

[VAR: #4.30]
HOME IS RELAXING PLACE

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.220
Yes.....1	44.8	
No.....2	54.4	
Other(PLEASE SPECIFY).....8	0.1	
Don't know.....9	0.7	

Q.38 221.

Welche unter den folgenden Meinungen kommt Ihrer eigenen über die Ehe am nächsten?

[VAR: #4.32]

MARRIAGE IS PERMANENT

INT.: LISTE 11 vorlegen; nur eine Nennung!

	1987.10	
CODE	N=1000	COL.21
1	9.9	
2	36.5	
3	44.7	
weiß nicht, NA.....9	8.9	

LISTE 11

- 1 eine Ehe darf nie gelöst werden
- 2 eine Ehe darf nur aus schwerwiegenden Gründen gelöst werden
- 3 eine Ehe darf mit der Zustimmung der beiden Partner gelöst werden

Q.38

Parmi ces opinions, quelle est celle qui se rapproche le plus de la vôtre? (Montrer liste) - Le mariage est...

[VAR: #4.32]

MARRIAGE IS PERMANENT

	1987.10	
CODE	N=1013	COL.21
Une union indissoluble.....1	25.9	
Une union qui peut être dissoute dans des cas très graves.....2	33.3	
Une union qui peut être dissoute par simple accord des 2 parties.....3	37.4	
N.S.P.9	3.5	

SHOW CARD M

Q.38

From the answers on this card which of the following statements comes closest to your own opinion?

[VAR: #4.32]

MARRIAGE IS PERMANENT

	1987.10	
CODE	N=1043	COL.21
Marriage is permanent.....1	43.1	
Marriage may be broken only under serious circumstances.....2	39.3	
Marriage can be broken by simple agreement of the two partners.....3	16.6	
Don't know.....9	1.0	

問38 [カード20] つぎの3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

[VAR: #4.32] MARRIAGE IS PERMANENT
離婚すべきではないか

		1988. 10	
コード		N = 2265	カラム 2-21
離婚はすべきではない.....	1	35.4	
ひどい場合には、離婚してもよい	2	37.7	
二人の合意さえあれば、いつ離婚 してもよい.....	3	19.5	
その他〔記入〕.....	8	0.7	
D. K.	9	6.8	

問38 [カード20] つぎの3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

[VAR: #4.32] MARRIAGE IS PERMANENT
離婚すべきではないか

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 2-21
離婚はすべきではない.....	1	35.2	
ひどい場合には、離婚してもよい	2	38.5	
二人の合意さえあれば、いつ離婚 してもよい.....	3	19.0	
その他〔記入〕.....	8	0.6	
D. K.	9	6.7	

Q.38 (HAND CARD 38)

Which of the statements on this card comes closest to your own opinion about marriage? Just call off the letter, please.

[VAR: #4.32]
MARRIAGE IS PERMANENT

		1988.10	
CODE		N=1563	COL.221
Marriage is permanent.....	1	45.2	
Marriage may be broken only under serious circumstances.....	2	41.3	
Marriage can be broken by simple agreement of the two partners.....	3	12.2	
Don't know.....	9	1.3	

Q.39 222.

Wie ist Ihre Einstellung zur Arbeitsteilung im Haushalt und bei der Versorgung der Kinder? Sagen Sie mir das bitte anhand der Liste.

[VAR: #4.31]

HOUSEWORK AND CHILD CARE

INT.: LISTE 12 vorlegen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.22
das ist Sache der Frauen...1		12.4	
manche Arbeiten passen besser zu Frauen.....2		35.0	
die ganze Arbeit sollte ohne Unterschied zwischen Männern und Frauen geteilt werden.....3		48.3	
sonstiges, und zwar:_____8		2.9	
weiß nicht,NA.....9		1.4	

Q.39

Pensez-vous que dans les travaux de ménage et les soins des enfants... (Montrer liste)

[VAR: #4.31]

HOUSEWORK AND CHILD CARE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.22
toutes les tâches incombent à la femme.....1		4.4	
certaines tâches.....2		25.4	
incombent plutôt à la femme toutes les tâches doivent indifféremment être accomplies par l'homme et par la femme....3		68.6	
Autre réponse(préciser)_____8		1.1	
N.S.P.9		0.5	

SHOW CARD N

Q.39

From the answers on this card what do you think about housework and child care?

[VAR: #4.31]

HOUSEWORK AND CHILD CARE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.22
They are women's work.....1		12.3	
Some of the work is more suited to women.....2		34.1	
All of the work should be divided between men and women without differentiation....3		51.2	
Other(WRITE IN)_____8		1.9	
Don't know.....9		0.5	

特別推進研究(1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

* 問 3 9 [カード 2 1] 家事や子供の世話について、どうお考えですか。

[VAR: #4.31] HOUSEWORK AND CHILD CARE
家事や子供の世話

		1 9 8 8. 1 0	
	コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 2 2
すべてが女性の仕事である . . .	1	1 3. 6	
いくつかは女性の仕事である . .	2	5 3. 7	
すべての仕事は、男性、女性の区			
別なくやるべきだ	3	2 8. 3	
その他〔記入〕	8	0. 8	
D. K.	9	3. 5	

* 問 3 9 [カード 2 1] 家事や子供の世話について、どうお考えですか。

[VAR: #4.31] HOUSEWORK AND CHILD CARE
家事や子供の世話

		1 9 8 8. 1 0	
	コード	N = 1 0 1 7	カラム 2 - 2 2
すべてが女性の仕事である . . .	1	1 4. 7	
いくつかは女性の仕事である . .	2	6 1. 0	
すべての仕事は、男性と女性とで			
公平に分担すべきである	3	2 0. 9	
その他〔記入〕	8	1. 0	
D. K.	9	2. 4	

Q.39 (HAND CARD 39)

Which of the statements on this card comes closest to your own opinion about housework and child care? Just call off the letter, please.

[VAR: #4.31]
HOUSEWORK AND CHILD CARE

		1988.10	
	CODE	N=1563	COL.222
They are women's work.....1		6.3	
Some of the work is more			
suited to women.....2		33.1	
All of the work should be			
divided between men and women			
without differentiation....3		59.1	
Don't know.....9		1.5	

[DECK 2 Cols.23]

Q40

Q.40 223.

Stellen Sie sich vor, ein Kind kommt nach Hause und erzählt, es habe gehört, daß sein Lehrer etwas Schlechtes getan habe, und dieses Gerücht ist wahr. Halten Sie es für besser, wenn die Eltern dem Kind sagen, das Gerücht sei wahr - oder ist es besser, das Gerücht abzuleugnen?

[VAR: #4.4]

RUMOR ABOUT TEACHER

	CODE	1987.10 N=1000	COL.23
sagen, das Gerücht sei			
wahr.....1		58.3	
das Gerücht ableugnen.....2		18.8	
sonstiges, und zwar:_____8		4.8	
weiß nicht, NA.....9		18.1	

Q.40

Supposons qu'en rentrant de l'école, un enfant d'une dizaine d'années raconte à ses parents qu'il a entendu dire que son maître d'école a fait quelque chose de mal. Et les parents savent que c'est vrai. Vaut-il mieux, à votre avis, dire à l'enfant que c'est vrai ou ne pas le dire?

[VAR: #4.4]

RUMOR ABOUT TEACHER

	CODE	1987.10 N=1013	COL.23
Dire que c'est vrai.....1		64.2	
Ne pas dire que c'est vrai.2		21.4	
Autre réponse(préciser)_____8		8.1	
N.S.P.9		6.3	

Q.40

Suppose that a child comes home and says he has heard a rumour that his teacher had done something to get himself into trouble. Suppose that the parent knows this is true. Do you think it is better for the parent to tell the child that it is true, or to deny it?

[VAR: #4.4]

RUMOR ABOUT TEACHER

	CODE	1987.10 N=1043	COL.23
Tell the truth.....1		74.9	
Deny it.....2		8.3	
Other(WRITE IN)_____8		11.6	
Don't know.....9		5.2	

問40 「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、
親はそれが本当であることを知っている場合、子供には、
「そんなことはない」
といった方がよいと思いますか、それとも
「それはほんとうだ」
といった方がよいと思いますか。

[VAR: #4.4] RUMOR ABOUT TEACHER
先生が悪いことをした

1988. 10
コード N = 2265

カラム 2-23

そんなことはないという.....	2	24.6
ほんとうだという.....	1	55.5
その他〔記入〕.....	8	3.8
D. K.	9	16.2

問40 「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、
親はそれが本当であることを知っている場合、子供には、
「そんなことはない」
といった方がよいと思いますか、それとも
「それはほんとうだ」
といった方がよいと思いますか。

[VAR: #4.4 .] RUMOR ABOUT TEACHER
先生が悪いことをした

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-23

そんなことはないという.....	2	24.2
ほんとうだという.....	1	55.2
その他〔記入〕.....	8	4.6
D. K.	9	16.0

Q.40

Suppose that a child comes home and says that he has heard a rumor that his teacher had done something to get himself into trouble, and suppose that the parent knows this to be true. Do you think it is better for the parent to tell the child the truth, or to deny it?

[VAR: #4.4]
RUMOR ABOUT TEACHER

1988.10
CODE N=1563

COL.223

Tell the truth.....	1	90.3
Deny it.....	2	2.7
Other (PLEASE SPECIFY).....	8	3.8
Don't know.....	9	3.1

Q.41 224.

Stellen Sie sich die folgende Situation vor: Herr A hat seine Eltern als Kleines Kind verloren und ist von Herrn B, einem netten Nachbarn, großgezogen worden. Herr B hat ihm eine gute Erziehung gegeben und ihn studieren lassen. Und jetzt ist Herr A der Präsident einer Firma geworden.

Eines Tages bekommt er ein Telegramm, in dem steht, daß Herr B, der ihn großgezogen hat, lebensgefährlich erkrankt sei, und er gebeten wird, sofort zu kommen. Dieses Telegramm erreicht ihn gerade zu dem Zeitpunkt, als er auf dem Weg zu einer wichtigen Sitzung ist, in der darüber entschieden wird, ob seine Firma bankrott machen wird oder nicht.

Was soll er tun? Sagen Sie es mir bitte anhand der Liste.

[VAR: #5.1]

BENEFactor ON DEATH-BED

INT.: LISTE 13 vorlegen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.24
die Firma sich selbst überlassen und zu Herrn B fahren.....1		58.0	
an der Sitzung teilnehmen, so besorgt er auch um Herrn B sein mag.....2		22.2	
sonstiges, und zwar:_____8		4.6	
weiß nicht, NA.....9		15.2	

Q.41

Imaginons la situation suivante:

Monsieur A qui est devenu orphelin quand il était enfant a été élevé par un voisin secourable, Monsieur B, qui lui a fait faire de bonnes études et l'a envoyé à l'université. Maintenant, Monsieur A est président d'une société.

Un jour, il reçoit un télégramme lui annonçant que Monsieur B qui l'a élevé est sérieusement malade et lui demande de revenir tout de suite auprès de lui.

Le télégramme arrive au moment où Monsieur A doit se rendre à une réunion importante où va se décider la faillite ou la survie de sa société.

Que doit faire Monsieur A, à votre avis? (Montrer liste)

[VAR: #5.1]

BENEFactor ON DEATH-BED

	CODE	1987.10 N=1013	COL.24
Laisser tout et se rendre immédiatement chez Monsieur B.....1		62.6	
Aller à sa réunion, quelle que soit son inquiétude pour Monsieur B.2		22.8	
Autre réponse (préciser)_____8		7.2	
N.S.P.9		7.4	

SHOW CARD O

Q.41

Imagine this situation. John was orphaned at an early age and was brought up by a kind neighbour who gave him a good education and sent him to a university. Now John has become the managing director of a company. One day he gets a telegram saying that the neighbour who brought him up is seriously ill and asking him to come at once. The telegram arrives as he is going in to an important meeting to decide whether his company is to go bankrupt or to survive. Which of the following things do you think he should do?

[VAR: #5.1]

BENEFACTOR ON DEATH-BED

	1987.10	
	N=1043	COL.24
CODE		
Leave everything and go back home.....1	62.4	
However worried he might be he should go to the meeting.....2	27.4	
Other (WRITE IN) _____ 8	4.7	
Don't know.....9	5.5	

問 4 1 [カード 2 2] 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。

ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受け取ったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。

あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。

よいと思う方を1つだけえらんで下さい。

[VAR: #5.1] BENEFACOR ON DEATH-BED

恩人がキトクの時

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 2 4

なにをにおいても、すぐ故郷に帰る	1	4 5 . 7
故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する	2	3 7 . 7
その他〔記入〕	8	1 . 3
D. K.	9	1 5 . 4

問 4 1 [カード 2 2] 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。

ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受け取ったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。

あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。

よいと思う方を1つだけえらんで下さい。

[VAR: #5.1] BENEFACOR ON DEATH-BED

恩人がキトクの時

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 2 - 2 4

なにをにおいても、すぐ故郷に帰る	1	4 2 . 7
故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する	2	4 0 . 5
その他〔記入〕	8	1 . 5
D. K.	9	1 5 . 3

[DECK 2 Cols.24]
Q.41

Q.41 (HAND CARD 41)

Imagine this situation. Mr.A. was orphaned at an early age and was brought up by Mr.B, a kind neighbor. Mr.B gave him a good education, sent him to a university, and now Mr.A has become the president of a company. One day he gets a telegram saying that Mr.B who brought him up, is seriously ill and asking if he would come at once. This telegram arrives as he is leaving to attend an important meeting which will decide whether his firm is to go bankrupt or to survive. Which of the following do you think he should do? Just call off the letter, please.

[VAR: #5.1]
BENEFACTOR ON DEATH-BED

1988.10
CODE N=1563 COL.224

Leave everything and		
go back home.....1	66.3	
However worried he might		
be about Mr.B,he should go		
to the meeting.....2	24.4	
Other (PLEASE SPECIFY)_____8	5.0	
Don't know.....9	4.4	

Q.42 225.

In der letzten Frage hatten wir angenommen, Herr B habe Herrn A als Waisen aufgenommen und aufgezogen. Nehmen wir nun einmal an, es wäre sein richtiger Vater, der auf dem Sterbebett läge. Welche Antwort würden Sie dann wählen?

[VAR: #5.1B]

REAL FATHER ON DEATH-BED

INT.: LISTE 14 vorlegen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.25
	1	61.5	
	2	18.3	
sonstiges, und zwar: _____	8	4.5	
weiß nicht, NA.....	9	15.7	

LISTE 14

- 1 Firma sich selbst überlassen und heimfahren
- 2 an der Sitzung teilnehmen, so besorgt er auch um seinen Vater sein mag

Q.42

Maintenant, supposons que Monsieur B soit le vrai père de Monsieur A. Que doit faire Monsieur A, à votre avis? (Montrer liste)

[VAR: #5.1B]

REAL FATHER ON DEATH-BED

	CODE	1987.10 N=1013	COL.25
Laisser tout et se rendre immédiatement chez son père1		65.6	
Aller à sa réunion, quelle que soit son inquiétude pour son père...2		20.0	
Autre réponse (préciser) _____	8	6.8	
N.S.P.	9	7.5	

SHOW CARD O

Q.42

Instead of being a kind neighbour suppose it was his real father who was on his death-bed. What should John do then?

[VAR: #5.1B]

REAL FATHER ON DEATH-BED

	CODE	1987.10 N=1043	COL.25
Leave everything and go back home.....1		73.5	
However worried he might be he should go to the meeting.....2		18.7	
Other (WRITE IN) _____	8	4.1	
Don't know.....	9	3.6	

問4 2 [カード22] いまの質問では、恩人が死にそうなときを、うかがいましたが、もしキトク
なのが恩人ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか、どちらか
えらんで下さい。

[VAR: #5.1B] REAL FATHER ON DEATH-BED
親がキトクの時

1988. 10
コード N = 2265 カラム 2-25

なにをにおいても、すぐ故郷に帰る	1	45.4
故郷のことが気になっても、大事		
な会議に出席する	2	40.6
その他(記入)	8	1.2
D. K.	9	12.8

問4 2 [カード22] いまの質問では、恩人が死にそうなときを、うかがいましたが、もしキトク
なのが恩人ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか、どちらか
えらんで下さい。

[VAR: #5.1B] REAL FATHER ON DEATH-BED
親がキトクの時

1988. 10
コード N = 1017 カラム 2-25

なにをにおいても、すぐ故郷に帰る	1	47.2
故郷のことが気になっても、大事		
な会議に出席する	2	39.0
その他(記入)	8	0.9
D. K.	9	12.9

Q.42 (HAND CARD 42)

The last question supposed that Mr. B had taken him in as an orphan
in his youth and brought him up. Suppose that it was his real
father who was seriously ill. Which would have been your answer
then?

[VAR: #5.1B]
REAL FATHER ON DEATH-BED

1988.10
CODE N=1563 COL.225

Leave everything and		
go back home.....1	64.4	
However worried he might		
be about his father,he		
should go to the meeting...2	25.7	
Other(PLEASE SPECIFY)_____8	4.7	
Don't know.....9	5.2	

Q.43 226.

Auf dieser Liste stehen drei Meinungen über Mensch und Natur.
Welche von ihnen ist Ihrer Ansicht nach der Wahrheit am nächsten?

[VAR: #2.5]

MAN AND NATURE

INT.: LISTE 15 vorlegen, nur eine Nennung!

	CODE	1987.10 N=1000	COL.26
	1	36.8	
	2	46.6	
	3	6.7	
sonstiges, und zwar: _____	8	1.4	
weiß nicht, NA.....	9	8.5	

LISTE 15

- 1 um glücklich zu werden, muß sich der Mensch der Natur unterordnen
- 2 um glücklich zu werden, muß der Mensch sich die Natur zunutze machen
- 3 um glücklich zu werden, muß der Mensch die Natur erobern

Q.43

Dans ses rapports avec la nature, l'homme peut prendre l'une ou l'autre des attitudes suivantes. Quelle est, à votre avis, celle des trois qu'il doit prendre afin de vivre heureux?
(Montrer liste)

[VAR: #2.5]

MAN AND NATURE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.26
L'homme doit se soumettre à la nature.....	1	22.0	
L'homme doit se servir de la nature.....	2	66.0	
L'homme doit dominer la nature.....	3	6.4	
Autre réponse(préciser) _____	8	2.5	
N.S.P.	9	3.1	

SHOW CARD P

Q.43

Here are three opinions about man and nature. Which one of these do you think is closest to the truth?

[VAR: #2.5]

MAN AND NATURE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.26
In order to be happy man must follow nature.....1		22.5	
In order to be happy man must make use of nature....2		67.1	
In order to be happy man must conquer nature.....3		4.5	
Other (WRITE IN) _____8		0.7	
Don't know.....9		5.2	

問 4 3 [カード 2 3] 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち
真実に近い(ほんとうのことに近い)と思うものを、1つだけ選んでください。

[VAR: #2.5] MAN AND NATURE

自然と人間との関係

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 2 6

人間が幸福になるためには、自然		
に従わなければならない・・・	1	3 6 . 6
人間が幸福になるためには、自然		
を利用しなければならない・・・	2	4 7 . 9
人間が幸福になるためには、自然		
を征服していかななければならない	3	5 . 3
その他〔記入〕・・・	8	0 . 7
D. K.	9	9 . 5

問 4 3 [カード 2 3] 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち
真実に近い(ほんとうのことに近い)と思うものを、1つだけ選んでください。

[VAR: #2.5] MAN AND NATURE

自然と人間との関係

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 2 - 2 6

人間が幸福になるためには、自然		
に従わなければならない・・・	1	3 6 . 6
人間が幸福になるためには、自然		
を利用しなければならない・・・	2	4 6 . 4
人間が幸福になるためには、自然		
を征服していかななければならない	3	6 . 8
その他〔記入〕・・・	8	0 . 7
D. K.	9	9 . 5

Q.43 (HAND CARD 43)

Here are three opinions about man and nature. Which one of these do you think is closest to the truth? Just give me the letter.

[VAR: #2.5]

MAN AND NATURE

CODE	1988.10 N=1563
------	-------------------

COL.226

In order to be happy,man must follow nature.....1	25.5
In order to be happy,man must make use of nature....2	66.2
In order to be happy,man must conquer nature.....3	4.5
Other (PLEASE SPECIFY) _____ 8	1.0
Don't know.....9	2.8

Q.44 227.

Bitte wählen Sie unter den folgenden Meinungen diejenige aus, der Sie am meisten zustimmen.

[VAR: #7.4]

IMPROVE THE COUNTRY OR MAKE PEOPLE HAPPY

INT.: LISTE 16 vorlegen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.27
erst wenn die Menschen glücklicher werden, wird auch der Staat als Ganzes besser.....1		23.0	
erst wenn der Staat als Ganzes besser wird, werden auch die Menschen glücklicher.....2		37.4	
daß der Staat besser wird und die Menschen glücklicher werden, ist einund dasselbe.....3		28.4	
weiß nicht,NA.....9		11.2	

Q.44

Parmi ces opinions, quelle est celle qui correspond le mieux à ce que vous pensez?
(Montrer liste)

[VAR: #7.4]

IMPROVE THE COUNTRY OR MAKE PEOPLE HAPPY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.27
Un pays ne peut progresser dans son ensemble que si les individus sont heureux.....1		23.8	
Si un pays progresse dans son ensemble, alors et alors seulement les individus peuvent devenir heureux....2		23.3	
Faire progresser un pays et rendre les individus heureux, c'est une seule et même chose.....3		46.8	
N.S.P.9		6.1	

SHOW CARD Q

Q.44

Please choose from these statements the one with which you agree most?

[VAR: #7.4]

IMPROVE THE COUNTRY OR MAKE PEOPLE HAPPY

	1987.10	
CODE	N=1043	COL.27
If people are made happy		
then and only then will the		
country as a whole improve.1	24.8	
If the country as a whole		
improves then and only then		
can people be made happy...2	31.6	
Improving the country and		
making people happy are		
the same thing.....3	37.7	
Don't know.....9	5.8	

*問 4 4 [カード 2 4] あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください。

[VAR: #7.4] IMPROVE THE COUNTRY OR MAKE PEOPLE HAPPY

国と個人の幸福

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 2 7

個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる	1	3 4 . 0
国がよくなって、はじめて個人が幸福になる	2	2 2 . 4
国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである	3	3 6 . 0
その他〔記入〕	8	0 . 2
D. K.	9	7 . 3

*問 4 4 [カード 2 4] あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください。

[VAR: #7.4] IMPROVE THE COUNTRY OR MAKE PEOPLE HAPPY

国と個人の幸福

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 2 - 2 7

個人が幸福になって、はじめて日本全体がよくなる	1	3 2 . 6
日本がよくなって、はじめて個人が幸福になる	2	2 2 . 1
日本がよくなることも、個人が幸福になることも同じである . . .	3	3 7 . 5
その他〔記入〕	8	0 . 0
D. K.	9	7 . 8

Q.44 (HAND CARD 44)

Please choose from among the following statements the one with which you agree most. Just the letter, please.

[VAR: #7.4]

IMPROVE THE COUNTRY OR MAKE PEOPLE HAPPY

1988.10
CODE N=1563

COL.227

If individuals are made happy, then and only then will the country as a whole improve.....1	27.1
If the country as a whole improves, then and only then can individuals be made happy...2	28.3
Improving the country and making individuals happy are the same thing.....3	36.7
Other (PLEASE SPECIFY) _____8	2.3
Don't know.....9	5.6

Q.45 228-33.

Wenn man Sie bitten würde, unter den folgenden Dingen zwei auszuwählen, welche beiden wären Ihnen die wichtigsten?

INT.: LISTE 17 vorlegen; nur zwei Nennungen!

ja nein

- a) Liebe und Respekt zu.....1.....0
den Eltern
- b) Dankbarkeit gegenüber....1.....0
seinen Wohltätern
- c) Achtung vor den Rechten..1.....0
des Einzelnen
- d) Achtung vor der Freiheit.1.....0
des Einzelnen
- e) sonstiges.....1.....0
- f) weiß nicht.....1.....0

a) Liebe und Respekt zu den Eltern

[VAR: #5.1D1]

IMPORTANT THINGS: FILIAL PIETY

	1987.10	
CODE	N=1000	COL.28
ja.....1	55.0	
nein.....0	45.0	

b) Dankbarkeit gegenüber seinen Wohltätern

[VAR: #5.1D2]

IMPORTANT THINGS: REPAYING OBLIGATIONS

	1987.10	
CODE	N=1000	COL.29
ja.....1	15.0	
nein.....0	85.0	

c) Achtung vor den Rechten des Einzelnen

[VAR: #5.1D3]

IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL RIGHTS

	1987.10	
CODE	N=1000	COL.30
ja.....1	65.9	
nein.....0	34.1	

d) Achtung vor der Freiheit des Einzelnen

[VAR: #5.1D4]

IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL FREEDOM

	1987.10	
CODE	N=1000	COL.31
ja.....1	57.4	
nein.....0	42.6	

Q.45 Continued

e) sonstiges

[VAR: #5.1D5]

IMPORTANT THINGS: OTHER ANSWERS

	CODE	1987.10	
		N=1000	COL.32
ja.....	1	1.8	
nein.....	0	98.2	

f) weiß nicht

[VAR: #5.1D6]

IMPORTANT THINGS: D.K

	CODE	1987.10	
		N=1000	COL.33
ja.....	1	2.3	
nein.....	0	97.7	

Q.45

Parmi les 4 règles qui figurent sur cette liste, quelles sont les 2 plus importantes à vos yeux?

(Montrer liste - Obtenir 2 réponses OUI)

	OUI	NON	
a) Piété filiale et respect de vos parents.1.....0			COL.28
b) S'acquitter de ses devoirs envers.....1.....0			COL.29
ceux qui vous ont aidé			
c) Respecter les droits de l'individu.....1.....0			COL.30
d) Ressembler la liberté de l'individu.....1.....0			COL.31
Autre réponse.....1.....0			COL.32
N.S.P.1.....0			COL.33

a) Piété filiale et respect de vos parents

[VAR: #5.1D1]

IMPORTANT THINGS: FILIAL PIETY

	CODE	1987.10	
		N=1013	COL.28
OUI.....1		52.4	
NON.....0		47.6	

b) S'acquitter de ses devoirs envers ceux qui vous ont aidé

[VAR: #5.1D2]

IMPORTANT THINGS: REPAYING OBLIGATIONS

	CODE	1987.10	
		N=1013	COL.29
OUI.....1		38.2	
NON.....0		61.8	

c) Respecter les droits de l'individu

[VAR: #5.1D3]

IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL RIGHTS

	CODE	1987.10	
		N=1013	COL.30
OUI.....1		47.8	
NON.....0		52.2	

d) Ressembler la liberté de l'individu

[VAR: #5.1D4]

IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL FREEDOM

	CODE	1987.10	
		N=1013	COL.31
OUI.....1		57.7	
NON.....0		42.3	

Q.45 Continued

e) Autre réponse

[VAR: #5.1D5]

IMPORTANT THINGS: OTHER ANSWERS

	CODE	1987.10	
		N=1013	COL.32
OUI.....	1	0.3	
NON.....	0	99.7	

f) N.S.P

[VAR: #5.1D6]

IMPORTANT THINGS: D.K

	CODE	1987.10	
		N=1013	COL.33
OUI.....	1	2.1	
NON.....	0	97.9	

SHOW CARD R

Q.45

If you were asked to choose two out of the following which two would you choose?

CODE TWO ANSWERS	Yes	No	COL.
Filial piety/respect for parents.....	1	0	(28)
Repaying people who have helped you in the past.....	1	0	(29)
Respect for the rights of the individual.....	1	0	(30)
Respect for the freedom of the individual.....	1	0	(31)
Other answers (WRITE IN)	1	0	(32)
Don't know.....	1	0	(33)

A.Filial piety/respect for parents

[VAR: #5.1D1]

IMPORTANT THINGS: FILIAL PIETY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.28
Yes.....	1	63.4	
No.....	0	36.6	

B.Repaying people who have helped you in the past

[VAR: #5.1D2]

IMPORTANT THINGS: REPAYING OBLIGATIONS

	CODE	1987.10 N=1043	COL.29
Yes.....	1	49.6	
No.....	0	50.4	

C.Respect for the rights of the individual

[VAR: #5.1D3]

IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL RIGHTS

	CODE	1987.10 N=1043	COL.30
Yes.....	1	46.4	
No.....	0	53.6	

D.Respect for the freedom of the individual

[VAR: #5.1D4]

IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL FREEDOM

	CODE	1987.10 N=1043	COL.31
Yes.....	1	36.1	
No.....	0	63.9	

Q.45 Continued

E.Other answers

[VAR: #5.1D5]

IMPORTANT THINGS: OTHER ANSWERS

	CODE	1987.10 N=1043	COL.32
Yes.....	1	1.4	
No.....	0	98.6	

F.Don't know

[VAR: #5.1D6]

IMPORTANT THINGS: D.K

	CODE	1987.10 N=1043	COL.33
Yes.....	1	1.4	
No.....	0	98.6	

* 問 4 5 [カード 2 5] つぎのうち、大切なことを 2 つあげてくれといわれたら、どれにしますか。

	あり	なし
a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬	1	0
b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する . . .	1	0
c. 個人の権利を尊重すること	1	0
d. 個人の自由を尊重すること	1	0
5. その他 (記入)		
6. D. K.		

[上の質問では、2つの項目をあげてもらうこと]

a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬
[VAR: #5.1D1] IMPORTANT THINGS: FILIAL PIETY
大切な道徳—親孝行をすること

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 2 8
あり	1 7 7.7	
なし	0 2 2.3	

b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する
[VAR: #5.1D2] IMPORTANT THINGS: REPAYING OBLIGATIONS
大切な道徳—恩返しをすること

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 2 9
あり	1 5 6.8	
なし	0 4 3.2	

c. 個人の権利を尊重すること
[VAR: #5.1D3] IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL RIGHTS
大切な道徳—個人の権利を尊重すること

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 3 0
あり	1 2 5.2	
なし	0 7 4.8	

d. 個人の自由を尊重すること
[VAR: #5.1D4] IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL FREEDOM
大切な道徳—自由を尊重すること

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 3 1
あり	1 3 2.8	
なし	0 6 7.2	

[つづく]

* 問 4 5 [つづき]

e. その他

[VAR: #5.1D5] IMPORTANT THINGS: OTHER ANSWERS

大切な道徳—その他

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 3 2

なし 0 1 0 0 . 0

f. D. K.

[VAR: #5.1D6] IMPORTANT THINGS: D.K.

大切な道徳—D. K.

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 3 3

なし 0 1 0 0 . 0

* 問45 [カード25] つぎのうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか。

	あり	なし
a. 親孝行をすること	1	0
b. 恩返しをすること	1	0
c. 個人の権利を尊重すること	1	0
d. 自由を尊重すること	1	0
5. その他(記入)		
6. D. K.		

[上の質問では、2つの項目をあげてもらふこと]

a. 親孝行をすること

[VAR: #5.1D1] IMPORTANT THINGS: FILIAL PIETY

大切な道徳－親孝行すること

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-28

あり	1	73.2
なし	0	26.8

b. 恩返しをすること

[VAR: #5.1D2] IMPORTANT THINGS: REPAYING OBLIGATIONS

大切な道徳－恩返しをすること

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-29

あり	1	45.0
なし	0	55.0

c. 個人の権利を尊重すること

[VAR: #5.1D3] IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL RIGHTS

大切な道徳－個人の権利を尊重すること

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-30

あり	1	37.7
なし	0	62.3

d. 自由を尊重すること

[VAR: #5.1D4] IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL FREEDOM

大切な道徳－自由を尊重すること

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-31

あり	1	36.6
なし	0	63.4

[つづく]

*問45〔つづき〕

e. その他
[VAR: #5.1D5] IMPORTANT THINGS: OTHER ANSWERS
大切な道徳-その他

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 2-32
なし.....	0	100.0	

f. D. K.
[VAR: #5.1D6] IMPORTANT THINGS: D.K.
大切な道徳-D. K.

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 2-33
なし.....	0	100.0	

Q.45 (HAND CARD 45)

If you were asked to choose the two most important items listed on this card, which two would you choose? Just call off the letter.

CODE TWO ANSWERS

- A. Respect for parents
 B. Repaying people who have helped you in the past
 C. Respect for the rights of the individual
 D. Respect for the freedom of the individual
 Other answers

A. Respect for parents

[VAR: #5.1D1]

IMPORTANT THINGS: FILIAL PIETY

1988.10
 CODE N=1563

COL.228

Respect for parents.....1 69.4
 Undesignated.....0 30.6

B. Repaying people who have helped you in the past

[VAR: #5.1D2]

IMPORTANT THINGS: REPAYING OBLIGATIONS

1988.10
 CODE N=1563

COL.229

Repaying people who have helped
 you in the past.....1 27.6
 Undesignated.....0 72.4

C. Respect for the rights of the individual

[VAR: #5.1D3]

IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL RIGHTS

1988.10
 CODE N=1563

COL.230

Respect for the rights of the
 individual.....1 62.3
 Undesignated.....0 37.7

D. Respect for the freedom of the individual

[VAR: #5.1D4]

IMPORTANT THINGS: RESPECT FOR INDIVIDUAL FREEDOM

1988.10
 CODE N=1563

COL.231

Respect for the freedom of the
 individual.....1 33.1
 Undesignated.....0 66.9

Q.45 Continued

E. Other answers

[VAR: #5.1D5]

IMPORTANT THINGS: OTHER ANSWERS

	1988.10	
	N=1563	COL.232
Others.....1	0.5	
Undesignated.....0	99.5	

F. D.K.

[VAR: #5.1D6]

IMPORTANT THINGS: D.K.

	1988.10	
	N=1563	COL.233
D.K.....0	100.0	

Q.46 236.

Wen halten Sie für den besseren Menschen:

[VAR: #5.6H]

DESIRABLE PERSON: EFFICIENT VERSUS FRIENDLY

INT.: LISTE 18 vorlegen und gleichzeitig vorlesen!

	CODE	1987.10 N=1000	COL.34
Herrn A, der freundlich ist und auf dessen Hilfe andere Menschen rechnen können, der aber kein tüchtiger Arbeiter ist?....1		77.9	
Herrn B, der ein tüchtiger Arbeiter ist, dem aber die Sorgen und Nöte der anderen gleichgültig sind?.....2		12.6	
weiß nicht, NA.....9		9.5	

Q.46

Des 2 personnages suivants, quel est celui que vous préféreriez
comme collègue de travail?
(Montrer liste)

[VAR: #5.6H]

DESIRABLE PERSON: EFFICIENT VERSUS FRIENDLY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.34
Monsieur S qui est amical et sur l'aide de qui on peut compter en cas de besoin mais qui n'est pas un travailleur très efficace..1		62.5	
Monsieur T qui est un travailleur efficace mais qui ne s'intéresse pas aux soucis et aux affaires des autres.....2		30.7	
N.S.P.9		6.8	

SHOW CARD S
 Q.46

Whom do you consider more desirable as a person?

[VAR: #5.6H]

DESIRABLE PERSON: EFFICIENT VERSUS FRIENDLY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.34
A person who is friendly and can be counted on to help others but is not an efficient worker.....1		84.7	
A person who is an efficient worker but who isn't interested in the worries and affairs of others?.....2		10.9	
Don't know.....9		4.4	

* 問 4 6 [カード 2 6] つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか。

[VAR: #5.6H] DESIRABLE PERSON : EFFICIENT VERSUS FRIENDLY
他人との仲か仕事か

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 3 4

他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事はあまりできない人	1	6 1 . 5
仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人	2	1 1 . 3
その他〔記入〕	8	4 . 3
D. K.	9	2 3 . 0

* 問 4 6 [カード 2 6] つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか。

[VAR: #5.6H] DESIRABLE PERSON : EFFICIENT VERSUS FRIENDLY
他人との仲か仕事か

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 2 - 3 4

他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事の上ではバツとしない人	1	6 2 . 9
仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人	2	1 0 . 3
その他〔記入〕	8	4 . 4
D. K.	9	2 2 . 3

Q.46 (HAND CARD 46)

Whom do you consider more desirable as a person?

[VAR: #5.6H]

DESIRABLE PERSON: EFFICIENT VERSUS FRIENDLY

	1988.10
CODE	N=1563

COL.234

Mr. S. who is friendly and can be counted on to help others but is not an efficient worker.....1	78.6
Mr. T. who is an efficient worker but is indifferent to the worries and affairs of others.....2	15.2
Other (PLEASE SPECIFY) _____8	2.1
Don't know.....9	4.0

Q.47 237.

Welchen der zwei folgenden Persönlichkeitstypen würden Sie bevorzugen?

[VAR: #2.2B]

CONSENSUS VERSUS OWN PRINCIPLE

INT.: LISTE 19 vorlegen und gleichzeitig vorlesen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.35
Jemanden, der auf vernunftbetonte Entscheidungen Wert legt, die aber seinen Grundsätzen folgen.....1		28.3	
Jemanden, der auf einen Kompromiss zwischen allen Beteiligten Wert legt.....2		62.4	
weiß nicht,NA.....9		9.3	

Q.47

Des deux types de personnes suivants, lequel préférez-vous?
(Montrer liste)

[VAR: #2.2B]

CONSENSUS VERSUS OWN PRINCIPLE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.35
Quelqu'un qui cherche surtout à prendre ses décisions selon des principes rationnels.....1		29.4	
Quelqu'un qui cherche surtout à maintenir une bonne ambiance.....2		65.7	
N.S.P.9		4.8	

SHOW CARD T

Q.47

Which of the following personality types do you like better?
(READ OUT)

[VAR: #2.2B]

CONSENSUS VERSUS OWN PRINCIPLE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.35
A:A person who thinks the most important thing is to follow his principles when making a decision...1		44.4	
B:A person who thinks the most important thing is to maintain harmony in his relations with others when making a decision.....2		52.1	
Don't know.....9		3.5	

* 問 4 7 (カード 2 7) 物事を決定する時に「一定の原則に従うこと」に重点をおく人と、「他人との調和をはかること」に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな“ひとがら”ですか。

(VAR: #2.2B) CONSENSUS VERSUS OWN PRINCIPLE
スジかまるるか

1 9 8 8. 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 3 5

物事を決定するときに一定の原則に従うことに重点をおく人 . . .	1	2 0 . 2
物事を決定するときに他人との調和をはかることに重点をおく人 .	2	6 8 . 3
その他	8	1 . 3
D. K.	9	1 0 . 3

* 問 4 7 (カード 2 7) 物事の「スジを通すこと」に重点をおく人と、物事を「まるくおさめること」に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな“ひとがら”ですか。

(VAR: #2.2B) CONSENSUS VERSUS OWN PRINCIPLE
スジかまるるか

1 9 8 8. 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 2 - 3 5

「スジを通すこと」に重点をおく人	1	3 6 . 9
「まるくおさめること」に重点をおく人	2	5 2 . 9
その他	8	2 . 5
D. K.	9	7 . 8

Q.47 (HAND CARD 47)

Which of the two people described on this card would you like best?
Just read off the letter.

(READ OUT)

[VAR: #2.2B]

CONSENSUS VERSUS OWN PRINCIPLE

1988.10

CODE N=1563

COL.235

A person who stresses his/her own principles rather than achieving a consensus among other group members.....1	47.6
A person who stresses the importance of achieving a consensus among other group members rather than maintaining his/her own principles.....2	47.1
Other (PLEASE SPECIFY) _____ 8	1.4
Don't know.....9	3.9

Q.48 238.

LISTE 20 vorlegen!

Einmal angenommen, Sie wären Direktor einer Firma. Die Firma entscheidet sich, einen zusätzlichen Mitarbeiter einzustellen und führt einen Einstellungs-Test durch, an dem auch ein Verwandter von Ihnen teilnimmt. Der Prüfungsleiter berichtet Ihnen anschließend, daß Ihr Verwandter den Test als Zweitbester bestanden habe und daß seiner Meinung nach sowohl der Kandidat mit dem besten Ergebnis als auch Ihr Verwandter für die Stelle gut geeignet seien. Er fragt Sie, wen die Firma einstellen soll. Wen würden Sie in diesem Fall einstellen...

[VAR: #5.1C1]

EMPLOYMENT EXAMINATION: RELATIVE

INT.: bitte vorlesen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.36
den Kandidat mit dem			
besten Ergebnis oder.....1		44.5	
Ihren Verwandten?.....2		39.8	
sontiges, und zwar:_____8		2.1	
weiß nicht, NA.....9		13.6	

Q.48

Supposons que vous soyez le directeur d'une société. La société cherche à recruter et organise des examens d'embauche. Parmi les candidats, il y a quelqu'un de votre famille. La personne qui est chargée du recrutement vient vous dire qu'à l'issue des examens votre parent arrive en bonne place, au second rang et vous demande ce qu'il faut faire. Dans un tel cas, quelle serait votre décision? (Montrer liste)

[VAR: #5.1C1]

EMPLOYMENT EXAMINATION: RELATIVE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.36
Embaucher celui qui a			
eu la meilleure note.....1		58.8	
Embaucher votre parent.....2		34.9	
Autre réponse (préciser)_____8		1.2	
N.S.P.9		5.0	

SHOW CARD U

Q.48

Suppose that you are the president of a company. There is a job vacancy and the company carries out an employment examination. The supervisor in charge reports to you saying, "Your relative who took the examination got the 2nd highest grade. But I believe that either your relative or the candidate who got the highest grade would be satisfactory. What shall we do?" In such a case, which person would you employ?

[VAR: #5.1C1]

EMPLOYMENT EXAMINATION:RELATIVE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.36
The one with the highest			
grade.....1		72.6	
Your relative.....2		21.3	
Other(WRITE IN).....8		2.0	
Don't know.....9		4.1	

問 4 8 [カード 28] あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を 1 人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、
「社長のご親戚の方は 2 番でした。しかし、私としましては、1 番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」
と社長のあなたに報告しました。
あなたはどちらをとれ（採用しろ）といえますか。

[VAR: #5.1C1] EMPLOYMENT EXAMINATION RELATIVE
入社試験—親戚—

	コード	1988. 10 N = 2265	カラム 2—36
1 番の人を採用するようにいう・	1	60.4	
親戚を採用するようにいう・	2	22.8	
その他〔記入〕	8	1.0	
D. K.	9	15.8	

問 4 8 [カード 28] あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を 1 人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、
「社長のご親戚の方は 2 番でした。しかし、私としましては、1 番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」
と社長のあなたに報告しました。
あなたはどちらをとれ（採用しろ）といえますか。

[VAR: #5.1C1] EMPLOYMENT EXAMINATION : RELATIVE
入社試験—親戚—

	コード	1988. 10 N = 1017	カラム 2—36
1 番の人を採用するようにいう・	1	62.1	
親戚を採用するようにいう・	2	21.8	
その他〔記入〕	8	1.4	
D. K.	9	14.7	

Q.48 (HAND CARD 48)

Suppose that you are the president of a company. The company decides to employ one person, and then carries out an employment examination. The supervisor in charge reports to you saying, "Your relative who took the examination got the second highest grade. But I believe that either your relative or the candidate who got the highest grade would be satisfactory. What shall we do?" In such a case, which person would you employ?

[VAR: #5.1C1]

EMPLOYMENT EXAMINATION: RELATIVE

1988.10
CODE N=1563

COL.236

One with the highest		
grade.....1	65.9	
Your relative.....2	29.5	
Other(PLEASE SPECIFY) 8	1.7	
Don't know.....9	2.9	

Q.49 239.

Inder letzten Frage hatten wir angenommen, daß der Kandidat mit dem zweitbesten Prüfungsergebnis ein Verwandter von Ihnen sei. Nehmen wir nun einmal an, er sei der Sohn eines Mannes, dem Sie selbst zu Dank verpflichtet sind.

Welche Person würden Sie einstellen?

[VAR: #5.1C2]

EMPLOYMENT EXAMINATION: SON OF BENEFACTOR

INT.: LISTE 21 vorlegen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.37
	1	36.2	
	2	46.9	
sonstiges, und zwar:_____	8	3.4	
weiß nicht,NA.....	9	13.5	

LISTE 21

- 1 den Kandidat mit dem besten Ergebnis
- 2 den Sohn Ihres Wohltäters

Q.49

Dans la question précédente, nous avons supposé que le candidat qui arrivait au second rang était votre parent. Supposez maintenant qu'il soit le fils des personnes envers qui vous avez une dette de reconnaissance. Quelle serait votre décision?
(Montrer liste)

[VAR: #5.1C2]

EMPLOYMENT EXAMINATION: SON OF BENEFACTOR

	CODE	1987.10 N=1013	COL.37
Embaucher celui qui a eu la meilleure note.....	1	50.2	
Embaucher le fils des personnes envers qui vous avez une dette de reconnaissance.....	2	43.2	
Autre réponse(préciser)_____	8	1.0	
N.S.P.	9	5.5	

SHOW CARD V

Q.49

In the last question we supposed that the one getting the 2nd highest grade was your relative. Suppose now that the second was the son of someone to whom you felt indebted. Which person would you employ?

[VAR: #5.1C2]

EMPLOYMENT EXAMINATION:SON OF BENEFACTOR

	CODE	1987.10 N=1043	COL.37
The one with the highest grade.....	1	68.6	
The son of the person to whom you felt indebted.....	2	23.9	
Other (WRITE IN) _____	8	2.1	
Don't know.....	9	5.5	

- * 問 4 9 [カード 2 9] それでは、この場合 2 番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたが昔世話になった人の子供だったとしたら、あなたは どう しますか。
(どちらをとれといひますか。)

[VAR: #5.1C2] EMPLOYMENT EXAMINATION : BENEFACITOR
入社試験－恩人の子－

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2－3 7

1 番の人を採用するようにいう・	1	4 0 . 6
昔世話になった人の子供を採用する ようにいう・	2	4 2 . 3
その他〔記入〕	8	1 . 2
D. K.	9	1 5 . 9

- * 問 4 9 [カード 2 9] それでは、この場合 2 番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたの恩人の子供だったとしたら、あなたは どう しますか。
(どちらをとれといひますか。)

[VAR: #5.1C2] EMPLOYMENT EXAMINATION : SON OF BENEFACITOR
入社試験－恩人の子－

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 2－3 7

1 番の人を採用するようにいう・	1	4 3 . 4
恩人の子供を採用するようにいう ・	2	4 0 . 2
その他〔記入〕	8	1 . 4
D. K.	9	1 5 . 0

Q.49 (HAND CARD 49)

In the last question we supposed that the one getting the second highest grade was your relative. Suppose that the one who got the second highest grade was the son of parents to whom you felt indebted. Which person would you employ?

[VAR: #5.1C2]

EMPLOYMENT EXAMINATION: SON OF BENEFACTOR

1988.10
CODE N=1563

COL.237

One with the highest	
grade.....1	64.9
Son of your benefactor.....2	30.4
Other (PLEASE SPECIFY) 8	1.5
Don't know.....9	3.3

Q.50 240.

Nehmen wir einmal an, Sie arbeiten in einer Firma, in der es die zwei Abteilungsleiter gäbe, die auf dieser Liste beschrieben werden. Bei welchem Abteilungsleiter würden Sie lieber arbeiten?

[VAR: #5.6]

TYPE OF BOSS PREFERRED

INT.: LISTE 22 vorlegen und gleichzeitig vorlesen

1987.10

CODE

N=1000

COL.38

Abteilungsleiter A

ist jemand, der immer die Dienstvorschriften befolgt und keine übermäßige Arbeit fordert, der aber andererseits nichts für Sie persönlich tut, was nicht unmittelbar mit der Arbeit zu tun hat..1

22.8

Abteilungsleiter B

ist jemand, der gelegentlich entgegen der Dienstvorschrift übermäßige Arbeit fordert, der sich aber andererseits auch bei Dingen um Sie kümmert, die nichts mit der Arbeit zu tun haben.....2
weiß nicht, NA.....9

68.6

8.6

Q.50

Supposez que vous travaillez dans une société où il y a 2 types de chefs de service que nous appellerons "A" et "B". Quel est celui dans le service duquel vous préféreriez travailler? (Montrer liste)

[VAR: #5.6]

TYPE OF BOSS PREFERRED

1987.10

CODE

N=1013

COL.38

"A" s'en tient toujours au règlement et ne demande jamais un travail déraisonnable ; par ailleurs, il ne fera rien pour vous personnellement dans les affaires qui ne concernent pas le travail..1

30.9

"B" demande quelquefois un surcroît de travail, même si c'est contraire au règlement; par ailleurs il s'occupera de vous personnellement si vous avez des problèmes en

dehors du travail.....2

64.1

N.S.P.9

5.0

SHOW CARD W

Q.50

Suppose you are working in a company in which there are two types of boss. Which of these two would you prefer to work for?

[VAR: #5.6]

TYPE OF BOSS PREFERRED

	CODE	1987.10 N=1043	COL.38
A. A man who always sticks to the work rules and never demands any unreasonable work but who, on the other hand, never does anything for you personally in matters not connected with work.....1		39.9	
B. A man who sometimes demands extra work in spite of rules against it, but who, on the other hand, looks after you personally in matters not connected with work.....2		56.7	
Don't know.....9		3.5	

問50 [カード30] ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長につかわれる方がよいと思いますか、どちらか1つあげてください。

[VAR: #5.6] TYPE OF BOSS PREFERRED

めんどろをみる課長

1988. 10
コード N=2265

カラム 2-38

規則をまげてまで、無理な仕事を させることはありませんが、仕事 以外のことは人のめんどろを 見ません・・・・・・・・・・	1	9.0
時には規則をまげて、無理な仕事 をさせることもあります、仕事 のこと以外でも人のめんどろをよ く見ます・・・・・・・・・・	2	80.3
その他〔記入〕・・・・・・・・	8	0.1
D. K.・・・・・・・・・・	9	10.6

問50 [カード30] ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長につかわれる方がよいと思いますか、どちらか1つあげてください。

[VAR: #5.6] TYPE OF BOSS PREFERRED

めんどろをみる課長

1988. 10
コード N=1017

カラム 2-38

規則をまげてまで、無理な仕事を させることはありませんが、仕事 以外のことは人のめんどろを 見ません・・・・・・・・・・	1	10.7
時には規則をまげて、無理な仕事 をさせることもあります、仕事 のこと以外でも人のめんどろをよ く見ます・・・・・・・・・・	2	77.8
その他〔記入〕・・・・・・・・	8	0.6
D. K.・・・・・・・・・・	9	10.9

Q.50 (HAND CARD 50)
 Suppose you are working in a firm. Which of the following department chiefs would you prefer to work under? Just call off the letter.

[VAR: #5.6]
 TYPE OF BOSS PREFERRED

1988.10
 CODE N=1563 COL.238

A man who always sticks to the work rules and never demands any unreasonable work, but who, on the other hand, never does anything for you personally in matters not connected with work.....1	44.9
A man who sometimes demands extra work in spite of rules against it, but who, on the other hand, looks after you personally in matters not connected with work.....2	51.4
Other (PLEASE SPECIFY)_____8	0.4
Don't know.....9	3.3

Q.51 241.

Würden Sie sagen, daß die Menschen meistens versuchen, hilfsbereit zu sein - oder denken die Menschen meistens nur an sich selbst?

[VAR: #2.12]

ARE PEOPLE HELPFUL MOST OF THE TIME

	CODE	1987.10 N=1000	COL.39
versuchen, hilfsbereit			
zu sein.....1		42.8	
denken nur an sich.....2		48.2	
sonstiges, und zwar:_____8		2.2	
weiß nicht,NA			

Q.51

Diriez-vous que la plupart du temps, les gens essaient de rendre service ou qu'ils sont surtout préoccupés d'eux mêmes et de leurs intérêts?

[VAR: #2.12]

ARE PEOPLE HELPFUL MOST OF THE TIME

	CODE	1987.10 N=1013	COL.39
Essaient de rendre			
service.....1		19.2	
Sont préoccupés			
d'eux-mêmes.....2		77.2	
Autre réponse(préciser)....8		2.2	
N.S.P.9		1.4	

Q.51

Would you say that most of the time people try to be helpful or that they are mostly just looking out for themselves?

[VAR: #2.12]

ARE PEOPLE ARE HELPFUL MOST OF THE TIME

	CODE	1987.10 N=1043	COL.39
Try to be helpful.....1		52.9	
Just looking out for			
themselves.....2		42.8	
Other(WRITE IN)_____8		2.3	
Don't know.....9		2.0	

*問51 たいていの人は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えている
と思いますか。

[VAR: #2.12] ARE PEOPLE HELPFUL MOST OF THE TIME
他人のためか自分のためか

1988. 10
コード N = 2265

カラム 2-39

他人の役にたとうとしている・・・	1	31.2
自分のことだけ考えている・・・	2	54.2
その他〔記入〕・・・	8	1.5
D. K.	9	13.2

*問51 たいていの人は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも自分のことだけに気を
くばっていると思いますか。

[VAR: #2.12] ARE PEOPLE HELPFUL MOST OF THE TIME
他人のためか自分のためか

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-39

他人の役にたとうとしている・・・	1	29.4
自分のことだけに気をくばって いる・・・	2	56.5
その他〔記入〕・・・	8	1.1
D. K.	9	13.0

Q.51

Would you say that most of the time, people try to be helpful, or
that they are mostly just looking out for themselves?

[VAR: #2.12]

ARE PEOPLE HELPFUL MOST OF THE TIME

1988.10
CODE N=1563

COL.239

Try to be helpful.....	1	53.6
Look out for themselves....	2	43.6
Other (PLEASE SPECIFY)_____	8	1.1
Don't know.....	9	1.7

Q.52 242.

Wie schätzen Sie Ihre Mitmenschen ein: Glauben Sie, daß die meisten Menschen Ihrer Umgebung Sie ausnutzen würden, wenn sie die Gelegenheit dazu hätten - oder glauben Sie, daß sie dies nicht tun würden?

[VAR: #2.12B]

ARE MOST PEOPLE FAIR

	CODE	1987.10 N=1000	COL.40
die meisten Menschen			
würden mich ausnutzen.....1		29.9	
würden dies nicht tun.....2		54.9	
sonstiges, und zwar:_____8		2.6	
weiß nicht,NA.....9		12.6	

Q.52

Pensez-vous que la plupart des gens essaieraient de profiter de vous s'ils en avaient l'occasion ou pensez-vous qu'ils essaieraient d'être réguliers?

[VAR: #2.12B]

ARE MOST PEOPLE TRUSTWORTHY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.40
Essaieraient de profiter...1		57.7	
Essaieraient d'être			
réguliers.....2		35.8	
Autre réponse(préciser)....8		3.0	
N.S.P.9		3.6	

Q.52

Do you think that most people would try to take advantage of you if they got the chance or would they try to be fair?

[VAR: #2.12B]

ARE MOST PEOPLE FAIR

	CODE	1987.10 N=1043	COL.40
Would take advantage1		37.5	
Would try to be fair.....2		57.8	
Other(WRITE IN)_____8		1.9	
Don't know.....9		2.8	

*問52 他人は、機会があれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

[VAR: #2.12B] ARE MOST PEOPLE FAIR
スキがあれば利用されるか

1988. 10
コード N = 2265

カラム 2-40

他人は機会があれば利用しよう		
していると思う.....	1	32.3
そんなことはないと思う.....	2	52.8
その他〔記入〕.....	8	0.9
D. K.	9	14.0

*問52 他人は、スキがあれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

[VAR: #2.12B] ARE MOST PEOPLE FAIR
スキがあれば利用されるか

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-40

利用しようとしていると思う..	1	28.1
そんなことはないと思う.....	2	56.0
その他〔記入〕.....	8	0.7
D. K.	9	15.1

Q.52

Do you think that most people would try to take advantage of you if they got the chance, or would they try to be fair?

[VAR: #2.12B]
ARE MOST PEOPLE FAIR

1988.10
CODE N=1563

COL.240

Take advantage.....	1	40.4
Try to be fair.....	2	56.0
Other(PLEASE SPECIFY).....	8	1.2
Don't know.....	9	2.4

Q.53 243.

Würden Sie sagen, daß man den meisten Menschen vertrauen kann, oder kann man im Umgang mit Menschen nicht vorsichtig genug sein?

[VAR: #2.12C]

ARE MOST PEOPLE TRUSTWORTHY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.41
den meisten kann man			
vertrauen.....1		37.8	
man kann nicht vorsichtig			
genug sein.....2		47.0	
sonstiges, und zwar: 8		4.6	
weiß nicht, NA.....9		10.6	

Q.53

D'une manière générale, diriez-vous...

[VAR: #2.12C]

CAN PEOPLE BE TRUSTED?

	CODE	1987.10 N=1013	COL.41
qu'on peut faire			
confiance à la plupart			
des gens.....1		22.8	
qu'on n'est jamais trop			
prudent quand on a			
affaire aux autres.....2		73.8	
autre réponse(préciser)....8		1.8	
N.S.P.9		1.6	

Q.53

Generally speaking, would you say that most people can be trusted or that you can't be too careful in dealing with people?

[VAR: #2.12C]

ARE MOST PEOPLE TRUSTWORTHY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.41
Can be trusted.....1		36.3	
Cannot be too careful.....2		60.0	
Other (WRITE IN) 8		1.5	
Don't know.....9		2.1	

*問 5 3 たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。

[VAR: #2.12C] ARE MOST PEOPLE TRUSTWORTHY
人は信頼できるか

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 2 - 4 1
信頼できると思う	1	3 9 . 1	
常に用心した方がよい	2	4 6 . 0	
その他〔記入〕	8	2 . 8	
D. K.	9	1 2 . 1	

*問 5 3 たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、用心するにこしたことはないと思いますか。

[VAR: #2.12C] ARE MOST PEOPLE BE TRUSTHY
人は信頼できるか

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 1 0 1 7	カラム 2 - 4 1
信頼できると思う	1	3 4 . 2	
用心するにこしたことはない	2	5 3 . 4	
その他〔記入〕	8	1 . 8	
D. K.	9	1 0 . 6	

Q.53

Generally speaking, would you say that most people can be trusted or that you can't be too careful in dealing with people?

[VAR: #2.12C]
ARE MOST PEOPLE TRUSTWORTHY

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.241
Can be trusted.....1	42.4	
Can't be too careful.....2	54.5	
Other (PLEASE SPECIFY) 8	1.3	
Don't know.....9	1.8	

Q.54 244-48

Lassen Sie uns einen Moment über das heutige Leben reden. Ich lese Ihnen nun einige Meinungen über das Leben heutzutage vor. Sagen Sie mir bitte zu jeder Meinung, ob Sie ihr vollkommen zustimmen, etwas zustimmen, ob Sie sie etwas ablehnen oder vollkommen ablehnen.

INT.: LISTE 23 vorlegen

INT.: Einzeln vorlesen und bewerten lassen

- | | stimme... | lehne... | |
|--|-------------|-------------|--------|
| | voll- etwas | etwas voll- | (weiß |
| | kommen zu | ab kommen | nicht) |
| | zu | ab | |
| a) Die meisten Menschen.....1.....2.....3.....4.....9 | | | |
| würden ihr eigenes Vorhaben unterbrechen, um anderen zu helfen. | | | |
| b) Ich fühle mich als Teil...1.....2.....3.....4.....9 | | | |
| einer eng verknüpften Gemeinschaft. | | | |
| c) Heutzutage muß man für...1.....2.....3.....4.....9 | | | |
| den heutigen Tag leben und morgen morgen sein lassen. | | | |
| d) Es kommt mehr darauf an,..1.....2.....3.....4.....9 | | | |
| <u>wie</u> man sein Geld verdient, als <u>wiewiel</u> Geld man verdient. | | | |
| e) Menschen wie ich fühlen...1.....2.....3.....4.....9 | | | |
| sich heutzutage häufig allein und von der restlichen Gesellschaft abgeschlossen. | | | |

- a) Die meisten Menschen würden ihr eigenes Vorhaben unterbrechen, um anderen zu helfen.

[VAR: #2.83]

LIFE: MOST PEOPLE WILL BE HELPFUL

	1987.10	
	N=1000	COL.42
CODE		
vollkommen zustimmen.....1	7.7	
etwas zustimmen.....2	39.6	
etwas ablehnen.....3	35.3	
vollkommen ablehnen.....4	14.1	
weiß nicht,NA.....9	3.3	

Q.54 Continued

b) Ich fühle mich als Teil einer eng verknüpften Gemeinschaft.

[VAR: #2.83B]

LIFE: PART OF COMMUNITY

	1987.10	
	N=1000	COL.43
CODE		
vollkommen zustimmen.....1	19.3	
etwas zustimmen.....2	48.4	
etwas ablehnen.....3	22.7	
vollkommen ablehnen.....4	6.5	
weiß nicht,NA.....9	3.1	

c) Heutzutage muß man für den heutigen Tag leben und morgen morgen sein lassen.

[VAR: #2.83C]

LIFE: PEOPLE LIVE FOR TODAY

	1987.10	
	N=1000	COL.44
CODE		
vollkommen zustimmen.....1	11.1	
etwas zustimmen.....2	28.0	
etwas ablehnen.....3	34.6	
vollkommen ablehnen.....4	24.4	
weiß nicht,NA.....9	1.9	

d) Es kommt mehr darauf an, wie man sein Geld verdient, als wiewiel Geld man verdient.

[VAR: #2.83D]

LIFE: WAY OF EARNING MONEY IS MORE IMPORTANT THAN AMOUNT

	1987.10	
	N=1000	COL.45
CODE		
vollkommen zustimmen.....1	31.1	
etwas zustimmen.....2	41.3	
etwas ablehnen.....3	17.7	
vollkommen ablehnen.....4	5.8	
weiß nicht,NA.....9	4.1	

e) Menschen wie ich fühlen sich heutzutage häufig allein und von der restlichen Gesellschaft abgeschlossen.

[VAR: #2.83E]

LIFE: PEOPLE OFTEN FEEL LONELY

	1987.10	
	N=1000	COL.46
CODE		
vollkommen zustimmen.....1	5.7	
etwas zustimmen.....2	25.1	
etwas ablehnen.....3	27.5	
vollkommen ablehnen.....4	38.4	
weiß nicht,NA.....9	3.3	

Q.54

Je vais vous citer des affirmations. En fonction de votre situation et de vos propres sentiments, pouvez-vous me dire si vous êtes tout à fait d'accord, assez d'accord, peu d'accord ou pas du tout d'accord avec chacune d'entre elles.

(Enumérer - Montrer liste - 1 réponse par ligne)

Tout à fait d'accord	Assez d'accord	Peu d'accord	Pas du tout d'accord	NSP
-------------------------	-------------------	-----------------	-------------------------	-----

a).....1.....2.....3.....4.....9	COL.42
b).....1.....2.....3.....4.....9	COL.43
c).....1.....2.....3.....4.....9	COL.44
d).....1.....2.....3.....4.....9	COL.45
e).....1.....2.....3.....4.....9	COL.46

- a) La plupart des gens sont capables de faire un effort pour venir en aide à quelqu'un
- b) Je pense que je fais partie d'une sorte de communauté locale dont les liens sont resserrés
- c) Aujourd'hui, une personne doit vivre au jour le jour sans s'occuper du lendemain
- d) La façon dont on gagne sa vie est plus importante que ce que l'on gagne
- e) De nos jours, les gens comme moi se sentent souvent seuls et coupés des autres

- a) La plupart des gens sont capables de faire un effort pour venir en aide à quelqu'un

[VAR: #2.83]

LIFE:MOST PEOPLE ARE HELPFUL

	1987.10	
	N=1013	COL.42
Tout à fait d'accord.....1	26.4	
Assez d'accord.....2	46.2	
Peu d'accord.....3	22.5	
Pas du tout d'accord.....4	4.1	
NSP.....9	0.8	

Q.54 Continued

- b) Je pense que je fais partie d'une sorte de communauté locale dont les liens sont resserrés

[VAR: #2.83B]

LIFE:PART OF COMMUNITY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.43
Tout à fait d'accord.....1		15.3	
Assez d'accord.....2		32.6	
Peu d'accord.....3		28.8	
Pas du tout d'accord.....4		18.9	
NSP.....9		4.4	

- c) Aujourd'hui, une personne doit vivre au jour le jour sans s'occuper du lendemain

[VAR: #2.83C]

LIFE:PEOPLE LIVE FOR TODAY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.44
Tout à fait d'accord.....1		9.5	
Assez d'accord.....2		15.9	
Peu d'accord.....3		27.8	
Pas du tout d'accord.....4		45.5	
NSP.....9		1.3	

- d) La façon dont on gagne sa vie est plus importante que ce que l'on gagne

[VAR: #2.83D]

LIFE:WAY OF EARNING MONEY IS MORE IMPORTANT THAN AMOUNT

	CODE	1987.10 N=1013	COL.45
Tout à fait d'accord.....1		37.3	
Assez d'accord.....2		39.5	
Peu d'accord.....3		11.7	
Pas du tout d'accord.....4		8.2	
NSP.....9		3.3	

- e) De nos jours, les gens comme moi se sentent souvent seuls et coupés des autres

[VAR: #2.83E]

LIFE:PEOPLE OFTEN FEEL ONLY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.46
Tout à fait d'accord.....1		15.2	
Assez d'accord.....2		25.2	
Peu d'accord.....3		26.9	
Pas du tout d'accord.....4		32.1	
NSP.....9		0.7	

SHOW CARD X

Q.54

I am going to read out some things that people have said about life today. As I mention each one would you tell me from the answers on this card how much you agree or disagree. (READ OUT)

	Strongly agree	Agree to some extent	Disagree to some extent	Strongly disagree	Don't know	COL.
Most people will.....1.....2.....3.....4.....9						(44)
go out of their way to help someone else						
I feel I am part of...1.....2.....3.....4.....9						(45)
a close-knit local community						
Nowadays a person.....1.....2.....3.....4.....9						(46)
has to live pretty much for today and let tomorrow take care of itself						
The way you earn.....1.....2.....3.....4.....9						(47)
money is more important than how much you earn						
Nowadays people.....1.....2.....3.....4.....9						(48)
like me often feel lonely and cut off from the rest of society						

A.Most people will go out of their way to help someone else

[VAR: #2.83]

LIFE:MOST PEOPLE ARE HELPFUL

		1987.10	
		N=1043	COL.42
Strongly agree.....1	CODE	12.6	
Agree to some extent.....2		67.9	
Disagree to some extent....3		16.0	
Strongly disagree.....4		2.9	
Don't know.....9		0.7	

Q.54 Continued

B.I feel I am part of a close-knit local community

[VAR: #2.83B]

LIFE:PART OF COMMUNITY

		1987.10	
	CODE	N=1043	COL.43
Strongly agree.....1		12.3	
Agree to some extent.....2		43.0	
Disagree to some extent....3		28.0	
Strongly disagree.....4		14.7	
Don't know.....9		2.0	

C.Nowadays a person has to live pretty much for today and let
tomorrow take care of itself

[VAR: #2.83C]

LIFE:PEOPLE LIVE FOR TODAY

		1987.10	
	CODE	N=1043	COL.44
Strongly agree.....1		25.6	
Agree to some extent.....2		46.2	
Disagree to some extent....3		19.9	
Strongly disagree.....4		7.7	
Don't know.....9		0.6	

D.The way you earn money is more important than how much you earn

[VAR: #2.83D]

LIFE:WAY OF EARNING MONEY IS MORE IMPORTANT THAN AMOUNT

		1987.10	
	CODE	N=1043	COL.45
Strongly agree.....1		30.2	
Agree to some extent.....2		45.3	
Disagree to some extent....3		14.4	
Strongly disagree.....4		6.5	
Don't know.....9		3.6	

E.Nowadays people like me often feel lonely and cut off from the
rest of society

[VAR: #2.83E]

LIFE:PEOPLE OFTEN FEEL LONELY

		1987.10	
	CODE	N=1043	COL.46
Strongly agree.....1		9.2	
Agree to some extent.....2		23.2	
Disagree to some extent....3		28.3	
Strongly disagree.....4		38.2	
Don't know.....9		1.2	

問 5 4 [カード 3 1] 次のような意見がいくつかあります。ご自分の立場や個人的な感情を考えて、「賛成」「やや賛成」「やや反対」「反対」のいずれかで答えて下さい。

- まず、「たいていの人は、他人を助けるために多少の努力をすることができる」というのですが、あなたのお考えに近いのはどれですか。
- 「結びつきが強い地域社会に自分が属していると思う」という意見はいかがですか。
- 「今日、人は明日のことを心配しないでその日その日を生きざるを得ない」という意見はいかがですか。
- 「収入を得るための手段の方が、得られる収入よりも大切である」という意見はいかがですか。
- 「現代は、自分も含めて、人々は孤独で他人から切り離されていると感じることが多い」という意見はいかがですか。

	賛成	やや 賛成	やや 反対	反対	その 他	D K
a. たいていの人は、他人を助けるために 多少の努力をすることができる	1	2	3	4	8	9
b. 結びつきが強い地域社会に 自分が属していると思う	1	2	3	4	8	9
c. 今日人は明日のことを心配しないで その日その日を生きざるを得ない	1	2	3	4	8	9
d. 収入を得るための手段の方が、得られる 収入よりも大切である	1	2	3	4	8	9
e. 現代は、自分も含めて、人々は孤独で 他人から切り離されていると感じることが多い	1	2	3	4	8	9

a. たいていの人は、他人を助けるために多少の努力をすることができる

[VAR: #2.83] LIFE : MOST PEOPLE ARE HELPFUL
現代生活の個人態度－他人を助ける

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 4 2

賛成	1	4 2 . 2
やや賛成	2	4 6 . 8
やや反対	3	4 . 4
反対	4	1 . 2
その他	8	0 . 1
D. K.	9	5 . 3

[つづく]

問54〔つづき〕

b. 結びつきが強い地域社会に自分が属していると思う。

[VAR: #2.83B] LIFE: PART OF COMMUNITY

現代生活の個人態度－共同体

	1988. 10
コード	N = 2265

カラム 2-43

賛成	1	23.9
やや賛成	2	46.8
やや反対	3	13.8
反対	4	4.5
その他	8	0.3
D. K.	9	10.7

c. 今日、人は明日のことを心配しないでその日その日を生きざるをえない

[VAR: #2.83C] LIFE: PEOPLE LIVE FOR TODAY

現代生活の個人態度－その日その日

	1988. 10
コード	N = 2265

カラム 2-44

賛成	1	12.3
やや賛成	2	31.1
やや反対	3	28.3
反対	4	18.4
その他	8	0.5
D. K.	9	9.4

d. 収入を得るための手段の方が、得られる収入よりも大切である

[VAR: #2.83D] LIFE: WAY OF EARNING MONEY IS MORE IMPORTANT THAN AMOUNT

現代生活の個人態度－収入より手段

	1988. 10
コード	N = 2265

カラム 2-45

賛成	1	18.8
やや賛成	2	31.9
やや反対	3	20.8
反対	4	11.3
その他	8	0.3
D. K.	9	17.0

e. 現代は、自分も含めて、人々は孤独で他人から切り離されていると感じることが多い

[VAR: #2.83E] LIFE: PEOPLE OFTEN FEEL LONELY

現代生活の個人態度－孤独感

	1988. 10
コード	N = 2265

カラム 2-46

賛成	1	9.8
やや賛成	2	29.5
やや反対	3	30.5
反対	4	19.9
その他	8	0.5
D. K.	9	9.8

問54 [カード31] 次のような意見がいくつかあります。ご自分の立場や個人的な感情を考えて、「賛成」「やや賛成」「やや反対」「反対」のいずれかで答えて下さい。

- まず、「たいていの人は、他人を助けるために多少の努力をすることができる」というのですが、あなたのお考えに近いのはどれですか。
- 「結びつきが強い地域社会に自分が属していると思う」という意見はいかがですか。
- 「今日、人は明日のことを心配しないでその日その日を生きざるを得ない」という意見はいかがですか。
- 「収入を得るための手段の方が、得られる収入よりも大切である」という意見はいかがですか。
- 「現代は、自分も含めて、人々は孤独で他人から切り離されていると感じることが多い」という意見はいかがですか。

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	その他	D K
a. たいていの人は、他人を助けるために多少の努力をすることができる	1	2	3	4	8	9
b. 結びつきが強い地域社会に自分が属していると思う	1	2	3	4	8	9
c. 今日人は明日のことを心配しないでその日その日を生きざるを得ない	1	2	3	4	8	9
d. 収入を得るための手段の方が、得られる収入よりも大切である	1	2	3	4	8	9
e. 現代は、自分も含めて、人々は孤独で他人から切り離されていると感じることが多い	1	2	3	4	5	6

a. たいていの人は、他人を助けるために多少の努力をすることができる

[VAR: #2.83] LIFE : MOST PEOPLE ARE BE HELPFUL

現代生活の個人態度－他人を助ける

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-42

賛成	1	46.6
やや賛成	2	43.1
やや反対	3	3.5
反対	4	0.5
その他	8	0.4
D. K.	9	5.9

[つづく]

問54 [つづき]

b. 結びつきが強い地域社会に自分が属していると思う。

[VAR: #2.83B] LIFE: PART OF COMMUNITY

現代生活の個人態度-共同体

コード 1988. 10
N=1017

カラム 2-43

賛成	1	22.5
やや賛成	2	45.8
やや反対	3	14.8
反対	4	6.2
その他	8	0.5
D. K.	9	10.1

c. 今日、人は明日のことを心配しないでその日その日を生きざるをえない

[VAR: #2.83C] LIFE: PEOPLE LIVE FOR TODAY

現代生活の個人態度-その日その日

コード 1988. 10
N=1017

カラム 2-44

賛成	1	13.9
やや賛成	2	27.4
やや反対	3	29.6
反対	4	20.1
その他	8	0.2
D. K.	9	8.8

d. 収入を得るための手段の方が、得られる収入よりも大切である

[VAR: #2.83D] LIFE: WAY OF EARNING MONEY IS MORE IMPORTANT THAN AMOUNT

現代生活の個人態度-収入より手段

コード 1988. 10
N=1017

カラム 2-45

賛成	1	20.6
やや賛成	2	30.1
やや反対	3	20.3
反対	4	12.4
その他	8	0.5
D. K.	9	16.2

e. 現代は、自分も含めて、人々は孤独で他人から切り離されていると感じることが多い

[VAR: #2.83E] LIFE: PEOPLE OFTEN FEEL LONELY

現代生活の個人態度-孤独感

コード 1988. 10
N=1017

カラム 2-46

賛成	1	8.7
やや賛成	2	32.8
やや反対	3	30.3
反対	4	18.5
その他	8	0.6
D. K.	9	9.1

[DECK 2 Cols.42]
Q.54

Q.54 (HAND CARD 54)

I am going to read out some things that people have said about life today. As I read each one would you tell me, using the answers on this card, how much you agree or disagree? (READ EACH IN TURN)

A.54	Strongly Agree	Agree to some extent	Disagree to some extent	Strongly Disagree	Don't know
Most people will go out of their way to help someone else	1	2	3	4	9
I feel I am part of a close-knit local community	1	2	3	4	9
Nowadays a person has to live pretty much for today and let tomorrow take care of itself	1	2	3	4	9
The way you earn money is more important than how much you earn	1	2	3	4	9
Nowadays people like me often feel lonely and cut off from the rest of society	1	2	3	4	9

A. Most people will go out of their way to help someone eles

[VAR: #2.83]

LIFE:MOST PEOPLE ARE HELPFUL

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.242
Strongly agree.....1	12.7	
Agree to some extent.....2	62.7	
Disagree to some extent....3	20.0	
Strongly disagree.....4	4.0	
Don't know.....9	0.6	

[DECK 2 Cols.43-46]
Q.54

Q.54 Continued

B. I feel I am part of a close-knit local community

[VAR: #2.83B]

LIFE:PART OF COMMUNITY

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.243

Strongly agree.....1	21.4
Agree to some extent.....2	45.7
Disagree to some extent....3	23.2
Strongly disagree.....4	8.2
Don't know.....9	1.5

C. Nowadays a person has to live pretty much for today and let tomorrow take care of itself

[VAR: #2.83C]

LIFE:PEOPLE LIVE FOR TODAY

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.244

Strongly agree.....1	20.9
Agree to some extent.....2	34.2
Disagree to some extent....3	28.9
Strongly disagree.....4	14.9
Don't know.....9	1.1

D. The way you earn money is more important than how much you earn

[VAR: #2.83D]

LIFE:THE WAY OF EARNING MONEY IS MORE IMPORTANT THAN AMOUNT

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.245

Strongly agree.....1	40.8
Agree to some extent.....2	35.0
Disagree to some extent....3	13.2
Strongly disagree.....4	9.3
Don't know.....9	1.7

E. Nowadays people like me often feel lonely and cut off from the rest of society

[VAR: #2.83E]

LIFE:PEOPLE OFTEN FEEL LONELY

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.246

Strongly agree.....1	8.4
Agree to some extent.....2	26.5
Disagree to some extent....3	30.8
Strongly disagree.....4	33.3
Don't know.....9	1.1

Q.55 249.

Was meinen Sie: In welchem Ausmaß verbessern die Wissenschaft und ihre Anwendungen Ihr alltägliches Leben?

[VAR: #7.36]

IMPROVEMENT OF EVERYDAY LIFE THROUGH SCIENCE

INT.: bitte vorlesen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.47
in hohem Ausmaß,.....1		37.2	
in geringem Ausmaß oder....2		48.3	
überhaupt nicht?.....3		8.7	
weiß nicht,NA.....9		5.8	

Q.55

Dans quelle mesure les découvertes scientifique et leur utilisation vous paraissent-elles conduire à une amélioration de votre vie quotidienne?

[VAR: #7.36]

IMPROVEMENT OF EVERYDAY LIFE THROUGH SCIENCE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.47
Beaucoup.....1		33.4	
Un peu.....2		52.1	
Pas du tout.....3		10.2	
N.S.P.9		4.3	

Q.55

To what extent do you think that science and its applications bring improvements in your everyday life? Would you say... (READ OUT)

[VAR: #7.36]

IMPROVEMENT OF EVERYDAY LIFE THROUGH SCIENCE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.47
A lot.....1		50.4	
A little bit.....2		39.6	
Or Not at all.....3		7.6	
Don't know.....9		2.4	

問 5 5 (カード 3 2) 科学上の発見とその利用は、あなたの日常生活の改善に役だっていると思いますか。

[VAR: #7.36] IMPROVEMENT OF EVERYDAY LIFE THROUGH SCIENCE

科学上の発見利用は生活に役立つか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 4 7
役だっている	1 4 7 . 6	
少しは役だっている	2 3 9 . 2	
役だっていない	3 6 . 6	
その他〔記入〕	8 0 . 1	
D. K.	9 6 . 4	

問 5 5 (カード 3 2) 科学上の発見とその利用は、あなたの日常生活の改善に役だっていると思いますか。

[VAR: #7.36] IMPROVEMENT OF EVERYDAY LIFE THROUGH SCIENCE

科学上の発見利用は生活に役立つか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 2 - 4 7
役だっている	1 4 7 . 8	
少しは役だっている	2 3 9 . 7	
役だっていない	3 5 . 9	
その他〔記入〕	8 0 . 1	
D. K.	9 6 . 5	

Q.55

To what extent do you think that science and its applications bring improvements to your everyday life? Would you say... (READ)

[VAR: #7.36]

IMPROVEMENT OF EVERYDAY LIFE THROUGH SCIENCE

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.247
A lot.....1	61.3	
A little bit,or.....2	33.7	
Not at all.....3	3.3	
Don't know (DO NOT READ)...9	1.8	

Q.56 250.

Auch in der Zukunft werden Computer unser Leben weiter verändern.
Wie beurteilen Sie diese Entwicklung? Halten Sie sie für...

[VAR: #7.33]

COMPUTERS CHANGE OUR LIVES

INT.: bitte vorlesen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.48
wünschenswert?.....1		14.7	
verständlich, aber			
unumgänglich? oder für.....2		55.0	
bedauerlich und			
gefährlich?.....3		25.6	
weiß nicht, NA.....9		4.7	

Q.56

Au cours des années à venir, la diffusion de l'informatique va
continuer à modifier certains aspects des conditions de vie.
Considérez-vous cette évolution comme...

[VAR: #7.33]

COMPUTERS CHANGE OUR LIVES

	CODE	1987.10 N=1013	COL.48
une chose souhaitable.....1		31.8	
une chose peu souhaitable			
mais inévitable.....2		51.0	
une chose regrettable et			
dangereuse.....3		12.5	
N.S.P.9		4.6	

Q.56

In the future, computers will continue to change our lives. Do you
think this is... (READ OUT)

[VAR: #7.33]

COMPUTERS CHANGE OUR LIVES

	CODE	1987.10 N=1043	COL.48
A desirable thing.....1		15.9	
An understandable but			
inevitable thing.....2		63.1	
Or A regrettable and			
dangerous thing?.....3		16.7	
Don't know.....9		4.3	

問 5 6 [カード 3 3] コンピュータがいろいろなところに使われるようになり、情報化社会などということが言われています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変わっていく面があると思います。
あなたは、このような変化をどう思いますか。

[VAR: #7.33] COMPUTERS CHANGE OUR LIVES
コンピュータ社会は望ましいか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 4 8
望ましいことである	1 3 0 . 5	
望ましいことではないが、避けられないことである	2 5 2 . 8	
困ったことであり、危険なことでもある	3 6 . 6	
その他〔記入〕	8 0 . 3	
D. K.	9 9 . 8	

問 5 6 [カード 3 3] コンピュータがいろいろなところに使われるようになり、情報化社会などということが言われています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変わっていく面があると思います。
あなたは、このような変化をどう思いますか。

[VAR: #7.33] COMPUTERS CHANGE OUR LIVES
コンピュータ社会は望ましいか

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 2 - 4 8
望ましいことである	1 3 1 . 5	
望ましいことではないが、避けられないことである	2 5 0 . 4	
困ったことであり、危険なことでもある	3 8 . 1	
その他〔記入〕	8 0 . 6	
D. K.	9 9 . 4	

Q.56 (HAND CARD 56)

In the future, computers in general will continue to change our lives. Do you think this is...(READ)

[VAR: #7.33]
COMPUTERS CHANGE OUR LIVES

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.248
A desirable thing.....1	33.6	
An understandable but inevitable thing, or.....2	51.4	
A regrettable and dangerous thing.....3	11.6	
Don't know (DO NOT READ)...9	3.5	

Q.57 251-53.

Ich lese Ihnen jetzt einige Aussagen vor. Bitte sagen Sie mir, ob Sie der Aussage vollkommen zustimmen, etwas zustimmen, ob Sie sie etwas ablehnen oder ob Sie sie vollkommen ablehnen.

INT.: LISTE 23 vorlegen

INT.: Einzelne vorlesen und bewerten lassen

stimme...		lehne...		
voll-	etwas	etwas	voll-	(weiß
kommen	zu	ab	kommen	nicht
zu			ab	

- a) Manche Krankheiten.....1.....2.....3.....4.....9
lassen sich besser mit
Methoden behandeln, die
die moderne Medizin
nicht anerkennt.
- b) Eines Tages wird es uns...1.....2.....3.....4.....9
die Wissenschaft
ermöglichen, das
Funktionieren des
menschlichen Geistes
vollständig zu verstehen.
- c) Die meisten sozialen.....1.....2.....3.....4.....9
und wirtschaftlichen
Probleme, denen wir
heute gegenüberstehen,
werden durch Fortschritte
von Wissenschaft und
Technik gelöst werden.

- a) Manche Krankheiten lassen sich besser mit Methoden behandeln,
die die moderne Medizin nicht anerkennt.

[VAR: #7.83]

SOME ILLNESS TREATED BY METHODS OTHER THAN MODERN MEDICINE

	CODE	1987.10 N=1000	COL.49
vollkommen zustimmen.....1		29.1	
etwas zustimmen.....2		48.1	
etwas ablehnen.....3		13.4	
vollkommen ablehnen.....4		5.9	
weiß nicht, NA.....9		3.5	

Q.57 Continued

b) Eines Tages wird es uns die Wissenschaft ermöglichen, das
Funktionieren des menschlichen Geistes vollständig zu verstehen.

[VAR: #7.84]

SCIENCE PERMITS UNDERSTANDING OF THE HUMAN MIND

	1987.10	
CODE	N=1000	COL.50
vollkommen zustimmen.....1	9.1	
etwas zustimmen.....2	25.3	
etwas ablehnen.....3	26.2	
vollkommen ablehnen.....4	32.4	
weiß nicht,NA.....9	7.0	

c) Die meisten sozialen und wirtschaftlichen Probleme, denen wir
heute gegenüberstehen, werden durch Fortschritte von
Wissenschaft und Technik gelöst werden.

[VAR: #7.85]

RESOLUTION OF SOCIAL AND ECONOMIC PROBLEMS THROUGH SCIENCE

	1987.10	
CODE	N=1000	COL.51
vollkommen zustimmen.....1	7.3	
etwas zustimmen.....2	36.7	
etwas ablehnen.....3	27.8	
vollkommen ablehnen.....4	23.0	
weiß nicht,NA.....9	5.2	

Q.57

Que pensez-vous des affirmations suivantes? Pour chacune, veuillez me donner une des réponses figurant sur cette liste.

(Montrer liste - 1 réponse par ligne)

- | | OUI
sûrement | OUI
peut-être | NON
sans doute
pas | NON
sûrement
pas | NSP | COL.xx |
|---|-----------------|------------------|--------------------------|------------------------|-----|--------|
| a)..... | 1..... | 2..... | 3..... | 4..... | 9 | COL.49 |
| b)..... | 1..... | 2..... | 3..... | 4..... | 9 | COL.50 |
| c)..... | 1..... | 2..... | 3..... | 4..... | 9 | COL.51 |
| a) Il y a des maladies qu'il vaut mieux faire soigner autrement que par la médecine | | | | | | |
| b) Un jour, la science permettra de comprendre complètement le fonctionnement de l'esprit humain | | | | | | |
| c) La plupart des problèmes sociaux et économiques que nous connaissons aujourd'hui seront résolus grâce aux progrès de la science et de la technologie | | | | | | |
| a) Il y a des maladies qu'il vaut mieux faire soigner autrement que par la médecine | | | | | | |

[VAR: #7.83]

SOME ILLNESS TREATED BY METHODS OTHER THAN MODERN MEDICINE

		1987.10	
		N=1013	COL.49
	CODE		
OUI sûrement.....	1	23.0	
OUI peut-être.....	2	39.1	
NON sans doute pas.....	3	15.5	
NON sûrement pas.....	4	19.2	
NSP.....	9	3.2	

Q.57 Continued

b) Un jour, la science permettra de comprendre complètement le fonctionnement de l'esprit humain

[VAR: #7.84]

SCIENCE PERMITS UNDERSTANDING OF THE HUMAN MIND

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.50
OUI sûrement.....1		26.8	
OUI peut-être.....2		37.9	
NON sans doute pas.....3		17.0	
NON sûrement pas.....4		14.1	
NSP.....9		4.2	

c) La plupart des problèmes sociaux et économiques que nous connaissons aujourd'hui seront résolus grâce aux progrès de la science et de la technologie

[VAR: #7.85]

RESOLUTION OF SOCIAL AND ECONOMIC PROBLEMS THROUGH SCIENCE

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.51
OUI sûrement.....1		15.5	
OUI peut-être.....2		33.8	
NON sans doute pas.....3		25.4	
NON sûrement pas.....4		21.7	
NSP.....9		3.7	

SHOW CARD X

Q.57

Again using the answers on this card would you tell me how much you agree or disagree with the following statements.

(READ OUT)

	Strongly agree	Agree to some extent	Disagree to some extent	Strongly disagree	Don't know	COL.
There are some.....1.....2.....3.....4.....9						(49)
illnesses that are better treated by methods that modern medicine does not recognise						
Some day science will.....1.....2.....3.....4.....9						(50)
permit the complete understanding of the functioning of the human mind						
Most of the social....1.....2.....3.....4.....9						(51)
and economic problems we face today will be resolved by the advancement of science and technology						

A. There are some illnesses that are better treated by methods that modern medicine does not recognise

[VAR: #7.83]

SOME ILLNESS TREATED BY METHODS OTHER THAN MODERN MEDICINE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.49
Strongly agree.....1		22.7	
Agree to some extent.....2		53.0	
Disagree to some extent....3		11.4	
Strongly disagree.....4		6.2	
Don't know.....9		6.6	

Q.57 Continued

B.Some day science will permit the complete understanding of the functioning of the human mind

[VAR: #7.84]

SCIENCE PERMITS UNDERSTANDING OF THE HUMAN MIND

	CODE	1987.10 N=1043	COL.50
Strongly agree.....	1	12.4	
Agree to some extent.....	2	37.3	
Disagree to some extent....	3	22.3	
Strongly disagree.....	4	21.2	
Don't know.....	9	6.8	

C.Most of the social and economic problems we face today will be resolved by the advancement of science and technology

[VAR: #7.85]

RESOLUTION OF SOCIAL AND ECONOMIC PROBLEMS THROUGH SCIENCE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.51
Strongly agree.....	1	9.5	
Agree to some extent.....	2	33.3	
Disagree to some extent....	3	28.5	
Strongly disagree.....	4	23.2	
Don't know.....	9	5.6	

問57 [カード34] つぎに読み上げる事柄についてあなたはどのように思いますか。
それぞれについて、この中からお答えください(a～cについてそれぞれ聞く)

- a. 病気の中には近代医学とは別の方法で治療したほうがよいものもある。
- b. 科学技術が発展すれば、いつかは人間の心の中までも解明できる。
- c. 今日我々が直面している経済的、社会的問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される。
- a. 病気の中には近代医学とは別の方法で治療したほうがよいものもある。

[VAR: #7.83] SOME ILLNESSES TREATED BY METHODS OTHER THAN MODERN MEDICINE
科学技術－病気の治療

1988. 10
コード N = 2265

カラム 2-49

全くそのとおりだと思う	1	21.6
そう思う	2	50.0
そうは思わない	3	17.3
決してそうは思わない	4	4.9
その他〔記入〕	8	0.1
D. K.	9	6.1

問57〔つづき〕

b. 科学技術が発展すれば、いつかは人間の心の中までも解明できる。

[VAR: #7.84] SCIENCE PERMITS UNDERSTANDING OF THE HUMAN MIND

科学技術—科学技術の発達と人間の心

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 2—50

全くそのとおりだと思う	1	2.5
そう思う	2	11.3
そうは思わない	3	54.1
決してそうは思わない	4	24.0
その他〔記入〕	8	0.1
D. K.	9	8.0

c. 今日我々が直面している経済的、社会的問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される。

[VAR: #7.85] RESOLUTION OF SOCIAL AND ECONOMIC PROBLEMS THROUGH SCIENCE

科学技術—経済的、社会的問題の解決

コード 1988. 10
N = 2265

カラム 2—51

全くそのとおりだと思う	1	2.7
そう思う	2	12.4
そうは思わない	3	55.1
決してそうは思わない	4	18.8
その他〔記入〕	8	0.1
D. K.	9	10.9

問57 [カード34] つぎに読み挙げる事柄についてあなたはどのように思いますか。

それぞれについて、この中からお答えください(a～cについてそれぞれ聞く)

- a. 病気の中には近代医学とは別の方法で治療したほうがよいものもある。
- b. 科学技術が発展すれば、いつかは人間の心の中までも解明できる。
- c. 今日我々が直面している経済的、社会的問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される。

- a. 病気の中には近代医学とは別の方法で治療したほうがよいものもある。

[VAR: #7.83] SOME ILLNESS TREATED BY METHODS OTHER THAN MODERN MEDICINE

科学技術－病気の治療

		1988. 10		
コード		N = 1017	カラム 2-49	
全くそのとおりだと思う	1	21.7		
そう思う	2	47.7		
そうは思わない	3	18.1		
決してそうは思わない	4	6.0		
その他〔記入〕	8	0.2		
D. K.	9	6.3		

問57 [つづき]

b. 科学技術が発展すれば、いつかは人間の心の中までも解明できる。

[VAR: #7.84] SCIENCE PERMITS UNDERSTANDING OF THE HUMAN MIND

科学技術-科学技術の発達と人間の心

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-50

全くそのとおりだと思う	1	2.6
そう思う	2	11.3
そうは思わない	3	52.5
決してそうは思わない	4	25.8
その他〔記入〕	8	0.0
D. K.	9	7.9

c. 今日我々が直面している経済的、社会的問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される。

[VAR: #7.85] RESOLUTION OF SOCIAL AND ECONOMIC PROBLEMS THROUGH SCIENCE

科学技術-経済的、社会的問題の解決

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-51

全くそのとおりだと思う	1	2.4
そう思う	2	11.7
そうは思わない	3	57.6
決してそうは思わない	4	18.3
その他〔記入〕	8	0.0
D. K.	9	10.0

[DECK 2 Cols.49]
Q.57

Q.57 (HAND CARD 57)

Using the answers on this card, would you tell me how much you agree or disagree with the following statements.(READ EACH IN TURN)

A.57	Strongly Agree	Agree to some extent	Disagree to some extent	Strongly Disagree	Don't know
There are some illnesses that are better treated by methods that modern medicine does not recognize	1	2	3	4	9
Some day science will permit the complete understanding of the functioning of the human mind	1	2	3	4	9
Most of the social and economic problems we face today will be resolved by the advancement of science and technology	1	2	3	4	9

A. There are some illnesses that are better treated by methods that modern medicine does not recognize

[VAR: #7.83]

SOME ILLNESS TREATED BY METHODS OTHER THAN MODERN MEDICINE

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.249
Strongly agree.....1	20.7	
Agree to some extent.....2	50.9	
Disagree to some extent....3	17.3	
Strongly disagree.....4	6.9	
Don't know.....9	4.2	

[DECK 2 Cols.50-51]
Q.57

Q.57 Continued

B.Some day science will permit the complete understanding of the functioning of the human mind

[VAR: #7.84]

SCIENCE PERMITS UNDERSTANDING OF THE HUMAN MIND

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.250
Strongly agree.....1	18.6	
Agree to some extent.....2	39.2	
Disagree to some extent....3	23.2	
Strongly disagree.....4	15.1	
Don't know.....9	3.9	

C.Most of the social and economic problems we face today will be resolved by the advancement of science and technology

[VAR: #7.85]

RESOLUTION OF SOCIAL AND ECONOMIC PROBLEMS THROUGH SCIENCE

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.251
Strongly agree.....1	12.2	
Agree to some extent.....2	34.7	
Disagree to some extent....3	30.5	
Strongly disagree.....4	19.7	
Don't know.....9	2.9	

0.58 254-57.

Ich lese Ihnen jetzt einige Dinge vor. Für wie wahrscheinlich halten Sie es, daß wir diese Dinge in den nächsten 25 Jahren erreichen werden?

INT.: LISTE 24 vorlegen

INT.: Einzelnen vorlesen und bewerten lassen

halte dies für...

sehr möglich, überhaupt (weiß
wahr- aber nicht nicht nicht
schein-wahrschein-wahr-
lich lich scheinl.

- a) eine sichere Methode zur.....1.....2.....3.....9
Lagerung der Abfallstoffe
von Atomkraftwerken zu finden
- b) ein Heilmittel gegen die.....1.....2.....3.....9
verbreitetsten Arten von
Krebs zu finden
- c) ein Heilmittel gegen den.....1.....2.....3.....9
geistigen Abbau bei älteren
Menschen zu finden
- d) Leben in einer.....1.....2.....3.....9
Weltraumstation zu ermöglichen

- a) eine sichere Methode zur Lagerung der Abfallstoffe von Atomkraftwerken zu finden

[VAR: #7.86]

THE NEXT 25 YEARS: SAFE METHOD FOR NUCLEAR WASTE DISPOSAL

1987.10

N=1000

COL. 52

```

sehr wahrscheinlich.....1
CODE

```

17.1

möglich, aber nicht

wahrscheinlich.....2

42.3

überhaupt nicht

wahrscheinl.....	3
------------------	---

36.0

```

weiß nicht, NA.....9

```

4.6

Q.58 Continued

b) ein Heilmittel gegen die verbreitetsten Arten von Krebs zu finden

[VAR: #7.86B]

THE NEXT 25 YEARS: CURE FOR CANCER

	CODE	1987.10 N=1000	COL.53
sehr wahrscheinlich.....	1	36.5	
möglich, aber nicht wahrscheinlich.....	2	46.8	
überhaupt nicht wahrscheinl.....	3	12.7	
weiß nicht,NA.....	9	4.0	

c) ein Heilmittel gegen den geistigen Abbau bei älteren Menschen zu finden

[VAR: #7.86C]

THE NEXT 25 YEARS: CURE FOR SENILITY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.54
sehr wahrscheinlich.....	1	16.8	
möglich, aber nicht wahrscheinlich.....	2	40.0	
überhaupt nicht wahrscheinl.....	3	37.1	
weiß nicht,NA.....	9	6.1	

d) Leben in einer Weltraumstation zu ermöglichen

[VAR: #7.86D]

THE NEXT 25 YEARS: LIVING IN SPACE STATIONS

	CODE	1987.10 N=1000	COL.55
sehr wahrscheinlich.....	1	35.6	
möglich, aber nicht wahrscheinlich.....	2	37.4	
überhaupt nicht wahrscheinl.....	3	22.2	
weiß nicht,NA.....	9	4.8	

Q.58

Pensez-vous que les choses suivantes seront devenues ou non une réalité dans les 25 ans qui viennent? Veuillez choisir pour chacune une des réponses figurant sur cette liste.

(Enumérer - Montrer liste - 1 réponse par ligne)

- | | Très
probable | Possible
mais pas
trop
probable | Pas
probable
du tout | NSP | |
|---|------------------|--|----------------------------|-----|--------|
| a) Une méthode sûre pour...1.....2.....3.....9 | | | | | COL.52 |
| se débarrasser des
déchets des centrales
nucléaires | | | | | |
| b) Un traitement pour les..1.....2.....3.....9 | | | | | COL.53 |
| formes les plus
connues du cancer | | | | | |
| c) Un traitement pour.....1.....2.....3.....9 | | | | | COL.54 |
| la sénilité | | | | | |
| d) La possibilité de.....1.....2.....3.....9 | | | | | COL.55 |
| vivre dans une
station de l'espace | | | | | |
| a) Une méthode sûre pour se débarrasser des déchets des centrales
nucléaires | | | | | |

[VAR: #7.86]

THE NEXT 25 YEARS: SAFE METHOD FOR NUCLEAR WASTE DISPOSAL

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.52
Très probable.....1		28.4	
Possible mais pas trop probable.....2		50.5	
Pas probable du tout.....3		15.6	
NSP.....9		5.4	

Q.58 Continued

b) Un traitement pour les formes les plus connues du cancer

[VAR: #7.86B]

THE NEXT 25 YEARS: A CURE FOR CANCER

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.53
Très probable.....1		68.3	
Possible mais pas trop			
probable.....2		26.4	
Pas probable du tout.....3		3.0	
NSP.....9		2.4	

c) Un traitement pour la sénilité

[VAR: #7.86C]

THE NEXT 25 YEARS: A CURE FOR SENILITY

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.54
Très probable.....1		23.4	
Possible mais pas trop			
probable.....2		44.6	
Pas probable du tout.....3		21.4	
NSP.....9		10.6	

d) La possibilité de vivre dans une station de l'espace

[VAR: #7.86D]

THE NEXT 25 YEARS: LIVING IN SPACE STATIONS

		1987.10	
	CODE	N=1013	COL.55
Très probable.....1		23.4	
Possible mais pas trop			
probable.....2		36.7	
Pas probable du tout.....3		31.4	
NSP.....9		8.5	

SHOW CARD Y

Q.58

From the answers on this card how likely do you think it is that we will see each of the following things in the next 25 years?

(READ OUT)

	Very likely	Possible but not too likely	Not at all likely	Don't know	COL.
A safe method for the long-term storage or disposal of waste products from nuclear power plants	1	2	3	9	(52)
A cure for common forms of cancer	1	2	3	9	(53)
A cure for senility	1	2	3	9	(54)
People living in space stations	1	2	3	9	(55)

A.A safe method for the long-term storage or disposal of waste products from nuclear power plants

[VAR: #7.86]

THE NEXT 25 YEARS:SAFE METHOD FOR NUCLEAR WASTE DISPOSAL

	CODE	1987.10 N=1043	COL.52
Very likely	1	33.7	
Possible but not too likely	2	44.3	
Not at all likely	3	18.5	
Don't know	9	3.5	

Q.58 Continued

B.A cure for common forms of cancer

[VAR: #7.86B]

THE NEXT 25 YEARS:CURE FOR CANCER

	CODE	1987.10 N=1043	COL.53
Very likely.....	1	63.5	
Possible but not too likely.....	2	32.2	
Not at all likely.....	3	3.3	
Don't know.....	9	1.1	

C.A cure for senility

[VAR: #7.86C]

THE NEXT 25 YEARS:A CURE FOR SENILITY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.54
Very likely.....	1	11.7	
Possible but not too likely.....	2	38.4	
Not at all likely.....	3	45.6	
Don't know.....	9	4.2	

D.People living in space stations

[VAR: #7.86D]

THE NEXT 25 YEARS:LIVING IN SPACE STATIONS

	CODE	1987.10 N=1043	COL.55
Very likely.....	1	32.7	
Possible but not too likely.....	2	34.0	
Not at all likely.....	3	28.9	
Don't know.....	9	4.4	

問 5 8 [カード 3 5] つぎに挙げることは今後 2 5 年の間に実現すると思いますか。
それぞれついてこの中からお答えください。

- a. まず、「原子力廃棄物の安全な処理方法」についてはどうですか。
- b. 「ガンの治療方法の解明」についてはどうですか。
- c. 「老人性痴呆症（ぼけ）の治療方法の解明」についてはどうですか。
- d. 「宇宙ステーションでの生活」についてはどうですか。

	多分実現する	実現する可能性は低い	実現しない	その他	D K
a. 原子力廃棄物の安全な処理方法	1	2	3	8	9
b. ガンの治療方法の解明	1	2	3	8	9
c. 老人性痴呆症（ぼけ）の治療方法の解明	1	2	3	8	9
d. 宇宙ステーションでの生活	1	2	3	8	9

- a. まず、「原子力廃棄物の安全な処理方法」についてはどうですか。

[VAR: #7.86A] THE NEXT 25 YEARS : SAFE METHOD FOR NUCLEAR WASTE DISPOSAL
今後の 2 5 年ー原子力廃棄物の安全な処理方法

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2ー5 2

多分実現する 1 3 3 . 4
実現する可能性は低い 2 3 5 . 8
実現しない 3 1 6 . 1
その他 8 0 . 2
D. K. 9 1 4 . 4

[つづく]

問 5 8〔つづき〕

b. 「ガンの治療方法の解明」についてはどうですか。

[VAR: #7.86B] THE NEXT 25 YEARS : CURE FOR CANCER
今後の25年－ガンの治療方法の解明

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2－5 3
多分実現する	1 6 5.1	
実現する可能性は低い	2 2 4.3	
実現しない	3 5.3	
その他	8 0.2	
D. K.	9 5.2	

c. 「老人性痴呆症（ぼけ）の治療方法の解明」についてはどうですか。

[VAR: #7.86C] THE NEXT 25 YEARS : CURE FOR SENILITY
今後の25年－老人性痴呆症の治療方法の解明

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2－5 4
多分実現する	1 2 8.7	
実現する可能性は低い	2 4 4.5	
実現しない	3 1 8.0	
その他	8 0.1	
D. K.	9 8.6	

d. 「宇宙ステーションでの生活」についてはどうですか。

[VAR: #7.86D] THE NEXT 25 YEARS : LIVING IN SPACE STATIONS
今後の25年－宇宙ステーションでの生活

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2－5 5
多分実現する	1 1 9.3	
実現する可能性は低い	2 3 2.1	
実現しない	3 3 3.2	
その他	8 0.3	
D. K.	9 1 5.1	

問58 [カード35] つぎに挙げることは今後25年の間に実現すると思いますか。
それそれぞれについてこの中からお答えください。

- a. まず、「原子力廃棄物の安全な処理方法」についてはどうですか。
b. 「ガンの治療方法の解明」についてはどうですか。
c. 「老人性痴呆症(ぼけ)の治療方法の解明」についてはどうですか。
d. 「宇宙ステーションでの生活」についてはどうですか。

	多分実現する	実現する可能性は低い	実現しない	その他	DK
a. 原子力廃棄物の安全な処理方法	1	2	3	8	9
b. ガンの治療方法の解明	1	2	3	8	9
c. 老人性痴呆症(ぼけ)の治療方法の解明	1	2	3	8	9
d. 宇宙ステーションでの生活	1	2	3	8	9

- a. まず、「原子力廃棄物の安全な処理方法」についてはどうですか。

[VAR: #7.86A] THE NEXT 25 YEARS : SAFE METHOD FOR NUCLEAR WASTE DISPOSAL
今後の25年－原子力廃棄物の安全な処理方法

1988. 10
コード N = 1017

カラム 2-52

多分実現する 1 33.2
実現する可能性は低い 2 36.8
実現しない 3 14.4
その他 8 0.1
D. K. 9 15.5

[つづく]

問58 [つづき]

b. 「ガンの治療方法の解明」についてはどうですか。

[VAR: #7.86B] THE NEXT 25 YEARS : CURE FOR CANCER
今後の25年-ガンの治療方法の解明

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 2-53
多分実現する	1	64.8	
実現する可能性は低い	2	23.6	
実現しない	3	4.9	
その他	8	0.2	
D. K.	9	6.5	

c. 「老人性痴呆症(ぼけ)の治療方法の解明」についてはどうですか。

[VAR: #7.86C] THE NEXT 25 YEARS : CURE FOR SENILITY
今後の25年-老人性痴呆症の治療方法の解明

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 2-54
多分実現する	1	26.5	
実現する可能性は低い	2	45.4	
実現しない	3	16.9	
その他	8	0.2	
D. K.	9	11.0	

d. 「宇宙ステーションでの生活」についてはどうですか。

[VAR: #7.86D] THE NEXT 25 YEARS : LIVING IN SPACE STATIONS
今後の25年-宇宙ステーションでの生活

		1988. 10	
コード		N = 1017	カラム 2-55
多分実現する	1	20.6	
実現する可能性は低い	2	33.5	
実現しない	3	29.5	
その他	8	0.3	
D. K.	9	16.0	

[DECK 2 Cols.52]

Q.58

Q.58 (HAND CARD 58)

How likely do you think it is that we will see each of the following things in the next 25 years? Very likely, possible but not too likely, or not at all likely. (READ EACH IN TURN)

A.58	Very Likely	Possible but not too likely	Not at all likely	Don't know
A safe method for the long-term storage or disposal of waste products from nuclear power plants	1	2	3	9
A cure for common forms of cancer	1	2	3	9
A cure for senility	1	2	3	9
People living in space stations	1	2	3	9

A.A safe method for the long-term storage or disposal of waste products from nuclear power plants

[VAR: #7.86]

THE NEXT 25 YEARS: SAFE METHOD FOR NUCLEAR WASTE DISPOSAL

1988.10

CODE N=1563

COL.252

Very likely.....1	32.2
Possible but not too likely.2	50.0
Not at all likely.....3	14.8
Don't know.....9	2.9

Q.58 Continued

B. A cure for common forms of cancer

[VAR: #7.86B]

THE NEXT 25 YEARS: A CURE FOR CANCER

1988.10
CODE N=1563

COL.253

Very likely.....1	61.9
Possible but not too likely.2	32.9
Not at all likely.....3	4.2
Don't know.....9	1.0

C. A cure for senility

[VAR: #7.86C]

THE NEXT 25 YEARS: A CURE FOR SENILITY

1988.10
CODE N=1563

COL.254

Very likely.....1	25.0
Possible but not too likely.2	51.0
Not at all likely.....3	20.3
Don't know.....9	3.7

D. People living in space stations

[VAR: #7.56D]

THE NEXT 25 YEARS: LIVING IN SPACE STATIONS

1988.10
CODE N=1563

COL.255

Very likely.....1	41.3
Possible but not too likely.2	36.1
Not at all likely.....3	20.2
Don't know.....9	2.5

Q.59 258.

Heutzutage wird viel über das Energiesparen gesprochen. Halten Sie persönlich die Energieerhaltung für ...

[VAR: #7.34]

ENERGY CONSERVATION

INT.: bitte vorlesen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.56
sehr wichtig?.....1		56.2	
wichtig?.....2		39.2	
nicht so wichtig? oder....3		3.4	
überhaupt nicht wichtig?...4		0.0	
weiß nicht,NA.....9		1.2	

Q.59

On parle beaucoup d'économies d'énergie. Vous même, pensez-vous qu'il s'agisse d'une affaire...

[VAR: #7.34]

ENERGY CONSERVATION

	CODE	1987.10 N=1013	COL.56
très importante.....1		33.1	
importante.....2		54.2	
peu importante.....3		10.0	
pas importante du tout....4		1.9	
N.S.P.9		0.9	

Q.59

We hear a lot about energy conservation these days. Do you feel that saving energy is....

(READ OUT)

[VAR: #7.34]

ENERGY CONSERVATION

	CODE	1987.10 N=1043	COL.56
Very important.....1		50.9	
important.....2		39.4	
Not very important.....3		6.3	
Or Not at all important?...4		1.4	
Don't know.....9		1.9	

問 5 9 [カード 3 6] エネルギーの節約について話題になることがしばしばあります。
あなたご自身は、このことは重要な問題だと思いますか。

[VAR: #7.34] ENERGY CONSERVATION
省エネルギーは重要か

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2-5 6
非常に重要である	1 4 1.9	
重要である	2 4 7.5	
あまり重要ではない	3 5.7	
重要ではない	4 0.5	
その他 (記入)	8 0.0	
D. K.	9 4.3	

問 5 9 [カード 3 6] エネルギーの節約について話題になることがしばしばあります。
あなたご自身は、このことは重要な問題だと思いますか。

[VAR: #7.34] ENERGY CONSERVATION
省エネルギーは重要か

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 2-5 6
非常に重要である	1 3 9.0	
重要である	2 5 0.7	
あまり重要ではない	3 4.8	
重要ではない	4 1.2	
その他 (記入)	8 0.1	
D. K.	9 4.1	

Q.59

We hear a lot about energy conservation these days. Do you feel that saving energy is.....(READ)

[VAR: #7.34]
ENERGY CONSERVATION

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.256
Very important.....1	66.0	
Important.....2	30.4	
Not very important,or.....3	2.8	
Not at all important.....4	0.6	
Don't know (DO NOT READ)...9	0.3	

[DECK 2 Cols.60]
Q57

Q.60 259.

Für wie wichtig halten Sie den Umweltschutz. Halten Sie ihn für...

[VAR: #7.35]

ENVIRONMENTAL PRESERVATION

INT.: bitte vorlesen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.57
sehr wichtig?.....1		74.2	
wichtig?.....2		24.3	
nicht so wichtig? oder....3		0.7	
überhaupt nicht wichtig?...4		0.2	
weiß nicht,NA.....9		0.6	

Q.60

Est-ce que la préservation de l'environnement constitue pour vous quelque chose de...

[VAR: #7.35]

ENVIRONMENTAL PRESERVATION

	CODE	1987.10 N=1013	COL.57
très importante.....1		69.6	
assez importante.....2		28.1	
peu importante.....3		1.2	
pas importante du tout.....4		0.4	
N.S.P.9		0.7	

Q.60

How important do you think it is to preserve the environment? Is it ... (READ OUT)

[VAR: #7.35]

ENVIRONMENTAL PRESERVATION

	CODE	1987.10 N=1043	COL.57
Very important.....1		74.0	
important.....2		23.2	
Not very important.....3		1.5	
Or Not at all important?...4		0.1	
Don't know.....9		1.2	

問 6 0 [カード 3 6] 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか。

[VAR: #7.35] ENVIRONMENTAL PRESERVATION
環境の保護は重要か

		1 9 8 8 . 1 0
コード		N = 2 2 6 5
非常に重要である	1	4 5 . 6
重要である	2	4 5 . 7
あまり重要ではない	3	4 . 7
重要ではない	4	0 . 2
その他〔記入〕	8	0 . 0
D. K.	9	3 . 8

カラム 2 - 5 7

問 6 0 [カード 3 6] 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか。

[VAR: #7.35] ENVIRONMENTAL PRESERVATION
環境の保護は重要か

		1 9 8 8 . 1 0
コード		N = 1 0 1 7
非常に重要である	1	4 4 . 1
重要である	2	4 7 . 8
あまり重要ではない	3	4 . 8
重要ではない	4	0 . 3
その他〔記入〕	8	0 . 0
D. K.	9	3 . 0

カラム 2 - 5 7

Q.60

How important do you think it is to preserve the environment? Is it
... (READ)

[VAR: #7.35]
ENVIRONMENTAL PRESERVATION

		1988.10
	CODE	N=1563
Very important.....	1	84.2
Important.....	2	14.7
Not very important or,.....	3	0.6
Not at all important.....	4	0.2
Don't know (DO NOT READ)...	9	0.3

COL.257

Q.61 260.

Was fällt Ihnen ein, wenn Sie an die deutsche Kultur denken? Bitte nennen Sie mir alles, was Ihnen dazu einfällt.

[VAR: #9.80]

GERMAN CULTURE

	CODE	1987.10 N=1000	COL.58
.....1		77.6	
weiß nicht.....9		22.4	

NUR FÜRS INSTITUT !

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

Q.61

Qu'est-ce qui vous vient à l'esprit quand vous pensez à la Culture Française?

Dites-moi tout ce à quoi vous pensez?

[VAR: #9.80]

FRENCH CULTURE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.58

Quoi d'autre encore?			

Réponse.....1	79.2
N.S.P.9	20.8

Q.61

What first comes to your mind when you think of British culture? Please tell me as many things as you can. PROBE: What else?

[VAR: #9.80]

BRITISH CULTURE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.58
Answered.....1		73.7	
Don't know.....9		26.3	

問 6 1 日本文化ときいて、まず思い浮かべることは何ですか？

[VAR: #9.80] JAPANESE CULTURE
文化 (各国の文化)

カラム 2-58

〔記入〕 (コード0 58.4 %)	9 D. K. (41.6 %)
-----------------------	------------------

問 6 1 b そのほかいくつかあげて下さい？

〔何かそのほかにありますか 記入〕 (コード0 32.3 %)	9 D. K. (67.7 %)
------------------------------------	------------------

問 6 1 日本文化ときいて、まず思い浮かべることは何ですか？

[VAR: #9.80] JAPANESE CULTURE
文化 (各国の文化)

カラム 2-58

〔記入〕 (コード0 59.6 %)	9 D. K. (40.4 %)
-----------------------	------------------

問 6 1 b そのほかいくつかあげて下さい？

〔何かそのほかにありますか 記入〕 (コード0 33.7 %)	9 D. K. (66.3 %)
------------------------------------	------------------

Q.61

What first comes to your mind when you think of American culture?
Please tell me as many things as you can. PROBE: What else?

[VAR: #9.80]
AMERICAN CULTURE

1988.10
CODE N=1563

COL.258

ALL BLANK

Q.62a) 261.

Als nächstes möchte ich Ihnen einige Fragen zur Religion stellen.
Haben Sie selbst einen religiösen Glauben?

[VAR: #3.1]

RELIGIOUS FAITH

	CODE	1987.10 N=1000	COL.59
ja.....	1	----->262	74.8
nein.....	2	----->263	21.8
weiß nicht.....	9	----->263	3.4

Q.62b) 262.

Welcher Religion gehören Sie an?

[VAR: #3.1 B]

RELIGION

	CODE	1987.10 N=1000	COL.60
NA.....	9	0.2	
weiß nicht.....	0	25.2	
evangelisch.....	1	33.7	
katholisch.....	2	38.3	
sonstiges, und zwar: _____	8	2.6	

Q.62a

Considérez-vous que vous appartenez à une religion?

[VAR: #3.1]

RELIGIOUS FAITH

	CODE	1987.10 N=1013	COL.59
OUI.....	1	64.4	
NON.....	2	34.8----->	Passer à Q.63
N.S.P.	9	0.8----->	Passer à Q.63

Q.62b

Laquelle?

[VAR: #3.1B]

RELIGION

	CODE	1987.10 N=1013	COL.60
Protestante.....	1	1.6	
Catholique.....	2	60.3	
Juive.....	3	0.5	
Musulmane.....	5	0.9	
Autre (préciser) _____	8	0.8	
N.S.P.	9	0.3	
Manque.....	0	35.6	

Q.62a)

I would now like to ask you a few questions about religion. Do you have any personal religious faith?

[VAR: #3.1]

RELIGIOUS FAITH

	CODE	1987.10 N=1043	COL.59
Yes.....	1	64.2	
No.....	2	34.3	
Don't know.....	9	1.4	

IF YES:

Q.62b)

What religion is that?

[VAR: #3.1B]

RELIGION

	CODE	1987.10 N=1043	COL.60
Have not.....	0	35.8	
Protestant (Church of England, Baptist, Methodist etc.).....	1	50.0	
Catholic.....	2	8.4	
Jewish.....	3	0.2	
Buddism.....	4	0.1	
Moslem.....	5	0.9	
Other (WRITE IN).....	8	4.2	
Don't know.....	9	0.4	

問62 宗教についておききたいのですが、
たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか？

[VAR: #3.1] RELIGIOUS FAITH
宗教を信じるか

1988. 10
コード N = 2265

カラム 2-59

もっている、信じている	1	36.5
もっていない、しんじていない、 関心がない	2	63.5

1 もっている、信じている
2 もっていない、信じていない、関心がない → 問63へ

↓
問62b (問62で「1 もっている、信じている」と回答した人に)
それは何という宗教ですか？

[VAR: #3.1B] RELIGION
(Aで信じている人に) 何という宗教か

4 仏教系	
6 神道系	[記入] _____
7 キリスト教	[記入] _____
8 その他の宗教	[記入] _____
	9 D. K.

1988. 10
コード N = 2265

カラム 2-60

仏教系	4	28.5
神道系 [記入]	6	2.1
キリスト教 [記入]	7	1.2
その他の宗教 [記入]	8	3.2
D. K.	9	1.5
Missing	0	63.5

問62 宗教についておききたいのですが、
たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか？

[VAR: #3.1] RELIGIOUS FAITH
宗教を信じるか

1988. 10
コード N = 1017 カラム 2-59

もっている、信じている 1 34.7
もっていない、しんじていない、
関心がない 2 65.3

↓

1 もっている、信じている

2 もっていない、信じていない、関心がない → 問63へ

問62b {問62で「1 もっている、信じている」と回答した人に}
それは何という宗教ですか？

[VAR: #3.1B] RELIGION
(Aで信じている人に) 何という宗教か

4 仏教系

6 神道系 [記入]

7 キリスト教 [記入]

8 その他の宗教 [記入]

9 D. K.

1988. 10
コード N = 1017 カラム 2-60

仏教系 4 26.2
神道系 [記入] 6 1.5
キリスト教 [記入] 7 1.7
その他の宗教 [記入] 8 3.5
D. K. 9 1.9
Missing 0 65.3

Q.62

I would now like to ask you a few questions about religion. Do you have any personal religious faith?

[VAR: #3.1]

RELIGIOUS FAITH

	CODE	1988.10 N=1563	COL.259
Yes.....	1	85.3	
No.....	2	13.9 ---#3.1B Missing	
Don't know.....	9	0.8 ---#3.1B Missing	

Q.919a Recode

What is your religious preference--Protestant,Roman Catholic,Jewish, Mormon,or an Orthodox Church such as the Greek or Russian Orthodox Church?

[VAR: #3.1B]

RELIGION

	CODE	1988.10 N=1563	COL.260
Protestant,.....	1	54.8	
(include Baptist,Christian Church,Episcopal,Lutheran, Methodist,Presbyterian, etc.)			
Roman Catholic.....	2	24.4	
Jewish.....	3	1.2	
Other.....	8	2.5	
(SPECIFY) _____			
D.K.....	9	2.5	
Missing.....	0	14.7	

Q.63 263.

Einmal unabhängig von den verschiedenen Glaubensrichtungen: halten Sie es für wichtig, eine religiöse Einstellung zu haben, oder halten Sie dies nicht für wichtig?

[VAR: #3.2]

RELIGIOUS ATTITUDE

	CODE	1987.10 N=1000	COL.61
wichtig.....	1	57.6	
nicht wichtig.....	2	34.3	
sonstiges, und zwar:_____	8	1.6	
weiß nicht,NA.....	9	6.5	

Q.63

Indépendamment de la pratique, pensez-vous qu'il est important ou non d'avoir des sentiments religieux?

[VAR: #3.2]

RELIGIOUS ATTITUDE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.61
Important.....	1	62.5	
Pas important.....	2	33.2	
Autre (préciser) _____	8	2.2	
N.S.P.	9	2.2	

ASK ALL

Q.63

Without reference to any of the established religions, do you think that a religious attitude is important or not?

[VAR: #3.2]

RELIGIOUS ATTITUDE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.61
Important.....	1	58.5	
Not important.....	2	36.3	
Other (WRITE IN) _____	8	3.4	
Don't know.....	9	1.8	

問63 それでは、いままでの宗教にはかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか。

[VAR: #3.2] RELIGIOUS ATTITUDE

「宗教心」は大切か

	1988. 10	
コード	N = 2265	カラム 2-61
大 切	1 75.5	
大切でない	2 11.1	
その他〔記入〕	8 1.1	
D. K.	9 12.4	

問63 それでは、いままでの宗教にはかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか。

[VAR: #3.2] RELIGIOUS ATTITUDE

「宗教心」は大切か

	1988. 10	
コード	N = 1017	カラム 2-61
大 切	1 76.6	
大切でない	2 10.4	
その他〔記入〕	8 0.6	
D. K.	9 12.4	

Q.63

Without reference to any of the established religions, do you think a religious attitude is important, or not important?

[VAR: #3.2]

RELIGIOUS ATTITUDE

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.261
Important.....1	87.3	
Not important.....2	10.4	
Other (PLEASE SPECIFY) 8	1.0	
Don't know.....9	1.3	

Q.64 264.

Manche Leute sagen, daß es zwar viele Konfessionen mit ihren eignen unterschiedlichen Standpunkten gibt, daß aber im Grunde ihre Lehren auf ein und dasselbe zurückzuführen sind. Stimmen Sie dieser Aussage zu, oder stimmen Sie ihr nicht zu?

[VAR: #3.3]

ALL RELIGIONS SAME

	CODE	1987.10 N=1000	COL.62
stimme zu.....	1	61.8	
stimme nicht zu.....	2	20.7	
sonstiges, und zwar.....	8	0.4	
weiß nicht,NA.....	9	17.1	

Q.64

Certaines personnes disent qu'il y a beaucoup de religions, chacune avec ses particularités, mais que leurs enseignements sont finalement les mêmes. Etes-vous d'accord ou pas avec cette idée?

[VAR: #3.3]

ALL RELIGIONS SAME

	CODE	1987.10 N=1013	COL.62
OUI.....	1	57.8	
NON.....	2	33.0	
Autre (préciser).....	8	1.0	
N.S.P.	9	8.2	

Q.64

Some people say that there are many different religions all with their different beliefs, but that really their teachings all amount to the same thing. Would you agree with this or not?

[VAR: #3.3]

ALL RELIGIONS SAME

	CODE	1987.10 N=1043	COL.62
Agree.....	1	71.2	
Disagree.....	2	24.5	
Other (WRITE IN).....	8	0.9	
Don't know.....	9	3.4	

* 問 6 4 宗教について、こんな意見があります。

「宗教にはいろいろあり、それぞれ独自の教えを説いているが、そうした教えは、けっきょくは同じものだ」というのですが、
あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

[VAR: #3.3] ALL RELIGIOUS SAME

宗教は1つか

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 6 2

賛 成	1	6 3 . 3
反 対	2	1 6 . 4
その他〔記入〕	8	0 . 5
D. K.	9	1 9 . 9

* 問 6 4 宗教について、こんな意見があります。

「宗教にはいろいろあり、それぞれ立場が違うが、けっきょくは一つのものを説いている」というのですが、
あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

[VAR: #3.3] ALL RELIGIOUS SAME

宗教は1つか

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 2 - 6 2

賛 成	1	6 2 . 4
反 対	2	1 4 . 3
その他〔記入〕	8	0 . 3
D. K.	9	2 3 . 0

Q.64

Some people say that although there are many different religions in the world, each with their own beliefs, their teachings really all amount to the same thing. Would you agree with this or disagree?

[VAR: #3.3]

ALL RELIGIONS SAME

1988.10
CODE N=1563

COL.262

Agree	1	56.5
Disagree	2	39.9
Other (PLEASE SPECIFY) _____	8	1.0
Don't know	9	2.7

Q.65 265-66.

INT.: LISTE 25 bereitlegen!

In der Politik spricht man von rechts und links.

LISTE 25 vorlegen

Wie würden Sie ganz allgemein Ihren eigenen politischen Standpunkt beschreiben: Wo auf dieser Skala würden Sie sich selbst einstufen?

[VAR: #8.81]

POLITICAL STANCE

links	1	2	3	4	5	6	7	8	9	rechts
unentschieden.....	11									10
keine Angabe.....	12									

	CODE	1987.10 N=1000	COL.63-64
links.....	1	2.1	
.....	2	3.5	
.....	3	11.8	
.....	4	13.3	
.....	5	19.6	
.....	6	13.4	
.....	7	10.6	
.....	8	7.2	
.....	9	2.1	
rechts.....	10	1.4	
unentschieden.....	88	6.7	
keine Angabe.....	99	8.3	

Q.65

A propos de politique, les gens parlent de gauche et de droite. Vous même, où vous situez-vous sur cette échelle d'une façon générale? (Inscrire la note de 1 à 10)

[VAR: #8.81]

POLITICAL STANCE

	CODE	1987.10 N=1013	COL.63-64
Gauche.....	01	3.3	
.....	02	3.8	
.....	03	10.9	
.....	04	11.0	
.....	05	28.7	
.....	06	9.7	
.....	07	7.6	
.....	08	7.0	
.....	09	1.5	
Droite.....	10	1.6	
N.S.P.....	99	15.1	

SHOW CARD Z

Q.65

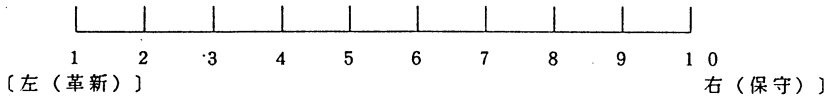
In political matters people talk of the 'left' and 'right'.
How would you place yourself on this scale?

[VAR: #8.81]

POLITICAL STANCE

		1987.10	
		N=1043	COL.63-64
		CODE	
Left	1.....	.01	3.0
	2.....	.02	1.4
	3.....	.03	4.0
	4.....	.04	7.2
	5.....	.05	30.0
	6.....	.06	12.8
	7.....	.07	11.7
	8.....	.08	12.3
	9.....	.09	2.7
Right	10.....	.10	5.2
	Don't know.....	.99	9.8

問 6 5 [カード 3 7] 政治の立場を明らかにするに当たって、世間ではよく「左(革新)」とか「右(保守)」とかいいますが、あなたはいかがですか。
この目盛りを使ってあなたの政治に対する考え方をお知らせ下さい。



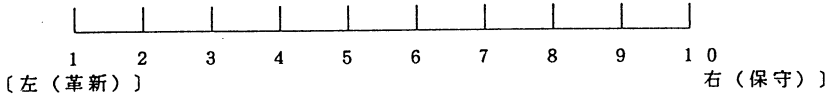
										8 8 9 9	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	D K
[左(革新)]										右(保守)]	

[VAR: #8.81] POLITICAL STANCE
革新か保守か

コード 1 9 8 8 . 1 0
 N = 2 2 6 5

[左(革新)]	1	1.4	カラム 2 - 6 3 . 6 4
	2	1.0	
	3	4.2	
	4	6.0	
	5	27.3	
	6	15.0	
	7	10.3	
	8	9.9	
	9	3.2	
[右(保守)]	10	4.6	
その他	88	0.6	
D. K.	99	16.5	

問 6 5 [カード37] 政治の立場を明らかにするに当たって、世間ではよく「左(革新)」とか「右(保守)」とかいいますが、あなたはいかがですか。
この目盛りを使ってあなたの政治に対する考え方をお知らせ下さい。



										88	99
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	DK
〔左(革新)〕										右(保守)〕	

[VAR: #8.81] POLITICAL STANCE
革新か保守か

			1988. 10	
	コード		N = 1017	
〔左(革新)〕	1	1.1	カラム 2-63・64
	2	0.9	
	3	4.9	
	4	5.3	
	5	27.9	
	6	14.8	
	7	8.6	
	8	11.7	
	9	2.6	
〔右(保守)〕	10	4.7	
その他	88	1.0	
D. K.	99	16.5	

[DECK 2 Cols.63-64]

Q.65

Q.65 (HAND CARD 65)

In political matters people often refer to "liberals" as being on the 'left' and "conservatives" as being on the 'right'. On this scale, where '10' is the most conservative and '1' is the most liberal, where would you place yourself?

[VAR: #8.81]

POLITICAL STANCE

	CODE	1988.10 N=1563	COL.263-4
Left (liberal)	1*	2.9	
	2*	2.6	
	3*	7.7	
	4*	6.8	
	5*	23.9	
	6*	13.7	
	7*	12.2	
	8*	13.8	
	9*	4.7	
Right (conservative)	10	7.3	
Don't know	99	4.5	(*: Blank)

Q.66 267.

Wie stark sind Sie an Politik interessiert?

[VAR: #8.82]

INTEREST IN POLITICS

INT.: bitte vorlesen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.65
sehr?.....	1	10.7	
ziemlich?.....	2	38.8	
nicht besonders? oder.....	3	38.4	
überhaupt nicht?.....	4	10.3	
weiß nicht/keine Antwort...9		1.8	

Q.66

Dans quelle mesure diriez-vous que vous vous intéressez à la politique: beaucoup, assez, pas beaucoup ou pas du tout?

[VAR: #8.82]

INTEREST IN POLITICS

	CODE	1987.10 N=1013	COL.65
Beaucoup.....	1	8.8	
Assez.....	2	30.0	
Pas beaucoup.....	3	31.4	
Pas du tout.....	4	29.1	
N.S.P.	9	0.7	

SHOW CARD AA

Q.66

To what extent would you say you are interested in politics?

[VAR: #8.82]

INTEREST IN POLITICS

	CODE	1987.10 N=1043	COL.65
A great deal.....	1	10.0	
To some extent.....	2	40.8	
Not much.....	3	31.6	
Not at all.....	4	17.0	
Don't know.....	9	0.6	

問 6 6 [カード 3 8] あなたは、政治に関心がありますか。

[VAR: #8.82] INTEREST IN POLITICS

政治関心

コード 1 9 8 8 . 1 0
N = 2 2 6 5

カラム 2 - 6 5

非常に関心がある	1	1 1 . 3
まあ関心がある	2	4 5 . 9
あまり関心がない	3	3 4 . 7
全く関心がない	4	6 . 2
その他〔記入〕	5	
D. K.	9	1 . 8

問 6 6 [カード 3 8] あなたは、政治に関心がありますか。

[VAR: #8.82] INTEREST IN POLITICS

政治関心

コード 1 9 8 8 . 1 0
N = 1 0 1 7

カラム 2 - 6 5

非常に関心がある	1	1 1 . 6
まあ関心がある	2	4 3 . 0
あまり関心がない	3	3 7 . 3
全く関心がない	4	6 . 4
その他〔記入〕	5	
D. K.	9	1 . 8

Q.66

To what extent would you say you are interested in politics?(READ)

[VAR: #8.82]

INTEREST IN POLITICS

CODE 1988.10
N=1563

COL.265

A great deal.....1	21.7
To some extent.....2	47.7
Not much,or.....3	21.6
Not at all.....4	8.6
Don't know (DO NOT READ)...9	0.5

Q.67 268-71.

Wie ist Ihre Einstellung zur "Demokratie", zum "Kapitalismus", zum "Sozialismus" und zum "Liberalismus"? Stehen Sie diesen Ideen eher zustimmend oder eher ablehnend gegenüber? Sagen Sie mir das bitte anhand dieser Liste.

INT.: LISTE 26 vorlegen

Bitte einzeln vorlesen und bewerten lassen

	eher zu- stimmend	(kommt darauf an)	eher ab- lehrend	(weiß nicht)
a) Demokratie.....	1.....	2.....	3.....	9
b) Kapitalismus.....	1.....	2.....	3.....	9
c) Sozialismus.....	1.....	2.....	3.....	9
d) Liberalismus.....	1.....	2.....	3.....	9

a) Demokratie

[VAR: #8.2E]

DEMOCRACY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.66
eher zustimmend.....	1	86.1	
kommt darauf an.....	2	11.0	
eher ablehnend.....	3	1.5	
weiß nicht, NA.....	9	1.4	

b) Kapitalismus

[VAR: #8.2F]

CAPITALISM

	CODE	1987.10 N=1000	COL.67
eher zustimmend.....	1	19.1	
kommt darauf an.....	2	43.2	
eher ablehnend.....	3	32.2	
weiß nicht, NA.....	9	5.5	

[DECK 2 Cols.68-69]
Q67

Q.67 Continued
c) Sozialismus
[VAR: #8.2H]
SOCIALISM

	CODE	1987.10 N=1000	COL.68
eher zustimmend.....	1	13.7	
kommt darauf an.....	2	38.3	
eher ablehnend.....	3	40.8	
weiß nicht,NA.....	9	7.2	

d) Liberalismus
[VAR: #8.2G]
LIBERALISM

	CODE	1987.10 N=1000	COL.69
eher zustimmend.....	1	20.5	
kommt darauf an.....	2	46.9	
eher ablehnend.....	3	18.1	
weiß nicht,NA.....	9	14.5	

[DECK 2 Cols.66-67]

Q67

Q.67

Je vais vous citer quelques mots qui caractérisent des idées. Pour chacun, j'aimerais que vous me disiez si vous êtes plutôt favorable ou plutôt défavorable?

(Montrer liste)

	Favorable	Cela dépend	Défavo- rable	NSP	COL.xx
A) Démocratie.....	1.....	2.....	3.....	9	COL.66
B) Capitalisme.....	1.....	2.....	3.....	9	COL.67
C) Socialisme.....	1.....	2.....	3.....	9	COL.68
D) Libéralisme.....	1.....	2.....	3.....	9	COL.69

A) Démocratie

[VAR: #8.2E]

DEMOCRACY

	1987.10	
CODE	N=1013	COL.66
Favorable.....1	70.9	
Cela dépend.....2	17.2	
Défavorable.....3	4.9	
NSP.....9	7.0	

B) Capitalisme

[VAR: #8.2F]

CAPITALISM

	1987.10	
CODE	N=1013	COL.67
Favorable.....1	14.0	
Cela dépend.....2	36.9	
Défavorable.....3	42.5	
NSP.....9	6.5	

[DECK 2 Cols.68-69]
Q67

Q.67 Continued
C) Socialisme

[VAR: #8.2H]
SOCIALISM

	CODE	1987.10 N=1013	COL.68
Favorable.....	1	30.3	
Cela dépend.....	2	41.6	
Défavorable.....	3	20.2	
NSP.....	9	7.9	

D) Libéralisme

[VAR: #8.2G]
LIBERALISM

	CODE	1987.10 N=1013	COL.69
Favorable.....	1	48.7	
Cela dépend.....	2	34.1	
Défavorable.....	3	9.7	
NSP.....	9	7.6	

SHOW CARD AB

Q.67

Would you say that you are favourably or unfavourably disposed to each of the following ideas?

(READ OUT EACH IN TURN)

	Favourably disposed	It depends	Unfavourably disposed	Don't know	COL.
Democracy.....	1.....	2.....	3.....	9	(66)
Capitalism.....	1.....	2.....	3.....	9	(67)
Socialism.....	1.....	2.....	3.....	9	(68)
Liberalism.....	1.....	2.....	3.....	9	(69)

A.Democracy

[VAR: #8.2E]

DEMOCRACY

	1987.10	
CODE	N=1043	COL.66
Favourably.....1	65.8	
Depend.....2	22.1	
Unfavourably.....3	5.0	
Don't know.....9	7.1	

B.Capitalism

[VAR: #8.2F]

CAPITALISM

	1987.10	
CODE	N=1043	COL.67
Favourably.....1	23.1	
Depend.....2	37.5	
Unfavourably.....3	29.7	
Don't know.....9	9.7	

Q.67 Continued

C.Socialism

[VAR: #8.2H]

SOCIALISM

	CODE	1987.10 N=1043	COL.68
Favourably.....	1	22.4	
Depend.....	2	39.1	
Unfavourably.....	3	30.7	
Don't know.....	9	7.8	

D.Liberalism

[VAR: #8.2G]

LIBERALISM

	CODE	1987.10 N=1043	COL.69
Favourably.....	1	21.6	
Depend.....	2	47.2	
Unfavourably.....	3	20.9	
Don't know.....	9	10.4	

問 6 7 a. [カード 3 9] あなたは民主主義についてどうおもいますか。
このうち、あなたの意見に一番近いのはどれですか。

[VAR: #8.2E] DEMOCRACY

「民主主義」はよいか

1 9 8 8. 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 6 6

よい	1	5 2 . 1
時と場合による	2	3 7 . 7
よくない	3	1 . 7
その他	8	0 . 1
D. K.	9	8 . 4

問 6 7 b. [カード 3 9] では、「資本主義」についてはどうですか。

[VAR: #8.2F] CAPITALISM

「資本主義」はよいか

1 9 8 8. 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 6 7

よい	1	2 7 . 3
時と場合による	2	4 8 . 3
よくない	3	1 0 . 1
その他〔記入〕	8	—
D. K.	9	1 4 . 3

問 6 7 c. [カード 3 9] では、「社会主義」についてはどうですか。

[VAR: #8.2H] SOCIALISM

「社会主義」はよいか

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 6 8
よい	1 6.3	
時と場合による	2 5 4.3	
よくない	3 2 0.9	
その他	8 0.0	
D. K.	9 1 8.4	

問 6 7 d. [カード 3 9] では、「自由主義」についてはどうですか。

[VAR: #8.2G] LIBERALISM

「自由主義」はよいか

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 6 9
よい	1 3 3.5	
時と場合による	2 4 7.1	
よくない	3 5.5	
その他〔記入〕	8 0.0	
D. K.	9 1 3.9	

以下の項目は日本調査コードブックにはあるが共通ファイルには入っていない項目である。

問 6 7 e. [カード 3 9] では、「保守主義」についてはどうですか。

[VAR: #8.2K] CONSERVATISM

「保守主義」はよいか

	1 9 8 8. 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	
よい	1 1 1.4	
時と場合による	2 5 5.1	
よくない	3 1 5.1	
その他〔記入〕	4 0.0	
D. K.	5 1 8.4	

問67 a. [カード39] あなたは「民主主義」について、どう思いますか。
このうち、あなたの意見に一番近いのはどれですか。

[VAR: #8.2E] DEMOCRACY

「民主主義」はよいか

		1988. 10	
	コード	N = 1017	カラム 2-66
よい	1	50.9	
時と場合による	2	39.0	
よくない	3	1.0	
その他〔記入〕	8	0.1	
D. K.	9	8.9	

問67 b. [カード39] では、「資本主義」についてはどうですか。

[VAR: #8.2F] CAPITALISM

「資本主義」はよいか

		1988. 10	
	コード	N = 1017	カラム 2-67
よい	1	26.6	
時と場合による	2	48.6	
よくない	3	10.2	
その他〔記入〕	8	—	
D. K.	9	14.6	

[つづく]

問67c. [カード39]では、「社会主義」についてはどうですか。

[VAR: #8.2H] SOCIALISM

「社会主義」はよいか

	コード	1988. 10 N = 1017	カラム 2-68
よい	1	5.6	
時と場合による	2	55.7	
よくない	3	21.3	
その他	8	0.1	
D. K.	9	17.3	

問67d. [カード39]では、「自由主義」についてはどうですか。

[VAR: #8.2G] LIBERALISM

「自由主義」はよいか

	コード	1988. 10 N = 1017	カラム 2-69
よい	1	36.8	
時と場合による	2	45.9	
よくない	3	5.4	
その他〔記入〕	8	—	
D. K.	9	11.9	

以下の項目は日本調査コードブックにはあるが共通ファイルには入っていない項目である。

問67e. [カード39]では、「保守主義」についてはどうですか。

[VAR: #8.2K] CONSERVATISM

「保守主義」はよいか

	コード	1988. 10 N = 1017
よい	1	11.6
時と場合による	2	53.8
よくない	3	14.3
その他〔記入〕	4	0.3
D. K.	5	20.1

[DECK 2 Cols.66-67]

Q.67

Q.67 (HAND CARD 67)

Would you say that you have a favorable or unfavorable opinion
towards each of the following ideas?

(READ EACH IN TURN)

	Favorable Opinion	It depends	Unfavorable Opinion	Don't know	COL.
Democracy.....	1.....	2.....	3.....	9	(266)
Capitalism.....	1.....	2.....	3.....	9	(267)
Socialism.....	1.....	2.....	3.....	9	(268)
Liberalism.....	1.....	2.....	3.....	9	(269)

A.DEMOCRACY

[VAR: #8.2E]

	CODE	1988.10 N=1563	COL.266
Favorable Opinion.....	1	83.6	
It depends.....	2	11.2	
Unfavorable Opinion.....	3	2.9	
Don't know.....	9	2.3	

B.CAPITALISM

[VAR: #8.2F]

	CODE	1988.10 N=1563	COL.267
Favorable Opinion.....	1	41.5	
It depends.....	2	30.9	
Unfavorable Opinion.....	3	20.9	
Don't know.....	9	6.8	

[DECK 2 Cols.68-69]
Q.67

Q.67 Continued

C.SOCIALISM

[VAR: #8.2H]

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.268

Favorable Opinion.....1	10.9
It depends.....2	32.2
Unfavorable Opinion.....3	49.5
Don't know.....9	7.5

D.LIBERALISM

[VAR: #8.2G]

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.269

Favorable Opinion.....1	16.9
It depends.....2	43.6
Unfavorable Opinion.....3	29.4
Don't know.....9	10.1

[DECK 2 Cols.70]

Q68

Q.68 272.

Sind Sie mit der Art und Weise, wie die Demokratie in der Bundesrepublik Deutschland funktioniert, alles in allem gesehen sehr zufrieden - ziemlich zufrieden - ziemlich unzufrieden - oder völlig unzufrieden?

[VAR: #8.83]

SATISFACTION WITH DEMOCRACY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.70
sehr zufrieden.....	1	6.7	
ziemlich zufrieden.....	2	64.6	
ziemlich unzufrieden.....	3	23.0	
völlig unzufrieden.....	4	2.7	
weiß nicht/keine Antwort...	9	3.0	

Q.68

Dans l'ensemble, êtes-vous très satisfait, plutôt satisfait, plutôt pas satisfait ou pas du tout satisfait du fonctionnement de la démocratie en France?

[VAR: #8.83]

SATISFACTION WITH DEMOCRACY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.70
Très satisfait.....	1	3.3	
Plutôt satisfait.....	2	49.0	
Plutôt pas satisfait.....	3	28.8	
Pas du tout satisfait.....	4	11.0	
N.S.P.	9	8.0	

Q.68

On the whole, how satisfied are you with the way democracy works in Britain? Would you say... (READ OUT)

[VAR: #8.83]

SATISFACTION WITH DEMOCRACY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.70
Very satisfied.....	1	9.9	
Fairly satisfied.....	2	58.4	
Not very satisfied.....	3	20.6	
Not at all satisfied.....	4	5.8	
Don't know.....	9	5.4	

問 6 8 [カード 4 0] では、日本の民主政治の運営のしかたについてはどうですか。

[VAR: #8.83] SATISFACTION WITH DEMOCRACY
民主政治に満足か

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 2 2 6 5	カラム 2 - 7 0
非常に満足	1 2.3	
かなり満足	2 30.3	
あまり満足していない	3 47.5	
全く不満	4 3.7	
その他〔記入〕	8 0.3	
D. K.	9 15.9	

問 6 8 [カード 4 0] では、日本の民主政治の運営のしかたについてはどうですか。

[VAR: #8.83] SATISFACTION WITH DEMOCRACY
民主政治に満足か

	1 9 8 8 . 1 0	
コード	N = 1 0 1 7	カラム 2 - 7 0
非常に満足	1 1.5	
かなり満足	2 29.3	
あまり満足していない	3 50.6	
全く不満	4 3.6	
その他〔記入〕	8 0.2	
D. K.	9 14.7	

Q.68

On the whole, how satisfied are you with the way democracy works in America? Would you say... (READ)

[VAR: #8.83]
SATISFACTION WITH DEMOCRACY

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.270
Very satisfied.....1	17.8	
Fairly satisfied.....2	62.6	
Not very satisfied, or.....3	14.8	
Not at all satisfied.....4	3.1	
Don't know (DO NOT READ)...9	1.8	

Q.69 273.

Wie beurteilen Sie unser Rechts-system? Glauben Sie, daß das Rechts-system-nach allem, was Sie darüber wissen-derzeit in der Bundesrepublik sehr gut funktioniert, ziemlich gut, ziemlich schlecht oder sehr schlecht?

[VAR: #8.84]

LEGAL SYSTEM

	CODE	1987.10 N=1000	COL.71
sehr gut.....	1	7.4	
ziemlich gut.....	2	60.7	
ziemlich schlecht.....	3	23.1	
sehr schlecht.....	4	2.8	
weiß nicht,NA.....	9	6.0	

Q.69

Etant donné ce que vous connaissez de la justice, comment pensez-vous qu'elle fonctionne en France, en 1987?
(Enumérer)

[VAR: #8.84]

LEGAL SYSTEM

	CODE	1987.10 N=1013	COL.71
Très bien.....	1	1.1	
Assez bien.....	2	35.4	
Assez mal.....	3	44.4	
Très mal.....	4	16.0	
N.S.P.	9	3.1	

Q.69

With what you know of the legal system, how do you feel it is working in this country today? Would you say... (READ OUT)

[VAR: #8.84]

LEGAL SYSTEM

	CODE	1987.10 N=1043	COL.71
Very well.....	1	7.3	
Fairly well.....	2	48.8	
Poorly.....	3	30.2	
Or Very poorly.....	4	9.7	
Don't know.....	9	4.0	

問69 [カード41] 現在の日本で、裁判制度はよく機能していると思いますか。

[VAR: #8.84] LEGAL SYSTEM

裁判制度は機能しているか

	1988. 10	
コード	N = 2265	カラム 2-71
非常によく機能している	1 6.3	
かなりよく機能している	2 41.9	
あまりよく機能していない	3 25.0	
全然よく機能していない	4 2.4	
その他〔記入〕	8 0.6	
D. K.	9 23.8	

問69 [カード41] 現在の日本で、裁判制度はよく機能していると思いますか。

[VAR: #8.84] LEGAL SYSTEM

裁判制度は機能しているか

	1988. 10	
コード	N = 1017	カラム 2-71
非常によく機能している	1 6.0	
かなりよく機能している	2 41.7	
あまりよく機能していない	3 24.7	
全然よく機能していない	4 2.2	
その他〔記入〕	8 0.2	
D. K.	9 25.3	

Q.69

With what you know of the legal system, how well do you feel it is working in this country today? Would you say... (READ)

[VAR: #8.84]

LEGAL SYSTEM

	1988.10	
CODE	N=1563	COL.271
Very well.....1	7.0	
Fairly well.....2	46.8	
Poorly, or.....3	34.9	
Very poorly.....4	9.9	
Don't know(DO NOT READ).....9	1.3	

[DECK 2 Cols.72]

Q70

Q.70 274.

Hier auf der Liste stehen zwei Meinungen über das Verhältnis zwischen Arbeitnehmern und Unternehmern. Welcher Meinung stimmen Sie eher zu?

[VAR: #8.87]

EMPLOYER VS EMPLOYEE

INT.: LISTE 27 vorlegen

	CODE	1987.10 N=1000	COL.72
	1	23.8	
	2	64.1	
weiß nicht, NA.....	9	12.1	

LISTE 27

- 1 Da die Interessen der Arbeitnehmer und die der Unternehmer vollkommen gegensätzlich sind, ist es richtig und notwendig, daß Arbeitnehmer und Unternehmer in einem ständigen Konflikt miteinander sind.
- 2 Die Interessen von Unternehmern und Arbeitnehmern sind nicht grundsätzlich verschieden, denn wenn eine Firma mehr Gewinne erwirtschaftet, kann sie auch mehr Lohn bezahlen. Deshalb sollten Arbeitnehmer und Unternehmer zusammenarbeiten.

Q. 70

Voici 2 opinions : de laquelle vous sentez-vous le plus proche?
(Montrer liste)

- A) Etant donné que les intérêts des salariés et ceux des patrons sont tout à fait opposés, il est juste et normal qu'ils soient toujours en conflit les uns avec les autres.
- B) Au fond, les intérêts des patrons et ceux des salariés ne sont pas différents, parce que si l'affaire marche bien, elle peut mieux payer son personnel.

[VAR: #8.87]

EMPLOYER VS EMPLOYER

	CODE	1987.10 N=1013	COL.72
D'accord avec A.....	1	20.9	
D'accord avec B.....	2	74.3	
N.S.P.	9	4.7	

SHOW CARD AC

Q.70

Here are two opinions. Which do you agree with?

[VAR: #8.87]

EMPLOYER VS EMPLOYEE

	CODE	1987.10 N=1043	COL.72
A: Since the interests of the workers and the employers are completely opposed it is right and proper that they should always be in conflict with one another.....1		3.2	
B: Basically the interests of the workers and the employers are the same, for if a company makes money it is able to pay more wages. Therefore they should co-operate with each other.....2		92.7	
Don't know.....9		4.1	

問 7 0 [カード 4 2] 労働者と経営者の関係について、次のような二つの意見があります。

[VAR: #8.87] EMPLOYER VS. EMPLOYEE

労働者階級と資本家階級

甲の意見 「労働者と経営者の利害は、全くあい反しているから、労働者と経営者はあくまで戦わねばならない」

乙の意見 「会社がもうかれれば労働者の賃金も上がるというように、労働者と経営者の利害は結局において一致するのだから労働者と経営者は協力しなければならない」

あなたは、このどちらの意見に賛成ですか。

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 7 2

甲に賛成(戦うべき)	1	8 . 1
乙に賛成(協力すべき)	2	7 9 . 2
その他〔記入〕	8	0 . 8
D. K.	9	1 1 . 9

問 7 0 [カード 4 2] 労働者と経営者の関係について、次のような二つの意見があります。

[VAR: #8.87] EMPLOYER VS. EMPLOYEE

労働者階級と資本家階級

甲の意見 「労働者と経営者の利害は、全くあい反しているから、労働者と経営者はあくまで戦わねばならない」

乙の意見 「会社がもうかれれば労働者の賃金も上がるというように、労働者と経営者の利害は結局において一致するのだから労働者と経営者は協力しなければならない」

あなたは、このどちらの意見に賛成ですか。

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 2 - 7 2

甲に賛成(戦うべき)	1	7 . 3
乙に賛成(協力すべき)	2	7 9 . 8
その他〔記入〕	8	0 . 6
D. K.	9	1 2 . 3

[DECK 2 Cols.72]
Q.70

Q.70 (HAND CARD 70)

On this card there are two opinions regarding the relationship between workers and employers. Which one best describes your own opinion? Just call off the letter, please.

[VAR: #8.87]

EMPLOYER VS EMPLOYEE

1988.10
CODE N=1563 COL.272

Since the interests of		
workers and employers are		
completely opposed it is		
right and proper that they		
should always be in conflict		
with one another.....1	5.8	
Basically the interests		
of workers and employers		
are the same, for if a		
company makes money it is		
able to pay better wages.		
Therefore, they should		
cooperate with each other.....2	91.7	
Don't know.....9	2.6	

Q.71 275.

Hier auf dieser Liste stehen drei grundsätzliche Standpunkte über die Gesellschaft, in der wir leben. Welcher davon drückt am ehesten das aus, was auch Sie denken?

[VAR: #8.8]

ATTITUDES CONCERNING SOCIETY

INT.: LISTE 28 vorlegen;
nur eine Nennung

	CODE	1987.10 N=1000	COL.73
	1	3.7	
	2	55.2	
	3	27.8	
weiß nicht/k.Antw,NA.....	9	13.3	

LISTE 28

- 1 Man muß unsere Gesellschaftsordnung durch eine Revolution radikal ändern
- 2 Man muß unsere Gesellschaftsordnung Schritt für Schritt durch Reformen verbessern
- 3 Man muß unsere bestehende Gesellschaft mutig gegen alle umstürzlerischen Kräfte verteidigen

Q.71

Sur cette liste se trouvent 3 attitudes fondamentales vis à vis de la société dans laquelle nous vivons. Voulez-vous choisir l'attitude qui correspond le mieux à vos idées personnelles?
(Une seule réponse)

[VAR: #8.8]

ATTITUDES CONCERNING SOCIETY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.73
Il faut changer radicalement toute l'organisation de notre société par une action révolutionnaire.....	1	4.8	
Il faut améliorer petit à petit notre société par des reformes.....	2	62.6	
Il faut défendre courageusement notre société actuelle contre toutes les forces subversives.....	3	29.0	
N.S.P.	9	3.6	

SHOW CARD AD

Q.71

On this card there are three basic kinds of attitudes vis-a-vis the society we live in. Please choose the one which best describes your own opinion.

[VAR: #8.8]

ATTITUDES CONCERNING SOCIETY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.73
The entire way our society is organised must be radically changed by revolutionary action.....1		4.3	
Our society must be gradually improved by reform.....2		70.0	
Our present society must be valiantly defended against all subversive forces.....3		19.7	
Don't know.....9		6.0	

* 問 7 1 [カード 4 3] 次にわれわれが住んでいる社会についての考え方が3つ挙げてあります。
あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。

[VAR: #8.8] ATTITUDES CONCERNING SOCIETY
社会は変えるべきか

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 7 3

われわれの社会の仕組みは、革命によって根本的に変えなければならない・・・・・・・・・・	1	2.6
われわれの社会は、改革によって徐々に変えていかなければならない・・・・・・・・・・	2	58.5
われわれの現在の社会は、あらゆる破壊的勢力に対して断固防衛されなければならない・・・・・・・・	3	15.0
その他〔記入〕・・・・・・・・・・	8	0.3
D. K.	9	23.5

* 問 7 1 [カード 4 3] 社会について、つぎの3つの考えのうち、どれがあなたの考え方に近いでしょうか。

[VAR: #8.8] ATTITUDES CONCERNING SOCIETY
社会は変えるべきか

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 2 - 7 3

今の社会の構造は、革命によって一挙に変えるべきだ・・・・・・・・	1	0.9
今の社会の悪いところは、少しずつよくしてゆくべきだ・・・・・・・・	2	83.3
今の社会の体制を、あくまで守り通すべきだ・・・・・・・・・・	3	5.1
その他〔記入〕・・・・・・・・・・	8	0.0
D. K.	9	10.7

[DECK 2 Cols.73]
Q.71

Q.71 (HAND CARD 71)

On this card there are three basic attitudes concerning the society we live in. Please choose the one which best describes your own opinion. Just call off the letter, please.

[VAR: #8.8]

ATTITUDES CONCERNING SOCIETY

1988.10
CODE N=1563

COL.273

The entire way our society is organized must be radically changed by revolutionary action.....1	4.4
Our society must be gradually improved by reform.....2	66.4
Our present society must be valiantly defended against all subversive forces.....3	24.6
Don't know.....9	4.6

Q.72a) 276.

Stimmen Sie der Aussage zu, daß unsere Gesellschaft grundlegend verändert werden muß, oder lehnen Sie sie ab?

[VAR: #8.85]

PROFOUND TRANSFORMATION OF SOCIETY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.74
stimme zu.....	1	21.0-----	>277
lehne ab.....	2	62.4-----	>314
weiß nicht,NA.....	9	16.6-----	>314

Q.72b) 277.

Wenn man die Gesellschaft in der Weise verändern wollte, wie es Ihnen vorschwebt-würden Sie eine schrittweise Verbesserung oder eine radikale Veränderung bevorzugen?

[VAR: #8.85B]

THE WAY OF CHANGING SOCIETY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.75
schrittweise Verbesserung..	1	18.1	
radikale Veränderung.....	2	2.5	
weiß nicht.....	9	0.4	
NA.....	0	79.0	

Q.72a

Estimez-vous que la société française a besoin de se transformer profondément?

[VAR: #8.85]

PROFOUND TRANSFORMATION OF SOCIETY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.74
OUI.....	1	58.4	
NON.....	2	37.3-----	> Passer à Q.73
N.S.P.	9	4.2-----	> Passer à Q.73

Q.72b

Pour que la société change comme vous le souhaitez, êtes-vous pour des réformes progressives ou des changements radicaux?

[VAR: #8.85B]

THE WAY OF CHANGING SOCIETY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.75
Réformes progressives.....	1	45.2	
Changements radicaux.....	2	11.8	
N.S.P.	9	1.4	
Manque.....	0	41.6	

Q.72a)

Do you think that British society needs to undergo a deep transformation?

[VAR: #8.85]

PROFOUND TRANSFORMATION OF SOCIETY

	CODE	1987.10	
		N=1043	COL.74
Yes.....	1	43.4	
No.....	2	48.1	
Don't know.....	9	8.4	

IF YES:

Q.72b)

To change society in the way you would like are you in favour of gradual improvements or radical change?

[VAR: #8.85B]

THE WAY OF CHANGING SOCIETY

	CODE	1987.10	
		N=1043	COL.75
Missing.....	0	56.6	
Gradual improvements.....	1	32.3	
Radical change.....	2	10.2	
Don't know.....	9	1.0	

問 7 2 日本の社会は、根本的な改革を必要としていますか。

[VAR: #8.85] PROFOUND TRANSFORMATION SOCIETY

社会の根本改革は必要か

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 7 4

思う	1	2 9 . 4
思わない	2	4 7 . 3
その他	8	0 . 8
D. K.	9	2 2 . 6

1 思 う 2 思わない 3 その他〔記入〕	□ → 問 7 3 へ 5 D. K. → 問 7 3 へ
------------------------------	----------------------------------

(思うと回答した人に)

↓
問 7 2 b [カード 4 4] では、その変革は漸進的な改革がよいでしょうか、それとも急激な改革がよいでしょうか。

[VAR #8.85B] THE WAY OF CHANGING SOCIETY

社会の根本改革

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 7 5

漸進的な改革がよい	1	2 7 . 4
急激な改革がよい	2	1 . 0
その他〔記入〕	8	0 . 1
D. K.	9	0 . 8
Missing	0	7 0 . 3

問 7 2 日本の社会は、根本的な改革を必要としていると思いますか。

[VAR: #8.85] PROFOUND TRANSFORMATION OF SOCIETY
社会の根本改革は必要か

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 1 0 1 7	カラム 2 - 7 4
思う	1	2 9 . 7	
思わない	2	4 8 . 2	
その他	8	1 . 0	
D. K.	9	2 1 . 1	

1 思う

2 思わない

3 その他〔記入〕

→ 問 7 3 へ

5 D. K. → 問 7 3 へ

(思うと回答した人に)

↓
問 7 2 b (カード 4 4) では、その変革は漸進的な改革がよいでしょうか、それとも急激な改革がよいでしょうか。

[VAR #8.85B] THE WAY OF CHANGING SOCIETY
社会の根本改革

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 1 0 1 7	カラム 2 - 7 5
漸進的な改革がよい	1	2 7 . 3	
急激な改革がよい	2	1 . 2	
その他〔記入〕	8	0 . 1	
D. K.	9	1 . 1	
Missing	0	7 0 . 3	

Q.72a

Do you think that American society in general needs to undergo a profound transformation?

[VAR: #8.85]

PROFOUND TRANSFORMATION OF SOCIETY

	CODE	1988.10 N=1563	COL.274
Yes.....	1	39.3	
No.....	2--SKIP TO Q.73	53.3	
Don't know.....	9--SKIP TO Q.73	7.4	

IF YES:

Q.72b

To change society in the way you would like are you in favor of gradual improvements or radical change?

[VAR: #8.85B]

THE WAY OF CHANGING SOCIETY

	CODE	1988.10 N=1563	COL.275
Gradual improvements.....	1	33.3	
Radical changes.....	2	4.9	
Don't know.....	9	1.0	
Missing.....	0	60.7	

Q.73p 314.

Stehen Sie irgendeiner Partei nahe?

	CODE	1987.10 N=1000	
ja.....	1		----->315
nein.....	2		----->317-28

Q.73 315

INT.: LISTE 29 vorlegen

Und welcher? Wenn Sie mir einfach nach dieser Liste die Nummer angeben.

[VAR: #8.7]

POLITICAL PARTY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.76-77
CDU/CSU.....	11	15.4	
SPD.....	12	16.4	
F.D.P.....	13	2.6	
NPD.....	14	0.1	
DKP.....	15	0.2	
Die Grünen.....	16	5.1	
sonstige.....	17	0.3	
keine von diesen.....	18	0.0	
weiß nicht/keine Angabe...	19	2.9	

Q.73

De quelle parti politique vous sentez-vous le plus proche?

(Indiquez moi simplement le code correspondant à votre réponse

Montrer liste)

[VAR: #8.7]

POLITICAL PARTY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.76-77
Parti communiste.....	21	5.3	
Parti socialiste.....	22	29.7	
Ecologiste.....	23	9.0	
U.D.F.	24	9.0	
R.P.R.	25	12.8	
Front National.....	26	2.9	
Autre.....	27	1.1	-----> Passer à Q.75
Proche d'aucun parti.....	28	25.1	-----> Passer à Q.75
N.S.P.	29	5.1	-----> Passer à Q.75

(Col. C.15 vierge)

ASK ALL

Q.73

Which political party do you usually feel closest to?

[VAR: #8.7]

POLITICAL PARTY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.76-77
Conservative.....	31	38.0	
Labour.....	32	30.4	
Liberal.....	33	7.9	
Nationalist.....	34	0.8	
Ecology.....	35	0.5	
SDP.....	36	2.6	
Alliance.....	37	1.0	
Other.....	38	0.8	
No political party.....	39	12.5	
Refused,DK.....	30	5.8	

問 7 3 しいていえば、あなたは何党を支持しますか。

51 自民党]	問 7 4 へ
52 社会党		
53 公明党		
54 民社党		
55 共産党		
56 社民連		
57 その他の政党〔記入〕 _____]	問 7 5 へ
58 支持政党なし		
59 D. K.		

〔VAR: #8.7 〕 POLITICAL PARTY

支持政党

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 2 2 6 5

カラム 2 - 7 6 ・ 7 7

自民党	5 1	4 2 . 5
社会党	5 2	1 1 . 0
公明党	5 3	2 . 9
民社党	5 4	2 . 4
共産党	5 5	1 . 3
社民連	5 6	0 . 5
その他の政党〔記入〕	5 7	0 . 2
支持政党なし	5 8	3 2 . 5
D. K.	5 9	6 . 7

問 7 3 しいていえば、あなたのお考えに近い政党はどれですか。

51 自民党]	問 7 4 へ
52 社会党		
53 公明党		
54 民社党		
55 共産党		
56 社民連		
57 その他の政党〔記入〕 _____]	問 7 5 へ
58 支持政党なし		
59 D. K.		

〔VAR: #8.7 〕 POLITICAL PARTY

支持政党

1 9 8 8 . 1 0
コード N = 1 0 1 7

カラム 2 - 7 6 ・ 7 7

自民党	5 1	4 0 . 9
社会党	5 2	9 . 4
公明党	5 3	4 . 2
民社党	5 4	2 . 8
共産党	5 5	1 . 7
社民連	5 6	0 . 6
その他の政党〔記入〕	5 7	0 . 1
支持政党なし	5 8	3 2 . 2
D. K.	5 9	8 . 2

ASK ALL

Q.73

Which political party do you usually feel closest to?

[VAR: #8.7]

POLITICAL PARTY

1988.10
CODE N=1563

COL.276-7

Republican.....	41--ASK Q.74	35.3
Democrat.....	42--ASK Q.74	42.8
Independent.....	43--SKIP TO Q.75	8.3
Other.....	44--SKIP TO Q.75	0.7
No political party.....	45--SKIP TO Q.75	10.2
Refused to say.....	46--SKIP TO Q.75	0.9
Don't know.....	49--SKIP TO Q.75	1.9

Q.74 316.

Und fühlen Sie sich dieser Partei sehr nahe, ziemlich nahe, oder sympathisieren Sie nur mit dieser Partei?

[VAR: #8.86]

CLOSE TO PARTY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.78
sehr nahe.....	1	5.2	
ziemlich nahe.....	2	17.5	
sympathisiere nur.....	3	16.7	
unentschieden.....	9	0.7	
NA.....	0	59.9	

Q.74

Vous sentez-vous très attaché à ce parti, assez attaché ou seulement sympathisant?

[VAR: #8.86]

CLOSE TO PARTY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.78
Très attaché.....	1	4.5	
Assez attaché.....	2	12.7	
Seulement sympathisant.....	3	50.0	
N.S.P.	9	1.4	
Manque.....	0	31.3	

IF PARTY CHOSEN AT Q.73, OTHERS GO TO Q.75

Q.74

Do you feel yourself to be very close to this party, fairly close or not very close? (merely a sympathiser?)

[VAR: #8.86]

CLOSE TO PARTY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.78
No party or D.K.....	0	18.2	
Very close.....	1	9.8	
Fairly close.....	2	39.5	
Not very close.....	3	31.6	
Don't know.....	9	0.9	

問74 (政党をあげたなら) あなたのお考えはその政党にどの程度近いでしょうか。

「非常に近い」「かなり近い」「非常に近いとはいえない」の三段階のうちどれにあたりますか。

[VAR: #8.86] CLOSE TO PARTY

政党支持(強度)

		1 9 8 8 . 1 0	
コード		N = 2 2 6 5	カラム 2 - 7 8
非常に近い	1	5 . 2	
かなり近い	2	2 7 . 6	
非常に近いとはいえない	3	2 3 . 0	
その他〔記入〕	8	0 . 1	
D. K.	9	5 . 0	
M i s s i n g	0	3 9 . 1	

問74 (政党をあげたなら) あなたのお考えはその政党にどの程度近いでしょうか。

「非常に近い」「かなり近い」「非常に近いとはいえない」の三段階のうちどれにあたりますか。

[VAR: #8.86] CLOSE TO PARTY

政党支持(強度)

		1 9 8 8 . 1 0	
コ ー ド		N = 1 0 1 7	カ ラ ム 2 - 7 8
非常に近い	1	5 . 4	
かなり近い	2	2 6 . 9	
非常に近いとはいえない	3	2 3 . 1	
その他〔記入〕	8	0 . 3	
D. K.	9	5 . 9	
M i s s i n g	0	4 0 . 3	

Q.74

Do you feel yourself to be very close to this party, fairly close, or not very close?

[VAR: #8.86]

CLOSE TO PARTY

	CODE	1988.10 N=1563	COL.278
Very close.....	1	16.3	
Fairly close.....	2	45.0	
Not very close.....	3	16.1	
Don't know.....	9	0.6	
Missing.....	0	21.9	

[VAR: -]
BLANK

1987. 10
CODE N=1000
BLANK 0 100. 0

COL. 79

[VAR: -]
BLANK

1987. 10
CODE N=1013
BLANK 0 100. 0

COL. 79

[VAR: -]
BLANK

1987. 10
CODE N=1043
BLANK 0 100. 0

COL. 79

[VAR: -] BLANK
空白

1988. 10
コード N=2265
BLANK 0 100. 0

カラム 2-79

[VAR: -] BLANK
空白

1988. 10
コード N=1017
BLANK 0 100. 0

カラム 2-79

[VAR: -]
BLANK

1988. 10
CODE N=1563
BLANK 0 100. 0

COL. 279

[VAR: CARD2]
CARD 2 (DECK 2)

		1987. 10	
	CODE	N=1000	COL. 80
CARD 2 (DECK 2)	2	100. 0	

[VAR: CARD2]
CARD 2 (DECK 2)

		1987. 10	
	CODE	N=1013	COL. 80
CARD 2 (DECK 2)	2	100. 0	

[VAR: CARD2]
CARD 2 (DECK 2)

		1987. 10	
	CODE	N=1043	COL. 80
CARD 2 (DECK 2)	2	100. 0	

[VAR: CARD2] CARD 2 (DECK 2)
2枚目カード(3枚組データ)

		1988. 10	
	コード	N=2265	カラム 2-80
2枚目カード	2	100. 0	

[VAR: CARD2] CARD 2 (DECK 2)
2枚目カード(3枚組データ)

		1988. 10	
	コード	N=1017	カラム 2-80
2枚目カード	2	100. 0	

[VAR: CARD2]
CARD 2 (DECK 2)

		1988. 10	
	CODE	N=1563	COL. 280
CARD 2 (DECK 2)	2	100. 0	

特別推進研究(1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

[DECK 3 Cols. 1]
NATION

[VAR: NATION]
NATION CODE

		1987. 10	
	CODE	N=1000	COL. 1
F.R.G.	1	100. 0	

[VAR: NATION]
NATION CODE

		1987. 10	
	CODE	N=1013	COL. 1
FRANCE	2	100. 0	

[VAR: NATION]
NATION CODE

		1987. 10	
	CODE	N=1043	COL. 1
UK	3	100. 0	

[VAR: NATION] NATION CODE
国コード

		1988. 10	
	コード	N=2265	カラム 3-1
日本A	5	100. 0	

[VAR: NATION] NATION CODE
国コード

		1988. 10	
	コード	N=1017	カラム 3-1
日本B	6	100. 0	

[VAR: NATION]
NATION CODE

		1988. 10	
	CODE	N=1563	COL. 301
U.S.A.	4	100. 0	

特別推進研究(1) 61060002「意識の国際比較方法論の研究」

[DECK 3 Cols.2-10]

ID

[VAR: ID]

ID NUMBER

1987. 10

CODE N=1000

COL. 2~10

F.R.G. : ID NUMBER * SEE CODE BOOK FOR F.R.G. SURVEY

[VAR: ID]

ID NUMBER

1987. 10

CODE N=1013

COL. 2~10

FRANCE: ID NUMBER . . . * SEE CODE BOOK FOR FRANCE SURVEY

[VAR: ID]

ID NUMBER

1987. 10

CODE N=1043

COL. 2~10

UK: ID NUMBER * SEE CODE BOOK FOR UK SURVEY

[VAR: ID] ID NUMBER

国コード

1988. 10

コード N=2265

カラム 3-2~10

日本A: ID NUMBER * 日本調査コードブック参照

[VAR: ID] ID NUMBER

国コード

1988. 10

コード N=1017

カラム 3-2~10

日本B: ID NUMBER * 日本調査コードブック参照

[VAR: ID]

ID NUMBER

1988. 10

CODE N=1563

COL. 302~10

U.S.A.: ID NUMBER * SEE CODE BOOK FOR FRANCE SURVEY

[DECK 3 Cols. 11-13]
BLANK

[VAR: -]
BLANK

1987. 10
CODE N=1000
BLANK 0 100. 0

COL. 11~13

[VAR: -]
BLANK

1987. 10
CODE N=1013
BLANK 0 100. 0

COL. 11~13

[VAR: -]
BLANK

1987. 10
CODE N=1043
BLANK 0 100. 0

COL. 11~13

[VAR: -] BLANK
空白

1988. 10
コード N=2265
BLANK 0 100. 0

カラム 3-11~13

[VAR: -] BLANK
空白

1988. 10
コード N=1017
BLANK 0 100. 0

カラム 3-11~13

[VAR: -]
BLANK

1988. 10
CODE N=1563
BLANK 0 100. 0

COL. 311~13

Q.75 VARIABLE LIST FOR COMMON FILE

DECK3	VARIABLE	NATION				
COLS.	NAME	GERMANY	FRANCE	BRITAIN	JAPAN	U.S.
14-16	COMMUN	999	Q751	999	Q755	999
17-19	SOCIAL	Q752	Q752	Q752	Q752	Q752
20-22	ECONTL	Q754	Q756	Q754	Q753	999
23-25	MIDDLE	Q753	Q755	Q753	Q754	999
26-28	CONSRV	Q751	Q754	Q751	Q751	Q751
29-31	ULTRIT	999	Q753	999	999	999

* 999: Missing

変数名

各国の政党

COMMUN

共産主義政党

(ドイツ. — Missing 999)

(フランス. 共産党 Parti Communiste)

(イギリス. — Missing 999)

(日本. 共産党)

(アメリカ. — Missing 999)

SOCIAL

社会党, 最大野党 (フランスのみ最大与党)

(ドイツ. ドイツ社会民主党 SPD)

(フランス. 社会党 Parti Socialiste)

(イギリス. 労働党 Labour)

(日本. 社会党)

(アメリカ. 民主党 Democrat)

各国の政党

MIDDLE 中道政党

ULTRIT 極右政黨

(ドイツ、 - Missing 999)
(フランス、国民戦線 Front National)
(イギリス、 - Missing 999)
(日本、 - Missing 999)
(アメリカ、 - Missing 999)

Q.75 317-28

Als nächstes würden wir gern etwas über Ihre gefühlsmäßige Nähe zu den verschiedenen Parteien in der Bundesrepublik erfahren. Wir möchten dazu ein "Gefühlsthermometer" benutzen, wobei Werte zwischen 0 und 50 bedeuten, daß Sie der Partei nicht sehr nahe stehen. Werte zwischen 50 und 100 bedeuten, daß Sie dieser Partei sehr nahe stehen. Wenn Sie sich nicht für eine Partei "erwärmen" können, sie aber auch nicht ablehnen, sollten Sie sie an der 50-Marke ansiedeln. Nehmen wir zuerst die CDU/CSU. Wo würden Sie sie auf dieser Skala ansiedeln?

LISTE 30 vorlegen

INT.: Angegebene Zahl rechtsbündig eintragen (z.B.44 als 044);
"weiß nicht" als 999 eintragen!

	kalt		neutral		warm
CDU.....	0...10...20...30...40...50...60...70...80...90...100				
SPD.....	0...10...20...30...40...50...60...70...80...90...100				
F.D.P.....	0...10...20...30...40...50...60...70...80...90...100				
Die Grünen.....	0...10...20...30...40...50...60...70...80...90...100				

COMMUN: -

[VAR: COMMUN]

FEELING THERMOMETER: COMMUNIST PARTY

		1987.10	
	CODE	N=1000	COL.14-16
Missing.....	999	100.0	

[DECK 3 Cols.17-19]

Q.75

Q.75 Continued

SOCIAL: SPD

[VAR: SOCIAL]

FEELING THERMOMETER: SOCIALIST PARTY (DEMOCRAT IN THE US)

	CODE	1987.10 N=1000	COL.17-19
0.....	0	5.3	
1.....	1	0.2	
5.....	5	0.5	
10.....	10	3.4	
15.....	15	0.2	
20.....	20	4.4	
25.....	25	0.5	
30.....	30	9.3	
32.....	32	0.1	
35.....	35	1.2	
40.....	40	7.2	
45.....	45	0.7	
48.....	48	0.1	
50.....	50	19.3	
53.....	53	0.1	
54.....	54	0.1	
55.....	55	0.7	
60.....	60	11.0	
65.....	65	0.7	
70.....	70	10.5	
75.....	75	1.2	
77.....	77	0.1	
80.....	80	8.5	
85.....	85	1.0	
90.....	90	3.1	
95.....	95	0.1	
99.....	99	0.2	
100.....	100	3.1	
sonstige.....	888	0.4	
weiß nicht.....	999	6.8	

Q.75 Continued

ECONTL: Die Grünen

[VAR: ECONTL]

FEELING THERMOMETER: ECOLOGICAL OR NATIONALIST PARTY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.20-22
0.....	0	21.9	
1.....	1	0.9	
5.....	5	1.6	
10.....	10	12.3	
15.....	15	0.7	
17.....	17	0.1	
20.....	20	8.5	
25.....	25	0.7	
30.....	30	8.2	
33.....	33	0.2	
35.....	35	0.3	
40.....	40	6.0	
45.....	45	0.4	
48.....	48	0.1	
49.....	49	0.1	
50.....	50	11.1	
51.....	51	0.2	
55.....	55	0.2	
57.....	57	0.1	
60.....	60	5.6	
65.....	65	0.5	
70.....	70	4.1	
75.....	75	0.9	
80.....	80	2.2	
85.....	85	0.1	
87.....	87	0.1	
90.....	90	1.2	
91.....	91	0.1	
95.....	95	0.3	
100.....	100	0.9	
sonstige.....	888	0.3	
weiß nicht.....	999	10.1	

Q.75 Continued

MIDDLE: F.D.P.

[VAR: MIDDLE]

FEELING THERMOMETER: MIDDLE-OF-ROAD PARTY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.23-25
0.....	0	13.2	
1.....	1	0.1	
2.....	2	0.1	
3.....	3	0.1	
5.....	5	1.2	
7.....	7	0.1	
10.....	10	8.9	
11.....	11	0.2	
15.....	15	0.6	
20.....	20	8.7	
24.....	24	0.1	
25.....	25	0.8	
26.....	26	0.1	
30.....	30	12.3	
35.....	35	0.5	
40.....	40	9.0	
42.....	42	0.1	
45.....	45	0.2	
48.....	48	0.1	
50.....	50	18.6	
52.....	52	0.2	
55.....	55	0.9	
60.....	60	7.0	
65.....	65	0.3	
70.....	70	3.0	
75.....	75	0.3	
80.....	80	2.3	
88.....	88	0.1	
90.....	90	1.3	
95.....	95	0.1	
100.....	100	0.9	
sonstige.....	888	0.3	
weiß nicht.....	999	8.3	

Q.75 Continued
CONSRV: CDU

[VAR: CONSRV]
FEELING THERMOMETER: CONSRVATIVE PARTY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.26-28
0.....	0	13.2	
1.....	1	0.2	
2.....	2	0.1	
5.....	5	0.7	
10.....	10	7.1	
15.....	15	0.7	
20.....	20	6.7	
21.....	21	0.1	
25.....	25	0.8	
30.....	30	7.3	
33.....	33	0.1	
35.....	35	0.7	
40.....	40	7.1	
45.....	45	0.5	
48.....	48	0.1	
50.....	50	15.7	
51.....	51	0.1	
52.....	52	0.1	
55.....	55	1.1	
60.....	60	7.7	
65.....	65	0.4	
66.....	66	0.1	
69.....	69	0.1	
70.....	70	7.6	
75.....	75	0.9	
80.....	80	5.1	
85.....	85	0.6	
90.....	90	3.4	
95.....	95	0.3	
98.....	98	0.1	
99.....	99	0.1	
100.....	100	4.4	
sonstige.....	888	0.3	
weiß nicht.....	999	6.5	

ULTRIT: -
[VAR: ULTRIT]
FEELING THERMOMETER: ULTRA-RIGHT PARTY

	CODE	1987.10 N=1000	COL.29-31
Missing.....	999	100.0	

[DECK 3 Cols.14-16]

Q.75

Q.75

Voici maintenant une sorte de thermomètre qui va de 0 à 100.

J'aimerais que vous l'utilisiez pour exprimer vos sentiments à l'égard des différents partis.

Au milieu de l'échelle, la position 50 est neutre. Plus vous avez de sympathie pour un parti, plus vous montez vers le haut du thermomètre. Plus vous êtes hostile à un parti, plus vous descendez vers la position 0.

Prenons d'abord le Parti Communiste. Où placez-vous sur le thermomètre vos sentiments à l'égard du Parti Communiste?

(Montrer l'échelle - Inscrire une note de 0 à 100 en face de chaque parti que vous aurez énuméré.)

Parti Communiste	COL.14-16
Parti Socialiste	COL.17-19
Front National	COL.29-31
R.P.R.	COL.26-28
U.D.F.	COL.23-25
Mouvement Ecologiste	COL.20-22

COMMUN: Parti Communiste

[VAR: COMMUN]

FEELING THERMOMETER:COMMUNIST PARTY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.14-16
0.....0		30.9	
1.....1		0.1	
7.....7		0.1	
10.....10		14.3	
20.....20		9.1	
25.....25		0.1	
30.....30		7.1	
40.....40		4.3	
50.....50		18.8	
60.....60		3.7	
70.....70		2.2	
80.....80		2.1	
90.....90		1.2	
100.....100		1.7	
N.S.P.....999		4.4	

Q.75 Continued

SOCIAL: Parti Socialiste

[VAR: SOCIAL]

FEELING THERMOMETER: SOCIALIST PARTY (DEMOCRAT IN THE US)

	CODE	1987.10 N=1013	COL.17-19
0.....	0	8.6	
6.....	6	0.2	
10.....	10	4.8	
20.....	20	5.9	
30.....	30	9.1	
40.....	40	8.3	
50.....	50	25.4	
60.....	60	9.3	
70.....	70	8.2	
80.....	80	7.1	
90.....	90	4.5	
100.....	100	3.8	
N.S.P.....	999	4.8	

ECONTL: Mouvement Ecologiste

[VAR: ECONTL]

FEELING THERMOMETER: ECOLOGICAL OR NATIONALIST PARTY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.20-22
0.....	0	9.2	
1.....	1	0.1	
3.....	3	0.1	
10.....	10	8.1	
20.....	20	7.6	
30.....	30	8.2	
40.....	40	8.1	
50.....	50	26.6	
60.....	60	10.7	
70.....	70	6.0	
80.....	80	4.3	
90.....	90	2.3	
100.....	100	3.8	
N.S.P.....	999	5.0	

Q.75 Continued

MIDDLE: U.D.F.

[VAR: MIDDLE]

FEELING THERMOMETER:MIDDLE-OF-ROAD PARTY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.23-25
0.....	0	14.9	
1.....	1	0.1	
2.....	2	0.1	
10.....	10	8.7	
20.....	20	8.7	
25.....	25	0.2	
30.....	30	8.1	
40.....	40	8.0	
50.....	50	24.6	
60.....	60	7.3	
70.....	70	7.0	
80.....	80	5.6	
90.....	90	1.4	
100.....	100	0.4	
N.S.P.....	999	4.9	

CONSRV: R.P.R.

[VAR: CONSRV]

FEELING THERMOMETER:CONSERVATIVE PARTY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.26-28
0.....	0	15.2	
1.....	1	0.1	
3.....	3	0.1	
5.....	5	0.2	
10.....	10	8.8	
20.....	20	8.4	
25.....	25	0.1	
30.....	30	8.0	
40.....	40	8.9	
50.....	50	24.5	
60.....	60	5.6	
70.....	70	5.7	
80.....	80	5.8	
90.....	90	2.8	
100.....	100	0.9	
N.S.P.....	999	4.9	

Q.75 Continued

ULTRIT: Front National

[VAR: ULTRIT]

FEELING THERMOMETER: ULTRA-RIGHT PARTY

	CODE	1987.10 N=1013	COL.29-31
0.....	0	52.6	
1.....	1	0.1	
4.....	4	0.1	
5.....	5	0.1	
10.....	10	11.3	
20.....	20	5.0	
25.....	25	0.1	
30.....	30	3.6	
40.....	40	2.0	
50.....	50	13.9	
60.....	60	2.6	
70.....	70	1.0	
80.....	80	1.6	
90.....	90	0.7	
100.....	100	0.8	
N.S.P.....	999	4.6	

ASK ALL

SHOW CARD AE

Q.75

This next card is called a "feeling thermometer" and we would like to use it to measure your feelings towards various parties. If you don't feel particularly warm or cold towards a party place it at the 50 degree mark. If you have a warm feeling towards a party give it a score somewhere between 50 and 100. On the other hand, if you don't feel very favourable towards a party then place it somewhere between 0 and 50.

The first party is Conservative. Where would you put them on the thermometer?

REPEAT FOR EACH PART IN TURN AND WRITE IN BELOW.
IF DON'T KNOW ENTER '999'.

Conservative.....	_____	(26-28)
Labour.....	_____	(17-19)
SDP/Liberal Alliance.....	_____	(23-25)
Nationalist.....	_____	(20-22)

COMMUN: -

[VAR: COMMUN]

FEELING THERMOMETER: COMMUNIST PARTY

	CODE	1987.10	
		N=1043	COL.14-16
Missing.....	999	100.0	

Q.75 Continued

SOCIAL: Labour

[VAR: SOCIAL]

FEELING THERMOMETER: SOCIALIST PARTY (DEMOCRAT IN THE US)

	CODE	1987.10 N=1043	COL.17-19
0.....	0	10.8	
1.....	1	0.3	
5.....	5	0.1	
10.....	10	9.1	
15.....	15	0.2	
20.....	20	8.8	
25.....	25	1.2	
30.....	30	11.3	
36.....	36	0.1	
40.....	40	9.7	
45.....	45	0.4	
48.....	48	0.1	
50.....	50	15.5	
55.....	55	0.1	
60.....	60	8.0	
65.....	65	0.1	
70.....	70	7.4	
72.....	72	0.1	
75.....	75	0.7	
80.....	80	5.7	
85.....	85	0.2	
90.....	90	3.8	
95.....	95	0.1	
99.....	99	0.1	
100.....	100	3.0	
Don't know.....	999	3.3	

Q.75 Continued

ECONTL: Nationalist

[VAR: ECONTL]

FEELING THERMOMETER: ECOLOGICAL OR NATIONALIST PARTY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.20-22
0.....	0	37.4	
1.....	1	0.5	
2.....	2	0.1	
5.....	5	0.5	
10.....	10	19.6	
14.....	14	0.1	
15.....	15	0.3	
20.....	20	8.6	
25.....	25	0.4	
30.....	30	7.5	
35.....	35	0.1	
40.....	40	4.0	
45.....	45	0.1	
50.....	50	8.1	
60.....	60	1.6	
70.....	70	1.5	
75.....	75	0.1	
80.....	80	0.9	
90.....	90	0.3	
100.....	100	0.6	
Don't know.....	999	7.8	

Q.75 Continued

MIDDLE: SDP/Liberal Alliance

[VAR: MIDDLE]

FEELING THERMOMETER: MIDDLE-OF-ROAD PARTY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.23-25
0.....	0	12.4	
1.....	1	0.1	
5.....	5	0.2	
10.....	10	8.3	
15.....	15	0.2	
20.....	20	11.1	
22.....	22	0.1	
25.....	25	1.0	
30.....	30	12.1	
35.....	35	0.5	
40.....	40	9.8	
45.....	45	0.6	
50.....	50	23.5	
60.....	60	7.4	
65.....	65	0.4	
70.....	70	3.9	
75.....	75	0.7	
80.....	80	2.6	
90.....	90	0.6	
100.....	100	0.6	
Don't know.....	999	4.1	

Q.75 Continued

CONSRV: Conservative

[VAR: CONSRV]

FEELING THERMOMETER: CONSERVATIVE PARTY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.26-28
0.....	0	14.1	
1.....	1	0.2	
5.....	5	0.4	
7.....	7	0.1	
10.....	10	7.8	
15.....	15	0.2	
20.....	20	5.7	
25.....	25	0.5	
30.....	30	5.1	
40.....	40	4.0	
45.....	45	0.2	
47.....	47	0.1	
49.....	49	0.1	
50.....	50	15.5	
55.....	55	0.2	
60.....	60	9.3	
65.....	65	0.9	
70.....	70	12.1	
75.....	75	1.3	
80.....	80	9.4	
85.....	85	0.5	
90.....	90	6.2	
95.....	95	0.1	
99.....	99	0.1	
100.....	100	3.0	
Don't know.....	999	3.1	

ULTRIT: -

[VAR: ULTRIT]

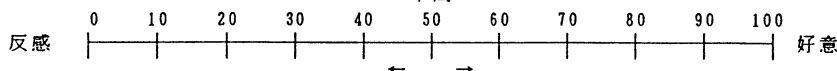
FEELING THERMOMETER: ULTRA-RIGHT PARTY

	CODE	1987.10 N=1043	COL.29-31
Missing.....	999	100.0	

問75〔カード45〕政党についてお伺いします。もし好意も反感も持たない時には50度としてください。
もし好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて50度から100度のどこかを指してください。
また、もし反感を感じていれば、やはりその強さに応じて0度から50度のどこかを指してください。
1番目は自民党です。自民党についてはどうでしたか。

自民党
社会党
公明党
民社党
共産党

どちらともいえない
中間



*オリジナルの日本調査は、自民党、社会党、公明党、民社党、共産党の順であるが、この共通ファイルでは、左派から右派の順に並べ変えた。

COMMUN: 共産党

[VAR: COMMUN] FEELING THERMOMETER : COMMUNIST PARTY
主要政党への好嫌度(共産党)

1988. 10
コード N = 2265

カラム 3-14~16

反感	0	26.0
	1	0.0
	2	0.0
	5	0.4
	9	0.0
	10	15.3
	12	0.0
	15	0.1
	20	11.7
	25	0.0
	30	10.4
	35	0.1
	40	6.7
中間〔どちらともいえない〕	50	24.3
	60	1.8
	65	0.0
	70	1.2
	80	0.7
	90	0.2
	91	0.0
好意	100	0.4
D. K.	999	0.4

問75〔つづき〕

問75

SOCIAL: 社会党

[VAR: SOCIAL] FEELING THERMOMETER: SOCIALIST PARTY (DEMOCRAT IN THE US)

主要政党への好嫌度(社会党)

		1988. 10	
コード		N = 2265	カラム 3-17~19
反感	0	4.0	
	10	3.5	
	20	5.8	
	25	0.1	
	30	12.0	
	32	0.0	
	35	0.2	
	36	0.0	
	40	11.9	
	45	0.0	
	46	0.0	
中間〔どちらともいえない〕	50	42.4	
	55	0.1	
	60	8.7	
	70	5.1	
	75	0.0	
	80	3.8	
	85	0.0	
	90	1.3	
好意	100	0.6	
D. K.	999	0.4	

ECONTL: 公明党

[VAR: ECONTL] FEELING THERMOMETER: ECOLOGICAL OR NATIONALIST PARTY

主要政党への好嫌度(公明党)

		1988. 10	
コード		N = 2265	カラム 3-20~22
反感	0	17.5	
	3	0.0	
	5	0.2	
	10	10.2	
	15	0.2	
	20	10.2	
	25	0.1	
	30	12.9	
	35	0.1	
	37	0.0	
	40	10.4	
	45	0.0	
中間〔どちらともいえない〕	50	30.9	
	55	0.0	
	60	2.6	
	65	0.0	
	70	1.1	
	80	0.9	
	90	0.5	
	98	0.0	
好意	100	1.4	
D. K.	999	0.4	

〔つづく〕

問75〔つづき〕

MIDDLE: 民社党

[VAR: MIDDLE] FEELING THERMOMETER : MIDDLE-OF-ROAD PARTY
主要政党への好嫌度 (民社党)

		1988. 10	
		N = 2265	カラム 3-23~25
コード			
反感	0	9.8	
	5	0.4	
	10	7.7	
	15	0.1	
	18	0.0	
	20	7.7	
	25	0.1	
	30	12.8	
	35	0.1	
	40	9.9	
中間〔どちらともいえない〕	50	41.1	
	55	0.0	
	60	5.0	
	70	2.6	
	75	0.0	
	80	1.5	
	90	0.3	
好意	100	0.2	
D. K.	999	0.5	

CONSRV: 自民党

[VAR: CONSRV] FEELING THERMOMETER : CONSERVATIVE PARTY
主要政党への好嫌度 (自民党)

		1988. 10	
		N = 2265	カラム 3-26~28
コード			
反感	0	2.3	
	10	1.9	
	20	1.9	
	30	4.4	
	40	4.8	
	45	0.0	
中間〔どちらともいえない〕	50	34.5	
	55	0.1	
	60	13.8	
	65	0.2	
	70	15.0	
	72	0.0	
	73	0.0	
	75	0.1	
	80	13.1	
	85	0.1	
	90	4.5	
	95	0.0	
好意	100	2.9	
D. K.	999	0.3	

〔つづく〕

問75〔つづき〕
 ULTRIT: -

[VER: ULTRIT] FEELING THERMOMETER : ULTRA-RIGHT PARTY
 主要政党への好嫌度(--)

1988. 10
 コード N=2265

カラム 3-29~31

Missing 999 100.0

問75〔カード45〕政党についてお伺いします。もし好意も反感も持たない時には50度としてください。
もし好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて50度から100度のどこかを指してください。
また、もし反感を感じていれば、やはりその強さに応じて0度から50度のどこかを指してください。

1番目は自民党です。自民党についてはどうでしたか。

自民党

社会党

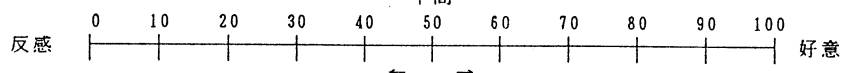
公明党

民社党

共産党

どちらともいえない

中間



*オリジナルの日本調査は、自民党、社会党、公明党、民社党、共産党の順であるが、この共通ファイルでは、左派から右派の順に並べ変えた。

COMMUN: 共産党

[VAR: COMMUN] FEELING THERMOMETER : COMMUNIST PARTY

主要政党への好嫌度(共産党)

1988. 10

コード N = 1017

カラム 3-14~16

反感	0	25.4
	1	0.0
	2	0.2
	5	0.3
	9	0.0
	10	15.6
	12	0.1
	15	0.2
	20	10.8
	25	0.1
	30	11.6
	35	0.0
	40	6.6
中間〔どちらともいえない〕	50	23.8
	60	1.8
	65	0.0
	70	1.4
	80	0.8
	90	0.0
	91	0.1
好意	100	0.5
D. K.	999	0.6

問75 [つづき]

問75

S O C I A L : 社会党

[VAR: SOCIAL] FEELING THERMOMETER : SOCIALIST PARTY (DEMOCRAT IN THE US)

主要政党への好嫌度(社会党)

1988. 10

コード N = 1017

カラム 3-17~19

反感	0	4.9
.....	10	3.2
.....	20	6.3
.....	25	0.1
.....	30	10.8
.....	32	0.0
.....	35	0.1
.....	36	0.1
.....	40	11.9
.....	45	0.1
.....	46	0.0
中間 [どちらともいえない]	50	42.9
.....	55	0.0
.....	60	8.5
.....	70	5.9
.....	75	0.1
.....	80	2.9
.....	85	0.0
.....	90	1.3
好意	100	0.3
D. K.	999	0.6

E C O N T L : 公明党

[VAR: ECONTL] FEELING THERMOMETER : ECOLOGICAL OR NATONALIST PARTY

主要政党への好嫌度(公明党)

1988. 10

コード N = 1017

カラム 3-20~22

反感	0	17.3
.....	3	0.0
.....	5	0.2
.....	10	8.8
.....	15	0.0
.....	20	10.9
.....	25	0.1
.....	30	14.9
.....	35	0.0
.....	37	0.1
.....	40	9.9
.....	45	0.1
中間 [どちらともいえない]	50	29.8
.....	55	0.0
.....	60	2.3
.....	65	0.0
.....	70	1.1
.....	80	1.4
.....	90	0.4
.....	98	0.1
好意	100	2.0
D. K.	999	0.6

[つづく]

問75〔つづき〕

MIDDLE: 民社党

[VAR: MIDDLE] FEELING THERMOMETER : MIDDLE-OF-ROAD PARTY

主要政党への好嫌度(民社党)

		1988. 10	
		コード	N = 1017
			カラム 3-23~25
反感	0	10.3	
	5	0.3	
	10	6.6	
	15	0.0	
	18	0.0	
	20	10.0	
	25	0.1	
	30	13.0	
	35	0.1	
	40	9.4	
中間〔どちらともいえない〕	50	40.3	
	55	0.1	
	60	4.9	
	70	2.9	
	75	0.1	
	80	1.1	
	90	0.1	
好意	100	0.0	
D. K.	999	0.7	

CONSRV: 自民党

[VAR: CONSRV] FEELING THERMOMETER : CONSERVATIVE PARTY

主要政党への好嫌度(自民党)

		1988. 10	
		コード	N = 1017
			カラム 3-26~28
反感	0	2.9	
	10	1.2	
	20	2.0	
	30	4.8	
	40	3.7	
	45	0.0	
中間〔どちらともいえない〕	50	36.6	
	55	0.1	
	60	13.7	
	65	0.1	
	70	14.3	
	72	0.0	
	73	0.0	
	75	0.0	
	80	12.3	
	85	0.0	
	90	5.3	
	95	0.0	
好意	100	2.7	
D. K.	999	0.4	

〔つづく〕

問75〔つづき〕
ULTRIT: -

(VAR: ULTRIT) FEELING THERMOMETER : ULTRA-RIGHT PARTY
主要政党への好嫌度(--)

1988. 10
コード N=1017

カラム 3-29~31

Missing 999 100.0

ASK ALL

Q.75a (HAND CARD 75)

This next card is called a "feeling thermometer" and we would like to use it to measure your feelings towards various parties. If you don't feel particularly warm or cold towards a party place it at the 50 degree mark. If you have a warm feeling towards a party, give it a score somewhere between 50 and 100. On the other hand, if you don't feel very favorable towards a party then place it somewhere between 0 and 50.

First the Republican Party. Where do you put them on the thermometer?

Republican.....
 Don't know..... 999

Q.75b

And how about the Democratic Party? Where would you put them on the thermometer?

Democrat.....
 Don't know..... 999

COMMUN: -

[VAR: COMMUN]

FEELING THERMOMETER: COMMUNIST PARTY
 1988.10
 CODE N=1563

COL.314-16

Missing.....999 100.0

SOCIAL: Democrat

[VAR: SOCIAL]

FEELING THERMOMETER: SOCIALIST PARTY (DEMOCRAT IN THE US)
 1988.10
 CODE N=1563

COL.317-19

0.....	0	4.5
10.....	10	3.3
20.....	20	5.4
30.....	30	7.0
40.....	40	8.7
50.....	50	22.7
60.....	60	7.9
70.....	70	7.9
80.....	80	9.9
90.....	90	6.8
100.....	100	5.5
Don't know.....	999	10.2

Q.75 Continued

ECONTL: -

[VAR: ECONTL]

FEELING THERMOMETER: ECOLOGICAL OR NATIONALIST PARTY

1988.10

CODE N=1563

COL.320-22

Missing.....999 100.0

MIDDLE: -

[VAR: MIDDLE]

FEELING THERMOMETER: MIDDLE-OF-ROAD PARTY

1988.10

CODE N=1563

COL.323-25

Missing.....999 100.0

CONSRV: Republican

[VAR: CONSRV]

FEELING THERMOMETER: CONSERVATIVE PARTY

1988.10

CODE N=1563

COL.326-28

0.....0	7.7
10.....10	4.9
20.....20	5.6
30.....30	5.8
40.....40	7.5
50.....50	23.0
60.....60	5.1
70.....70	9.3
80.....80	11.8
90.....90	5.8
100.....100	3.5
Don't know.....999	10.0

ULTRIT: -

[VAR: ULTRIT]

FEELING THERMOMETER: ULTRA-RIGHT PARTY

1988.10

CODE N=1563

COL.329-31

Missing.....999 100.0

[DECK 3 Cols. 32-79]
BLANK

[VAR: -]
BLANK

1987. 10
CODE N=1000
BLANK 0 100. 0

COL. 32~79

[VAR: -]
BLANK

1987. 10
CODE N=1013
BLANK 0 100. 0

COL. 32~79

[VAR: -]
BLANK

1987. 10
CODE N=1043
BLANK 0 100. 0

COL. 32~79

[VAR: -] BLANK
空白

1988. 10
コード N=2265
BLANK 0 100. 0

カラム 3-32~79

[VAR: -] BLANK
空白

1988. 10
コード N=1017
BLANK 0 100. 0

カラム 3-32~79

[VAR: -]
BLANK

1988. 10
CODE N=1563
BLANK 0 100. 0

COL. 332~79

[VAR: CARD3]
CARD 3 (DECK 3)

		1987. 10	
	CODE	N=1000	COL. 80
CARD 3 (DECK 3)	3	100. 0	

[VAR: CARD3]
CARD 3 (DECK 3)

		1987. 10	
	CODE	N=1013	COL. 80
CARD 3 (DECK 3)	3	100. 0	

[VAR: CARD3]
CARD 3 (DECK 3)

		1987. 10	
	CODE	N=1043	COL. 80
CARD 3 (DECK 3)	3	100. 0	

[VAR: CARD3] CARD 3 (DECK 3)
3枚目カード(3枚組データ)

		1988. 10	
	コード	N=2265	カラム 3-80
3枚目カード	3	100. 0	

[VAR: CARD3] CARD 3 (DECK 3)
3枚目カード(3枚組データ)

		1988. 10	
	コード	N=1017	カラム 3-80
3枚目カード	3	100. 0	

[VAR: CARD3]
CARD 3 (DECK 3)

		1988. 10	
	CODE	N=1563	COL. 380
CARD 3 (DECK 3)	3	100. 0	

1988年日本調査 調査票A

〔対象番号が3の倍数でない人に〕

生活と文化に関する世論調査

〔調査票 A〕

(No1893)

昭和63年10月

観新情報センター

(国)	(地点No)	(対象No)												
5	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr></table>					①	②	③	④	<table><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>⑥</td><td>⑦</td></tr></table>			⑥	⑦
①	②	③	④											
⑥	⑦													

調査日時	調査員氏名	点検者名
日 時		

新情報センターから世論調査に伺いました。

突然で恐れ入りますが、よろしくご協力下さいますようお願いいたします。

〔性・年齢〕 〔訪問する前に記入しておきサンプルを確認する〕

あなたのお生まれは、

1	2	3		
明治	大正	昭和	年	月

ですね。

⑧～⑫

1 男	2 女
-----	-----

⑬

1 その通りだ	2 否 →	1 2 3 明治 大正 昭和	年 月	生まれだ
---------	-------	-------------------	-----	------

⑭～⑲

〔該当する生年の上の数字を○でかこむ〕

1 昭和38年 以降	2 昭和33年 昭和37年	3 昭和28年 昭和32年	4 昭和23年 昭和27年	5 昭和18年 昭和22年
6 昭和13年 昭和17年	7 昭和8年 昭和12年	8 昭和3年 昭和7年	9 大正12年 昭和2年	10 大正11年 (明治も含む)

⑳

問1 〔カード1〕 日本人全体の生活水準は、この10年間でどう変わったと思いますか。

- (21)
- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常によくなった | 5 非常にわるくなった |
| 2 ややよくなった | 6 その他(記入) |
| 3 変わらない | 7 わからない |
| 4 ややわるくなった | |

問2 〔カード1〕 あなたの生活水準は、この10年間でどう変わりましたか。

- (22)
- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常によくなった | 5 非常にわるくなった |
| 2 ややよくなった | 6 その他(記入) |
| 3 変わらない | 7 わからない |
| 4 ややわるくなった | |

問3 〔カード2〕 これから先の5年間に、あなたの生活状態はよくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。

- (23)
- | | |
|--------------|---------------|
| 1 非常によくなるだろう | 5 非常にわるくなるだろう |
| 2 ややよくなるだろう | 6 その他(記入) |
| 3 変わらないだろう | 7 わからない |
| 4 ややわるくなるだろう | |

問4 これから先、ひとびとは幸福になると思いますか、不幸になると思いますか。

- (24)
- | | | | | |
|-----|-----|-------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 幸福に | 不幸に | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問5 これから先、心のやすらかさは、ますと思いますか、へると思いますか。

- (25)
- | | | | | |
|----|----|-------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ます | へる | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問6 では、人間の自由は、ふえると思いますか、へると思いますか。

- (26)
- | | | | | |
|-----|----|-------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ふえる | へる | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問7 これから先、人間の健康の面はよくなってゆくと思いますか、わるくなると思いますか。

- (27)
- | | | | | |
|------|-------|-------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| よくなる | わるくなる | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問8 〔カード3〕 わが国の向こう10年から15年間の国家目標をどう設定したらよいかについて、最近盛んに議論されています。ここにいろいろな人が最も重視する目標がいくつかあげてあります。あなたはこれらの中で何が最も重要だと思いますか。(○は1つ)

- (28)
- | |
|----------------------------|
| 1 国家の秩序を維持すること |
| 2 重要な政策を決める時、人々にもっと発言させること |
| 3 物価の上昇をくいとめること |
| 4 言論の自由を守ること |
| 5 その他(記入) |
| 6 わからない |

問9 [カード4] ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることがあります。
あなたは、次のような危険について不安を感じることがありますか。

	非 常 に 感 じ る	か 感 な じ る	少 感 し じ は る	全 じ く な 感 い	そ の 他	わ な か い ら	
a. まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか。……………	1	2	3	4	5	6	(29)
b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか。……………	1	2	3	4	5	6	(30)
c. では、「失業」についてはどうでしょうか。……………	1	2	3	4	5	6	(31)
d. では、「戦争」についてはどうでしょうか。……………	1	2	3	4	5	6	(32)
e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか。…	1	2	3	4	5	6	(33)

問10

a. 家計のやりくりをしなければならないことがありますか。

1	2	3	4	
あ	る	な	い	その他(記入)
↓				↓(問11へ)

b. [カード5] 特にどこを節約しますか。下記のうちからいくつでも上げて下さい。

	あ	り	な	し	
a. 医 療 ……………	1		0		(35)
b. 車 の 費 用 ……………	1		0		(36)
c. 家 庭 用 品 ……………	1		0		(37)
d. 食 料 品 ……………	1		0		(38)
e. 美 容 ……………	1		0		(39)
f. レジャー・休暇 ……………	1		0		(40)
g. 衣 料 費 ……………	1		0		(41)
h. 住 居 費 ……………	1		0		(42)
i. 子供の養育費 ……………	1		0		(43)
j. タバコ・酒 ……………	1		0		(44)
8. そ の 他					(45)
9. わからない					

問11 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも普通より尊ばない方ですか。

1	2	3	4	5	
普通より 尊ぶ方	普通より 尊ばない方	普 通	その他(記入)	わからない	(46)

問12 子供がないときは、血のつながりがない他人の子供を、養子にとって家をつがせた方がよいと思いま
すか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

1	2	3	4	5	
つがせた方 がよい	つがせる必要は ない	場合による	その他(記入)	わからない	(47)

問13 現在、一般的な家庭にとって望ましい子供の数は何人だと思いますか。

48

人

9

わからない

問14 [カード6] ここ1ヶ月の間に次にあげるものに悩みましたか。(かかりましたか。)

49

	かかったことあり	な し
a. 頭痛、偏頭痛 <small>へんずつう</small>	1	0
b. 背中 <small>せなか</small> の痛み	1	0
c. いらいら	1	0
d. うつ 状態	1	0
e. 不 眠 症	1	0

8. そ の 他

9. わからない

問15 [カード7] あなたと同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

50

1 非常に満足している	4 満足していない
2 満足している	5 その他(記入)
3 あまり満足していない	6 わからない

問16 [カード8] かりに現在の日本社会全体を、ここに書いてあるように5つの層に分けるとすれば、お宅はこのどれにはいると思いますか。

55

1	2	3	4	5	6	7
上	中の上	中の中	中の下	下	その他(記入)	わからない

問17 [カード9] あなたは次のうちどちらが好ましいと思いますか。

56

- 1 収入が増えること
- 2 余暇(自由な時間)が増えること
- 3 そ の 他(記入)
- 4 わからない

問18 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか。

57

1	2	3	4
ずっと働く	働くのをやめる	その他(記入)	わからない

問19 [カード10] 仕事について、次の2つの意見があります。どちらがあなたの気持ちに近いですか。

58

- 1 いくらお金があっても、仕事があれば、人生はつまらない
- 2 お金があれば、仕事がなくとも、人生がつまらないとは思わない
- 3 そ の 他(記入)
- 4 わからない

問20 〔カード11〕 ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。

あなたは、どれに一番関心がありますか。

- 1 お金のことを気にしないですむ程よい給料
- 2 倒産や失業の恐れがない仕事
- 3 気の合った人たちと働くこと
- 4 やりとげたいという感じがもてる仕事
- 5 そ の 他 (記入)
- 6 わからない

(59)

問21 現在、あなたの一週間の予定を立てるとき、仕事上のことがあなたの個人生活や家庭生活とよくぶつかりますか。

- | | | | |
|-----|-----|----------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| は い | いいえ | その他 (記入) | わからない |

(60)

問22 〔カード12〕 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つきにあげるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。

- 1 一生けんめい働き、金持ちになること
- 2 まじめに勉強して、名をあげること
- 3 金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をする
- 4 その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
- 5 世の中の正しくないことを押しのけて、どこまでも深く正しくくらすこと
- 6 自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと
- 7 そ の 他 (記入)
- 8 わからない

(61)

問23 〔カード13〕 お宅の付近の環境や住みやすさについて、全体としてどう思っていますか。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 満足している | 4 満足していない |
| 2 やや満足している | 5 その他 (記入) |
| 3 あまり満足していない | 6 わからない |

(62)

問24 〔カード14〕 近所の治安についておうかがいします。次に挙げるようなことで問題になっていることがありますか。

- | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---|--------------------------------------|--|---|-------------|-----------------------|------|
| | 重
大
な
問
題
に
な
っ
て
い
る | な
る
問
題
に
な
っ
て | 大
し
て
問
題
に
な
っ
て
い
な
い | 全
然
問
題
に
な
っ
て
い
な
い | そ
の
他 | わ
か
ら
な
い | |
| a. 「強盗にはいられること」については、どうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | (63) |
| b. 「急に襲われて身の危険を感じる」については、
どうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | (64) |

問25 [カード15] イソップの童話の中に、^{なま}怠け者のギリギリスと、働き者のアリの話があります。

夏の間歌をうたっていたギリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところにやって来ました。この時のアリの答えには、次のような2つの型があります。

あなたは、このお話のむすびとして、この中のどちらがご自分の気持ちにじっくりしますか。

- ⑥5
- 1 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だと追いついてしまう
 - 2 怠けていたのはいけないけれども、これからはちゃんと働くですよ、といさめた上で、食べ物をわけてあげる
 - 3 その他(記入)
 - 4 わからない

問26 あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください。

⑥6

(記入)	9
	わからない

問26b そのほか、非常に大切と思うものをいくつでもあげてください。

⑥7

(記入)	9
	わからない

問27 [カード16] 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1～7の評価をつけてください。

		重 要 で な い							重 要	そ の 他	わ か ら な い
⑥8	a. まず、「家族や子供」についてはどうですか。…	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
⑥9	b. では、「職業や仕事」についてはどうですか。…	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
⑦0	c. では、「自由になる時間とくつろぎ」につい … てはどうですか。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
⑦1	d. では、「友人、知人」については ……………	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
⑦2	e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」については …	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
⑦3	f. では、「宗教」については ……………	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
⑦4	g. では、「政治」については ……………	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

問28 [カード17] あなたは自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか。

- ⑦5
- | | | | | | | |
|----|------|---------------|------|----|----------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 満足 | やや満足 | どちらとも
いえない | やや不満 | 不満 | その他(記入) | わからない |

問29 [カード17] あなたの生活についておききします。ひとくちにいてあなたは今の生活に満足していますか、それとも不満がありますか。

- | | | | | | | | |
|----|------|-----------|------|----|---------|---------|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | (76) |
| 満足 | やや満足 | どちらともいえない | やや不満 | 不満 | その他(記入) |) わからない | |

問30 いまの社会で成功している人を見て、その人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのどちらが大きな役割をはたしていると思いますか。

- | | | | | |
|----------|--------|---------|---------|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | (77) |
| 個人の才能や努力 | 運やチャンス | その他(記入) |) わからない | |

(78)(79) = 01

問31 [カード18] 次の二つの意見のうち、どちらがあなたの意見に近いですか。

(80) = 1
(カード1)

甲：収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒をみることは、その世帯に生活の道を与えることになる

乙：収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒をみることは、その世帯から責任感を全く奪うことになる

(1)~(7) = 1D

(8)~(13) = b

(14)

- | | | | |
|------|------|---------|---------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 甲の意見 | 乙の意見 | その他(記入) |) わからない |

問32 こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | | |
|--------------------|-----------|------|
| 1 賛成(人間らしさはへる) | 4 その他(記入) | (15) |
| 2 いちがいにはいえない | 5 わからない | |
| 3 反対(人間らしさ、不変、ふえる) | | |

問33 小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。

「小さいときから、お金は人にとって、最も大切なものの1つだと教えるのがよい」
というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | | | | | |
|----|----|------------|---------|---------|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | (16) |
| 賛成 | 反対 | いちがいにはいえない | その他(記入) |) わからない | |

問34 こういう意見があります。

「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人達にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | | |
|-------------------|-----------|------|
| 1 賛成(まかせる) | 4 その他(記入) | (17) |
| 2 反対(まかせっきりはいけない) | 5 わからない | |
| 3 いちがいにはいえない | | |

問35 あなたは、自分が正しいと思えば世間の慣習に反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間の慣習に、従った方がまちがいないと思いますか。

- 08
- | | | | | |
|------|-----|-------|----------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| おし通せ | 従 え | 場合による | その他(記入) | わからない |
-

問36 こういう意見があります。

「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ(人間らしさ)はへりはしない」
というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- 09
- | | |
|--------------|------------|
| 1 反対(へる) | 4 その他(記入) |
| 2 いちがいいにはえない | 5 わからない |
| 3 賛成(へらない) | |
-

問37 [カード19] つぎのような考え方があります。

「家庭は、ここちよく、くつろげる、ただ1つの場所である」
というのですが、あなたはそう思いますか、そうは思いませんか。

- 20
- | | | | |
|------|---------|----------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| そう思う | そうは思わない | その他(記入) | わからない |
-

問38 [カード20] つぎの3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

- 20
- | | |
|------------------------|--|
| 1 離婚はすべきではない | |
| 2 ひどい場合には、離婚してもよい | |
| 3 二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい | |
| 4 そ の 他(記入) | |
| 5 わからない | |
-

問39 [カード21] 家事や子供の世話について、どうお考えですか。

- 22
- | | |
|---------------------------|--|
| 1 すべての女性の仕事である | |
| 2 いくつかは女性の仕事である | |
| 3 すべての仕事は、男性、女性の区別なくやるべきだ | |
| 4 そ の 他(記入) | |
| 5 わからない | |
-

問40 「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれが本当であることを知っている場合、子供には、

「そんなことはない」といった方がよいと思いますか、それとも
「それはほんとうだ」といった方がよいと思いますか。

- 23
- | | | | |
|-------------|----------|----------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| そんなことはないという | ほんとうだという | その他(記入) | わからない |

問41 [カード22] 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受け取ったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい。

- 1 なにをおいても、すぐ故郷に帰る 24
- 2 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
- 3 そ の 他 (記入)
- 4 わからない

問42 [カード22] いまの質問では、思入が死にそうなときを、うかがいしましたが、もしキトクなのが思入ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか、どちらかえらんで下さい。

- 1 なにをおいても、すぐ故郷に帰る 24
- 2 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
- 3 そ の 他 (記入)
- 4 わからない

問43 [カード23] 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い(ほんとうのことに近い)と思うものを、1つだけ選んでください。

- 1 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない 26
- 2 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
- 3 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない
- 4 そ の 他 (記入)
- 5 わからない

問44 [カード24] あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください。

- 1 個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる 27
- 2 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる
- 3 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
- 4 そ の 他 (記入)
- 5 わからない

問45 [カード25] つぎのうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか。

		あ り	な し
28	a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬	1	0
29	b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する	1	0
30	c. 個人の権利を尊重すること	1	0
31	d. 個人の自由を尊重すること	1	0
32	5. その他(記入)		
	6. わからない		

33~35=b (上の質問では、2つの項目をあげてもらうこと)

問46 [カード26] つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか。

- 36
- 1 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事はあまりできない人
 - 2 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人
 - 3 そ の 他(記入)
 - 4 わからない

問47 [カード27] 物事を決定する時に「一定の原則に従うこと」に重点をおく人と、「他人との調和をはかること」に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな「ひとがら」ですか。

- 37
- 1 物事を決定するときに一定の原則に従うことに重点をおく人
 - 2 物事を決定するときに他人との調和をはかることに重点をおく人
 - 3 そ の 他(記入)
 - 4 わからない

問48 [カード28] あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、

「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」

と社長のあなたに報告しました。

あなたはどちらをとれ(採用しろ)といえますか。

- 38
- 1 1番の人を採用するようという
 - 2 親戚を採用するようという
 - 3 そ の 他(記入)
 - 4 わからない

問49 [カード29] それでは、この場合2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたが昔世話になった人の子供だったとしたら、あなたはどうしますか。(どちらをとれといえますか)

- 39
- 1 1番の人を採用するようという
 - 2 昔世話になった人の子供を採用するようという
 - 3 そ の 他(記入)
 - 4 わからない

問50 〔カード30〕 ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長に使われる方がよいと思いますか。どちらか1つあげてください。

- 1 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことは人のめんどうを見ません (40)
- 2 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもあります、仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます
- 3 その他(記入))
- 4 わからない

問51 たいていの人は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。

- 1 他人の役にたとうとしている (41)
- 2 自分のことだけ考えている
- 3 その他(記入))
- 4 わからない

問52 他人は、機会があれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

- 1 他人は機会があれば利用しようとしていると思う (42)
- 2 そんなことはないと思う
- 3 その他(記入))
- 4 わからない

問53 たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。

- | | | | | |
|--------------|----------------|---------|---|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | (43) |
| 信頼できる
と思う | 常に用心した
方がよい | その他(記入) |) | わからない |

問54 〔カード31〕 次のような意見がいくつかあります。ご自分の立場や個人的な感情を考えて、「賛成」「やや賛成」「やや反対」「反対」のいずれかで答えて下さい。

a. まず、「たいていの人は、他人を助けるために多少の努力をすることができる」というのですが、あなたのお考えに近いのはどれですか。

(以下同様にb～eを聞く)

- | | 賛成 | やや
賛成 | やや
反対 | 反対 | その他 | わから
ない | |
|--|----|----------|----------|----|-----|-----------|--|
| a. たいていの人は、他人を助けるために多少の努力をすることができる 1 2 3 4 5 6 (44) | | | | | | | |
| b. 結びつきが強い地域社会に自分が属していると思う 1 2 3 4 5 6 (45) | | | | | | | |
| c. 今日、人は明日のことを心配しないでその日その日を生きざるを得ない 1 2 3 4 5 6 (46) | | | | | | | |
| d. 収入を得るための手段の方が、得られる収入よりも大切である 1 2 3 4 5 6 (47) | | | | | | | |
| e. 現代は、自分も含めて、人々は孤独で他人から切り離されていると感じることが多い 1 2 3 4 5 6 (48) | | | | | | | |

問55 [カード32] 科学上の発見とその利用は、あなたの日常生活の改善に役だっていると思いますか。

- 49
- | | |
|-------------|-----------|
| 1 役だっている | 4 その他(記入) |
| 2 少しは役だっている | 5 わからない |
| 3 役だっていない | |

問56 [カード33] コンピュータがいろいろなところに使われるようになり、情報化社会などということが言われています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変わっていく面があると思います。あなたは、このような変化をどう思いますか。

- 50
- | | |
|---------------------------|---|
| 1 望ましいことである | |
| 2 望ましいことではないが、避けられないことである | |
| 3 困ったことであり、危険なことでもある | |
| 4 その他(記入) |) |
| 5 わからない | |

問57 [カード34] つぎに読み挙げる事柄についてあなたはどう思いますか。

それぞれについて、この中からお答えください。(a～cについてそれぞれ聞く)

a 病気の中には近代医学とは別の方法で治療したほうがよいものもある。

- 51
- | | |
|---------------|--------------|
| 1 全くそのとおりだと思う | 4 決してそうは思わない |
| 2 そう思う | 5 その他(記入) |
| 3 そうは思わない | 6 わからない |

b. 科学技術が発展すれば、いつかは人間の心の中までも解明できる。

- 52
- | | |
|---------------|--------------|
| 1 全くそのとおりだと思う | 4 決してそうは思わない |
| 2 そう思う | 5 その他(記入) |
| 3 そうは思わない | 6 わからない |

c. 今日我々が直面している経済的、社会的問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される。

- 53
- | | |
|---------------|--------------|
| 1 全くそのとおりだと思う | 4 決してそうは思わない |
| 2 そう思う | 5 その他(記入) |
| 3 そうは思わない | 6 わからない |

問58 [カード35] つぎに挙げることは今後25年の間に実現すると思いますか。

それぞれについてこの中からお答えください。

- | | | 多分実
現する | 実現する可
能性は低い | 実現し
ない | その他 | わから
ない |
|----|--|------------|----------------|-----------|-----|-----------|
| 54 | a. まず、「原子力廃棄物の安全な処理方法」
についてはどうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 55 | b. 「ガンの治療方法の解明」についてはどう
ですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 56 | c. 「老人性痴呆症(ぼけ)の治療方法の解明」
についてはどうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 57 | d. 「宇宙ステーションでの生活」については
どうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問59 [カード36] エネルギーの節約について話題になることがしばしばあります。
あなたご自身は、このことは重要な問題だと思いますか。

- | | | |
|-------------|-----------|------|
| 1 非常に重要である | 4 重要ではない |) 58 |
| 2 重要である | 5 その他(記入) | |
| 3 あまり重要ではない | 6 わからない | |

問60 [カード36] 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか。

- | | | |
|-------------|-----------|------|
| 1 非常に重要である | 4 重要ではない |) 59 |
| 2 重要である | 5 その他(記入) | |
| 3 あまり重要ではない | 6 わからない | |

問61 日本文化ときいて、まず思い浮かべることは何ですか。

(記入)	9 わからない
------	------------

60

問61b そのほかいくつかもあげて下さい。
何かそのほかにありますか。

(記入)	9 わからない
------	------------

61

問62 宗教についておききたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか。



問62b (問62で「1 もっている、信じている」と回答した人に)
それは何という宗教ですか。

- | | |
|--------------|------|
| 1 仏教系(記入) |) 63 |
| 2 神道系(記入) | |
| 3 キリスト教(記入) | |
| 4 その他の宗教(記入) | |
| 5 わからない | |

d [カード39] では、「自由主義」についてはどうですか。

- | | | | |
|-----------|-----------|---|----|
| 1 よ い | 4 その他(記入) |) | 72 |
| 2 時と場合による | 5 わからない | | |
| 3 よくない | | | |

e [カード39] では、「保守主義」についてはどうですか。

- | | | | |
|-----------|-----------|---|----|
| 1 よ い | 4 その他(記入) |) | 73 |
| 2 時と場合による | 5 わからない | | |
| 3 よくない | | | |

問68 [カード40] 日本の民主政治の運営のしかたについてはどうですか。

- | | | | |
|--------------|-----------|---|----|
| 1 非常に満足 | 4 全く不満 | | 74 |
| 2 かなり満足 | 5 その他(記入) |) | |
| 3 あまり満足していない | 6 わからない | | |

問69 [カード41] 現在の日本で、裁判制度はよく機能していると思いますか。

- | | | | |
|----------------|---------------|---|----|
| 1 非常によく機能している | 4 全然よく機能していない | | 75 |
| 2 かなりよく機能している | 5 その他(記入) |) | |
| 3 あまりよく機能していない | 6 わからない | | |

問70 [カード42] 労働者と経営者の関係について、次のような二つの意見があります。

甲の意見 「労働者と経営者の利害は、全くあい反しているから、労働者と経営者はあくまで戦わなければならない」

乙の意見 「会社がもうかれば労働者の賃金も上がるというように、労働者と経営者の利害は結局において一致するのだから労働者と経営者は協力しなければならない」

あなたは、このどちらの意見に賛成ですか。

- | | | | | |
|----------------|-----------------|---------|---|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 76 |
| 甲に賛成
(戦うべき) | 乙に賛成
(協力すべき) | その他(記入) |) | わからない |

問71 [カード43] 次にわれわれが住んでいる社会についての考え方が3つ挙げてあります。

あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。

- | | |
|---|----|
| 1 われわれの社会の仕組みは、革命によって根本的に変えなければならない | 77 |
| 2 われわれの社会は、改革によって徐々に変えていかなければならない | |
| 3 われわれの現在の社会は、あらゆる破壊的勢力に対して断固防衛されなければならない | |
| 4 その他(記入) |) |
| 5 わからない | |

問72 日本の社会は、根本的な改革を必要としていると思いますか。

79	1	2	3	4
	思　　う	思わない	その他(記入)	わからない
	↓			↓ (問73へ)

問72b (思うと回答した人に)

[カード44] では、その変革は漸進的ぜんしんてきな改革がよいでしょうか、それとも急激な改革がよいでしょうか。

79=b 80=2 (カード2) <1>~<7>=1D <8>~<14>=b	1	2	3	4
	漸進的 <small>ぜんしんてき</small> な改革 がよい	急激な改革 がよい	その他(記入)	わからない

問73 しいていえば、あなたは何党を支持しますか。

<15>	1 自 民 党	5 共 産 党	8 支持政党なし
	2 社 会 党	6 社 民 連	9 わ か ら な い
	3 公 明 党	7 その他の政党	
	4 民 社 党	(記入)	
	↓		↓ (問75へ)

問74 (政党をあげたなら)あなたのお考えはその政党にどの程度近いでしょうか。

「非常に近い」「かなり近い」「非常に近いとはいえない」の三段階のうちどれにあたりますか。

<16>	1 非常に近い	4 その他(記入)
	2 かなり近い	5 わからない
	3 非常に近いとはいえない	

問75 [カード45] 政党についてお伺いします。もし好意も反感も持たない時には50度としてください。

もし好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて50度から100度のどこかを指してください。また、もし好意を感じていなければ、やはりその強さに応じて0度から50度のどこかを指してください。

1番目は自民党です。自民党についてはどうですか。

(以下同様に問く)

<17>~<19>	自 民 党	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 度	100° 好 意 的 90 80 70 60 50 中 間 (ど ち ら と も い え な い) 40 30 20 10 0 非 好 意 的
<20>~<22>	社 会 党	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 度	
<23>~<25>	公 明 党	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 度	
<26>~<28>	民 社 党	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 度	
<29>~<31>	共 産 党	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 度	

<フェイス・シート>

ご意見をおうかがいするのはこれで終わりですが、この結果を統計的に分析するために、あなたご自身やご家族のことについて少しおたずねします。

<32>~<35>=b

F1 〔性別〕

<36>

1 男 2 女

F2 〔年齢〕 あなたのお年は満でいくつですか。

記入

--	--

歳

<37><38>

1 18~19歳	5 35~39歳	9 55~59歳
2 20~24歳	6 40~44歳	10 60~64歳
3 25~29歳	7 45~49歳	11 65~69歳
4 30~34歳	8 50~54歳	12 70歳以上

<39><40>

F3 〔学歴〕〔カード46〕あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。

(中途・在学中は卒業とみなす)

1 小卒	2 旧高小・新中卒	3 旧中・新高卒	4 旧高专・大・新大卒	5 不明
------	-----------	----------	-------------	------

<41>

F4 〔本人職業〕あなたのご職業は何ですか。

(具体的に記入して下の該当する項目に○をつける)

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 自営者 1 農 2 商 3 自 林 工 サ 山 漁 サービス 業 業 業 業 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 被傭者 4 管 5 専 6 事 7 労 理 門 ・ 務 務 職 職 職 職 </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 家族従業者 8 農 9 商 10 自 林 工 サ 由 漁 サービス 業 業 業 業 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 無職 11 無 12 学 13 職 職 所 の 他 主 の 婦 無 生 職 </div>		
<42><43>												

F4a 〔労働組合加入〕(F4で被傭者に)あなたは、現在、労働組合に入っていますか。

1 入っている	2 入っていない
---------	----------

<44>

F5 〔家族人数〕ご家族は、あなたも含めて、何人ですか。(使用人は含めない)

1 1人	2 2人	3 3人	4 4人	5 5人	6 6人	7 7人以上
------	------	------	------	------	------	--------

<45>

F 11 〔世帯収入〕〔カード49〕では、お宅の収入は、ご家族全部あわせて、去年1年間でおよそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答え下さい。

- | | | |
|-------------------|---------------------|------|
| 1 200万円未満 | 6 1,000万円～1,500万円未満 | <51> |
| 2 200万円～ 400万円未満 | 7 1,500万円～2,000万円未満 | |
| 3 400万円～ 600万円未満 | 8 2,000万円以上 | |
| 4 600万円～ 800万円未満 | 9 わからない | |
| 5 800万円～1,000万円未満 | | |

F 12 〔住宅の所有形態〕〔カード50〕 お住まいはどのようにわけると、どれにあたりますか。

- | | |
|------------------------|------|
| 1 持ち家 | <52> |
| 2 都道府県・市区町村営の賃貸住宅 | |
| 3 住宅・都市整備公団・供給公社等の賃貸住宅 | |
| 4 民営の借家または賃貸アパート | |
| 5 給与住宅（社宅・公務員住宅など） | |
| 6 住宅に間借り | |
| 7 会社等の独身寮・寄宿舎 | |
| 8 その他 | |

F 13 〔乗用車所有〕 お宅では自家用乗用車をお持ちですか。

- | | | |
|-------|--------|------|
| 1 | 2 | <53> |
| 持っている | 持っていない | |

（どうも長い間ありがとうございました。）

〔調査員記入欄〕

F 14 全般的な、調査に対する回答者の態度：

- | | | |
|--------------------|--------------------|------|
| 1 興味深げで、協力的 | 3 落ち着かず、いらいらしている様子 | <54> |
| 2 協力的だが、とくに興味はなさそう | 4 非協力的 | |

F 15 全体として、回答者は、質問の内容がわかったようであったか。

- | | | |
|--------------------|---------|------|
| 1 よくわかっているようだ | 4 その他 | <55> |
| 2 大体のところはわかっているようだ | （記入） | |
| 3 あまりよくわかっていないようだ | 5 わからない | |

<56>～<79>=b

<80>=3

（カード3）

(カードA)

[カード 1] 問1、問2

(№1893)

1. 非常によくなった
2. ややよくなった
3. 変わらない
4. ややわるくなった
5. 非常にわるくなった

[カード 2] 問3

1. 非常によくなるだろう
2. ややよくなるだろう
3. 変わらないだろう
4. ややわるくなるだろう
5. 非常にわるくなるだろう

1. 国家の秩序を維持すること

2. 重要な政策を決める時、人々にもっと発言
させること

3. 物価の上昇をくいとめること

4. 言論の自由を守ること

1. 非常に感じる

2. かなり感じる

3. 少しは感じる

4. 全く感じない

a. 医 療

b. 車 の 費 用

c. 家 庭 用 品

d. 食 料 品

e. 美 容

f. レジャー・休暇

g. 衣 料 費

h. 住 居 費

i. 子供の養育費

j. タバコ・酒

a. 頭痛、偏頭痛
へんずつう

b. 背中の痛み

c. いろいろ

d. うつ状態

e. 不眠症

1. 非常に満足している

2. 満足している

3. あまり満足していない

4. 満足していない

1. 上

2. 中の上

3. 中の中

4. 中の下

5. 下

1. 収入が増えること

2. 余暇（自由な時間）が増えること

1. いくらお金があっても、仕事があれば、
人生はつまらない

2. お金があれば、仕事がなくとも、人生がつ
まらないとは思わない

1. お金のことを気にしないですむ程よい給料

2. 倒産や失業の恐れがない仕事

3. 気の合った人たちと働くこと

4. やりとげたいという感じがもてる仕事

1. 一生けんめい働き、金持ちになること

2. まじめに勉強して、名をあげること

3. 金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をすること

4. その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと

5. 世の中の正しくないことを押しのけて、どこまでも清く正しくくらすこと

6. 自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと

1. 満足している

2. やや満足している

3. あまり満足していない

4. 満足していない

1. 重大な問題になっている

2. 問題になっている

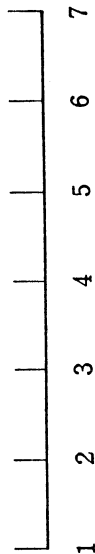
3. 大して問題にはなっていない

4. 全然問題にはなっていない

イソップの童話の中に、怠け者のキリギリスと、働き者のアリの話があります。夏の間歌をうたっていたキリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところに来て来ました。

重要でない

重要



1. 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然

だと追い返してしまう

2. 怠けていたのはいけなけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といざめた上で、食べ物をわけてあげて

1. 満 足

2. やや満足

3. どちらともいえない

4. やや不満

5. 不 満

甲：収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒を
みることは、その世帯に生活の道を与える
ことになる

乙：収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒を
みることは、その世帯から責任感を全く奪
うことになる

家庭は、ここちよく、くつろげる、ただ
1つの場所である

1. そう思う

2. そうは思わない

1. 離婚はすべきではない

2. ひどい場合には、離婚してもよい

3. 二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい

1. すべてが女性の仕事である

2. いくつかは女性の仕事である

3. すべての仕事は、男性、女性の区別なくやるべきだ

1. なにをおいても、すぐ故郷に帰る

2. 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する

1. 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない

2. 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない

3. 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない

1. 個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる

2. 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる

3. 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである

a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬

b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する

c. 個人の権利を尊重すること

d. 個人の自由を尊重すること

1. 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事はあまりできない人

2. 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人

1. 物事を決定するとき、一定の原則に従うことに重点をおく人

1. 1 番の人を採用するようという
2. 親戚を採用するようという

2. 物事を決定するとき、他人との調和をはかることに重点をおく人

1. 1 番の人を採用するようという

2. 昔世話になった人の子供を採用するよう
いう

1. 規則をまげてまで、無理な仕事をさせるこ
とはありませんが、仕事以外のことでは人
のめんどろうを見ません

2. 時には規則をまげて、無理な仕事をさせる
こともありますが、仕事のこと以外でも人
のめんどろうをよく見ます

	賛成	やや賛成	やや反対	反対
a. たいていの人、他人を助けるために多少の努力 をすることができ	1	2	3	4
b. 結びつきが強い地域社会に自分が属していると思 う	1	2	3	4
c. <small>こんにち</small> 今日、人は明日のことを心配しないでその日 を生きざるを得ない	1	2	3	4
d. 収入を得るための手段の方が、得られる収入より も大切である	1	2	3	4
e. 現代は、自分も含めて、人々は孤独で他人から切 り離されていると感じることが多い	1	2	3	4

1. 役だっている

2. 少しは役だっている

3. 役だっていない

1. 望ましいことである

2. 望ましいことではないが、避けられないことである

3. 困ったことであり、危険なことでもある

1. 全くそのとおりだと思う

2. そう思う

3. そうは思わない

4. 決してそうは思わない

1. 多分実現する

2. 実現する可能性は低い

3. 実現しない

1. 非常に重要である

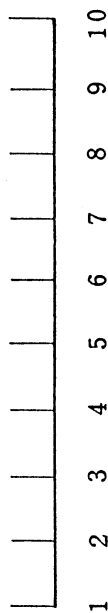
2. 重要である

3. あまり重要ではない

4. 重要ではない

左
(革新)

右
(保守)



1. 非常に関心がある

2. まあ関心がある

3. あまり関心がない

4. 全く関心がない

1. よ い

2. 時と場合による

3. よくない

1. 非常に満足

2. かなり満足

3. あまり満足していない

4. 全く不満

1. 非常によく機能している

2. かなりよく機能している

3. あまりよく機能していない

4. 全然よく機能していない

甲の意見 「労働者と経営者の利害は、全くあい反しているから、労働者と経営者はあくまで戦わなければならぬ」

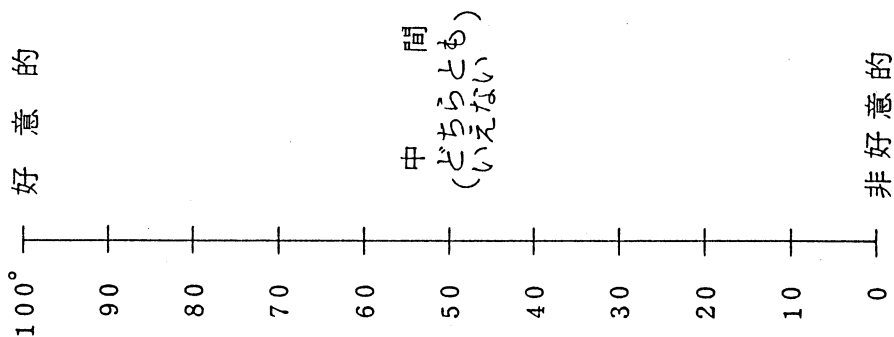
乙の意見 「会社がもうかれば労働者の賃金も上がるというように、労働者と経営者の利害は結局において一致するのだから労働者と経営者は協力しなければならぬ」

1. 甲に賛成（戦うべき）
2. 乙に賛成（協力すべき）

1. われわれの社会の仕組みは、革命によって根本的に変えなければならない
2. われわれの社会は、改革によって徐々に変えていかなければならない
3. われわれの現在の社会は、あらゆる破壊的勢力に対して断固防衛されなければならない
い

1. 漸進的な改革がよい
ぜんしんでき

2. 急激な改革がよい



1. 小 卒

2. 旧高小・新高卒

3. 旧中・新高卒

4. 旧高専・大・新高卒

1. 1 人 世 帯

2. 1 世代世帯（夫婦だけ）

3. 2 世代世帯（親と子）

4. 3 世代世帯（親と子と孫）

5. その他の世帯（祖父母と孫）

1. 200万円未満
2. 200万円～400万円未満
3. 400万円～600万円未満
4. 600万円～800万円未満
5. 800万円～1,000万円未満
6. 1,000万円～1,500万円未満
7. 1,500万円～2,000万円未満
8. 2,000万円以上
9. 収入なし

1. 200万円未満
2. 200万円～400万円未満
3. 400万円～600万円未満
4. 600万円～800万円未満
5. 800万円～1,000万円未満
6. 1,000万円～1,500万円未満
7. 1,500万円～2,000万円未満
8. 2,000万円以上

1. 持 ち 家
2. 都道府県・市区町村営の賃貸住宅
3. 住宅・都市整備公団・供給公社等の賃貸住宅
4. 民営の借家または賃貸アパート
5. 給与住宅（社宅・公務員住宅など）
6. 住宅に間借り
7. 会社等の独身寮・寄宿舎

本研究の概要

第1部 意識の国際比較の方法論とその基本構想

第2部 調査の計画と実施（抜粋）

Cultural Link Analysis for Comparative Research

第 1 部

意識の国際比較の方法論とその基本構想

§ 1 比較可能性の基本的考察 —いかにして比較可能か—

§ 2 国際比較の方法論

§ 3 国際比較研究の基本構想

§ 4 本研究の学術的背景

§ 1 比較可能性の基本的考察

—いかにして比較可能か—

ここに比較における方法論とは、いわゆる cross-societalあるいは cross-cultural な統計調査による比較研究の方法論を指すものとする。仮説をたて、これを検証するという自然科学的方法が社会調査やその分析において基本的な配慮であるべきであるが、未知の部分の多い比較研究の場においては、それ以前の「素直にものを観察する」という態度が重要な意味をもつ。「素直にものを見る」といっても、視点なくしてものを見ることはできない。したがって、最初の仮説をたてるのは当然のことであるが、あまりこれを剛直に守りその枠を出ないような研究方法は得策ではない。つまり仮説検証ばかりに固執することなく、新しい問題の発見、新しい仮説の発見を志向しつつ多くの仮説を按じながら研究を進めることがより一層大事である。

§ 1.1 意識の比較研究の意義と方法

比較研究を始める問題意識から考えを進める必要がある。これは比較という漠然としたものに、明確な形を与えていこうとするとき考えねばならない第一歩である。我々としては、彼我の間に起り得る生きたコミュニケーションにおける問題提起とその解明を志向するという意図を持っている。これは、

- 1) 自らをよりよく知るための鏡としての比較、
- 2) 国際交流における無用な摩擦・障害の排除、相互理解の方法を見出すこと、
- 3) 我々が他の文化を理解し、もっと情緒的にいえば感得し、それを実り豊かに享受し、我々の文化創造の糧と動因たらしめること、
- 4) 他の国の人々が、日本および日本人、その文化を理解しようとする意欲を持っている場合、その理解を容易にするための科学的手段を提供し、その道をつけること、相手が「日本がわかった」と考え、感じ得るための内容を科学的レトリックにより示すこと、

につながるものであることを期待するものである。これはさらに進めると人間理解の方法にまで高められるものである。

我々の統計的方法に基づく計量的比較研究方法は、大局を逸せずはっきり捉えること、「中らずと雖も遠からず」ということを根底に据えて考えることである。こうした、計量的方法は科学の共通の言語である。そこに日本固有の論理---日本人には容易に理解できるが日本人以外には理解し難い論理---を介入させないのである。データとしてデータに語らしめつつ、その国の心の構造を計量的方法で分析し、その方法の妥当性のあることをその国の人に理解させる。この方法で日本人の心の方を分析し、そのデータの出方によって日本の姿を知らしめようとするのである。このあたりに、理論優先の解釈を介入させないのである。解釈はもとより否定するべきでなく、解釈は次のデータによる解析のための仮説という立場を堅持するものである。共通の論理で特殊や同一性、類似と差異の構造を理解させようとするのである。

計量的方法以外のものの好ましいところ、注意すべきところもいろいろあるが、ただ一

つ、こうした手法は一つの固定的立場で現象を切りまくり、都合のよい事例のみを引用し解釈し、説得的に理論を構成するもので、時に肯綮に当り時に大曲解を生むものである点を指摘するに止めよう。その特色は洞察力と構想力にある。この点、前にも述べた計量的方法のあたらずといえども遠からずを狙う方法と趣きを異にする。

計量的方法は、日本人とても一様ならず、外国人とても一様ならず、ヨーロッパは一つならず、アジアは一つならず、しかし、一様でないままに大局的に似ているところ、異なっているところの筋を客観的に、つまり彼我ともに理解し合える科学的方法によって見通すことを考えるのである。相手が理解しようと思えば理解し得る論理、つまり普遍を通して共通のところはもとより特殊をも理解し得るようにすることである。このために、どうするかを方法論的に考えることになる。ある結果が示されたときに、一面的に解釈せず仮説を一步一步深めて探っていくのであって結論を焦らぬということが大事である。

§ 1.2 比較研究の基本的立場

最も基礎的な考え方は上述の問題発見を重視するという思想であるが、これをもう少し押し進めてみたい。科学的立場から比較するということは、同じ道具と測定方法を用いて計測し、同じ所、異なる所を明らかにするところに意味がある。科学的な比較は、このように共通点、異なった点を見出すための上述の手段の構成が可能かどうか、可能ならばそれをいかに構成するかを念頭におくことが出発点となる。この尺度は、完全なものが始めから期待できるものではない。不完全ではあるが、ひとまずそれらしいものを考え、それを土台に異なった所、同じ所を析出させ、問題を見出し、さらにそれを良くしていくという逐次近似の思想に立つことが必要である。

つまり、これまでの方法で事実がある程度わかりながら、その上に立って問題点を見出し、新しい知見を得て一層事実をはっきりさせる方法を考えて進むというプロセスそのものが重要なのである。これと同時に、前述のように問題発見つまり探索的な接近方法が重要である。言いかえると、継続・連続調査の分析を通して次第に問題が明らかになっていくのであって、常に出発点に立ち戻りつつ高まっていくという上昇螺旋状に研究が進むということになる。このように比較研究を進めていくところに、方法論の特色があるわけである。

次に社会調査により人々の考え方、ものの見方、感じ方を明らかにしようとする方法の利点と欠点とを考えなくてはならない。社会調査の方法では、all or nothing という抜本的な立場は得策ではないという思想が根底にある。利点はいうまでもなく客観的な方法により共通の土俵に立ちつつ上述の方法論で次第に成果を積みあげ、事を運ぶことができるという点である。しかし、調査で調べ得ることは限りがあり、タテマエ的な回答が出やすく、ホンネが出にくいことである。したがって現実の行動の予測につながり難しいという欠点があげられる。これをいかに補うかの工夫がなくてはならない。タテマエはタテマエとして重要な意味があり、これが人間の顔であることに間違いはない。ホンネだけでは世の中は動かないのである。ホンネの肉付けとして必ずタテマエが用いられるので、ものの考え方としてタテマエの分析は重要な意味を持つ。なお、行動の根本原理としては、タテマエのみでなくホンネが主要な動機を与えていることは事実であろう。タテマエとホンネの

ダイナミックスが人間の社会行動を形成しているということができる。これをどう捉えるかが課題である。ホンネを探り出すことは、従来の質問法、分析法を工夫して、ある程度まで接近できるがもとより十分ではない。ホンネをさぐる手法も手をつけられているが、いまのところ十分ではない。

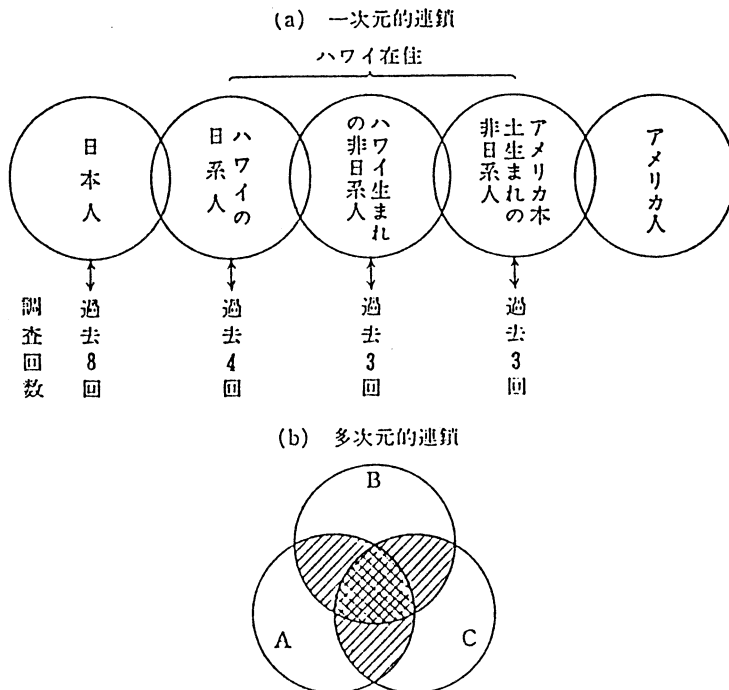
以上のような限界を十分心得た上で、より一段、より一段と高めていく心構えが、社会調査方法論として大事なことであって、あまりにも楽観的に問題を処理し事は終わったとすることは危険なことで戒めねばならない点である。

§ 2 国際比較の方法論

§ 2.1 連鎖的調査計画・分析法

§ 1で上昇螺旋という形で研究を進める重要性を述べた、ここで基本に立ち返ってみれば、比較対象をいかに選定して事を進めることが有利か、また分析のために何をユニットとして事を運ぶことが研究戦略上有利であるかを考慮することが大事である。我々の得た結論は、いきなり異なったものを比較するのではなく、相似たところと異なるところがあるものを比較するという考え方である。連鎖的調査計画法というのが、事を理解するのに都合がよいということである。例えば、我々のグループの行なっている例を次に示しておく。日本を起点として、まずアメリカとの比較研究を進める場合を考えよう。基本となる日本の調査は、1953年以来5年おきに今日まで続いており、質問票の問題をはじめ種々のことがわかってきている。日本を起点として、日本と近いところでハワイの日系人、さらにハワイ生まれの非日系アメリカ人、アメリカ本土生まれでハワイ在住の非日系アメリカ人、アメリカ本土在住のアメリカ人というように調査対象を拡げ、調査を続けていく、少しずつ似たところを重複させて同異の相を露呈させ、離れて相異なるものを次々繋げながら理解しようとする考え方である。異なるものが異なるだけでは理解を絶するのみで深い情報とはならない。同異の相を連鎖的に理解しつつ相離れて異なるものを了解しようとする立場である。

図 2-1
連鎖的調査計画---調査対象集団の連鎖---

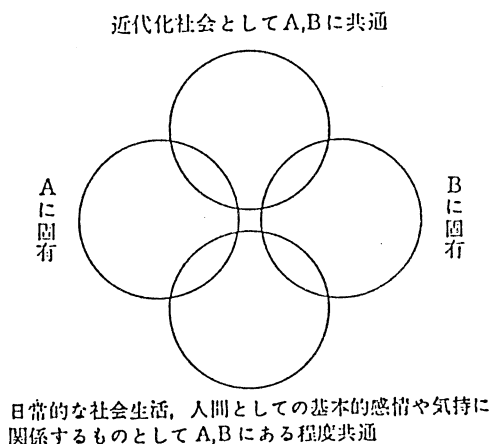


これは二次元的であるが対象が多くなると多次元となる

また、日本人の自然観とドイツ人・フランス人の自然観の同異をしらべる調査を行なっている。これは多次元的連鎖計画と考えるべきもので3者相互に似たところと異なったところを想定しての比較である。問題が限定され自然という基本問題を取り扱っているため、非常に隔絶した姿も示されているものの、これを理解する鍵は見出すことが容易であった。

以上は対象の方であるが、質問も連鎖的に連関のあるものを取りあげるのがよい、まず人間である以上、喜怒哀楽の感情、快・不快の感情など基本的感情は同じものだということが出発点になくしては調査はできない。人間としての基本条件である。質問はそれぞれの社会（国）に固有と思われる質問群、近代化社会に共通する質問群（これは、それぞれの社会（国）に共通する部面となる）、人間として基本的な素朴な感情ないしは習慣、宗教感情などに関係する質問群（ある程度共通なものとなると予想される）などから構成されるのが情報を豊かにすると考えられる。

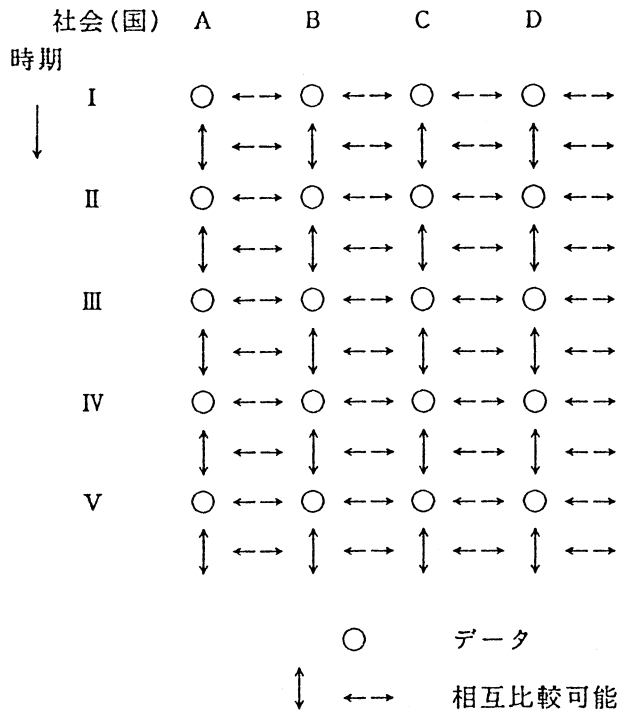
図 2-2
連鎖的調査計画 - 質問項目の選択 -



対象のとり方、質問の構成、これらに関連するデータの分析法、あわせて連鎖的調査計画・分析法（略して連鎖的調査・分析法という）と名付けることにするが、この考え方が有効であると考えられる。

なお、このように考えてくると、時系列調査もこの中に含め得ることがわかる。国際比較でない場合、一つの集団の時系列調査も、同じところと異なるところが出てくるので、時系列で得られたデータは連鎖的であるということが出来る、国際比較の場合は、空間と時間とが共に連鎖的につながり合うことになり、このデータ分析は変化の仕方などの比較もでききわめて有意義なものになる。

図2-3
時間的・空間的連鎖と比較



さて、各質問群に入れる質問は、その素姓がよく知られていればいるほど情報量が多くなる。日本での継続調査に用いられ、その変化、不変の相を通して性格がわかっていること、数多くの調査に用いられ、他の諸質問との関連性においてその性格がわかっていること、国際比較調査に用いられ、その質問の意味するところが外国と日本で同じか異なっているかの様相が知られていること、外国の調査でよく用いられており、時系列調査などを通じてその性格が解明されていること、などが重要である。こうした質問文を手なれた道具として用い、上述の質問群を構成するのである。また、分析対象とする集団を個別に分析し、その結果を比較するとともに、二つの集団をあわせて----ボンド・サンプルという----分析し、それぞれの特色が浮かびあがるものか、また両集団がまざり合い個人差が浮かびあがるものか、などについて分析を行なうことも有効である。個別集団とボンド・サンプルによる分析はそれぞれ全く異なった機能を持つもので、これらの特色を巧妙に用いることは深い情報をえぐり出すのに有用である。

さらにまた、分析に用いる質問項目を適宜入れかえ、それらを用いて意識構造を描き出した結果がどう異なってくるかを知ることは重要な意味をもつ。質問文の性格がよくわかっていると、質問項目の入れかえで結果が変わる、その変わり方の意味を探り出すことができる。

上述のような質問文の入れかえと分析対象の選択（個別集団、ボンド・サンプルを随時併用する）とを絡めて分析し、問題に様々な角度から切り込んでいくというダイナミックないき方からわかってくることは多いものである。こうしたいき方は、結論をすっぱり示すというより、あれこれ考えて情報を探り出していくというものであって、複雑な多次元的様相を持つものの比較研究の方法として望ましいものと考えられ、外国・外国人の行動の予測、文化摩擦の生じる意識の仕組み、文化の相互理解への鍵を見出すのに適した方法ということができる。

なお、質問文の選択として日本において事情がよくわかっている日本的質問なるものを第一に用いることは、日本人にとって有利ないき方である。つまり、日本人が日本人自身をこうした客観的方法で知っておき、また、これが外国でどうなっているかを見ることは、日本人は「日本人の見方」なるものを抜け切れないのであるから重要な意味がある。日本人の見方・考え方が外国でも通じると不用意に考えると誤解が生じ、摩擦を生む第一歩となるのであるから、こうした方法によって、日本の論理がどういう形で外国に現われるか、また、どうして通じないかを知ることは大事なことである。こうした日本的質問の他に比較研究として重要であると言及した各種の性格を持つものを加えて、内容を拡大していけば、正鵠を得た情報をつかみ出していくことができる。

この比較研究として重要な質問は、新しく我々が作成するよりも、既に外国で作成され利用されているものを用いるのがよい。我々は外国のことを熟知しているわけでないからである。アメリカの質問はアメリカ的価値観によって作られたもので、必ずしもどこの外国にも通用するものではないし、自国で問題意識となっているところについての質問が中心となっている。フランス、ドイツ、イギリスにおいてもアメリカと同様な性格を持っている。しかし日本のものを含めて、こうしたものの中にどこにでも通用する考え方で答えられる質問も含んでいることがわかる。このようにして、国際比較で用いられる調査票の内容は、恰も万華鏡をみる如きものである。これで始めて、有用な道具となるものである。一つの筋にしたがって作られたものは、その筋がどこに通用するか解らないし、通用したとしても、ものの一面から把んだものであって、それぞれの国の固有の考え方との関連もつかめず、一面の真理は却って多面での誤解を招来するものである点に特に注意したい。

§ 2.2 具体化のための基本的方法論

これは、具体的に比較研究を進める上で、いかなる手だてを工夫するかに関係している。

(ア) もとになる既存データの性格を十分把握することについて

いかなる対象が、いかなる測定法に基づいているのか、その妥当性・信頼性・精度はどのようなものか、どのような歪み・偏りがあるものか等の評価がまず重要である。

(イ) 標本の性格について

どのような性格のサンプルか、調査対象の集りをどう規定し、ランダム・サンプルをいかにとるべきか、もし、ランダム・サンプルとしての性格が弱い（たとえばクォータ法）とするならば、その代表性を確かめるようにその方法を種々検討すべきである。

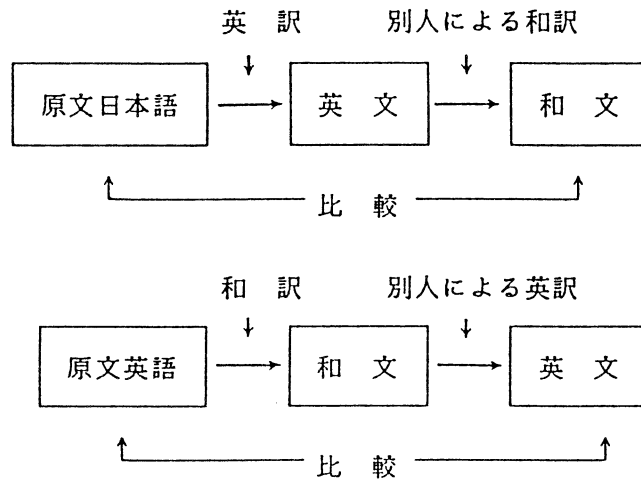
(ウ) 質問について

どのような質問を作るか、これには § 2.1 で述べた連鎖的調査計画・分析法によるのが

望ましいが、多くの仮説に基づいて幅広い質問を加えておくのが望ましい（初めから仮説をせばめ、問題をあまり絞り込まない方がよい）。その上で、前述のように質問の種類、数、組み合わせ等を適宜入れ替えながら分析を進め、質問の持つ意味・機能を調べながら比較そのものの情報をとり出すといういき方が有用である。さらに質問文の作り方などは、質問法の研究成果を基礎とすることは当然である。

比較研究である以上、質問文の翻訳の問題がある。まず字面の検討が第一であるが、日本文・英文質問についてその方法を説明したのが図2-4である。

図2-4
質問文の翻訳検討の手順



翻訳（和訳・英訳）は例えば、英訳の場合は英語の上手な人による翻訳であっていわゆる我々のような素人による翻訳ではないのはもちろんである。ここで、原文と再翻訳文とを比較することによって日・英両語で同じ質問文が出来ているかどうかを検討するのである。我々の調査票では、一般にこの程度までは検討を経たものを用いている。

字面が同一でも異なったことを訊ねているということもありうる。日本文・英文のニュアンス、イメージの違いがあるかも知れないので、日本固有の質問、ある義理人情に関する質問文の与えるイメージをハワイのアメリカ人に質問してみたが、回答分布は異なるものの、質問によって与えられるイメージは全く同一という興味ある結果が得られている。しかし、すべての質問についてこれを行なうことは不可能で、別の検討を必要とする。

そこで、日・英両語が同じように理解できるグループを折半し、日・英両語で調査をして回答ボタンを比較することが考えられる。しかし、英文・日本文ともに理解できるグループを見出すことはなかなか難しい。英文の理解は不十分でも一応英文を理解できる---ニュアンスまではとても無理と考えられるが---のは日本において集団として存在するのは大学生である。一方、逆の場合つまり英語を国語とする国で、日本文も理解するグループを見付けることは困難である。日本文の理解が不十分でも一応理解できるグループを集

団として見出すことが現実的であり、ハワイの日本語専攻学生や日系の宗教団体において見出すことができよう。これを対象に等質のグループをつくり、一方は日本文による調査、一方は英文による調査を行なって、その結果を検討してみるという試みも一つの接近法である。

こうした比較検討の結果、両者よく一致するものもあるが、英文のニュアンスの不理解、誤解（誤訳して回答することを含む）もあると考えられるものもあり、この方法の妥当性についてはさらに分析を進めなくてはならない。

このような基本的検討をいくら行なっても十分首肯できるところまではいくものではない。以上の基本を踏まえた上で、データ分析を種々の角度から行ない、質問の妥当性や意味を考え、比較可能性を頭に入れて、あちらへひねり、こちらへひねって考えを深めつつ研究を進め、逐次核心に迫るといういき方がとられるべきものであらうと思う。

こうしたなかで次のような考え方も有効なものとなる。ある程度性格のわかっている質問群の構成を前述のように種々変えることにより----質問群構成のダイナミックスといおう----比較対象群の結果がどう変わってくるか、これらを通して比較対象群に対して持つ質問の性格がより一層明確になるとともに比較対象の性格も把握できてくるという試みも大事である。質問群構成のダイナミックス、とりあげる集団のダイナミックスの相互作用によって両者の性格がより一層明確になってくるという方法を用いるのである。

このためには、以下に述べる分析方法と上述のような配慮とが相互に相携えて進まねばならない。なお、このためには、長い間の継続調査や比較研究を通して、その性格のよくわかっている質問群を中核として話を進めることが望ましい。この意味で、比較して探るための道具として質問の性格を踏まえて、質問そのものを大事にしていかななくてはならない。

（エ）データ獲得の方法について

これは調査実施法に関するもので、データの性格・質に関係するところが多く、調査法を精査し、比較可能性を検討する必要がある。

（オ）データ分析方法について

データの性格に応じて分析を実施し、その中に潜む情報を過不足なく剔抉しなければならぬ。このために多種多様な方法が開発されねばならない、この一部については、林知己夫、鈴木達三、「社会調査と数量化」、岩波書店（1986）に述べてあるのでそれを参照されたい。

以上、分析方法まで含めて、どれも完全というものはないことを繰り返しておこう。前にも述べたが重要なので重ねて強調しておきたい。一つずつを完全にしてからでないと比較はできないとなると同一個所に拘泥してそこに留まってしまう。そこに滞っていて完全にできればよいが、そこだけの知識で完全に話が進むものではない。いわば泥沼にあがくようなものである。科学の全体の水準が上がり、他の進んだ知識がポテンシャルとなって、この問題が一步推し進められるようなことになる。同じ所を攻撃し続けても突破できないとき、他の所々を攻め、得られた成果を土台にし、あらためて、もとに戻り攻撃を繰り返せば容易にそこを突破できることも多い。ある個所をある程度まで高めておき（質問法のところを考えていただきたい）、次に標本の比較可能性の検討に進む、これも完全に可能とは限らないがあるところまで突き詰める、こうして獲得されたデータを種々ひねりまわ

して分析を加える。もとより分析方法も完全なものではないので、現状で可能な限りの新しい有効な方法の開発を行なう。ここである種の知見を得ることになる。こうしたことが可能となるということで質問法の問題へ戻りし、対象の選択のことも考えなおすことになる。このようにもろもろの不完全な道具を使いながら問題を探索的に究めると同時に、調査法という道具をより妥当なものに作りかえつつさらに探索を進めるという形になる。初めに述べた上昇螺旋的研究方法である。仮説から仮説へと進みながら、なにがしかの知見を増しつつ核心に迫ろうとする態度である。

§ 2.3 “成果のまとめ”を通しての研究の進展

同一のデータを用い、比較の対象となった異なる社会双方の研究者が別々に報告書を作りあげる。このような研究では、データ解析や分析のための視点、解釈の他に、次のアプローチ、問題発見、新しい方法の開発意図といった方面のことが問題になるので、出来上がった報告書の相互検討を通して初めて、より一歩進んだ知見が得られ、比較研究のレベルが上がることになる。このことは一見容易で可能と見えながら、双方研究者のレベルが揃っていること、同一プロジェクトを相互に信頼し合い人間関係がよく、緊密に連繋させて行ないつつ、しかも考え方が全く同一でないこと、同一の熱意のあること、双方柔軟な考え方の持ち主であることが必要不可欠のことである。こうした共同研究者を得ることは、非常に難しいと思われるが、このことが共同研究成功の鍵である。

なお、共同研究グループの相互の考え方の理解が共同研究では不可欠であるが、これが進みすぎると共通の盲点を持つということが出てくる。何によらず、連帯の強いグループには、盲点の出てくるものである。これを打破するために、こうした問題に興味があり、類似の研究を別の角度から進めている専門家を加えて、新しい角度から内容を論議・検討をすることが必要で、非常に有意義なものと考えられる。

このような相互検討における誤解・理解を通して、しかもより高い段階へ進むための建設的意見が形成されるためには、前述した方法論による比較研究が相互に認め合えるということが基本的に重要なことであろうと思う。

§ 3 国際比較研究の基本構想

§ 3.1 従来の国際比較方法と連鎖的調査方法

以上のような根本的考え方を土台としてそれを具体化するための研究構想を述べることになるが、ここであらためて従来の比較研究方法のあり方を検討することから始めよう。

従来の社会調査法は、調査対象者の選定にランダム・サンプリングの方法を利用し、ある仮説にしたがって作成した質問文を用いて調査し、これを集計して検定していることだけで、科学的・実証的方法とみなしていた。我々の方法は従来の仮説検証的発想に基づく方法ではなく、探究的方法である。これが、比較研究等の複雑な問題の解明に適していることが、これまでの研究から分ってきた。

従来の比較研究は、一連の仮説に基づいて作成された質問項目を、比較研究の対象とされた、それぞれの社会で調査するため翻訳し、翻訳された質問項目の言語的な意味上の同等性を確認し、それぞれの社会の比較調査における共通の測定手段として利用し調査を進めてきた。

しかし、比較可能性を確保し、比較可能性を高めるためには、質問項目の翻訳に十分配慮することは当然のこととしても、これだけでは十分でなく、比較の対象となった社会相互の間の関連を事前に十分見極めると共に、質問項目の選択においても、比較対象社会の間における回答構造のあり方を、探索的に、「回答パタンの相互関連分析」の方法により確認して研究を進めることが不可欠であることが分ってきた。

我々の連鎖的調査方法をもう一度繰り返すと、平たくいえば互に似たところと異なるところのあるものを鎖の環のようにつないでいく方法である。この方法における連鎖は、

- i) 対象社会の選択において（空間的連鎖）
- ii) 質問項目群の構成において（比較における測定方法の連鎖）
- iii) 継続的時系列調査において（時間的連鎖）

すなわち、空間的・時間的ひろがり、測定方法について「連鎖的比較調査」の方法が考えられ、比較研究方法として極めて有効な方式であることが分ってきた。

対象社会の選択における連鎖は基本的には『社会環境』、『文化』、『民族性』の三つが考えられるが、比較対象社会をつなぐ時には重複して種々の組合せが生じる。この三つの基本的なものを軸とし、これらが、比較対象社会相互の意識構造に及ぼす影響力を計量的に解明することが科学的な比較研究を進める上で不可欠でありながら、このことは従来の比較研究では真剣にとり上げられていなかったことである。

このような計量的分析を可能にしたのは、回答構造の統計的分析方法である「回答パタンの相互関連分析」の方法を基礎にする一連の多次元的データ解析方法である。これは、

1. 比較の対象となった二つの社会の共通部分、それぞれの社会の固有部分を仕分けしその相互関連の仕方をみること、
2. 一方の社会で有効に利用されてきた質問項目の組における回答構造が、比較の対象である他方の社会ではどのように変形されるか等の分析を含むものであり、ii) のべた、質問項目群の構成に関する連鎖的調査方法の適用においても決定的に重要な役割を果す統計的方法である。

この方法は、日本においては 1950 年代より質的データ解析を必要とする政治学、社会学

等社会科学領域および医学、生物学、林学等広範囲の領域に適用されて多大の成果を挙げた方法であるが、近年（1970年以降）フランス、イタリー等ヨーロッパ諸国においても同様の方法が開発され研究が進められている。（Benzecri（1973）、Lebart（1984））

このような具体的分析方法を伴った、組織的な比較研究方法である『連鎖的調査方法』は比較研究、比較調査の分野においてはじめてのものであり、ひろく社会調査の分析方法としても、社会現象に対してより一層客観的、合理的な接近の方策を可能にする方法と考えられ、社会調査法の上に新しい時代を開くものといえる。

§ 3.2 連鎖的調査方法の国際比較調査への具体的適用とその妥当性の検証

連鎖的調査方法は、これまでに日本とアメリカとの比較研究において、ハワイ・ホノルル調査を媒介にして、連鎖をつなぎ、その有効性を確認してきた（この一例を参考資料としてあげる）。しかし、対象社会が二つ三つでは普遍的な有効性、広範囲の適用性が問題となる。このため、少なくともアメリカ・ヨーロッパの先進工業社会等のうちいくつかについて、連鎖的調査方法による国際比較調査を実施し、その有効性を確かめる必要がある。これなくしては、この方法の有効性を広く国際社会に認知させることは不可能である。

連鎖的調査方法における連鎖は、§ 3.1でのべたように、基本的には『社会環境』、『文化』、『民族性』の三つがあり、現実には重複した組合せがある。我々はこの方法の具体的適用において

- i) 比較の対象となる社会が上述の意味において連鎖的につながっていると考えられること
- ii) この方法を効果的に適用するため、その社会（国）における継続調査データが何らかの形で存在すること
- iii) 調査の実施が可能であること
- iv) 我々と協力する研究者が現地にいること（これらの研究者は再三、我々と接触しており、統計数理研究所において具体的な共同研究もおこなっている）

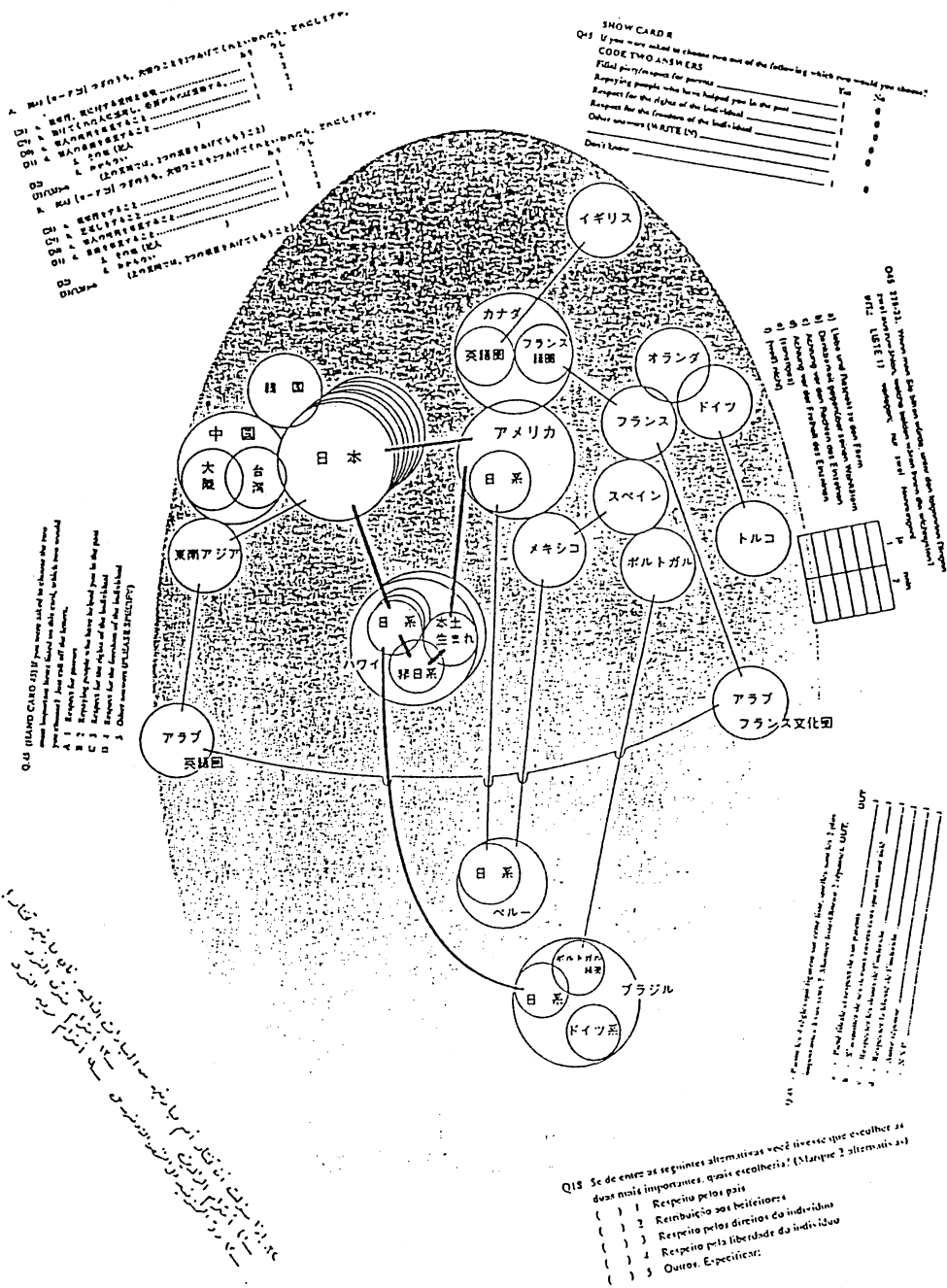
すなわち、連鎖の基本となる三つの事項の組合せを考えると連鎖的調査方法を適用すれば効果的であると考えられる数多くの社会がある。そして、それらの社会との比較研究は重要なものといえるが、この研究では、少なくとも上述の4条件を満たす社会を最小限の対象社会と考えた。ii)、iii)、iv)は相当きつい条件であり、とくに、iv)については、我々の方法で比較研究を実施することを了解し、積極的に協力してくれる現地研究者の存在が本研究にとって極めて重要であるという認識によるものである。

上述のような研究は、抽象的な議論だけではなく、具体的な対象にとり組む必要がある。比較の対象となる社会の具体例として

- (1) これまで調査経験があり、連鎖的調査方法を効果的に適用できるとともに、この方法の安定性および拡大をはかる上でハワイ・ホノルル市民調査、およびアメリカ本土における調査をまず考えた。（1988年が前回1978年実施以来10年目になるので1988年に調査を実施した。）

さらに、日本調査、ハワイ・ホノルルの日系人調査との関連を考える上でブラジ

連鎖的調査法における対象社会の連鎖の図
CULTURAL LINK ANALYSIS FOR COMPARATIVE RESEARCH



ル日系人に関する連鎖的比較が重要である。(調査は 1990年に計画され 1991年 1月-2月に実施された。ブラジル全土からの日系人ランダム・サンプルに対する調査結果は回収率 75%で、集計サンプルは 500以上になった)。

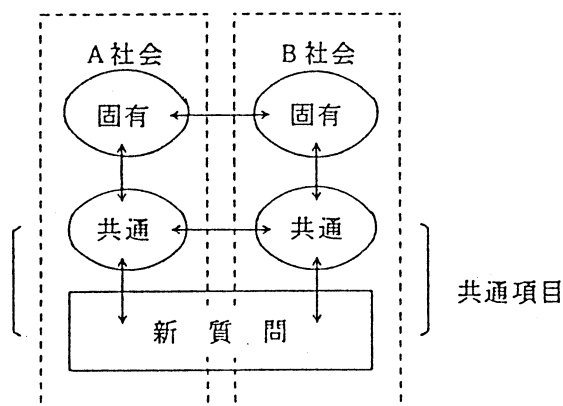
- (2) これまで、共通質問(形式的な)のみの比較で概要だけをとりえていた、フランス、ドイツ(西、東)、イギリスに連鎖的調査方法による比較調査を実施した。(フランス調査1982年より5年目に当る1987年に調査を実施した)これらの連鎖のつながりとして今後、カナダ(英語圏、仏語圏)に対する調査を実施することが極めて緊急且つ主要なことと考えられる。
- (3) この他、将来的には、トルコに対する連鎖的調査方法の適用を考える。これは、宗教の面からみて、また近代化過程がある面で日本と対比され研究されていること、さらに、歴史的にみて、ハワイとは別の次元における、東西文化の接点という観点から、連鎖的調査方法の妥当性を検討する一つの手がかりとなるものと予想される。(Ward & Rostow (1964)、Bellah (1958))

つぎに、質問票のあり方について具体的にみてみよう。

調査における測定方法としての調査票の構成・各質問項目の作成についてみると、比較の対象となった二つの社会のそれぞれにおいて、実績のある(とくに継続調査されている)質問項目を中核として選定する。この際、中核の質問項目について、対象社会それぞれの固有の部分と、両社会に共通の部分とに仕分けする。中核におけるこの二つの質問項目グループの相互関連のあり方の安定性を確認して、比較調査項目として利用する方式をとる。これらに新しく調査すべき共通質問項目を付加することにより、二つの比較対象社会の比較研究に関する形式的な連鎖は図式的には出来上る。しかし、これだけでは、十分ではない。

これを分析する統計的方法としての回答パタンの相互関連分析の方法(数量化Ⅲ類)がそれぞれの質問項目グループの間をつなぐ真の鎖止めの役を果たすことになる。(図1の ←→の部分)

図 1



それぞれの質問項目のグループにおける相互関連分析の結果得られた各社会の回答構造について、各社会を通した共通部分をまず見出し、これを中心軸として他の部分を位置づける。こうすれば、各社会における固有部分に相当するものの仕分けができ、この部分が共通部分とどのような関連をしているかという関連のあり方もわかり、各社会における回答構造を全体として、部分ごとの位置づけをはっきりさせながら、とらえることができる。このようにして、質問項目の組合せにもとづく回答パタンの相互関連分析によりはじめて、回答構造のあり方を客観的にとらえることが可能となる。すなわち、それぞれの社会の回答構造の同異のあり方が各社会における‘ものの考え方’（あるいは思想）の構造をときほぐす手がかりを与え、計量的な比較の第一の目的を達することが出来る。

このような調査票を具体的に構成するため、われわれは

- a) 質問項目の作成にあたり、多年にわたる各種継続調査および国際比較調査の実績を通して築かれた実証的情報を十分に活用し、データにもとづいて性格の明らかにされた質問文を中核におくという方策をとる。
- b) 連鎖的調査方式をとる。

ということで対処することにした。このa)に関して〈中核になる質問〉項目の選定方針をつぎにのべる。

中核になる項目の選定には、それぞれの対象社会において継続調査された質問項目をまず考える。これは、

- a) 継続してくり返し調査されている項目は、その社会で安定して使用されているという意味で偏りのない情報が得られる可能性が高い。
- b) 継続調査されている質問項目の調査データはその社会で指標としての役割が高い。
(社会環境の変化と相関させて分析すれば多くの情報が得られる可能性が高い)

したがって、継続調査されている質問項目は、その社会の環境の変化(時代的・経年変化の有無)等に相応して、その情報を継続調査のデータとして蓄積している。継続的に調査されている共通項目は人々の意識の面における経年的な動向をとらえる形のものであり、このことは社会科学が「主観ではなく経験にもとづいて客観的に社会現象の因果関連を明らかにする科学であり、とくに社会現象の運動の法則性を追求するものである」と考えれば、社会科学の本来の目的に沿ったものであるといえる。またそればかりではなく、社会現象の運動の法則性を明らかにする方法として組織的な継続調査は重要である。

すなわち、変化をとらえる定時観測は、同一の調査方法を用い、一定間隔をおいて定時的に観測調査を実施し、その変化の中から運動の法則に近づいていくという組織的継続調査の行き方は方法論的にも妥当なものである。

とくに継続調査データを年齢層別にして有機的に連結し、〈時代効果〉、〈年齢効果〉、および同一生年層の効果すなわち〈コウホート(世代)効果〉を識別するコウホート分析は、従来問題が多かったが、新しいコウホート分析方法の開発により、意識の変化過程における要因分析を的確におこなえるようになり、社会変化の動向との関連が、統計的方法の面からも客観的につけられるようになった。

経年的動向、すなわち時間軸の方向における連鎖的調査方法の大きな連環の鎖止めが出来上がってきたといえる。このようにして継続調査データの分析を通し、浮動的な部分および基盤的な部分を仕分けして、安定的(予測可能)な部分をとり出し、これを中核とし

て質問項目の組を構成することができる。これが比較可能性を高めることにつながる。

以上のように、回答パタンの相互関連分析、あるいは継続調査データのコウホート分析等の最新の統計的方法を、適切に選択・構成された質問項目の組に対して的確に利用・分析することにより、連鎖的調査方法の効果的適用法の基礎が出来上がる。これは、クーンのいうパラダイム^{*)}は、「概念や法則だけでなく、より重要なことは方法論的原理ととるべき方策の総体である」という見地からみると、連鎖的調査方法の効果的な適用を講究することは社会現象の科学的探究における新しいパラダイムの構築にもつながるものである。

*) T.Kuhn (1962) 'The Structure of Scientific Revolution' Ch.2 (文献参照)

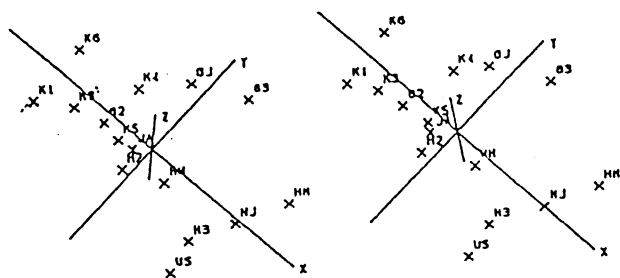
〈連鎖的調査方法の具体的適用例〉

連鎖的調査方法は、日本とアメリカとの比較において、ハワイ日系二世、日系三世、非日系ハワイ生れ、非日系アメリカ本土生れの各グループを媒介にして連鎖させることにより効果的な比較研究方法であることが確認された。すなわち、ハワイ日系人については、その文化変容の過程が明確に示され、ハワイ日系二世グループでは日本の特色である義理人情の質問項目の組が日本と同じような回答構造をもつこと、しかし三世ではハワイ非日系等に近い形で示された。これは、「文化」と社会環境の impact が「民族性」の背景より強いことを示唆するものである。また、別の質問の組については、日系各グループ、非日系グループ共にハワイ生れは共通の回答構造をもつが、非日系アメリカ本土生れは異なり、社会環境の影響が文化的背景より強い分野のあることも分かってきた。このように、連鎖的調査方法を利用することにより意識構造の変化過程がより一層はっきり示され、文化変容等の複雑な社会現象を解明するに際しても、「収斂理論 (Convergence theory)」の仮説に対する接近に際しても、従来の方法と比較して格段に効果的な成果が期待できると考えられる。

さらに日本における意識構造の経年的変化の一端をアメリカとの関連においてみると、いわゆる「伝統回帰」の内容が具体的に示されてくることが分かった。これは回答比率においていわゆる伝統的意見の支持比率が30年前の比率に近づいたということではなく、実は構造的にみると立体図に示されたごとく上昇螺旋型の変化であり比率の接近は見かけ上のものであることが分かった。すなわち、伝統・近代の対立を第一義的に考える意識構造（これは日本特有のものである）が1970年代後半から徐々にくずれ出したことを示すものである。これは1950年代から70年代はじめにかけて伝統的意識から近代的意識へ大きく変化した意識構造の変化過程が単純に「収斂」するものではなく、外来の「ものの考え方」の影響は部分的であり、いわばこの時期はアメリカ文化の取捨選択の過程であったことが示唆された。

立体視の図

立体鏡により中央に立体像を浮き上がらせてみるようにすること



図中の記号の説明

- K 1 : 1953年 日本調査の結果
- K 3 : 1963年 日本調査の結果
- K 4 : 1968年 日本調査の結果
- K 5 : 1973年 日本調査の結果
- K 6 : 1973年 日本調査の結果
- O 2 : 1971年 ハワイ日系二世の結果
- O 3 : 1971年 ハワイ日系三世の結果
- O J : 1971年 ハワイ日系全体の結果
- H 2 : 1978年 ハワイ日系二世の結果
- H 3 : 1978年 ハワイ日系三世の結果
- HH : 1978年 ハワイ非日系ハワイ生まれの結果
- HM : 1978年 ハワイ非日系アメリカ本土生まれの結果
- J A : 1978年 日系全体の結果
- N J : 1978年 非日系全体の結果

§ 3.3 連鎖的調査方法の具体的適用とデータ解析のための 『多重並列型データの統計的解析システム』の構築

<統計的解析システムの構想>

測定手段としての調査方式（面接調査法か自記式調査法等）、質問項目の選択・作成・翻訳等においても、また、質問項目を組合せて調査票を構成する場合にも、これまでの実績調査データの蓄積・分析を通して、その情報を活用することが不可欠であり、既存情報の整理・体系化なくしては実証的・科学的測定手段の基礎も築き得ないことは明らかである。これは、実績の調査データから最新の統計的方法を十分に活用したデータ解析により、利用可能な（有用な）情報を選択する過程であり、このためには、信頼できる調査データの蓄積と、これを利用したデータ解析が縦横に出来るコンピュータ・システムを構築することが不可欠である。このようなシステム構築が社会調査の方法を一新し、現代に即した社会現象の実証的・科学研究、国際共同研究を進める上で、また成果の国際的普及、社会的還元の上で必要な第一歩である。本研究においても、ハードの面の充実が研究を効果的に進める上で不可欠である。

このような「多重並列型データの統計的解析システム」の構築により、連鎖的調査方法の具体的適用におけるデータ解析は、逐次接近的方法を極めてスムーズに実行できることになり、研究の能率が格段に向上することが期待される。

<信頼できる調査データの蓄積およびその利用>

これについては、「社会調査データの保存・維持管理・利用システム」が存在すればよい。しかし、日本には現在このようなシステムが存在しない。

われわれが国際比較の研究対象として取り上げたアメリカ、イギリス、ドイツでは、大規模な「社会調査データ・アーカイブ」があり、研究活動を行なっている。これは、調査計画を具体化する段階で非常に有用であるばかりでなく、調査結果の信頼性を吟味検討する上でも非常に重要なものである。このシステムを欠くわが国の統計的な社会調査データの分析検討等に関する研究環境を今後改善することが極めて重要である。

§ 4 本研究の学術的背景

これまでの社会調査の発展の経過をみると、社会調査の基本的な方法は、調査の対象を一定の測定操作により分類し、その数を数えるという素朴なものに始まり（測定操作上問題の少ない人口調査など）、実態調査を経て徐々に測定操作の複雑な意識調査へと進んできた。

意識に関する調査が社会現象の実証的研究のための方法として利用され定着してきたのは1930年代後半である。有名なものはアメリカのギャラップ調査であり、ほぼ同時期にフランスではステゼールによって調査研究所が発足している。

第二次大戦後、社会調査の方法は広く各方面で利用されるようになった。日本における調査は戦前にもNHKの番組嗜好調査、あるいは毎日新聞の調査等がみられるが、限られたものである。戦後アメリカからの標本抽出法、世論調査の方法が普及し、現在まで各方面で利用されるようになった。アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ等でも世論調査は数多く実施されている。

このような社会調査の方法が組織的な情報収集の手段として一定水準に達したのは、ここ30～40年のことである。そして計量的な測定に利用し得る段階に達するには少なくとも次の二つの面における進歩があげられる。

1. 人を対象とする集団から確率サンプルをとる方法が確立したこと
2. 個人から情報を収集する方法を標準化してきたこと

しかし、1. に関しては原理的には確立しているとはいえ、調査の実際においては種々の問題がある。とくに経験的な知識の統合が必要であり複数社会の比較に関する場合、これまでの研究調査は必ずしも十分なものとはいえない。2. に関しては、同一国内における標準化は進んでおり、単一の調査に関していえば形式的には標準化されているようにみえる。しかし、継続調査による時系列比較研究あるいは、複数社会を対象とする国際比較研究を念頭に置いた標準化は、これまでのところほとんど考えられていないのが現状である。以下、国際比較研究についての経過と現状をのべる。

§ 4.1 国際比較研究における経過と現状

戦後における社会調査の普及により、1950年代から2国間、数ヶ国間の国際比較調査に基づく研究が試みられるようになった。例えば、アーモンドとバーバ（1963）による（政治）市民文化の研究は初期における国際比較を考えた研究である。これに続いて、日本における池内一教授および分担者三宅が参加した4ヶ国比較研究は「市民意識の研究」としてまとまっている。この他、サライらによる生活時間調査（1972）は初期の多数社会に関する比較研究である。また、生活の質に関する比較調査研究（サライとアンドリュース（1980））も行われている。

これらの諸調査とならんで、各国における社会階層と社会移動に関する諸調査も、国際比較研究の上からは見逃すことができない（研究成果は、例えば、トライマンの職業威信に関する国際比較研究（1977））。

上述の諸調査は、組織的な国際比較調査という観点からみると、その試行期に属するも

のということが出来る。これらの経験をふまえて、1970年代には、より組織的な国際比較調査がおこなわれるようになる。

その一つはヨーロッパ共同体の加盟諸国における共通調査である。（これは現在までユーロバロメータとして30数冊の調査報告書がある。（例えば、ユーロバロメータ（1985）、また、これにアメリカの調査を加えた研究の一つとしてイングルハート（1977）の研究がある。）

このような国際比較研究は多数の国を同時に取り上げ、共通質問項目を利用して一斉に調査を実施するタイプの国際比較調査である。これは国際比較調査の経験が豊かな国際的調査機関の連合組織を媒介として、調査を企画した組織が統一のとれた調査を一斉に実施できるところに特徴がある。わが国では、例えば世界青年意識調査（1972 および 1977, 1978, 11ヶ国）および13ヶ国価値観調査があり、西欧では、ヨーロッパ9ヶ国価値観調査がこのタイプになる。

今一つのタイプは、試行期にもみられたように、それぞれの国の研究組織（あるいは研究者）がそれぞれ自分の国における（継続）調査を実施してきた実績と経験およびそれまでに積み重ねてきた研究交流の蓄積を基礎に、相互に協力して比較研究に進むタイプである。これは、それぞれの国で実施されてきた継続調査が、日常生活の基礎に関する調査項目を多数共有するような場合には国際比較研究を効果的に実施できるところに特徴がある。

前者のタイプの比較研究は、特定主題に関する多数社会相互の位置づけをみるという観点から今後も各方面で実施される可能性は高い。また、これは比較さるべき社会が同種のものであり、同じ考えの筋道があり、かつ質問文の翻訳も無理なく行われ、比較に関する調査方法の標準化にも問題がなければ、有意義な結果を示す可能性もあるが、この前提条件の充足はいかにして達成されるかの方法がこの系列の考え方からは見出し難い。

一方、後者の比較研究は、狭いところから始まり、各社会における調査研究の方法を深めつつ成果の蓄積をはかり、次第に取り扱う範囲を広め、それが進めば進むほど国際的な共同研究を実施する環境がよくなり、今後の比較研究の一つの方向となるものと考えられる。この考え方は、比較のあり方の方法論的研究を中核としつつ比較の輪を広げていくという思想である。つまり、これは、各社会それぞれの日常生活における‘ものの考え方’には基本的なところではそれほど大きな違いはない、という認識の上に立って比較研究を進める考え方が基本にある。

このように、各社会の差異よりも、共通性を基本軸として調査計画を立て、それぞれの対象社会の関連の性質を十分配慮した調査方式（連鎖的調査方式）をとることができれば、成果の可能性が期待される。このタイプの比較調査方式は着実であるが、比較すべき対象は狭く、拡大するのに時間がかかる。この方法は、データに基く探索的な過程のうちに、国際比較の目的にふさわしい情報が得られてくるところに特徴があると考えられる。

§ 4.2 これまでの研究過程

標本抽出法の研究、質問紙法の研究、面接調査員の問題に関する研究等を経て、社会調査方法が実際場面における一般市民の日常の‘ものの考え方’に関する研究に適用できると考えられた 1950年代はじめから、統計数理研究所の調査がはじまった（1953年）。

この研究調査は、当初はそれまでの研究同様、仮説検証的発想の調査であった。1958年に第2回目の調査を実施し、調査結果の比率の動きが社会環境の常識的な動きと連動する点の多いことが確認され、1963年の第3回調査を実施する段階では、多数の質問項目を固定して調査し、変化を調べる形のものにした。この段階では、社会環境の変化の傾向も経年的にみて同一方向の流れが主であり、変化の方向が一定であり、変化量だけが問題であったため、社会環境の変化過程における意識の変化のあり方をとくに詳しく研究するまでには至らなかった。

1968年の第4回調査においても調査結果の分析は比率に関する限り、この変化量だけが主要な関心事であり、調査方式はほぼ確立してきた形となった。この頃からようやく大型コンピュータの利用が可能になり、今回の連鎖的調査方式の統計的分析方法の面の要である「回答パタンの相互関連分析（数量化Ⅲ類）」の方法を多くの質問の組に適用できることになった。

その結果、これまでの調査結果にみられた比率の動きは表面的なものであり、その根底に回答構造の動きが考えられることがわかってきた。この回答構造の動きを考えにいれなければ、表面的な比率の動きは明確に説明することができない可能性が高いこともわかってきた。しかし、まだ、1960年代終わりから、1970年にかけての時期では調査結果の回答比率の動きは一定方向の動きであり、表面的な分析でも不都合な点は目立たなかったので、顕著な成果が確認されなかった。

1971年日本学術振興会国際共同研究事業により、ハワイ・ホノルルにおける日系人のパーソナリティ調査を実施する機会にめぐまれ、いくつかの点が問題として考えられた。

その1は調査対象者の選定、すなわち標本抽出の問題である。いままで日本では、20歳以上を対象とする調査の場合、対象者を網羅した台帳がほぼ完備しているので、標本抽出の問題はほとんどなかったが、ハワイ（アメリカ）ではこのような台帳がないので、確率サンプルをとるには地域抽出法によることになるが、我々にその経験がなく、この方法をとることが不可能であった。実際には、ハワイでは極めて登録率の高い有権者名簿が入手でき、これを利用して調査を実施できた。

その2は質問項目の翻訳についてであり、これも日本語↔英語の場合には大変な問題であることがわかってきた（が、くわしい検討はその後の1978年調査におこない、問題点はほぼ解決した）。

その3は結果の比率の比較に関することである。日本との比較を考えたとき、日本における古い考え方がハワイでは回答率が減少し、日本における新しい考え方はハワイでは比率が増大するという当初の予想は必ずしも当たらず、さらに年齢別にみた傾向も、日本ではいつも若い年齢層ほど新しい考え方をし、高年齢層ほどそうでない傾向があると考えられてきたが、必ずしもハワイ日系人の結果ではこのようにならない。男と女の意見差に関する場合もそうであることがわかった。

この結果、

1. いわゆる日本的な意見とはなにか？ 日本における古い考え方とは何か？ という反省が生じた（不用意な仮説検証的発想は問題があることがわかってきた）。
2. 日本における社会階層別にみられる意見差のあり方に対応するものは、ハワイでは何であるか？ 等の問題がでた（これについてはハワイでの日常生活で日本的環境

の強い層、弱い層と日本における年齢層の傾向との対応がつくことが研究の結果判明している)。

3. 回答構造に関しては、一部は前述(研究目的参考資料)した通り、日本に関連の強い質問項目の組では二世グループで日本と同様の回答構造を示すが、三世ではそうならない等、回答構造(すなわち‘考えの筋道’)を重視することが比較研究を進める要点であることが分かってきた(これらの詳細については「比較日本人論」等参照)。

このようにして、1970年代前半に比較研究の結果を土台として、新しい調査方式への構想が芽ばえたといえる。

1978年には、第6回の継続調査を実施するに当たり、前回のハワイ日系人調査の結果得られたことを教訓として質問項目の選択に当たり、

1. 日本の発想の質問のうち、継続質問項目は、すべてとり入れる。
2. 日本以外において調査された項目を、とり入れる。(とくにハワイ調査を念頭において、アメリカの発想の質問の組をとり入れる。)
3. これまでの日本固有のものを重視する立場から、共通性を重視する立場をとって、質問項目を選定し、調査票を構成する。

等のことを考えた。

丁度この時期は、世界的にみても、多くの先進工業社会が、経済的な面で豊かさを実現し、ポスト・インダストリアルな社会ということがいわれており、各国で‘生活の質’に対する評価・見直しの研究が実施されつつあった。日本もようやく、近代化過程を終わり、先進工業国の一員となったといわれた時期であり、‘生活の質’に関する質問項目に共通性をもたせることが必要となっていた。

また、幸いなことに、文部省海外学術調査で、ハワイ・ホノルル一般市民調査を、トヨタ財団研究助成で、‘アメリカ人の価値意識調査’を、同時期に実施することが出来、比較・研究の範囲が拡大した。これにより、日本を基点としたアメリカに関する比較・研究を、日本→ハワイ日系二世→ハワイ日系三世→ハワイ生まれ非日系→ハワイ在住本土生まれ非日系→アメリカ本土という鎖をつないでいく連鎖的調査方式の土台が出来上がってきた。(研究成果の一部については、研究目的参考資料の参考図参照)

これらの研究成果を土台にして、1983年における日本の第7回国民性調査は、継続調査項目を継続すると共に、比較対象の範囲を拡大することを考えた。1980年以降研究協力を進めてきたフランス経済研究所の調査項目の組(20項目)をとり入れ、同時に実施されたハワイ・ホノルル市民調査(第2回)にも、この質問項目群をとり入れることにより、これまでの2国間比較ではなく、日本・フランス・ハワイ(アメリカ)3ヵ国の同時比較を行うことが出来た。これにより、日本では欧米と一緒にまとめられることの多いアメリカとヨーロッパの回答構造は異なり、B本との対比では三極構造を示すことが分かってきた。(参考文献の C. Hayashi 他(1985)参照)

この点からみると、連鎖的調査方式による比較を、日本からアメリカへの比較研究だけではなく、ヨーロッパ諸国へ広げていくことが非常に重要であることがわかる。すなわち、連鎖的調査方式により、比較の対象となった2国間の似たところと異なったところがどのような構造をもって関連しているかが具体的にわかり、これをつぎつぎにつなぎ合わせる

ことによって、それぞれの国で共通の部分はどのような側面であるのか、異なるところはどのような分野であるのか等のことを、‘回答パタンの相互関連分析’の方法により、図示することができるので、客観的な比較の基礎が得られることになる。これを土台にして、今後さらに比較すべき分野を拡大していく形をとれば、国際比較調査は、より一層実り多いものとなっていくものと期待される。

本研究は、1983年までの日本国内における5年ごと7回、都合30年間にわたる継続調査、および1971年から3回にわたるハワイ日系人調査、1978年と1983年のハワイ・ホノルル市民調査および1978年アメリカ調査、1982年のフランス調査の実施および結果分析の過程で構想のまとまりをみせた連鎖的調査方法を、調査企画の段階から、組織的計画的に適用する、はじめての研究計画である。

ここで、参考までに、これまでの研究成果が引用されている本（諸外国）の一部を資料としてあげておく。

- Cole, Robert E. "Changing Labor Force Characteristics and Their Impact on Japanese Industrial Relations." Japan: The Paradox of Progress, ed. Lewis Austin. New Haven: Yale University Press, 1976:200-207
- Cole, Robert E. Work, Mobility, & Participation: A Comparative Study of American and Japanese Industry. Berkeley: University of California Press, 1979.
- Cummings, William K. Education and Equality in Japan. Princeton, New Jersey: Princeton University, 1980.
- Dore, Ronald. British Factory - Japanese Factory: The Origins of National Diversity in Industrial Relations. Berkeley: University of California Press, 1974.
- Flanagan, Scott C. and Bradley M. Richardson. Mass Political Behavior Research in Japan: A Report on The State of the Field and Bibliography. New York: Social Science Research Council, 1979.
- Hall, John W. and Richard K. Beardsley. Twelve Doors to Japan. New York: McGraw-Hill, 1965.
- Ike, Nobutaka. Japanese Politics. New York: Alfred A. Knopf, 1957.
- Inglehart, Ronald. The Silent Revolution. Princeton, New Jersey: Princeton University, 1977.
- Marsh, Robert and Hiroshi Mannari. Modernization and the Japanese Factory. Princeton, New Jersey: Princeton University Press, 1979.
- Stoetzel, Jean. LES VALEURS DU TEMPS PRESENT: une enquête européenne. Paris: Presses Universitaires de France, 1983.
- Trommsdorff, Gisela. "Value Change in Japan." International Journal of Intercultural Relations. 7(1983):337-360.
- Tsuneishi, Warren M. Japanese Political Style. New York: Harper & Row, 1966.
- Vogel, Ezra F. Japan as Number One. Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1979.

また、我々の日本における継続研究が直接の動機となって実施された調査もみられる。

その一つは、アメリカにおける一般社会調査であり、1972年から毎年実施されている。継続調査されている項目は100項目余り、他の項目は4年サイクルで継続されている（Davis 他（1986））。また、この調査とはほぼ同じ調査をイギリス、ドイツで実施し、共同研究を進めようとしている。（イギリスの1984年調査の結果はJowell他（1984）、ドイツは1980年から1年おきに実施、最近のものは1984年の第3回調査である。）この共同研究に統計数理研究所も参加するよう、我々のもとにドイツから要望がある。

今一つは、ステゼルらによるヨーロッパ9ヶ国価値観調査である（Stoetzel（1983））。この本の冒頭には、‘日本における統計数理研究所の30年にわたる日本人の国民性の継続調査は、その期間における意見の変化過程を描き出したばかりでなく、コウホート分析を通して意見変化のメカニズムを研究している’と述べ、この継続研究が評価されている。

また最近、我々のもとに、アメリカ国立科学研究財団の科学指標作成班から、アメリカ・ヨーロッパ（EC加盟諸国）および日本の共同研究（科学と技術（先端技術）に関する意識調査実施）の可能性を打診してきた。このような国際比較・研究は現在の科学と技術の進展状況からみて、今後さらに重要性を増し、数多く実施されることも予想される。これらの比較研究が従来のままの方式で実施される可能性があることを考えれば、非常に重大なことといわざるを得ない。このような内外の情勢をみるとき、比較研究方法に関する本研究は極めて緊急のことといえる。

§ 4.3 学術的意義と価値

この研究計画の目的が達せられたときには

1. 従来の国際比較・研究（組織的国際比較・研究の第1のタイプ）の企画に大きな影響を与える。すなわち、対象国の選定、質問項目群の選定にも、本研究の成果をとり入れることが必須となる。
2. したがって、国際比較・研究の質の水準が向上し、より一層、信頼性妥当性の高い情報が利用可能となる。
3. これにより、普遍的な人間研究における、より一層信頼性の高い基礎情報が蓄積されることになり、今後の偏りのより少ない研究が、促進される。
4. また、これまでの研究結果の見直しが期待され、新しい視点からの再分析が実施されることにより、比較研究の基礎水準が飛躍的に向上する。
5. 波及的效果として、これらの結果、国内・国外における社会調査方法のあり方も一新され、新しい社会調査の方法が出来上がってくる。
6. 社会調査データ・アーカイブの重要性がより一層認識され、より一層信頼性の高い基礎情報の蓄積と利用が促進される。
7. また、全体として、国際相互理解が進む。

参 考 文 献

- Almond G.A. and Verba, S. (1963). *The Civic Culture*. Princeton : Princeton University Press.
- Bellah, R.N. (1958). "Religious Aspects of Modernization in Turkey and Japan." *American Journal of Sociology*. 64: 1-5.
- Benzecri, J.P., et al. (1973). *L'Analyse des Donnees 1,2*. Paris: Dunod.
- Berting, Jan, Felix Geyer and Ray Jurkovich. (1979). *Problems in International Comparative Research in the Social Sciences*. Oxford: Pergamon Press.
- CRÉDOC (Centre de Recherche pour l'Étude et l'Observation des Conditions de Vie). (1982). *Situation et Perception des Conditions de Vie et Qualité de la Vie des Français*. Paris: CRÉDOC. (in French)
- Davis, J.A. and Smith, T.W. (1986). *General Social Surveys, 1972-1986 : Cumulative Codebook*. Chicago : National Opinion Research Center.
- Gallup, George H. (1976). Human needs and satisfactions : A global survey. *Public Opinion Quarterly*. 40, 459-67.
- Gallup, George H. (1976). *The Gallup International Public Opinion Polls, France: years 1939, 1944-1975*. New York: Random House.
- Gallup, George H. (1976). *The Gallup International Public Opinion Polls, Great Britain: years 1937-1975*. New York: Random House.
- Gallup, George H. (1979). *The Gallup Poll Public Opinion : Years 1976-1978*. Willington, Delaware: Scholarly Resources Inc.
- Guttman, L. (1950). The principal components of scale analysis. In *Measurement and Prediction*, eds. S.A. Stouffer, L. Guttman, E.A. Suchman, P.F. Lazarsfeld, S.A. Star, et al. Princeton : Princeton University Press.
- Hayashi, C. (1956). Theory and example of quantification (II). *Proceedings of the Institute of Statistical Mathematics*. 4, 19-30.
- Hayashi, C. (1987). Statistical study on Japanese national character. *Journal of the Japanese Statistical Society (special issue)* : 71-95.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1974). Quantitative approach to a cross-societal research-I, A comparative study of Japanese national character. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 26 (3), 455-516.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1975). Quantitative approach to a cross-societal research-II, A comparative study of Japanese national character. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 27 (1), 1-32.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1984). Changes in belief systems, quality of life issues and social conditons over 25 years in post-war Japan. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 36 :135-61.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1986). *Data Analysis for Comparative Social Research : International Perspectives*. Tokyo : Iwanami. (in Japanese).

Hayashi, C., Hayashi, F., Suzuki, T., Lebart, L. and Kuroda, Y. (1985). Comparative Study of Quality of Life and Multi-dimensional Data Analysis ; Japan. France and Hawaii. *Fourth International Symposium, Data Analysis and Informatics* (Versaille, France, Oct., 1985). INRIA, 573-583.

Hofstede, Geert. (1980). *Culture's Consequences: International Differences in Work-Related Values*. Beverly Hills, California: Sage.

Ikeuchi, H. and Miyake, I. (1974). *Shimin-ishiki no kenkyu : Political Participation and Equality in Japan*. Tokyo : Tokyo University Press.

Inglehart, Ronald. (1977). *The silent revolution : Changing values and political styles among Western publics*. Princeton : Princeton University Press.

Inglehart, Ronald. (1990). *Culture Shift in Advanced Industrial Society*. Princeton : Princeton University Press .

Jowell, R. and Airey, C. Eds. (1984). *British Social Attitudes: The 1984 Report*. England: Gower, Hants.

Kuhn, Thomas S. (1962). *The Structure of Scientific Revolutions*. Chicago : The University of Chicago Press.

Lebart, L. and others. (1982, 1983, 1984). *SPAD: Systeme portable pour l'analyse des donnees 1,2,3*. SESIA.

Nakamura, T. (1982). A Bayesian cohort model for Standard cohort table analysis. *Proceedings of the Institute of Statistical Mathematics*. 29, 77-97. (in Japanese).

Nakamura, T. (1986). Bayesian cohort models for general cohort table analyses. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 38, (Part B), 353-70.

Noelle, Elizabeth. and Neumann, Erich Peter. (1967). *The Germans Public Opinion Polls: years 1947-1966*. West Port, Connecticut: Greenwood Press, Publishers.

Research committee on the study of the Japanese national character (1977). *Changing Japanese Values*, Tokyo : The Institute of Statistical Mathematics.

Stoetzel, Jean. (1983). *Les Valeurs du Temps Present : une enquête européenne*. Paris : Presses Universitaires de France.

Suzuki, T. (1970). A study of the Japanese national character, Part IV- Fourth Nation-Wide Survey. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. Suppl. 6, 1-80.

Suzuki, T. (1984). Ways of life and social milieus in Japan and the United States : A comparative study. *Behaviormetrika*. 15, 77-108.

Suzuki, T. (1986). Macro analyses using cohort analysis. In Hayashi, C. and Suzuki, T. *Data Analysis for Comparative Social Research : International Perspectives*. pp.93-139. Tokyo : Iwanami, (in Japanese).

Suzuki, T. and Leghorn, R. Y. (1985). Age, sex and cohort : Explicating social change in post-war Japan. *Behaviormetrika*. 18, 1-16.

Suzuki, T. et al. (1972). A Study of Japanese-Americans in Honolulu, Hawaii. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. Sup.7.

Szalai, Alexander. (1972). *The Use of Time*. The Hague : Mouton.

Szalai, Alexander and Andrews, Frank M. (1980). *The Quality of Life : Comparative Studies*. Beverly Hills : Sage.

The Commission of the European Communities (1988). *Eurobaromètre*. Brussels : The Commission of the European Communities.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1961). *Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character)*. Tokyo : Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1970). *Daini Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol.II)*. Tokyo : Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1975). *Daisan Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol.III)*. Tokyo : Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national Character) (1982). *Daiyon Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol.IV)*. Tokyo : Shiseido.

Treiman, Donald J. (1977). *Occupational Prestige in Comparative Perspective*. New York : Academic Press.

Verba, S., Nie, N. H., and Kim, Jae-On (1985). Political Participation and Equality in Seven Nations 1966-1971 (ICPSR 7768). *ICPSR Guide to Resources and Services*. Ann Arbor : University of Michigan.

Ward, Robert E. and Dankwart A. Rustow. (1964). *Political Modernization in Japan and Turkey*. Princeton: Princeton University.

Youth Bureau, Prime Minister's Office of Japan. (1978). *The Youth of the World and Japan*. Prime Minister's Office of Japan.

ZA. (Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung) (1982,1984,1986). Codebuch mit Methodenbericht und Vergleichsdaten (ZA-Nr.1000 ALLBUS 1980, ZA-Nr.1160 ALLBUS 1982. data codebook). Köln: Universität zu Köln.

第 2 部

調査の計画と実施

§ 1 標本調査のデザイン

§ 2 質問票の決定と翻訳の問題

§ 2.1 Link Analysisに基づく質問内容・項目の決定

§ 2.2 翻訳と再翻訳

§ 2.3 和訳の問題点、質問票の決定

§ 3 各国における調査の実施

はじめに

第1部 § 3 国際比較研究の基本構想で示した「連鎖的調査方法」を、§ 3.2 にのべた、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカおよび日本の5カ国に関する比較調査として具体化することを考える

具体化するにあたっては、調査結果の比較可能性およびデータの有効性を高めるため、調査を計画・実施するとき、次の点について慎重に検討することが必要である。

- a) 調査対象の選択：それぞれ比較の対象となる社会の範囲、対象者の範囲等を考えに
いれた上で、比較対象となる社会における代表性を十分に検討すること。
- b) 調査項目の選択：
 - ① 質問文作成の方式、回答形式、回答選択肢の構成等、測定法の基礎となる枠組みの検討
 - ② 質問項目の組の選択、分類等の検討
 - ③ さらに、比較の対象となる社会の特性によって影響を受けやすい質問項目を扱う
のであるから、比較研究を具体的に考える場合、比較可能性について十分な検討
が必要となる。

すなわち、この研究で考えている連鎖的比較調査の方法は、形式的に考えれば通常の世論調査の方法と多くの点で共通性をもつと考えられる。したがって、通常の世論調査の場合に考えられている調査法の諸問題を検討し、これらを一定水準以上でクリアできた方法を基礎として、この研究で利用する比較調査の方法を探究していくことになる。

ここで、調査の信頼性・比較可能性についてみると、通常の世論調査は一定の手続きにより抽出された調査対象者に対して、一定の形式の質問紙（票）を用い、一定形式の調査（測定）の過程により回答（情報）を収集する方式をとっている。特に、ここで取り上げる面接（聴取）法による世論調査は“質問に対する回答が次々に言葉による情報として得られ、それを一定の形式で記録するように構成された測定手法”である。

調査から得られる資料（情報）を利用するとき、あるいは調査から結論されたことを評価するとき、測定手法の信頼性および妥当性が問題にされる。測定における信頼性・妥当性の問題については種々述べられているのでここではふれないが、調査を一つの測定の道具として考えたとき、調査の全体は調査の各段階が相互に関連し合う複雑な一つのシステムを構成している。

面接調査のシステムは、調査企画者だけではなく、調査実施指導担当者、面接調査員および調査対象者等、多数の人々の間の合意と協力があって初めて成立するものである。この研究調査のように多数の国を対象として考える場合には、調査に関係するこれらの人々と調査システムの各段階とのかかわり方は多様であるから、信頼性、比較可能性を単純に考えるわけにはいかない。

調査結果の信頼性、比較可能性の程度は、

- ① サンプルの企画と調査対象者の抽出に関連した事項
- ② 面接調査員の訪問調査の努力などの調査実施に関連した事項
- ③ 情報収集手法、質問文、質問形式、および回答形式の作成に関連した事項
- ④ 調査員の質問提示、回答記録等調査実施に関連した事項

⑤ データ整理および分析に関連した事項

等の側面に関連して決まってくる。これらの事項は本来相互に関連し合っているので、どれ一つを取り上げるにも切り離して考えるのは問題もあるが、一応、サンプリング企画と調査対象者訪問の段階までの事項（①、②）と、情報収集手法と調査実施段階に関連した事項（③、④）とに分けて検討する。これは、それぞれ、上にのべた、a)、b) と密接に結びついている。

また、研究の対象となるそれぞれの社会で一様には考えられない事項も多い。まず各国で実施した調査の標本計画の概要をのべ、その多様性を具体的に示す

§ 1 標本調査のデザイン

1 経過

調査の対象として考える社会は、さきに述べた通り、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカ、および日本の5カ国である。このうち、日本、アメリカについてはこれまで調査実施の経験があり、今回の研究調査実施計画においてもほとんど問題点はなかった。調査実施の時期とは逆になるが、以下、この二カ国についての概要からのべる。日本調査の標本抽出計画とアメリカ調査の標本抽出計画とは、10年前の1978年に実施した日米比較調査の際の標本抽出計画とほぼ同様であり、安定した調査結果が得られるものと期待できる。(これについては後述する)。

一方、ヨーロッパの3ヶ国に対しては、これまで調査実施の経験はないが、1980年以降の研究交流の蓄積があり、現地の研究者および調査機関の研究者と調査実施に関する予備的検討を進め、慎重に準備を進めてきた。したがって、調査を計画実施する段階においてもほとんど問題はなく計画を円滑に進めることができた。

2 各国における調査の標本抽出計画

2. 1 1988年日本調査の標本抽出計画と調査実施の概要

日本の調査の場合は、対象となる社会の範囲、および対象者の範囲について、つぎのように定義すれば、標本抽出計画について極めて明確であり、何らの問題もないと考えられよう注1)。

すなわち、表2-1の2の通りである。標本抽出計画は日本においては、まず、全国の行政単位を地方別(11分類)および人口規模別(4分類)に層別し、政令指定都市(11市)を各1つの層と考え、合計55層に層別する。つぎに、各層の18歳以上の人口を最近時の国勢調査資料および住民基本台帳資料により推計し、層人口に比例した割合で各層に標本($n=4500$)を割当てる。つぎに各層の割当標本数に応じて、1調査地点当り標本数が(10~15)になるようにして各層の調査地点数を算出する。つぎに、各層ごとに国勢調査の調査区を調査区特性で層別した資料から、各層に割当てられた必要な数だけの調査区(調査地点)を確率比例抽出する。

調査対象個人の抽出は、抽出された調査区の該当する市区町村の町丁字番地から各調査地点ごとに住民基本台帳を利用して、割当標本数を等間隔抽出する。

今回の1988年日本調査では、計画標本数4500で抽出地点数は、都市部：243地点、町村部：72地点 計 315地点である。調査できた標本数はA調査2265、B調査1017、計3282で回収率は73%であった。(表2-1の5参照)

なお、標本抽出計画の詳細については本報告書 第4部〔Ⅲ〕および資料1：「1988年日本調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと

第4部〔Ⅲ〕標本と翻訳の検討の§1には、1988年日本調査のうちA調査の結果($n=2265$)を用いて全質問項目の標本誤差等を算出してある。また基本属性項目についてはA、B両調

査を合わせた (n=3282) 計算結果を示してある。この結果からみて、日本調査の調査データは代表性および標本精度について予期通りのものといえる。

国際比較研究を念頭においたとき、日本における標本抽出計画は、日本の社会のあり方によって構成されており、その特徴は「日本人を母集団とする確率標本が容易に抽出できる」ということにある。

以下、他の比較調査対象社会における標本抽出計画を順に示すが、それらの諸計画と対比したとき、この点はよりはっきりしてくる

表2-1「意識の国際比較方法論の研究」の日本全国調査〔調査概要〕

1. 調査内容 (くわしくは§2以下をみよ)

政治、社会、文化、及び生活に関する意識：75項目および属性項目
(うち26項目についてはスプリット方式)

2. 調査対象

- 1) 母集団 全国の満18歳以上の個人
- 2) 標本数 4,500人 (A、B調査 2対1のスプリット割当)
- 3) 抽出法 層別2段無作為抽出法
- 4) 抽出枠 第1段：国勢調査の調査区、第2段：個人 (住民基本台帳)

3. 調査時期

昭和63年10月6日～19日

4. 調査方法

調査員による個別面接聴取法

5. 回収結果

	全 体	A 調 査	B 調 査
・有効回収数	3,282人 (72.9%)	2,265人 (73.2%)	1,017人 (72.4%)
・調査不能数	1,218人 (27.1%)	831人 (26.8%)	387人 (27.6%)
・設定標本数	4,500人 (100.0%)	3,096人 (100.0%)	1,404人 (100.0%)
転 居	114人 (2.5%)	70人 (2.3%)	44人 (3.1%)
長期不在	105人 (2.3%)	72人 (2.3%)	33人 (2.4%)
一時不在	436人 (9.7%)	306人 (9.9%)	130人 (9.3%)
住所不明	33人 (0.7%)	24人 (0.8%)	9人 (0.6%)
拒 否	499人 (11.1%)	335人 (10.8%)	164人 (11.7%)
そ の 他	31人 (0.7%)	24人 (0.8%)	7人 (0.5%)
計	1,218人 (27.1%)	831人 (26.8%)	387人 (27.6%)

2. 2 1988年アメリカ調査の標本抽出計画

アメリカにおける標本調査の標本抽出計画のうち、日本との相違点は、アメリカでは、日本と異なり調査対象者全体を網羅して記載しており、標本抽出台帳（リスト）として利用できるような名簿がないことである。したがって、調査地点として抽出された地域から、調査対象者個人を抽出するに当たり、調査対象に該当する者全部のリスティングをしなければならない。このようにして作成されたリストを利用して調査対象者の抽出をおこなうことになる。このため、標本抽出の過程が、日本の場合とくらべ、大変手間のかかる作業となる。このため、日本とは異なった標本計画が利用されることが多い。今回の1988年アメリカ調査で利用した標本抽出計画の概要を以下にのべる注2)。

母集団：アメリカ合衆国在住の18歳以上の成人一般市民（病院や刑務所など施設にいる人を除く）

地域の層別：つぎのように人口規模×地方による。

1) (都市人口規模)：アメリカ全体を1980年国勢調査資料に基づく都市人口規模別に次の7つの層に分ける

- a) 大都市圏の人口 100万以上の市（または複合した市）域
- b) 大都市圏の人口25万から99万9999までの市（同上）域
- c) 大都市圏の人口5万から24万9999までの市（同上）域
- d) 都市圏でそれ以外の市街地域
- e) 都市圏以外の人口2500人以上の市域
- f) 2500人以下の町村
- g) 町に含まれない農村部

2) (地方)：つぎにこれらの層を東部、中西部、南部、西部の4地方にわけると。各地方の区分は国勢調査資料の区分である。

このようにしてアメリカ全体は人口規模×地方の層に層別され、各層内を地理的順序に配列する。

調査地域の抽出：このように並べられた市郡人口を 180の等しい人口の層 (Zone)に分割し、各層から2調査地域を抽出する。

各地域の抽出は、その地域の1980年国勢調査資料の人口規模に比例した確率比例抽出法による

調査地点の抽出：ブロック統計が利用できる場所では、調査地域から調査地点として、ブロックあるいはブロックの組を確率比例抽出する。

それ以外の場所では、ブロックあるいは地域セグメントのランダム・サンプルをとる

各調査地点では、調査地点を含む地域の地図上に、抽出されたブロックを取り囲む道路をワク取りし、その道路上にランダムに調査出発点を選定し、それ以降の調査経路、および方向を図示する。(道順の矢印はあらかじめランダムにきめる。)

調査の実施：調査は出発点における住宅の居住者の調査から始め、指示された道順に従

ってそれ以降の調査を進め、初めに割り当てられた数の調査が終了するまで調査を続ける。

すなわち、調査は出発点の住宅から始め、在宅者のうち調査対象資格者（18歳以上）を世帯について1人だけ次つき調査していく方式をとる。

調査は、各人の在宅率を考え、在宅する可能性の高い週末・休日、それに平日の場合は女性に対しては午後4時以降、男性に対しては午後6時以降に訪問するよう調査員に指示してある。また不在者に対する再訪問をするよりも在宅率で加重する方式（注3）をとった。すなわち、在宅で調査できた対象者には調査前3日間の該当時刻（調査実施可能な時間帯）における在宅の有無を質問し、属性、地域による在宅率を推定し、不在による偏りを減少させる方式を用いた。

1988年アメリカ調査の標本抽出計画の詳細（抽出調査地域一覧、調査地点地図等を含め）については本報告書 資料5：「1988年アメリカ調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

調査の概要：このようにして抽出された調査地点360地点のうち、計画標本数1500に対応する 322地点について各調査地点当たり平均5人づつ面接調査した。

調査不備および調査実施後のチェックにより判明した不完全回答標本を除き、集計に利用したものは1563である。

2. 3 1987年ドイツ調査の標本抽出計画

標本抽出計画はドイツの場合もアメリカとほぼ同様である

母集団：ドイツの場合は標本抽出計画に利用する地区別有権者数の情報の関係で調査対象集団が16歳以上になっている。

1987年ドイツ調査の基本母集団はドイツ連邦共和国の10の州と西ベルリン（1987年当時の西ドイツ）の16歳以上の成人である。これらの地域に居住する16歳以上のドイツ人（外国人は除く）は1985年12月31日現在で4,686万2000である。

地域標本の抽出：標本抽出計画にはドイツ市場調査協会（ADM）がドイツの選挙人登録者資料をもとに作成しているADM-mastersampleを利用する。

ドイツ市場調査協会は、各調査機関ごとの標本計画にかえて、毎年、ドイツの選挙人登録者資料に基づく全国標本計画の方式を開発整備している。これは、地域、人口規模別層別による多段確率標本法による調査地域標本である。100組の地域標本が作成され、調査ごとに1組の地域標本を利用する。各組の抽出調査地域は全国の210地域（投票区）である。

調査地点内の標本抽出：調査地点内では、地点内の道路について、道路ごとの有権者数の大きさに比例した確率で、確率比例抽出し、その道路のランダム・スタートの番地から指定されたルートに沿って3軒目ごとに調査する。

世帯内では16歳以上の成人で、次の誕生日に関する情報から調査員ごとの乱数によって、世帯について1人を抽出選定し面接調査する、もし不在ならこの標本について訪問時刻をかえて2回までくり返し訪問し面接調査する。

1 調査地点平均5人の調査を完了するまで調査をおこなう。

調査の実施：調査は1987年10月10日から11月16日まで実施し、全体で標本1051の調査を完了した。訪問面接の状況をチェックし、4件は調査不備として除き、調査完了数は1047である。

このうち、比較研究において調査対象の年齢条件をそろえるため、年齢16、17歳の対象をはずした。1987年ドイツ調査の集計標本は1000である1987年ドイツ調査の標本抽出計画および調査実施に関して詳しくは本報告書 資料2：「1987年ドイツ調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと

2. 4 1987年フランス調査の標本抽出計画

フランスでは 選挙人登録簿の資料等は、国（公共）の調査機関でなければ利用できない。したがって、アメリカ、ドイツ同様、確率地域抽出法により調査地域を抽出し、抽出調査地点では割当法（クォータ法）により個人を面接調査することになる。

母集団：18歳以上のフランス市民、（18歳以上人口は33,445,200人）

地域層別：最近時のフランス国立経済統計院（INSEE）の国勢調査データにより、全国を地方（9分類）と人口規模（4分類）で層別し、パリ大都市圏は別枠とする。

調査地点の抽出：地方×人口規模による36層およびパリ大都市圏の18歳以上の人口の大きさに比例して計画標本数（ $n=1000$ ）を割当てる、つぎに、1調査地点当りの標本数を（平均10）として調査地点数を求め、パリ地区以外では88地点を抽出した。パリ大都市圏には11地区（パリ地域は8地点）を割り当て、合計99調査地点を抽出した。

調査地点内の個人の抽出：調査地点内の個人の抽出（選択）は各層における母集団の性、年齢、世帯主の職業の各属性の最近時の国勢調査データによる構成比率にしたがって割り当てる。

調査の実施：調査は1987年9月28日から10月16日の間に面接調査法で実施された。調査完了標本1020のうち調査状況のチェック等により7件を除き集計サンプルは1013である。調査完了標本の属性別構成を国勢調査のそれと対比すると次の表のようになり調査は良好に完了したといえる。

1987年フランス調査の標本抽出計画については、本報告書 資料3：「1987年フランス調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと

表 2 - 2 標本の属性別構成

属性	1987年フランス調査		国勢調査
	標本数	構成比	の構成比
	N	%	%
Sex			
Men	472	46.6	47
Women	541	53.4	53
	1013	100.0	100
Age			
18-24	154	15.2	14.3
25-34	245	24.2	22.0
35-49	253	26.0	23.7
50-64	212	20.9	21.9
65 ans et plus.....	149	14.7	18.1
	1013	100.0	100.0
Occupation of head of household			
Farmers.....	52	5.1	6.0
Shopkeepers, craftsmen	71	7.0	6.6
Executives and business men...	94	9.3	9.3
White collars.....	280	27.6	24.5
Blue collars	236	23.3	25.6
Non active, pensioned, etc ...	280	27.7	28.0
	1013	100.0	100.0
Size of locality			
Rural.....	262	25.9	28.2
2.000-20.000	166	16.4	16.0
20.000-100.000	131	12.9	13.0
100.000 (except Paris)	288	28.4	27.4
Paris agglomeration.....	166	16.4	15.4
	1013	100.0	100.0

2. 5 1987年イギリス調査の標本抽出計画

イギリスでは、毎年更新される基本選挙人登録簿が大英博物館の資料部で公開されているので、用途、目的等を記して閲覧を申請すれば誰でも閲覧できる。しかし、全国の開票区、投票区ごとの選挙人名簿を集積し整備するのは時間がかかる。したがって、最近時の名簿を利用した標本抽出計画を立てるとき、この点を考慮する必要がある。

1987年イギリス調査の標本抽出計画は確率標本法（層別2段抽出）によって実施した。

母集団：イギリス（Great Britain）在住の18歳以上の有権者

地域の層別：国勢調査データによる分類システム（国勢調査の調査区特性）により地域を層別する

層の決定と調査地点の抽出：層別は地方別と上述の地域特性別の組合せによる。各層に層人口に比例して150地点を比例割当し、各層から国勢調査の調査区（CED）を確率比例抽出する。
（CEDは平均150世帯）

個人の抽出：抽出されたCEDの該当する地域の選挙人登録簿から1調査地点当たり10サンプルを系統抽出して、氏名、住所を受持簿に転記する

調査の実施：各調査員は受持名簿に記された調査対象者につぎつぎ面接する。しかし、選挙人登録簿が作成されてから日時が経過しているため、死亡、移転、地域の再開発等のため該当者がいない場合や住所が不明の場合がある。この時は調査地域から同一住所への転入者などをリスティングして代替標本とする（全調査対象のうち10%程度になる）。

調査拒否が予想以上に多くなり、調査完了数は1049であった。

これから属性別のクロスチェック等により調査不備と判明した6件を除き、集計に利用した標本数は1043である。

1987年イギリス調査の標本抽出計画については、本報告書 資料4：「1987年イギリス調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

以上、各国の標本抽出計画の概要をのべた。

研究調査の対象となったそれぞれの社会において通常実施されている継続調査の標本抽出計画とは、同一水準の計画である。

各国における標本の代表性についてみると、各国の調査結果の一次的属性分析によって国勢調査結果と比較し、計画した水準を達成していることがわかる。（資料1～5参照）

§ 2 質問票の決定と翻訳の問題

この章では 先にのべたb) 調査項目の選択 に関連することを取り上げる。

まず、この研究調査に利用する調査項目の質問内容・項目を具体的にきめることを考える。つぎに、これらの質問項目の翻訳の問題について、調査法の観点から検討する。とくに、日本的なニュアンスの含まれている項目の翻訳、および外国で利用されている質問項目の和訳における翻訳質問文の微妙なユレの影響の問題について考察する。さらに調査の実施に関連した質問形式（調査員の質問提示の仕方）、および回答形式、回答記録様式等の問題について検討する。

1 Link Analysis に基づく質問内容・項目の決定

第1部の§3 国際比較研究の基本構想で示した連鎖的調査方法における質問票の構成を具体化することを考える。

まず、比較の対象となった各社会における継続調査のうち、われわれの研究調査の内容と関連すると考えられる調査をとり上げ調査項目を検討することにした。

とり上げた調査は、日本以外では、

アメリカ：① シカゴ大学の全米世論調査センター（NORC）が1972年以来毎年実施している一般社会調査（GSS）、（この調査は国立科学財団（NSF）および、社会科学の研究者による一般社会調査実施委員会により実施されている。）（最新のコードブックはDavis, J.and Smith, T.(1990)）

② ミシガン大学社会調査研究所（ISR）が1954年以来1年おきに実施している全国調査、（Converse, P.他（1980））および「アメリカ人の生活の質に関する研究調査」（Campbell, A.他（1976））このほか、毎年、ISRが実施している政治、経済に関連した調査

イギリス：アメリカの一般社会調査と類似のイギリス一般社会調査、1984年から毎年実施（Jowell らによる（1984））

ドイツ：ZA（ケルン大学中央データ・センター）およびZUMA（調査・方法・解析研究センター）が1980年以降隔年に実施している一般社会調査（ALLBUS）。調査項目はほぼアメリカの一般社会調査（GSS）と比較可能な項目となっている。（Lepsius, Scheuchら（1980、82、84、86））

フランス：CREDOC（フランス経済研究所）が1978年以降毎年実施している一般社会調査（Lebart, L.(1986)）

ヨーロッパ共同体調査：1973年以来毎年2回ずつEC加盟国で実施されている。この調査項目のうちから 一般社会調査の項目と考えられる項目（ユーロバロメーター調査報告 毎年2回発行）

この他、継続調査ではないが、国際比較調査として、

EC諸国およびアメリカを対象とした「基本的価値優先順位の変化および政治参加様式の変化の研究調査」（Inglehart, R.(1977)）

ヨーロッパ価値観調査（1981）（Stoetzel, J.(1983)）

13カ国価値観調査 (1980)

等が主なものである。

これらの諸調査で調査されている質問項目についての情報を、報告書、コードブック、調査票、集計用のデータテープ等の形で集積し、質問文と調査結果のカード作成、データの二次的再分析等により集約・整理した。

この結果により、意識の国際比較方法論の研究に利用する質問項目のうち、日本以外のものの大要をつかむことが可能となった。

A) 質問項目の選択：

- ① 日本の継続調査として、「日本人の国民性調査」をとり上げる、これは統計数理研究所国民性調査委員会が1953年以来5年おきに実施しており、継続質問項目が多数含まれる (Research Committee, (1982))
- ② ハワイ・ホノルル日系人調査 (1971-72年) およびハワイ・ホノルル一般市民調査 (1978、1983) も日本 \longleftrightarrow アメリカの連鎖的比較調査として欠かすことはできない。これらの調査の質問項目のうち日本人の国民性調査および次の1978年アメリカ調査と共通の質問項目は連鎖的比較研究にとって重要である (林・鈴木 (1986)、Hayashi, Suzuki (1991))
- ③ 1978年アメリカ調査の質問項目も、連鎖的比較調査の安定性、信頼性を検討するために重要である。また、アメリカの「ものの考え方」の特徴を考える上で重要である。とくに①にあげた、国民性の調査の質問項目は、日本の「ものの考え方」の特徴をみる上で、重要であり、また、つぎのような点でも重要である。

I) 日本における1953年から30年以上にわたる変化の過程を検討することが可能な継続質問項目を多数含んでいる。

II) これらの質問項目の多くは1978年アメリカ調査および数回にわたるハワイ・ホノルル調査でも比較調査されている

III) 1983年の国民性調査ではフランスのCREDOC調査と比較研究をおこなった質問項目 (20項目) を含んでいる。これらは、フランスの「ものの考え方」の特徴を考える上で重要である。

以上のことを考えに入れて質問項目の選択を進めた。

調査にとり上げた具体的な質問項目については、一つ一つここでは述べないが、質問項目として取り上げたものを大別して示すと以下ようになる。

すでにのべたように、この連鎖的比較調査では比較の柱として、比較の対象となる各社会で共通に考えられる質問項目の組を考えている。

これに対応するには、それぞれの社会で性質のよくわかっている質問項目の組をとり上げ、その共通部分を考えていくことになる。これらの質問項目は各社会 (国) における継続調査の質問項目の組について具体的に検討することにより選定した。

これらの質問項目は

- a) 近代化社会あるいは脱工業社会における「ものの考え方」の側面を調べる形の質問群および

b) 近代化あるいは高度産業化社会における社会環境に対する一般の人々の考え方を、

① 生活の質 (QOL) の一般的評価

② 生活各側面に対する満足度、(あるいは不安感)

等について調査する項目であり、各社会における一般の人々の現代社会に対する基本的な評価の一側面を検討することが可能な形の質問項目の組が主なものである。

つぎに、これらと関連づけて各社会の固有のものを考える質問項目の組をとり上げる。

これらは、各社会 (国) における継続調査の質問項目のうち、それぞれの社会で基本的な 'ものの考え方' の側面を測るものとしてくり返し調査されている質問項目の組であり、ある社会ではスケールを構成する質問群であるし、別の社会では 回答バタンの相互関連分析により、その社会の 'ものの考え方' の特徴を示すものとして析出されてきた質問項目の組である。

このように各社会で共通に考えられる質問項目の組と、どちらかといえば、それぞれの社会における 'ものの考え方' の特徴を示すと考えられる質問の組とがあるが、ここではこれらを合わせて、各社会ごとに大局的にまとめてみる。

日 本：日本人の国民性調査のうち、質問相互の関連分析からみて日本的な 'ものの考え方' のシステムをよく示していると考えられるもの、

① 一般的な人間関係 (いわゆる義理人情) に関連する質問項目の組

② 各種の組織、社会のしきたり、制度等についての考えをみる質問項目の組 (日本ではとくに伝統↔近代の対立概念を含む質問項目の組として考えられ、日本的な 'ものの考え方' の特徴を示すとされるもの)

③ くらし方、自然観 等の質問項目の組

等である。これらのうち、①、②はハワイ・ホノルル日系人調査において、日本人とハワイ日系人の間における差異および関連性のあり方を具体的に描き出すことができ、さらに1978年、83年のハワイ・ホノルル市民調査および1978年アメリカ調査において、より一層具体的に日本とアメリカの同異のあり方を示すことができた項目の組である。(第I部 §3. 参照)

アメリカ：1978年アメリカ調査のときとり上げた項目は、主にアメリカの 'ものの考え方' をみるため調査したが、これらの項目の多くはアメリカ的な 'ものの考え方' の特徴を示すと考えられ、アメリカとヨーロッパとの同異のあり方をみるために利用できると思われ。これらは

① 信頼感スケールの質問項目の組

② 一般社会調査 (GSS) で利用された '仕事観'、'一生働くか' 等の質問群

③ EC諸国との比較調査に利用された質問項目

等である。

とくに②、③の諸項目はEC諸国で比較調査されているものがあり、これらの質問項目をとり上げることにした。

ドイツ： } ドイツのALLBUS調査およびイギリスの一般社会調査は、すでにのべたよ
イギリス： } うに、アメリカの一般社会調査 (GSS) と共通するものが多いので、GSS
に含めて考えた。また、ドイツ、イギリスについてはEC諸国で実施されて
いる調査から共通に考えることにした

ヨーロッパ共同体（EC）調査：

ユーロバロメータ調査のうち、一般社会調査の項目（アメリカの②、③と重なるものあり）および‘政治関心’、‘保守か革新か’、‘民主政治に満足か’、‘社会は変えるべきか’等の政治に関連する質問項目の組等を取り上げた

フランス：フランスからはCREDOC調査の質問項目のうち、①フランスの‘ものの考え方’の特徴を示し、しかも回答バタンの相互関連分析でフランスの属性別にみた‘ものの考え方’の構造をよく示している質問項目の組（20項目）、および、②フランスの‘ものの考え方’の経年変化分析にとって有効な項目（この中には①の項目も含むので、それを除き8項目）

等となる。

これらの継続質問項目に加えて、科学技術に関する日米比較調査（これは1990年にEC諸国でも質問された）から2項目を取り入れた。

また、異なる社会の比較調査には、質問項目の回答選択肢をあらかじめ作成した質問形式ばかりではなく、各社会における自由な発想を重視する考え方も重要である。この目的のため自由回答法の質問項目を2項目とり上げた。自由回答法の質問は調査結果の整理・分析に問題が多いと考えられ、これまで比較調査ではとり上げられなかったが、組織的な分析方法も開発されつつある（Lebart, L.(1988)、鈴木・村上（1990））。（自由回答の結果は本報告書第4部〔Ⅱ〕に示す。1988年日本調査の自由回答については一部の分析例を示し、他の国の調査の自由回答の結果はそれぞれ、原文と翻訳を対照して示してある。）

以上選択した質問項目について5カ国調査に利用する翻訳調査票を作成し、プリテストにより、翻訳の可否、実施可能性（各国で質問の趣旨が理解できるか、異和感なく受けとられるか、疑問点はないか等）を検討するとともに、質問項目の数、分量等の面から調査の可能性を検討し、質問項目の取捨選択をおこない最終的な調査票を確定する手続きをとった。（各国で実施した調査票（質問文）は本報告書 第4部〔Ⅳ〕：「5カ国調査の質問文対照一覧」等を参照のこと）

本調査で使用した質問項目の原出典をまとめるとつぎのようになる。

意識の国際比較方法論の研究

1987年ヨーロッパ3カ国調査 } 質問項目出典一覧*
1988年アメリカ、日本調査 }

	原質問項目	調査	項目数 (延項目数)	他調査との重複等
継続調査	日本	国民性	30 (34)	
	アメリカ	ISR	6 (6)	GSS (2) EC (2)
		GSS	1 (1)	
	フランス	CREDOC	23 (53)	ALLBUS (2) GSS (3)
	EC	Eurobarometer	5 (5)	ALLBUS (1)
比較調査	1978	アメリカ調査	4 (4)	ISR (2) EC (1)
	1987	科学技術調査	2 (7)	
新			2 (2)	
	政治の質問項目は各国異なる		2 (4~6)	
	合計		75 $\left(\begin{smallmatrix} 117 \\ 1 \\ 119 \end{smallmatrix} \right)$	

*各項目ごとの詳しい原出典、履歴の一覧表は第3部〔IV〕調査票と総括表にある

B) 基本属性項目の選択：

調査結果の分析検討には、それぞれの社会を構成する人々を分割する社会階層として、どのような属性項目、あるいはどのような社会的・地域的構造を考えて分析を進めていくのがよいか問題になる。

このとき、比較の対象となるそれぞれの社会にとって、共通に利用可能な社会階層を raising して比較するのがよい。属性項目は、比較の対象となった社会の間で共通性の高い、相互に共通理解の得られる項目であり、さらに、それぞれの社会で一般の人々の間に具体的なイメージが存在し、調査実施過程において一義的に解釈されうるような項目（分類）であることが比較分析上望ましい。

これらの点を考えて、次のような項目：

個人属性：性、年齢、これに 学歴、家族構成等

社会経済的属性：職業、収入、および 住居の種類等

地域、環境属性：居住地の地域別、都市規模別 等

その他の属性的項目：地域層別特性 等

等を調査項目に含めている。多数の社会に対する国際比較研究上注意する必要があることは

- ① ここで比較の対象と考えている5カ国についてみるだけでも、共通に考えられる項目は、個人属性の「性」、「年齢」だけであること
- ② 「学歴」はそれぞれの社会（国）の制度と関連しているので、ごく粗い分類による比較しかできない。（収入も同様）
- ③ 都市規模別（都市↔農村）の比較は②より問題があると考えられる。

したがって、属性別および基本項目別分析として共通には、「性別分析」および「年齢別分析」のみをとり上げ、第4部〔I〕「各国毎の性別、年齢別集計」としてとりまとめて示した。また資料6の5カ国調査の共通ファイルコードブックに示したように、「性」、「年齢」以外の基本属性項目のコードは共通になっていないので注意が必要である。

*注1) しかし、現実には、いくつかの問題があり、これらの問題点については標本抽出計画の問題として別に検討されている。

たとえば、鈴木・高橋（1991）：「標本抽出の計画と方法」放送大学教育振興会、p225-p249.

*注2) アメリカの標本調査の標本抽出計画を日本のそれと対比し検討したものは、第4部〔Ⅲ〕§1に示してある。

*注3) Politz, A. and Simmons, W., "An Attempt to Get the "Not at Homes" into the Sample without Callbacks", JOURNAL OF THE AMERICAN STATISTICAL ASSOCIATION, Volume 44, (March, 1949), pp. 9-31.

REFERENCES

- Campbell, Angus, Philip E. Converse and Willard L. Rodgers. (1976) The Quality of American Life. New York: Russell Sage Foundation.
- Converse, P. E., J. D. Dotson, W. J. Hoag and W. H. McGee III. (1980) American Social Attitudes Data Source Book 1947-1978. Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- CREDOC (Centre de Recherche pour l'Etude et l'Observation des Conditions de Vie). (1982). Situation et perception des conditions de vie et qualité de la vie des Français. Paris: CREDOC. (in French)
- Davis, James A. and Tom W. Smith. (1986). General Social Surveys, 1972-1986: Cumulative Codebook. Chicago: National Opinion Research Center.
- Hayashi, Chikio, Sigeki Nishihira, Kikuo Nomoto and Tatsuzo Suzuki. (1973). Hikaku Nipponjin Ron [Comparative Studies on Japanese]. Tokyo: Chuokoronsha. (in Japanese)
- Hayashi, Chikio and Tatsuzo Suzuki. (1984). Changes in belief systems, quality of life issues and social conditions over 25 years in post-war Japan. Annals of the Institute of Statistical Mathematics 36: 135-61.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1986). Data Analysis for Comparative Social Research: International Perspectives. Tokyo: Iwanami. (in Japanese).
- Hayashi, Chikio, Tatsuzo Suzuki and Fumi Hayashi. 1984. Comparative study of lifestyle and quality of life: Japan and France. Behaviormetrika 15: 1-17.
- Hayashi, C., Hayashi, F., Suzuki, T., Lebart, L. and Kuroda, Y. (1985). Comparative Study of Quality of Life and Multi-dimensional Data Analysis; Japan, France and Hawaii. Fourth International Symposium, Data Analysis and Informatics (Versaille, France, Oct., 1985). INRIA, 573-583.
- Inglehart, Ronald. (1977). The silent revolution: Changing values and political styles among Western publics. Princeton: Princeton University Press.
- Inglehart, Ronald. (1990). Culture Shift in Advanced Industrial Society. Princeton: Princeton University Press.

- Japan Prime Minister's Office, Public Relations Office (1987). Public Opinion Survey of Science, Technology and Society. (in Japanese)
- Jowell, R. and Airey, C. Eds. (1984). British Social Attitudes: The 1984 Report. England: Gower, Hants.
- Lebart, L. (1986) Sept ans de Perceptions: Evolution et Structure des Opinion en France de 1978 a 1984. Paris: CREDOC.
- Lebart, L., Y. Houzel-van Effenterre, C. Castro, C. Duflos, F. Gros, P. Pleuvret and P. Reynaud. (1980). Le système d'enquêtes sur les aspirations des Francais: une brève présentation. No. 1. Paris: Consommation, CREDOC. (in French)
- Lebart, L. and Salem, A. (1988). Analyse statistique des données textuelles. Dunod, Paris.
- Office of World Value Conference. (1980). Data Book of Value Surveys among 13 Nations.
- Research committee on the study of the Japanese national character (1977). Changing Japanese Values, Tokyo: The Institute of Statistical Mathematics.
- Science and Engineering Indicators (1987). "Public Attitudes Toward Science and Technology." in Science Indicators, 1987. Washington D. C.: National Science Board, Chapter 8.
- Stoetzel, Jean. (1983). Les Valeurs du Temps Present: une enquête européenne. Paris: Presses Universitaires de France.
- Suzuki, T. (1970). A study of the Japanese national character, Part IV-Fourth Nation-Wide Survey. Annals of the Institute of Statistical Mathematics. Suppl. 6, 1-80.
- Suzuki, T. (1984). Ways of life and social milieus in Japan and the United States: A comparative study. Behaviormetrika. 15, 77-108.
- Suzuki, T. and Leghorn, R. Y. (1985). Age, sex and cohort: Explicating social change in post-war Japan. Behaviormetrika. 18, 1-16.
- Suzuki, T et al. (1972). A Study of Japanese-Americans in Honolulu, Hawaii. Annals of the Institute of Statistical Mathematics. Sup. 7.

The Commission of the European Communities (1988). Eurobarometre. Brussels: The Commission of the European Communities.

Tokei-suri Kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1961). Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character). Tokyo: Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1970). Daini Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol. II). Tokyo: Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1975). Daisan Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol. III). Tokyo: Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1982). Daiyon Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol. IV). Tokyo: Shiseido.

ZA. (Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung) (1982, 1984, 1986). Codebuch mit Methodenbericht und Vergleichsdaten (ZA-Nr.1000 ALLBUS 1980, ZA-Nr.1160 ALLBUS 1982. data codebook). Köln: Universität zu Köln.

2 翻訳と再翻訳

意識の国際比較研究では、調査票にとり上げる質問項目の翻訳等、言語上の問題を検討することが重要である。

質問項目はすでにみたように

- ① 日本の調査結果がすでにあり、これを比較の対象となる社会で調査して比較する場合
- ② 逆に比較の対象となる社会における調査がすでにあり、それを今回の比較調査にとり上げる場合
- ③ 今回の比較研究調査のため作成した新しい質問項目

の3種類になる。いずれの場合も質問文は比較の対象となる社会(国)の言語(日本語、英語、フランス語、ドイツ語、米語)の質問文が必要で、それぞれの言語による質問文には調査実施上、測定手段としての同等性が必要となる。

これを検討するには

- A : 翻訳→再翻訳の過程を通して同等性を検討する— (これは言語上の同等性である)
- B : 翻訳の適否を検討吟味する調査をおこない、調査結果に基づく同等性の検討をする— (これは実際の調査場面における同等性の確保に通じる)

等が考えられる。(1978年日米比較調査の際の検討手順について 詳しくは、林・鈴木(1986)「社会調査と数量化」第Ⅱ部を参照のこと)

まず、質問文の翻訳、検討、および調査票作成の経緯や検討した手順について、概要を示す。

- ① § 2.1 でのべたように調査に取り上げる質問項目(具体的な質問文、回答選択肢の文)を選択した
- ② それぞれの質問項目について、対応する日本語の訳文、および英語の訳文を作成し、これを比較調査のため他の各国語に翻訳する元になる質問文とした(この多くはすでに1983年ハワイ・ホノルル市民調査および1978年アメリカ調査に利用した質問文であり、その他の質問文は、GSS調査のもの、あるいはEC調査のものがあり参考とした。フランスからの質問文はフランス語質問文に英語の訳文をフランス側で作成したものを参考にした)
- ③ この比較の元となる質問文を、イギリス、フランス、ドイツの調査機関でそれぞれ自国調査用の質問文に翻訳した
- ④ これらの質問文をそれぞれ日本語に翻訳し、比較検討した(Aタイプの検討)
- ⑤ この検討結果により各調査機関と問題点を協議し、プリテスト用の調査票を作成した(プリテストでは、翻訳質問文の理解度等のチェック、たとえば、用意された回答選択肢以外の回答の出方—すなわち、質問文の内容がはっきりしているかどうかという明確さの程度、あるいは調査員の回答処理の仕方、調査対象者が回

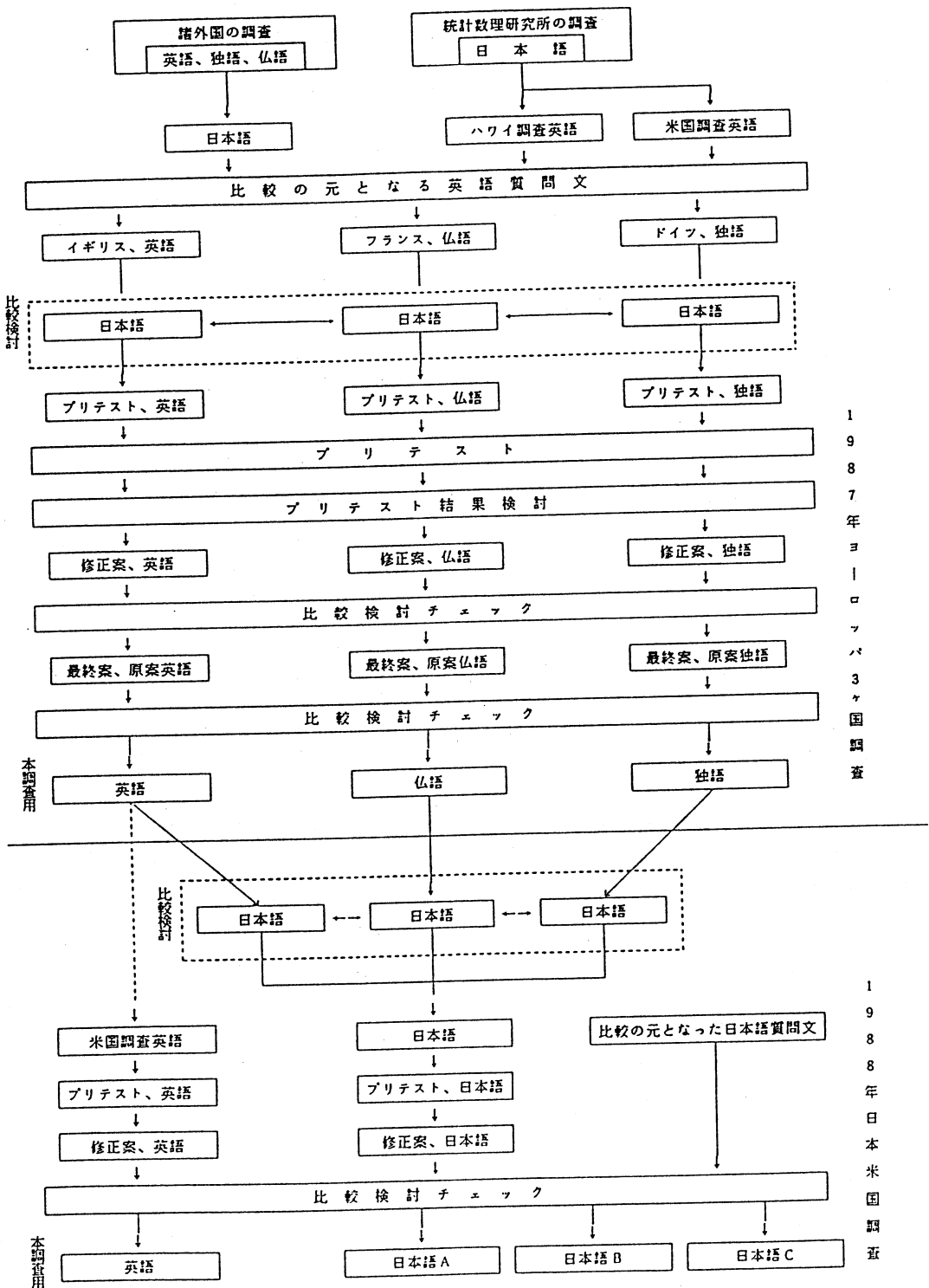
答するまでにどのくらい考えたか一等について検討すると共に、いくつかの質問項目では翻訳質問文を二種類作成して、どちらがよりよいかを検討した。また、質問順序をかえた二種類の調査票を作成し、どちらの順がよいかも合わせて検討した（これはBタイプの検討と考えられる）

- ⑥ プリテスト調査結果を各国調査機関の担当者が持ちより、研究者と合同検討会を開いた。質問文、回答選択肢、質問提示方法について一項目ずつ検討をおこない、修正案を作成した
- ⑦ 各国の修正案を比較検討すると共に各調査機関の担当者も相互に調査票修正案を検討し、質問文の中の不用意な翻訳ヶ所の修正、および回答選択肢の同等性の検討および質問提示方法（回答をよみ上げるか、回答用リストあるいは回答用手持カードを回答者に提示するか等）のチェックをおこない、最終案を作成した
- ⑧ 各国の最終案について比較検討をおこない、イギリス、フランス、ドイツの3国における調査を実施した
- ⑨ これらの3カ国で使用した英語、フランス語、ドイツ語の各質問文を日本語に翻訳し、相互に比較検討すると共に、比較調査の元である日本語質問文とそれぞれの翻訳文を比較検討した
- ⑩ この結果、多くの質問項目では、比較の元である日本語質問文と実際に各国で調査した質問文の日本語への再翻訳質問文はよく合っていると考えられ、また、各国相互の比較においてもよく合っていると考えられた
- ⑪ しかし、比較の元である日本語質問文と各国で実際に調査した質問文の日本語への再翻訳質問文とが多少異なっており、しかも、各国で実際に調査した質問文の間ではあまり差はなく、よく似ているという場合がみられた
- ⑫ また、いくつかの質問項目では、各国の質問文の日本語への再翻訳文に多少の違いがみられた
- ⑬ したがって、⑪、⑫のような質問項目については、日本調査において、日本語調査票をA、Bの二種類作成し、翻訳 \leftrightarrow 再翻訳の過程における質問文（回答選択肢の翻訳も含む）のユレの影響を検討することにした
- ⑭ 1988年日本調査の日本語調査票は上にのべたようにA、B二種類としたが、この際、1978年日米比較調査（および1983年ハワイ・ホノルル市民調査）以来問題が提起され未解決になっていたいくつかの問題点も合わせて検討することとした（これについては節をあらためてのべる）

以上のような手続きにより、5カ国比較調査をおこなった。質問文の検討、調査票作成の経緯についてその手順をフローチャートの形に整理してみるとつぎの流れ図のようになる。

特別推進研究「意識の国際比較方法論の研究」

－ 質問文の検討、調査票作成の経緯 －



上でとり上げなかったアメリカ調査については、比較の元になる調査票として、1978年アメリカ調査の調査票および1983年ハワイ・ホノルル調査の調査票があるので、これを基礎とし、今回の5カ国比較調査で新しくつけ加えられた質問項目の質問文はイギリスで利用した質問文を参考とした。アメリカの調査機関の担当者と協議し、プリテスト調査票を作成した。プリテストの結果、アメリカ調査用の調査票を確定した。この際、1978年アメリカ調査と今回の調査と共通する質問項目について、その質問順序が異なるところがいくつか存在し、問題となったが、プリテストの結果、今回の国際比較調査の質問順でよいことになり最終調査票は5カ国共通の順である。

注1 Aタイプの検討の手順の一部（林・鈴木（1986）「社会調査と数量化」岩波書店 p18-19）

a) 検討の手順

検討の手順を図式的に示すと、図 II-8 のようになる。

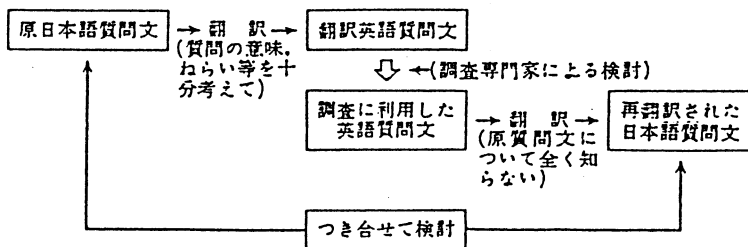


図 II-8 質問文翻訳検討の手順

すなわち、原日本語質問文を英語に翻訳する場合には、英語に翻訳した質問文が、英語圏では調査可能になるように考えており、調査実施に当たっては、実際の調査経験豊かな専門家による検討を加えて調査票にまとめている。

したがって、この実際に利用した英語調査票にある質問文が、もとの日本語調査票の原質問文と同等であるかどうかが問題となる。この問題を検討する一つの方法がここで述べている質問文の翻訳⇄再翻訳による検討になるわけである。再翻訳の場合は調査に利用した英語質問文を原日本語質問文を全く知らない翻訳の専門家に、できるだけ英文に忠実に翻訳してもらい、このようにして日本語に再翻訳された質問文を原質問文とつき合せて検討することにした。このとき、

- 1) 質問の意味は損なわれていないか？
- 2) 質問のねらいが損なわれていないか？
- 3) 日本文として両者のくい違いはどうか？
- 4) 言外の意味、ニュアンス等のくい違いはどうか？

等について検討した。

3 和訳の問題点、質問票の決定

国際比較研究をおこなうとき、①日本が「元になる調査票」の原案を作成し、これを、比較の対象となる各社会(国)で利用する調査票に翻訳して調査を実施するという場合、あるいは、②諸外国で実施された調査と比較するために、それらの調査票の質問文を日本語に翻訳して、比較調査に利用する場合、このどちらの場合にも問題になることは多いが、とくに、つぎのような点はいつでも問題になる。

- ① (賛成あるいは反対などの回答をさらに細かく分けて) 程度をきく場合
〈例〉「賛成」、「反対」の回答を「非常に賛成」、「やや賛成」…「やや反対」、「非常に反対」等とするときの翻訳…これは多くの場合は外国語の調査票から日本語に翻訳して比較調査をするとき問題となる。
- ② 何かと比較するときの質問文等
〈例〉問 あなたは健康な方ですか? など…これは「あなたは、あなたと同じ年代の人とくらべて健康な方ですか?」、あるいは「あなたは、世間一般の人(ほかの人)とくらべて健康な方ですか?」等の形で英語等に翻訳される…比較調査のとき問題が生じる可能性がある。
- ③ 日本的な色彩の強い表現のとき
〈例〉「恩返し」「恩人」「親孝行」等を英語等に翻訳するとき、その質問文に沿った形で説明を加え、理解し易くする形にする…これは比較調査のとき注意が必要になる。
- ④ 外国の質問文を翻訳して比較調査するとき、直訳調の質問文ではなく、多少意訳あるいは翻案して利用する場合、(質問文を日本語らしくして調査の実施を容易にする意図で) …これも比較調査のときは注意する必要がある。

しかし、これらの問題点が、実際に比較調査のときの障害になるのかどうかは、これまでに、ほとんど研究はなく、内容的にはっきりしていない。今回の比較調査では、前節の質問文作成の経緯でもふれたように、日本調査を実施するまでに2回 翻訳 \longleftrightarrow 再翻訳の検討をおこなっている。そこで出て来た問題点を集約・整理し、いくつかの質問項目については、「比較の元になった質問文及び回答選択肢」と「再翻訳された質問文及び回答選択肢」とを対比して、比較検討できる形の調査計画を立てることにした。ここで考慮した検討事項は、上にのべたことに対応して、

- ① 程度を表わす副詞の有無
- ② 何かと比較するときの比較の対象を質問文にいれるかどうか
- ③ 日本的な色彩をもつ質問文の文章をふつうの説明文でおきかえる

④ 意訳、翻案の程度の強い質問文を翻訳調に戻してみる

等のほか、1978年アメリカ調査の際の翻訳検討以来、懸案となっていた「子供に金は大切と教えるか」の質問項目の、「金は最も大切」と教えるという文を、「金は最も大切なものの一つだ」と教えるという形にして比較検討することにした。(1978年アメリカ調査では…the most important…としたが、今回は…one of the most …とした) この他、日本語→英語(フランス語、ドイツ語)→日本語の翻訳の過程で変わってしまった質問文も検討することにした。

このようにして、1988年日本調査ではA型、B型2種類の調査票を作成して〈翻訳のユレ〉ともいうべきものを比較検討できる形の調査とした。このうち、A型は比較対象の4カ国の調査票の質問文の翻訳に近い形の質問文を利用し、B型は元の形の質問文を利用した。翻訳の問題を比較検討する質問項目は24項目になり、この他、翻訳の検討以外の質問文の文章あるいは回答選択肢の文章の検討のため2項目を加えた。したがって、1988年日本調査の2種類の調査票A、Bで質問文の異なる質問項目は26項目になる。これらの質問項目は一つ一つ上げないが、質問文あるいは回答の異なるところを示した一覧表を示しておく。どの質問項目が、上にのべたどの検討事項に該当するか等詳しくは「第4部〔Ⅲ〕標本と翻訳の検討 §2 翻訳の検討」の項にゆずるが、A型、B型の質問項目(質問文及び回答選択肢)を対比し比較検討すると、調査結果が同じようになる項目もあり、異なるところもあり、その程度もさまざまで、「翻訳のユレ」の問題は抽象的・観念的議論は避けるべきであることがわかる。

ここでは、一覧表により各質問項目と検討事項との関連を例示しておく。

検 討 事 項	質 問 項 目
① 〈程度〉	問1, 問2, 問3 (問16)
② 〈比較の場合〉	問11,
③ 〈日本の文脈の説明〉	問12, 問35, 問45, 問47, 問49 (問64)
④ 〈意訳・翻案〉	問20, 問23, 問30, 問39 問46, 問51, 問52, 問53 問71

その他 1) 最も大切→最も大切なものの1つ…問33	
2) 調査実施上生じたもの…(問16), 問17, 問34, 問44, (問64)	
翻訳検討とは関係ない項目…問22, 問73	

日本調査 A、B で質問文が異なる質問

			A	B
問1	#7.30B	日本人の生活水準	1 非常によくなった 2 非常にわるくなった	1 よくなった 2 わるくなった
問2	#7.30A	生活水準 10 年の変化	1 非常によくなった 2 非常にわるくなった	1 よくなった 2 わるくなった
問3	#7.31	今後の生活水準	1 非常によくなるだろう 2 非常にわるくなるだろう	1 よくなるだろう 2 わるくなるだろう
問11	#4.11	先祖を尊ぶか	普通より先祖を尊ぶ方	先祖を尊ぶ方
問12	#4.10	他人の子供を養子にするか	養子にとって	養子にもらって
問16	#1.8	社会的階層	もとのまま 1上 2中の上 3中の中 4中の下 5下	<u>上</u> <u>下</u> 1 2 3 4 5
問17	#7.81	収入か余暇か	1 収入が増えること 2 余暇が増えること	1 欲しいものがもっと買える 2 自由な時間がもっと長く
問20	#7.24	就職の第 1 の条件	1 お金のことを気にしないで	1 かなりよい給料がもらえる
問22	#2.4	くらし方	もとのまま 1 一生懸命働き 2 まじめに 3 金や名誉	条件文をカット 1 金持ちに 2 名を上げる 3 自分の 4 のんきに
問23	#2.3F	生活環境満足か	環境や住やすさ 1 満足	生活環境 1 満足
問30	#7.19	才能か運か	今の社会で成功している人をみて	人の成功には
問33	#4.5	子供に金は大切と教える	最も大切なものの 1 つだ	とても大切なものだ
問34	#8.1B	政治家にまかせるか	その人達にまかせる 3 いちがいに	その人にまかせる 3 いちがいに
問35	#2.1	しきたりに従うか	世間の慣習	世のしきたり
問39	#4.31	家事や子供の世話	3 男性、女性の区別なくやるべきだ	3 男性と女性で公平に分担すべきだ
問44	#7.4	国と個人の幸福	国	日本
問45	#5.1D	大切な道徳	a 親に対する愛情と尊敬 b 助けてくれた	a 親孝行 b 恩返し
問46	#5.6H	他人との仲か仕事か	1 仕事はあまりできない	1 仕事の上ではバツとしない
問47	#2.2B	スジかまろくか	一定の原則に従う、他人との調和	スジを通す まろくおさめる
問49	#5.1C2	入社試験 (恩人の子)	昔世話になった人の子供	恩人の子供
問51	#2.12	他人のためか自分のためか	自分のことだけ考えている	自分のことだけに気を配っている
問52	#2.12B	スキがあれば利用されるか	機会があれば	スキがあれば
問53	#2.12C	人は信頼できるか	常に用心した方がよい	用心するにこしたことはない
問54	#3.3	宗教は 1 つか	独自の教えを説いている	立場が違う
問71	#3.8	社会は変えるべきか	1 根本的に 2 徐々に 3 あらゆる破壊的勢力から守り 通す	1 一挙に 2 悪いところは少しずつよくして 3 守り通す いく
問73	#8.7	支持政党	しいていえば何党を支持しますか	しいていえばお考えに近い政党は

以上のような調査における質問項目の翻訳に関連することは、日本の場合だけではなく、諸外国にもあるものと予想される。また、社会が異なれば、同じ言葉でも意味が異なって伝えられる可能性もあるわけで、この意味では、国際比較研究における調査方法論は経験の蓄積により分析・検討をおこない一步一步進む以外にない。

今回の調査票を比較対象の各国における研究協力者と検討した際、「翻訳のユレ」の問題について討議したが、実際の調査データに基づくものは少なく、今後の研究にまっところが大きいのと思われる。

一、二のコメントを例示すると：

日本におけるA、Bの比較検討事項と関連する点の1つは、ドイツ語ではたとえば回答が‘よい’の場合、ただ‘よい’というだけでは不十分という意識があるので、調査の回答では‘非常によい’ということが多く、回答記入欄を用意するのが普通である。という指摘があった。また、問35の‘しきたり’が1987年ドイツ調査の質問文では‘普通の慣習’というよりも‘掟’に近い印象があり、この影響でドイツ調査の回答結果は‘押し通す’の比率が高くはならないだろうという指摘があったこと等である。

具体的な質問項目の質問文及び回答選択肢の翻訳等については「第4部〔Ⅲ〕§2翻訳の検討の項を参照のこと。そこには、翻訳検討にとり上げた24項目の質問文および回答選択肢について、各項目ごとに4ページにわたり下図のように見開きで比較対照できるようにしてある。

ドイツ質問文	ドイツ質問文 和訳
フランス質問文	フランス質問文 和訳
イギリス質問文	イギリス質問文 和訳

アメリカ質問文	アメリカ質問文 和訳
ハワイ質問文	ハワイ質問文 和訳
日本A質問文	
日本B質問文	
イギリス質問文（再録）	（1978年アメリカ質問文）

§ 3. 各国における調査の実施

1 調査実施の調査機関

各国における調査の実施は、比較の対象となるそれぞれの国における調査機関に委託した。その際、この研究調査の目的等からみて以下の諸点に留意した。

すでにのべたように、本研究における比較調査は、質問項目の選定において、これまでに実施されている諸調査のそれとの比較を最大限に考えるとともに、信頼できる継続調査の質問項目をも含むように計画しており、異なる社会の間の比較調査研究における比較可能性を高めるように計画している。さらに、調査実施には、対象となるそれぞれの社会の調査環境、社会的文化的背景を十分に考え、調査結果の中に、不測の偏りや調査誤差（非標本誤差）が入り込まないようにする必要があるばかりでなく、比較の対象となった各社会（国）における調査の技術的水準が一定水準以上であり、調査結果の比較可能性が高いことが決定的に重要である。ことことから調査実施に当たる機関として次のことが重要である。

- ① 比較の対象であるそれぞれの国において、信頼できる調査結果を得るためのサンプリング技術（全国調査の）および調査技術等の経験が豊富であること
- ② これまで継続調査の実施経験が豊富であること
- ③ これまで国際比較調査の実施経験が豊富にあること
- ④ これまで学術的研究調査に経験が深いこと
- ⑤ 国際的な調査機関の連合体に加盟していること

等である。さらに、研究の目的からみて、単にデータを取得して統計的分析を加え、それぞれの対象社会の人びとの意識の特徴（‘ものの考え方’、価値観等）をみるだけではなく、他の社会における結果と比較検討するときの比較可能性をより高めるためには、調査企画・実査の各段階における作業内容が明確に把握されなければならない。

したがって、

- ⑥ 調査企画・サンプリング実施上の詳細資料による誤差計算の実績があり、その技術水準が客観的に把握できること。
- ⑦ 質問文作成・回答記録様式作成・調査票構成・調査員に対する指示要領等、実査の基本的諸段階における実績の評価・検討に関する研究実績があること。
- ⑧ 調査票構成、実査、データ整理の各段階において研究者の指導・監督が十分且容易にできること

等が望まれる。

比較の対象となった各国における調査実施には、現地の研究協力者の意見も参考にして、下記の諸調査機関が調査を実施した。

ドイツ : EMNID-Institut GmbH
Bodelschwinghstrasse 23-25a
D-4800 Bielefeld 1
Tel. 49. 521. 260. 010

フランス : Faits et Opinions
25, rue Cambon,
F-75001 Paris
Tel. 331. 42. 96. 41. 65

イギリス : Research Services Limited
Station House
Harrow Road
Wembley HA9 6DE
England
Telephone 01. 903. 1399

アメリカ : The Gallup Organization, Inc.
53 Bank Street,
Princeton, New Jersey
Phone: (609) 924-9600

日本 : 新情報センター
〒100 東京都千代田区永田町2-10-2
TBRビル
電話 03 (3580) 5231

これらの調査機関により、ブリテストおよび本調査が実施された。

以下、ブリテストの実施およびブリテスト結果の検討経過のうち、本研究調査の全体計画に影響を与え、調査結果の比較検討において留意すべき諸点についてのべる。

2 ブリテスト

ブリテストにおいては、すでにのべたように、翻訳質問文の理解度等を検討するとともに、回答型式、回答記入様式、質問提示の型式（質問文だけ読み上げるか、質問文とともに回答選択肢まで読み上げるか、回答選択肢をリストにして回答者に提示するか（回答票リスト、カード提示）等）等を検討した。

比較の元になった調査票は、これまで日本およびハワイの調査で実施した調査に利用した質問形式、回答形式にならったものである。

この調査票原案にもとずき、二種類のブリテスト用調査票を作成した。ブリテストにおける検討事項は

① 各質問項目の質問順序

② 回答記入欄に、ブリコードの回答選択肢および「その他」の回答を記入する欄を用意するかどうか

③ 質問提示の形式として回答票リスト（提示カード）を利用するかどうか等である

①については、プリテスト用調査票作成の段階で、実際の本調査に利用した調査票の質問順序に近いものが提案され、この一部分を原案のものに入れかえて、プリテスト用の調査票（青）を作成し、原案通りの調査票（黄）と比較検討した。この結果、原案ではなくプリテスト用調査票の質問順序を採用した。（この質問順序は調査票参照。）

②については、「回答記入欄に、ブリコードの回答選択肢以外の「その他」の回答を記入する欄を用意することは、面接調査員に、調査に対する負担感を増大させる要因となるから、極力減らす方がよい」という考え方と、「その他の回答が多少でも出る場合には「その他」の回答を記入できるようにした方がよい」という考え方があり、プリテストでは、各質問項目における「その他」の回答の出方を検討した。その結果、各国における「その他」記入欄はそれぞれ異なることになった。これは、各国の調査実施が円滑にいくことを優先して考えたからである。各国における各質問項目ごとの「その他」の記入欄の有無の一覧表を、第3部〔IV〕調査票と総括表にまとめて示す。

また、ブリコードの回答選択肢のコード順も、2、3の質問項目では、各国の調査で異なっている。これもそれぞれの国の実情によると考えられる。（第3部〔IV〕の質問項目の履歴一覧の注 参照）

③については、日本における考え方と、二、三異なる考え方が示された。その1つは程度に関する回答の場合である。日本では、程度を示す回答選択肢を並べた回答票リストを提示して、回答者が容易に回答できるようにしている。しかし、これらの質問項目ではほとんど回答選択肢を読み上げる形式でよいという考え方である（注1）。また、回答選択肢が、割合簡単な二項選択の場合にも読み上げる形式がとられることがある。一方支持政党では多数の政党がある場合、回答票リストを示して選択させる形式をとる。したがって、質問提示の方式も各国で多少異なることになった。しいていえば、原則として、回答選択肢が3肢以上では、程度をきく場合を除き各国同一になる。また、多数の事項について、あり、なし等の同じことをくり返して質問する形式の質問項目の場合、日本調査では、回答票リストの形式で質問事項を一覧できるリストを提示して回答してもらう形式である点も異なる。各質問項目ごとに回答票リストを、使用したかどうかの一覧表をやはり第3部〔IV〕に示す。

以上のようにしてプリテストの際の検討において、本調査用の調査票の骨組が確定し、本調査が実施された。（注2）

本調査の実施状況については、すでに、§1 標本調査のデザインの項で要点を示しておい

た。また詳しくは、資料1～5「各国調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

(注1) たとえば、今回の調査票では問1～問3などがそれに該当する。日本調査では、回答の安定性を考えて、程度を示す回答票リストを提示して回答者に選択させている。これは口頭の場合、調査員の判断が入り込み、その分が調査誤差の要因となる可能性があると考えからである。一方、比較対象の4カ国では、回答を読み上げる方式をとる。程度を細かくきく場合、回答選択肢はmuch (beaucoup, viel) あるいはvery (tres, sehr) 等がついたものがつけ加わるだけであるから、回答選択肢を並べた回答票リストを用意し、回答者に提示するまでもないということである。しかし、ドイツで実施した実験調査では、読み上げ様式と、カード提示方式とで、調査結果は多少異なる。

(注2) プリテストにおいて検討した質問項目の質問順序、回答形式、および質問提示の形式では、いずれの場合も、調査対象者(回答者)および調査員に対して、調査の負担感を余分にはかけないように考え、しかも調査結果の信頼性、安定性を確保するように考えた方式が選択された。

これは比較の対象となった各社会(国)における調査の方式全体の形式的な統一をとることを考えるより、それぞれの社会(国)で継続して、くり返し調査されている安定した方式に基づいた調査方式をとる方が比較研究上望ましいという考え方による。

第Ⅱ部のはじめにもふれたが、調査は多数の人々の合意と協力があってはじめて成り立つ大きなシステムである。したがって、これまでに、やや詳しくのべたように、調査のシステムを適切に運用することが、比較可能性を高めることになる。

調査の結果得られた調査データは、調査を企画したとき意図したような抽象的なものではなく、具体的な調査過程を経て、それぞれの段階で利用した方式に関連して得られたいわば人工構築物である。ということを念頭において調査結果の分析・検討を進めることが重要である。

本研究の概要

Cultural Link Analysis for Comparative Research

CULTURAL LINK ANALYSIS FOR COMPARATIVE RESEARCH

- A New Approach to the Exploration of Structure in Ways of Thinking Applied to Cross-National Analysis of General Social Attitudes -

The objective of this research is the theoretical development and application of a new statistical social survey method for use in comparative studies of attitudinal structures of persons belonging to different cultural spheres. Such a method should contribute to the expansion of basic knowledge, thereby providing a means of coping with and working towards the resolution of pressing cultural and social problems caused by the increasing complexity of contemporary society and the diversification of values. Development and application of this new method should also, in the long run, assist in the promotion of international cooperation and mutual understanding in the face of serious strains and friction encountered in the international arena today.

This is because the method opens to comprehension the dynamic nature of similarities and differences in multifaceted thought structures among different subgroups. The knowledge gained is not merely speculative and critical, but rather, has a scientific and material character which renders it applicable in real life situations.

The specific plan to achieve this objective is three-fold:

1. The Establishment of the Cultural Link Method for Comparative Research

The link method provides a means for examining the similarities and differences in cognitive structures and ways of thinking in different cultures.

The major feature of this method is its relative freedom from cultural and linguistic biases, problems inherent in previous work on the assessment of human cognitive structures. Such an unbiased assessment method should ultimately provide a means for linking the contributions to commonalities and differences from three areas:

- a. A spatial link inherent in the selection of the subject culture or society. The connections seen in such selection may be considered along the dimensions of social environment, culture and ethnic characteristics.
- b. An item structure link inherent in the commonalities and differences in item response patterns within and across different cultures.
- c. A temporal link inherent in longitudinal analysis.

Thus, the cultural link method for comparative surveys comprises information about three different areas: the sample itself, the item content, and stability and change over time. By examining the separate contributions of these three sources to

the overall picture, a much clearer analysis is made possible. In addition to the cultural link method described above, we effectively adopt a method of quantification of response pattern (i.e., a multidimensional analysis of categorical data based on the mutual relationships among responses). By using link and pattern analysis procedures, the underlying information can be apportioned into the common and specific characteristics of the respondents being compared. Through the clustering of the individual subjects' response patterns, the unique characteristics of the opinion structures of the subject cultures as wholes can be more clearly ascertained than has been possible in the past.

This will be the first application of this cultural link survey technique in the field of comparative social attitudinal research. As a social survey method, it makes possible more objective assessments than were available before, thus opening the way to a new era in social survey methodology.

2. Verification of the Practical Applicability and Validity of the Cultural Link Method in Comparative International Survey Research

To date, the link survey method has been applied in comparative studies of attitudes in the U.S. and Japan through a series of surveys conducted in Honolulu, Hawaii. Through this work, the validity of the method has been confirmed. However, generalization of this method is seriously limited. The universality of findings cannot be claimed based on the application of the method to only two cultures or societies. For this reason, it is necessary to extend the application of the method to include other nations which have longitudinal data and which seem to have undergone significant social and cultural changes, such as the U.S. and Western Europe, specifically West Germany, France and Great Britain. Unless the application can be so extended, the general validity of the method in the broader international arena cannot be ascertained.

3. The Construction of a Statistical System for Use with Multiplex Parallel Data-set Analysis (MPDA)

Through the construction of such a statistical analysis system for handling multiplex parallel data sets, the analysis of data resulting from the application of the cultural link survey method using the idea of successive approximations is easily achieved. Research efficiency may be expected to rise markedly, thus enhancing international research exchange in the future.

COMPARATIVE SOCIAL SURVEYS: CURRENT STATUS, FUTURE DIRECTIONS*
Research on Methodology for International Comparative Studies of Ways of Thinking

For many years the Institute of Statistical Mathematics has conducted research on methods for social surveys and international comparative research. We have now brought together a synthesis of methods and findings concerning this work in the volume, Data Analysis for Comparative Social Research (Hayashi & Suzuki, 1986). In that volume we take up the process of analytic examination of actual aspects of social surveys which have received little attention to date, using data analyses from international surveys.

This year (1986) the project "Research on Methodology for International Comparative Studies of Ways of Thinking" was inaugurated as Specially Promoted Research funded by a grant-in-aid from the Ministry of Education, Science and Culture (Principal Investigator, Chikio Hayashi**). This project allows us to apply cultural link analysis in a comparative study of Japan, the U.S., England, France and West Germany.

In this paper, I will address several issues concerning the current status and state of the art of international comparative studies.

BACKGROUND

The period following World War II saw the spread of social surveys. Beginning in the 1950's, international comparative studies involving two, then several, countries were attempted. One example of a study from this opening period is the study of civic political culture conducted by Almond and Verba (1963). Subsequently Hajime Ikeuchi and Ichiro Miyake et. al., of Japan participated in a four-country study which was later expanded to include seven countries (Ikeuchi, 1974; data set in ICPSR 7768). Other early period multi-society studies included that by Szalai et. al. of use of time in daily life (1972) and another comparative study being carried out on quality of life (Szalai and Andrews, 1980). In addition to such cross-national

* From Research Memorandum No. 393, October 30, 1990. The Institute of Statistical Mathematics.

** Former director, presently professor emeritus of the Institute of Statistical Mathematics; professor at Hoso University (University of the Air).

studies, surveys conducted within countries on social class and social mobility cannot be overlooked as examples of comparative research of this type (for an example of such research findings, see Treiman's international comparative study of occupational prestige (1977)). Viewed from the standpoint of internationally organized comparative surveys, one can say the above surveys all belong to the early period of comparative research.

Building on these experiences, comparative studies organized at the international level were conducted in the 1970's. One such study was the joint survey carried out in the member nations of the European Community (EC) beginning in 1973. Since the major aim of this study was to emphasize similarities among member nations, country by country comparisons are not readily apparent. Consequently, it is difficult to call this a true international comparative study. If one considers it in terms of survey method, however, it can be considered one type of international comparative survey. At this writing, Eurobarometre, the survey report, extends to 20 volumes (c.f. Eurobarometre, 1985). In addition, Inglehart (1977) has conducted research adding American surveys to these data.

With this type of international comparative research, several countries are considered at the same time, common questions are utilized, and the survey is conducted simultaneously in all places. This type of research is characterized by its facilitation through a consortium of international survey organizations rich in experience with comparative surveys, thus enabling the originating survey group to carry out a unified survey simultaneously. Examples of this type of study are as follows. In Japan, for example, there are the survey of "Social Attitudes of Youth of the World" (1972, 1977, 1978, 1983, 11 countries), and the "Thirteen Country Survey of Values." Western European examples include the 63 nation (communist countries excluded) survey of "Human Needs and Satisfaction" (1975) and the 9 country European "Survey of Values." Later, the U.S. and Japan joined this project, and a survey containing common items became available for over 20 countries. It is now referred to as the "World Values Survey" (Inglehart, 1990).

Another approach to comparative research is the mutual cooperation type, in which individual research organizations or individual researchers collaborate to further comparative research, based on exchanges of findings and experiences gained from conducting repeated surveys within their own countries. This approach to comparative research was also seen in the early period. When repeated surveys conducted in various countries share a large number of common items concerning the basics of daily life, international comparative research can be efficaciously carried out.

In the first type of research, that is, the consortium-led type, a number of hypotheses are formulated and a survey is conducted to test them. Provided that the societies to serve as

subjects of the study are similar, that they possess like ways of thinking, that translation of survey items can be done without much difficulty, and that there are no problems with standardization of survey techniques concerning comparison, there is a likelihood of showing meaningful results. However, by conducting the survey once everywhere, it is difficult to ensure that these conditions actually hold. A step-by-step approach to solving these issues is preferable, but in such large scale studies it is generally unattainable.

The latter approach to comparative research, rooted in country-by-country mutual co-operation of researchers, starts out small in scale. As survey research methods in each country are improved, the accumulated findings are evaluated and gradually the scope is broadened. And as this process advances, the environment for conducting international collaborative research improves. We consider this as a most promising direction for future comparative research. The central issue is what is the ideal approach to comparison? While methodological research progresses, the circle of investigators and of topics for comparison continually expands. This approach has as its foundation the understanding that the differences in fundamental ways of thinking in daily life are not so great among different societies. The study is therefore planned making similarity rather than difference the basic focus, and a survey procedure is used which gives due consideration to the corresponding characteristics of the cultures to be studied.

This is a very reliable approach to comparative research, but the topics for comparison must be limited, and to expand them requires time. However, this approach is characterized by a data-based exploratory process, yielding information which is suitable to the goals of international comparison (c.f., Data Analysis for Comparative Social Research, Part V).

SOCIAL SURVEY RESEARCH: PROGRESS AND CURRENT STATUS

The Institute of Statistical Mathematics began its survey program in the early 1950's, after research on sampling methods, questionnaire construction, and interviewer issues led us to realize that social survey methods could be applied to research concerning ways of thinking in the general population. The first survey was launched in 1953. (Details concerning this survey may be found in Nipponjin no Kokuminsei (The Japanese National Character), 1961, 1970, 1975, 1982). Similar to research at the time, this survey was a hypothesis-testing study of people's attitudes concerning various issues.

In 1958 we conducted the second survey which confirmed that the direction of change in the response percentages were coupled with common sense trends in the social environment. When we reached the stage of conducting the third survey in 1963, we had settled on most of

the questions and we turned the survey into a vehicle for investigating change. At this stage, temporal trends in the social environment showed a tendency to flow primarily in one direction. Since the direction of change was uniform, and the only issue was the amount of change, this survey did not extend to investigating in detail the changes in patterns of thinking which were taking place within the social change process. The analysis of results of the fourth survey conducted in 1968 was also limited to percentages, and major interest was confined to how much change had taken place. By this point, the survey procedure became fairly well established. (c.f. Suzuki (1970))

From this period, the use of large scale main frame computers at last became possible. This enabled us to apply correspondence analysis (quantification method type III), the pivotal feature of the statistical analysis of cultural link analysis method described below, to most of the item sets¹. As a result, we realized that the trends in response percentages we had found in the surveys to that point were superficial phenomena, and that with large scale computers and new analysis techniques, we could now consider the changes in the structures underlying the responses. We also realized that there was a strong possibility that we wouldn't be able to clearly explain changes in superficial percentages if we did not also take into consideration the changes taking place in the interdependencies among responses (response structure). However, in the late 1960's and early 1970's, the direction of change in percentages was uniform, and since no inconvenient results stood out as a result of the superficial analyses to challenge our thinking, we were not able to identify striking new findings.

In 1971 we were given an opportunity to conduct a survey of Japanese-Americans living in Honolulu through the International Joint Research Projects of the Japan Society for the Promotion of Science. This survey was designed for comparison with the Japan surveys, and it brought to light several problems to consider.

One of these was the selection of subjects, or the sampling problem. To date, in Japan when one sets as survey subjects adults aged 20 and above, there are practically no problems with sample selection. A register composed of all applicable names of potential respondents exists. In Hawaii, however, there was no such register, and to do probability sampling, one had to depend on the area sampling method. We felt that it was impossible to use this method as we had had no experience with it. As it turned out, however, the rate of voter registration was very high, and we were able to use voter registration lists to conduct the survey. (c.f. Suzuki, et al. (1972))

The second issue was translation of the questionnaire items. We found that translating from Japanese to English can be considerably complex. A detailed analysis was undertaken in the later 1978 and 1983 surveys, at which point it gradually became apparent what the critical

problems were. (C.f. Data Analysis for Comparative Social Research, Part II).

The third point concerned the comparison of resulting percentages. When planning the study, we predicted that the percentage of responses favoring "old" patterns of thinking found in Japan would be lower in Hawaii than Japan and that the proportion indicating "new" patterns of thinking would be greater, but this turned out to be not always the case. Furthermore, age group response tendencies in the Hawaii data did not always follow the Japanese pattern. In Japan, the younger the age group, the more likely "new" patterns of thinking were shown, and the older the age group the less these were shown. But this trend was not always true of the Japanese-Americans in Hawaii. We further found that dissimilarities in response tendencies among men and women were not what we would expect based on Japanese data.

Several things stood out in consequence of this work which led to the development of a new design for a social survey method. First, we found ourselves reconsidering the questions, "What is 'Japanese' opinion?" "What are 'old' ways of thinking in Japan?" Of course there are problems with careless hypothesis testing, but in addition, we realized that using questions which emphasize ideas and concepts unique to Japan gives rise to many problems in comparative research. Secondly, problems arose concerning such issues as "What in Hawaii corresponds to the differences in opinion among demographic groups which are found in Japan?" For example, in Hawaii, grouping based on "Japaneseness" of daily living environment, with a strongly Japanese and weakly Japanese class, turned out to correspond to trends found in age groupings in Japan in our research. Thirdly, we found that those groups of items which correlated strongly in Japan showed the same response structure for second generation Japanese-Americans, but that this did not hold for third generation Japanese-Americans. In other words, we learned that the major way of advancing comparative research is to emphasize response structure. (For more detail, see Hikaku Nihonjinron (Comparative Perspectives on Japanese Ways of Thinking), 1973. also c.f. Hayashi and Suzuki (1974,1975))

The sixth survey in the Japanese repeated survey series was conducted in 1978. For this survey, we took a lesson from the results we obtained in the Hawaii Japanese-American survey and considered the following in selecting the items:

- 1) Among the questions concerning Japanese ideas and concepts, those which had been used in the repeated surveys would all be included;
- 2) Items used in surveys done outside of Japan would also be included (particularly bearing Hawaii in mind and including item sets about "American" ideas and concepts);

3) A questionnaire would be designed and items selected which emphasized commonality rather than uniquely Japanese concepts.

During this period, all over the world, most of the advanced industrial nations were recognizing economic prosperity and were being spoken of as post industrial societies. In all countries, there was a move toward research evaluating and rethinking "quality of life." This was the period in which Japan finally finished the modernization process and became one of the advanced industrial nations. It now became necessary to add to the survey items enabling comparison with other advanced industrial nations.

Fortunately at this time, through a Grant-in-Aid for Overseas Scientific Surveys from the Ministry of Education, Science, and Culture, we were able to conduct "An Attitudinal Study of Honolulu Residents" at the same time that we conducted the "Survey of Value Systems of Americans" with a grant from the Toyota Foundation. With this, the scope of our research and the spectrum for comparison broadened. Comparison of Japan and the U.S. was effected by making Japan the starting point, or first link, of a chain, and by then successively adding second generation Japanese-Americans living in Hawaii, third generation Japanese-Americans living in Hawaii, non-Japanese born in Hawaii, non-Japanese born on the U.S. mainland and residing in Hawaii, and then mainland Americans, thereby connecting the links of the chain. In this way, the prototype of cultural link analysis method was created.

Based on the results of this research, we decided to retain the items for the seventh repeated survey in Japan and to broaden the comparative subject base. The Centre de Recherche pour L'Etude et L'Observation des Conditions de Vie (CREDOC) in Paris had been collaborating with us since 1980, and so we included a set of 20 items from their survey, and at the same time included them in the second Honolulu survey. By doing this, what had been a two country study now became a survey in three countries. This allowed us to see that the response structures differed for the U.S. and Europe, which so often are considered together by Japan. Contrasting the results with Japan showed a tri-polar structure (c.f. C. Hayashi, et. al., 1985).

We could see from this that rather than focusing exclusively on Japan and the U.S., it is extremely important to expand the comparisons through cultural link analysis to include Europe as well. By using the cultural link analysis method, we are able to see specifically what the structures of similarities and differences between two countries are and how they correlate. By successively connecting the countries, we can apply correspondence analysis to graphically depict what the shared aspects of the various countries are and where the differences lie, thereby creating a basis for objective comparison.

Proceeding from this, the next step is to extend broaden the areas of inquiry. In so doing, one can expect even greater fruits from international comparative research.

THE ESTABLISHMENT OF THE CULTURAL LINK ANALYSIS METHOD

The current (1986) five year study, "Research on Methodology for International Comparative Studies of Ways of Thinking," is the first study to implement the ideas behind cultural link analysis from the planning phase. These ideas stem from the experiences in carrying out and analyzing data from the seven Japanese repeated surveys conducted over the 30 year period up to 1983, the three surveys beginning in 1971 of Japanese-Americans living in Hawaii, the surveys of Honolulu residents in 1978 and 1983, the 1978 U.S. survey, and the 1982 French survey.

The aims of this research are to establish a new statistically based social survey method for conducting comparative research on the structure of thinking of peoples of multiple societies from differing cultural spheres, and, by applying this method to specific issues, to obtain basic knowledge contributing to the advancement of research on people and groups for the purpose of coping with and resolving the pressing social and cultural problems stemming from the increasing complexity and diversity of values inherent in contemporary society. This should contribute to the mediation of tension and friction in international society and to the furthering of true international mutual understanding and cooperation, all critical problems facing the world today.

Conventional survey research methods, which used random sampling in the selection of subjects, developed survey items according to a working hypothesis, and evaluated the results based only on the tabulated percentages, have been recognized as scientific and empirical. Our method, however, is not based on conventional hypothesis-testing, but rather is an exploratory approach. From our research to date, we have found that this approach is most suitable to clarifying the complex problems arising in comparative social research.

Furthermore in conventional comparative research, items developed to test a series of hypotheses are translated into the languages of the societies of the various subjects, and the survey is done after confirming the linguistic equivalence of the questions. In other words, the items are used as common measures within the various societies in the comparative studies. Even though care in the translation of questionnaire items is a given, however, this alone is not enough to guarantee the potential for comparison and to increase comparability. We have learned that it is essential to carefully ascertain corresponding characteristics of the subject societies before conducting the survey, and in choosing the items, to confirm the pattern of

interdependencies the responses should have in the subject societies in an exploratory manner, using correspondence analysis.

In simple terms, cultural link analysis takes things which have similar and different aspects and connects them like the links of a chain. We think of the links of this method as follows:

- (i) the selection of the subject societies (spatial link),
- (ii) the organization of the item sets (the measurement technique link),
- (iii) the continuous, or repeated, nature of the survey (the temporal link).

In considering (i), the choice of subject society (the spatial link), one thinks fundamentally about "social environment," "culture," and "ethnicity," though when it comes time to connect the subject societies for comparison, various types of overlapping combinations emerge. Making these three fundamental factors the axes and quantitatively elucidating their influences on the configurations of social attitudes or ways of thinking of the subject societies is indispensable for advancing scientific comparative research, but in conventional comparative studies, this has not been seriously addressed.

We confirmed the effectiveness of cultural link analysis through using the Honolulu survey as an intermediary to link comparative studies of Japan and the U.S. done to date. However, when the subject societies are limited to one or two, questions arise as to the universality of effectiveness and the range of applicability. To remedy this, it is necessary to conduct comparative research which extends to include, at the least, the U.S. and several of the advanced industrial nations of Europe using the cultural link analysis method. Unless this is done, widespread acknowledgement of the effectiveness of the method and of the validity of the results will be impossible to obtain.

For a specific application of the method, the following conditions must be met. The societies which are to be subjects of comparison must be thought to be linked together by some combination of social environment, culture, and/or ethnicity as described above; repeated survey data must exist in some form in these societies to effectively apply the method; conducting such surveys must be possible; and researchers in the survey locations who will cooperate with us must be available.*

When one considers the combination of the three basic factors of the spatial link (social environment, culture, and ethnicity), many societies come to mind. Particularly the fourth condition, the existence of native researchers in these societies who actively collaborate with us and understand the need to conduct comparative surveys using our methods, is crucial to the current study. We consider these criteria to be a minimum requirement, however, for successful comparative research.

As specific examples of societies which are to be comparative subjects, we think first of the Honolulu residents survey and the survey on the American mainland, for which we have actual experience in conducting the survey and where, in addition to being able to effectively apply cultural link analysis, we will be able to assess the stability and extendibility of the method (we are planning a 1988 survey as it will be ten years since the last survey conducted in 1978). Secondly, we plan to conduct a comparative survey using cultural link analysis in France, West Germany, and England, where we have only received a summary of common items for comparison (we plan to conduct the study in 1987, which will be the fifth year after the 1982 survey conducted in France).

TOWARD MORE EFFECTIVE COMPARISON METHODS

What has made this kind of quantitative analysis possible is the series of multidimensional data analyses which form the foundation of correspondence analysis, the statistical analysis of the response structure. This does two things: (1) it discriminates the common and unique aspects of the subject societies and looks at the ways in which they correlate with each other, and (2) it takes the pattern of interdependencies among responses to item clusters which have been effectively utilized in one of the subject societies and analyzes how that structure changes when the items are applied in the other society. Cultural link analysis, as a systematized comparative research procedure paired with a specific data analysis method, is the first of its kind in the field of comparative survey research. As a method for broad social research, it may be considered as making it possible to approach social phenomena in an objective, rational manner. We think of it as opening a new era in social research methodology (Data Analysis for Comparative Social Research, Part I).

It is clear that even in the choice of survey mode (e.g., interview or self-administered questionnaire), the selection, compilation and translation of items, the combination of item sets, and the construction of the survey form, utilization of data accumulated from past surveys and information gleaned from analyses is essential. Without organization and systematization of existing data, one cannot build the foundation of an empirical, scientific measurement method. This is the process of selecting usable information according to data analyses using the newest statistical techniques, data which have been obtained from valuable surveys. To do this, the accumulation of reliable data and the construction of a computer system capable of performing thoroughly analyses of these data are essential².

* We have had repeated contact with these researchers and actual collaborative studies are currently ongoing.

Various efforts have been made to increase the possibilities for comparative studies. However, the fact of the matter is that on both theoretical and practical planes, there are few conclusive answers, and methods which can be used on a wide scale have not yet been discovered. To deal with this, we have decided (1) to use the measurement technique link (ii above) of the cultural link analysis method and (2) in constructing items, to utilize empirical information built on a foundation composed of repeated surveys conducted over many years as well as international surveys and to follow a policy of making those items whose character is clear to us based on data analyses the central core of our survey.

Precisely specifying the common and unique features of the societies to be compared and making these the subjects of study is critical to the effective application of cultural link analysis. To do this, it is necessary to first assemble all existing repeated survey data and comparative data on the societies to be studied and then to fully analyze them, distinguishing the subject societies' common and unique aspects. What is obtained as the common portion is unique to the combination of the two (or multiple) societies being compared.

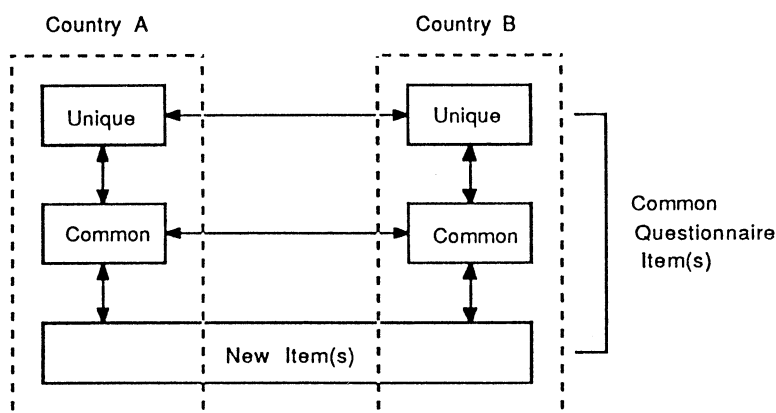


Figure 1. The Measurement Technique Link of Cultural Link Analysis

However, we do not think of cultural link analysis as simply the stringing together of commonalities. In constructing the questionnaire form and developing items as measurement instruments, we select as core items those which, in the two subject societies, have proved themselves (particularly through repeated surveys). This involves studying the core items and apportioning them into those which concern distinctive aspects of each of the subject societies

and those which concern shared features. Then, after confirming the stability of the way in which these two item groups correlate with each other, we proceed to use them as comparison items. By adding new common items to be studied, a graphic depiction showing the chain of comparisons of these two subject societies is created. What serves as the sprocket which connects these various questions is correspondence analysis (the arrows in Figure 1).

Concerning the response structure of each of the societies obtained as the result of correspondence analysis of the item groups, one first extracts the shared aspect of response structure for all of the societies, makes that the central axis, and then positions the other responses relative to it. By doing this, one can distinguish what corresponds with the unique aspects of response pattern in each of the societies and learn about how they relate to shared response patterns. By making clear the successive positioning of each set of responses, one can discern the overall response structure in each society. In this way, through combinations of item responses based on correspondence analysis, it is, for the first time, possible to get an objective picture of the underlying interdependencies among responses. In other words, the similarity and uniqueness in response structures in each of the societies may be thought of as the key to comprehending the structure of their thinking. This achieves the first objective of quantitatively-based comparison.

This is, then, a statistical social research procedure in which one follows the data, taking the analysis to the utmost and objectively weighing the organization of the resulting information. Then one must move on to the next step. It is clear that conventional comparative analysis which does not follow such a process, that is, which compares only response percentages or which simply analyzes by subgroup attributes, provides insufficient information about response structure and therefore does not arrive at comparison in the true sense of the word.

SELECTION OF CORE ITEMS

In selecting the core items, one thinks first of items which have been used in repeated surveys in the various subject societies. First of all, when the same items have been used repeatedly within a society, the likelihood of obtaining unbiased information with them is high in the sense that they have been used stably in that society. Secondly, data contributed by those repeated survey items must serve as a good index of that society in that there is a strong likelihood of obtaining information when one correlates them with changes in the social environment.

Therefore, items which have been used in repeated surveys relate similarity and uniqueness within that social environment (the presence or absence of period and secular

change), and information accumulates in the form of data. Common items used in repeated surveys take the form of showing trends and changes in social attitudes and people's ways of thinking over time. This is social science which isn't subjective, but is rather, empirically based, objectively explicating causal associations among social phenomena. In particular, it searches for the lawfulness in changes in social phenomena. In this sense, it is in accordance with the original aims of social science. Not only is it that, as a technique for explicating the lawfulness of change in social phenomena, such organized, repeated surveys are essential.

Separating the data from repeated surveys into age categories and wholistically connecting them, then trying to separate period effects, age effects, and generation (cohort) effects through cohort analysis was, traditionally, particularly problematic. Through the development of a new cohort analysis method, however, it has now become possible to precisely carry out causal analyses of the process of change in ways of thinking, with the result that the association of these changes in thinking with trends in social change has become clearer from the statistical analysis aspect (Data Analysis for Comparative Social Research, Parts III and IV).

We can say that the sprocket for the temporal aspect of cultural link analysis, that which shows temporal trends, has been completed. With this, the more changeable, floating attitudinal responses are discriminated from the stable basis, and we can extract the stable, predictable portion and use that to construct sets of items to form the central core of the survey. This heightens the possibilities of comparison.

COMPARISON WITH CONVENTIONAL REPEATED SURVEYS

This international comparative study design arose from the program of research and analysis of the Japanese National Character Survey by the Institute of Statistical Mathematics, but it expanded upon that which previously served as a standard in the field. Taking, for example, studies of Japan, the original National Character Study made themes unique to Japan its main subject, added to that items assessing trends within contemporary society, and then took the direction of examining change over time in responses to each of the items.

In contrast, the cultural link analysis method emphasizes *shared* aspects of the societies being compared, while at the same time making the fundamentally unique aspects of these societies objects for observation as well. To do this, it employs those items whose character is well understood as measurement instruments. In other words, bearing in mind what the basic aspects should be and how they should relate to long term temporal changes should be associated, the method attaches importance to the mutual comparison of the

interdependencies which should emerge among the unique and shared aspects of the various societies.

Consequently, the construction of the questionnaire and even the ideology behind the development or selection of the items differ between the two approaches. Of course in the sense that the character of the repeated survey items is well understood, the likelihood that there will be common items in both is very high.

As described above, the effective application of cultural link analysis will be achieved through careful utilization and precise analysis of suitably chosen and assembled item sets using such state of the art statistical techniques as correspondence analysis and cohort analysis of repeated survey data. If one takes the point of view expressed by Kuhn, who thought of paradigms as not only concepts and laws, but rather more importantly as constellations of methodological principles, values, and the viewpoints one must take, then investigating effective applications of cultural link analysis is commensurate with constructing a new paradigm for the scientific study of social phenomena.

Notes

1 Correspondence analysis is a factor analytic method developed independently by Guttman (1950), Hayashi (1956) and Benzecri, et. al., (1973). This method is a variation of principal component analysis, based on qualitative data expressed through categorical responses. The aim of this method is to represent and visualize response categories of questions as points in Euclidian space (two-dimensional space is the most convenient and easiest to understand), based on information showing the similarity among the categories, where this similarity indicates the degree of mutually correlated relationships between two response categories. As a result, a configuration of relative locations of points (i.e., response categories) is obtained, with the remoteness or proximity of the points representing the degree of similarity. Interpretation of categories and questions is thereby facilitated, simplifying understanding of their meaning. Correspondence analysis has been widely and fruitfully applied where quantitative data are needed across a broad spectrum of fields such as political science and sociology in the social sciences, and extending to medicine, biology, and forestry.

2 The construction of this kind of system will revolutionize social survey methods and is the necessary first step for advancing empirical, scientific study and international collaborative research on social phenomena of contemporary times. It also provides for the international dissemination of the results and their utilization by and for society. Improvements recognized in

hardware and systems are indispensable for this progress. Through the construction of Multi PASS (Multiplex Analyzing System for Social Surveys), analysis of data from specific applications of cultural link analysis can be conducted smoothly using successive approximation methods. The method allows a smooth progression from analysis to analysis as initial conditions are gradually revised. It can be expected that research efficiency will increase markedly with these developments.

REFERENCES

- Almond G.A. and Verba, S. (1963). *The Civic Culture*. Princeton : Princeton University Press.
- Benzecri, J.P., et al. (1973). *L'Analyse des Donneés 1,2*. Paris: Dunod.
- Davis, J.A. and Smith, T.W. (1986). *General Social Surveys, 1972-1986 : Cumulative Codebook*. Chicago : National Opinion Research Center.
- Gallup, George H. 1976. Human needs and satisfactions : A global survey. *Public Opinion Quarterly* . 40, 459-67.
- Guttman, L. (1950). The principal components of scale analysis. In *Measurement and Prediction*, eds. S.A. Stouffer, L. Guttman, E.A. Suchman, P.F. Lazarsfeld, S.A. Star, et al. Princeton : Princeton University Press.
- Hayashi, C. (1956). Theory and example of quantification (II). *Proceedings of the Institute of Statistical Mathematics*. 4, 19-30.
- Hayashi, C. (1987). Statistical study on Japanese national character. *Journal of the Japanese Statistical Society (special issue)* : 71-95.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1974). Quantitative approach to a cross-societal research-I, A comparative study of Japanese national character. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 26 (3), 455-516.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1975). Quantitative approach to a cross-societal research-II, A comparative study of Japanese national character. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 27 (1), 1-32.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1984). Changes in belief systems, quality of life issues and social conditions over 25 years in post-war Japan. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 36 : 135-61.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1986). *Data Analysis for Comparative Social Research : International Perspectives*. Tokyo : Iwanami. (in Japanese).
- Hayashi, C., Hayashi, F., Suzuki, T., Lebart, L. and Kuroda, Y. (1985). Comparative Study of Quality of Life and Multidimensional Data Analysis ; Japan. France and Hawaii. *Fourth International Symposium, Data Analysis and Informatics* (Versaille, France, Oct., 1985). INRIA, 573-583.

- Ikeuchi, H. and Miyake, I. (1974). *Shimin-ishiki no kenkyu : Political Participation and Equality in Japan*. Tokyo : Tokyo University Press.
- Inglehart, Ronald. (1977). *The silent revolution : Changing values and political styles among Western publics*. Princeton : Princeton University Press.
- Inglehart, Ronald. (1990). *Culture Shift in Advanced Industrial Society*. Princeton : Princeton University Press .
- Kuhn, Thomas S. (1962). *The Structure of Scientific Revolutions*. Chicago : The University of Chicago Press
- Nakamura, T. (1982). A Bayesian cohort model for Standard cohort table analysis. *Proceedings of the Institute of Statistical Mathematics*. 29, 77-97. (in Japanese).
- Nakamura, T. (1986). Bayesian cohort models for general cohort table analyses. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 38, (Part B), 353-70.
- Research committee on the study of the Japanese national character (1977). *Changing Japanese Values*, Tokyo : The Institute of Statistical Mathematics.
- Stoetzel, Jean. (1983). *Les Valeurs du Temps Present : une enquête européenne*. Paris : Presses Universitaires de France.
- Suzuki, T. (1970). A study of the Japanese national character, Part IV- Fourth Nation-Wide Survey. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. Suppl. 6, 1-80.
- Suzuki, T. (1984). Ways of life and social milieus in Japan and the United States : A comparative study. *Behaviormetrika*. 15, 77-108.
- Suzuki, T. (1986). Macro analyses using cohort analysis. In Hayashi, C. and Suzuki, T. *Data Analysis for Comparative Social Research : International Perspectives*. pp.93-139. Tokyo : Iwanami, (in Japanese).
- Suzuki, T. and Leghorn, R.Y. (1985). Age, sex and cohort : Explicating social change in post-war Japan. *Behaviormetrika*. 18, 1-16.
- Suzuki, T. et al. (1972). A Study of Japanese-Americans in Honolulu, Hawaii. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. Sup.7.
- Szalai, Alexander. (1972). *The Use of Time*. The Hague : Mouton.
- Szalai, Alexander and Andrews, Frank M. (1980). *The Quality of Life : Comparative Studies*. Beverly Hills : Sage.
- The Commission of the European Communities (1988). *Eurobaromètre*. Brussels : The Commission of the European Communities.
- Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1961). *Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character)*. Tokyo : Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1970). *Daini Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol.II)*. Tokyo : Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1975). *Daisan Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol.III)*. Tokyo : Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1982). *Daiyon Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol.IV)*. Tokyo : Shiseido.

Treiman, Donald J. (1977). *Occupational Prestige in Comparative Perspective*. New York : Academic Press.

Verba, S., Nie, N. H., and Kim, Jae-On (1985). Political Participation and Equality in Seven Nations 1966-1971 (ICPSR 7768). *ICPSR Guide to Resources and Services*. Ann Arbor : University of Michigan.

質問項目履歴一覧表

意識の国際比較方法論の研究
第3部 [IV] 調査票と総括表

質問項目履歴一覧表

1987年ヨーロッパ3カ国調査 } 質問項目出典一覧*
1988年アメリカ、日本調査

	原質問項目	調査	項目数 (延項目数)		他調査との重複等
継続調査	日本	国民性	30	(34)	
	アメリカ	ISR	6	(6)	GSS (2) EC (2)
		GSS	1	(1)	
	フランス	CREDOC	23	(53)	ALLBUS (2) GSS (3)
	EC	Eurobarometer	5	(5)	ALLBUS (1)
比較調査	1978	アメリカ調査	4	(4)	ISR (2) EC (1)
	1987	科学技術調査	2	(7)	
新			2	(2)	
	政治の質問項目 は各国異なる		2	(4~6)	
	合 計		75	$\left(\begin{matrix} 117 \\ 1 \\ 119 \end{matrix} \right)$	

	統 数 研 日本人の国民性の研究							
1987 ヨーロッパ（独，仏，英） 1988 日米調査項目	'53 K S I	'58 Ⅱ	'63 Ⅲ	'68 Ⅳ	'73 Ⅴ	'78 Ⅵ	'83 Ⅶ	'88 Ⅷ
1-#7.30B 国の生活水準10年の変化 Standard of living in country 10 years ago							M14b	
2-#7.30A あなたの生活水準10年の変化 Your standard of living 10 years ago							M14a	M25
3-#7.31 今後の生活水準 Living conditions in future							M15	
4-#7.18E 幸福になるか Happiness in future					M27e	M25e		
5-#7.18B 心の安らかさはますか Peace of mind					M27b	M25b		
6-#7.18C 人間の自由はふえるか Freedom					M27c	M25c		
7-#7.18 人間の健康の面はよくなるか People's health					M27a	M25a		
8-#8.80 国家目標 The country's goal								
9-#2.30 不安感－重い病気 Extent of worry: serious illness							M25a	
9-#2.30D 不安感－交通事故 Extent of worry: car accident							M25d	
9-#2.30E 不安感－失業 Extent of worry: unemployment							M25e	
9-#2.30F 不安感－戦争 Extent of worry: war							M25f	
9-#2.30G 不安感－原子力施設の事故 Extent of worry: nuclear power accident							M25g	
10-#7.80A 家計の節約－医療 Household expenses: health care								
10-#7.80B 家計の節約－車 Household expenses: motoring costs								
10-#7.80C 家計の節約－家庭用品 Household expenses: home appliances								
10-#7.80D 家計の節約－食料品 Household expenses: food								
10-#7.80E 家計の節約－美容 Household expenses: beauty care								
10-#7.80F 家計の節約－バカンス，休暇 Household expenses: vacation and leisure								
10-#7.80G 家計の節約－衣服 Household expenses: clothes								
10-#7.80H 家計の節約－住居 Household expenses: housing								
10-#7.80I 家計の節約－子供の養育 Household expenses: expenses for children								
10-#7.80J 家計の節約－タバコ，アルコール Household expenses: smoking or drinking								

統数研 ハワイ日系人調査				トヨタ ア メ リ カ '78	France CREDOC	
'72 I	'78 II	'83 III	'88 IV		1979	1982 1984
		22	1		G13	J 5 J 5
		21	2		G13	J 5 J 5
		23	3		G14	J 6 J 6
		1				
	11	3	5			
	12	4				
	10	2	7			
		44				ALL82 Q32 I S R
		50 a	9 a			N6 N5
		50 d	9 b			N6 N5
		50 e	9 c			N6 N5
		50 f	9 d			N6 —
		50 g	9 e			N6 —
					G10	J 4 J 4
					G10	J 4 J 4
					G10	J 4 J 4
					G10	J 4 J 4
					G10	J 4 J 4
					G10	J 4 J 4
					G10	J 4 J 4
					G10	J 4 J 4
					G10	J 4 J 4
					G10	J 4 J 4

		統 数 研 日本人の国民性の研究							
		'53 KS I	'58 II	'63 III	'68 IV	'73 V	'78 VI	'83 VII	'88 VIII
11-#4.11	先祖を尊ぶか Respect for ancestors	3				K 20	K 10	K 14	K 12
12-#4.10	他人の子供を養子にするか Adopt a child	23の1	106	2	2	K 3	K 3	M 3	K 2
13-#4.80	望ましい子供の数 Ideal number of children								
14-#2.80A	病気－頭痛、偏頭痛 Health problems: headaches, migraines								
14-#2.80B	病気－背中の痛み Health problems: backaches								
14-#2.80C	病気－神経の興奮 Health problems: nervousness								
14-#2.80D	病気－鬱病 Health problems: depression								
14-#2.80E	病気－不眠症 Health problems: insomnia								
15-#2.3G	健康状態満足か Satisfaction with health							M 13	
16-#1.8	社会的階層 Living class							K 33 M 30	K 32 M 23
17-#7.81	収入か余暇か Choose money or free time								
18-#2.8	一生働くか If had enough money, still work?					M 2	K 1	K 2 M 1	K 3 M 1
19-#7.25	お金と仕事 Life without work							K 24	K 23 M 11
20-#7.24	就職の第1の条件 Most important aspect of job						K 24a	K 25 M 23	K 24 M 17
21-#2.81	仕事と個人生活 Work conflicts with private life								
22-#2.4	くらし方 Attitudes towards life	39	22	26	31	K 34	K 19	K 20 M 20	K 18 M 9
23-#2.3F	生活環境満足か Quality of life in the area where you live							M 12	
24-#5.80A	近所の治安－強盗にはいられること Safety in neighborhood: burglary								
24-#5.80B	近所の治安－急に襲われて身の危険を感じる Personal safety								
25-#7.82	アリとキリギリス The idle grasshopper and diligent ant								
26-#2.7A	一番大切なもの The most important thing in life	47	29 129	29	34	K 41	K 32	K 13	K 11
26-#2.7B	その他 非常に大切なもの Other important things								
27-#5.81A	生活領域の重要性－あなた自身の家族と子供 Importance: immediate family and children								
27-#5.81B	生活領域の重要性－職業や仕事 Importance: career and work								
27-#5.81C	生活領域の重要性－自由になる時間とくつろぎ Importance: free time and relaxation								

統数研 ハワイ日系人調査				トヨタ ア メ リ カ '78	France CREDOC		
'72 I	'78 II	'83 III	'88 IV		1979	1982 1984	
	73	14	11	14			
9	4	7	12	4			
					C1	C7 C9	GSS88 211
					F3	I2 I2	
					F3	I2 I2	
					F3	I2 I2	
					F3	I2 I2	
					F3	I2 I2	
						I3 I3	
				44			ALL82 Q28 ISR
						G33 G27	
	2	5	18	2			GSS88 181 ISR
		43	20	33			ALL82 GSS88 Q6 182
					E22	G32 G26	
44	26*	29	22	26			
		20	23		D15	D13 D15	
						— D17	
						— D17	
							新
			26A				
			26B				
							GSS88 (82のみ) 282A
							GSS88 (82のみ) 282B
							GSS88 (82のみ) 282C

		統 数 研 日本人の国民性の研究							
		'53 KS I	'58 II	'63 III	'68 IV	'73 V	'78 VI	'83 VII	'88 VIII
27-#5.81D	生活領域の重要性－友人，知人 Importance: friends								
27-#5.81E	生活領域の重要性－両親，兄弟，姉妹，親戚 Importance: parents and other relative								
27-#5.81F	生活領域の重要性－宗教 Importance: religion and church								
27-#5.81G	生活領域の重要性－政治，公的生活 Importance: politics								
28-#2.3C	家庭に満足か Satisfaction with family life					M9 a	M5 a	K32a	
29-#2.82	生活に満足か Satisfaction with life								
30-#7.19	才能か運か Success: ability or luck						M2		M6
31-#4.81	生活保護の考え方 Attitude towards governmental assistance								
32-#7.1	人間らしさはへるか Science and loss of human feeling	5	3	6	7	K10	K2	K3 M2	K4
33-#4.5	子供に「金は大切」と教えるか Teaching children money is important	24の1		5	5	K6	K5	K5 M4	K6
34-#8.1B	政治家にまかせるか Leave it up to political leaders						K8	K10 M7	K8
35-#2.1	しきたりに従うか Custom versus conscience	4	7 107	7	8	K11	K6	K6 M5	K7
36-#7.2	心の豊かさはへらないか Mechanization and human feeling	29	24	12	13	K18	K12	M8	K27
37-#4.30	家庭はくつろぐ場所 Home is relaxing place							M9	
38-#4.32	離婚すべきではないか Marriage is permanent							M11	
39-#4.31	家事や子供の世話 Housework and child care							M10	
40-#4.4	先生が悪いことをした Rumor about teacher	9	6	4	4	K5	K4	K4	K5
41-#5.1	恩人がキトクのとき Benefactor on death-bed	41	111 a	13 a	15 a	K21a	K15a	K16a M16a	K14a
42-#5.1B	親がキトクのとき Real father on death-bed	42	111 b	13 b	15 b	K21b	K15b		
43-#2.5	自然と人間との関係 Man and nature	34	15	15	17	K23 M20	K16	K17 M17	K15
44-#7.4	国と個人の幸福 Improve the country or make people happy	45		16	19	K25	K17	K18 M18	K16
45-#5.1D	大切な道徳－親孝行をすること Important things: filial piety			17	20	K26	K18	K19	K17
	大切な道徳－恩返しをすること Important things: repaying obligations			・	・	・	・	・	・
	大切な道徳－個人の権利を尊重すること Important things: respect for individual rights			・	・	・	・	・	・
	大切な道徳－自由を尊重すること Important things: respect for individual freedom			・	・	・	・	・	・
	大切な道徳－その他（記入）			・	・	・	・	・	・

統数研 ハワイ日系人調査				トヨタ アメリカ '78	France CREDOC		
'72 I	'78 II	'83 III	'88 IV		1979	1982 1984	
							GSS 88 (82 のみ) 282 d
							GSS 88 (82 のみ) 282 e (Relative)
							GSS 88 (82 のみ) 282 f
							GSS 88 (82 のみ) 282 g (Politic life)
	38	38	28	31*			ISR
	40	39	29	32*			
	3	6		3			
						M7 M5	
13		10	32	7			
11	6	9	33	6			
18	8*	11	34	9			
15	7	12	35	8			
19		15	36	11			
		16	37		C4	C1 C1	
		17	38		C5	C2 C2	
		18	39		C9	C6 —	
10	5	8	40	5			
22	20	24	41	15			
23	21	25	42	16			
25	22	26	43	17			
28	23	27	44	18			
29	24a	28	45	19			
,	b	,	,	,			
,	c	,	,	,			
,	d	,	,	,			
,		,	,	,			

統 数 研 日本人の国民性の研究

	'53 KS I	'58 II	'63 III	'68 IV	'73 V	'78 VI
46-#5.6H 他人との仲か仕事か Desirable person: efficient versus friendly						K14
47-#2.2B スジかまるくか Consensus versus own principle						K13
48-#5.1C1 入社試験（親戚） Employment examination: relative			20 a	22 a	K28a M16a	K21a
49-#5.1C2 入社試験（恩人の子） Employment examination: son of benefactor			20 b	22 b	K28b M16b	K21b
50-#5.6 めんどうをみる課長 Type of boss preferred	35	117	21	23	K29	K22
51-#2.12 他人のためか自分のためか Are people helpful most of the time						K27
52-#2.12B スキがあれば利用されるか Are most people fair						K28
53-#2.12C 人は信頼できるか Are most people trustworthy						K29
54-#2.83A 現代生活の個人態度－他人を助ける Life: most people are helpful						
54-#2.83B 現代生活の個人態度－共同体 Life: part of community						
54-#2.83C 現代生活の個人態度－その日その日 Life: people live for today						
54-#2.83D 現代生活の個人態度－収入より手段 Life: way of earning money is more important than amount						
54-#2.83E 現代生活の個人態度－孤独感 Life: people often feel lonely						
55-#7.36 科学上の発見・利用は生活に役立つか Improvement of everyday life through science						
56-#7.33 コンピュータ社会は望ましいか Computers change our lives						
57-#7.83 科学技術－病気の治療 Some illness treated by methods other than modern medicine						
57-#7.84 科学技術－人間の心の解明 Science permits understanding of the human mind						
57-#7.85 科学技術－経済的・社会的問題の解決 Resolution of social and economic problems through science						
58-#7.86A 今後の25年－原子力廃棄物の安全な処理方法 The next 25 years: safe method for nuclear waste disposal						
58-#7.86B 今後の25年－ガンの治療方法の解明 The next 25 years: cure for cancer						
58-#7.86C 今後の25年－老人性痴呆症の治療方法の解明 The next 25 years: cure for senility						
58-#7.86D 今後の25年－宇宙ステーションでの生活 The next 25 years: living in space stations						
59-#7.34 省エネルギーは重要か Energy conservation						
60-#7.35 環境の保護は重要か Environmental preservation						
61-#9.80 文化（各国の文化） Culture						

		統数研 ハワイ日系人調査					France CREDOC		
'83 Ⅶ	'88 Ⅷ	'72 Ⅰ	'78 Ⅱ	'83 Ⅲ	'88 Ⅳ	トヨタ アメリ リカ '78	1979	1982 1984	
K 26			27	30	46	27			
K 27	K 25	31	28	31	47	21			
K 22a M 21a	K 21a	32	29	32	48	22			
K 22b M 21b	K 21b	33	30	33	49	23			
K 23 M 22	K 22 M 18	34	31	35	50	24			
K 7			60	40	51	38			GSS88 158 I S R
K 8			61	41	52	39			GSS88 159 I S R
K 9			62	42	53	40			GSS88 160A I S R
							L 6		
							L 6		
							L 6		GSS88 (176)
							L 6		
							L 6		
M 28				56	55		P 1	N 3 N 3	
M 26				52	56		P 2	N 4 N 4	
									1987 科学技術 NSF Q6 - (1) SOFRES
									1987 科学技術 NSF Q9 - (3)* SOFRES
									1987 科学技術 Q9 - (7)*
									1987 科学技術 Q18 - (1) NSF
									1987 科学技術 Q18 - (2) NSF
									1987 科学技術 Q18 - (4) NSF
									1987 科学技術 Q18 - (6)
M 27a				53	59			E 14 —	
M 27b				54	60		D 22	F 1 F 1	
					61				

		統 数 研 日本人の国民性の研究							
		'53 KS I	'58 II	'63 III	'68 IV	'73 V	'78 VI	'83 VII	'88 VIII
62-#3.1A	宗教を信じるか Religious faith		16 a	28 a	33 a	K 19 a	K 11 a	K 15 a	K 13 a
62-#3.1B	(Aで信じている人に) 何という宗教か Religion		16 b	28 a	33 a	K 19 a			
63-#3.2	「宗教心」は大切か Religious attitude		16 c	28 b	33 b	K 19 b	K 11 b	K 15 b	K 13 b
64-#3.3	宗教は1つか All religions same		17						
65-#8.81	革新か保守か Political stance								
66-#8.82	政治関心 Interest in politics								
67-#8.2E	「民主主義」はよいか Democracy			27 a	32 a	K 35 a			
67-#8.2F	「資本主義」はよいか Capitalism			27 b	32 b	K 35 b			
67-#8.2H	「社会主義」はよいか Socialism			27 d	32 d	K 35 d			
67-#8.2G	「自由主義」はよいか Liberalism			27 c	32 c	K 35 c			
68-#8.83	民主政治に満足か Satisfaction with democracy								
69-#8.84	裁判制度は機能しているか Legal system								
70-#7.87	労働者階級と資本家階級 Employer versus employee								
71-#8.8	社会は変えるべきか Attitudes concerning society						K 26		
72-#8.85A	社会の根本改革は必要か Profound transformation of society								
72-#8.85B	社会の根本改革 The way of changing society								
73-#8.7	支持政党 Political party	58	35 135	35	39	K 40 M 28	K 31 M 26	K 支持 M 支持	K 支持 M 支持
74-#8.86	政党支持 (強度) Close to party								
75-#8.87	主要政党への好嫌度 Feeling thermometer								
組合に入っているか ?									

統数研 ハワイ日系人調査				トヨタ ア メ リ カ '78	France CREDOC		
'72 I	'78 II	'83 III	'88 IV		1979	1982 1984	
49	F2*	F01	62a				
50	F3	F02	62b				ALL82 S33
	F5	F03	63	42			
	F7	F04	64	43			
							GSS88 (68B) EC
	F8	F05	66				ALL82 Q31 EC
45	11	37a	67a				
46	12	37b	67b				
48	13	37c	67c				
47	15	37e	67d				
							EC
		55	69		K1	N1 N1	
				37			
	35	36	71	30			EC
		37			L1	N2a N2a	
					L2	N2b N2b	
							EC
							GSS88 196

意識の国際比較
1987年ヨーロッパ3カ国調査
1988年アメリカ、日本調査

<注>

◎主に参照した調査

フランス82: CREDOCの調査、79、82、84年調査
日本83: 「日本人の国民性」83年調査
ハワイ83: ハワイ・ホノルル市民調査(83年)
アメリカ78: 1978年アメリカ調査 等

◎それ以外で参照した調査

ISR: ミシガン大学社会調査研究所調査
GSS: シカゴ大学NORC: 一般社会調査
13カ国: 1980年13カ国価値観調査
ヨーロッパ9カ国: ヨーロッパ9カ国価値観調査(1981)
V: 国民性73年調査 II: 国民性58年調査
VI: 国民性78年調査
NSF: アメリカ1985年調査(科学技術に関する)
SOFRES: フランス1982年調査(同上)
科学技術87: 日本1987年3月調査(同上)
Eurobarometer: 1987(or 1973~)
ALLBUS: 1980、1982ドイツ一般社会調査

◎質問項目ごとの回答選択肢のちがい等

Q11 #4.11

* 回答選択肢: 国により異なる

1. More 2. Less 3. Same

要注イ! フランス、イギリス、ハワイ、アメリカ78

1. More 2. Same 3. Less 日本、ドイツ

Q12 #4.10

** 英語質問文小変更: (アメリカ78とイギリスは異なる)

Q16 #1.8

* アメリカ78とハワイ83: 選択肢異なる

1. Upper 2. Middle 3. Working 4. Lower

Q18 #2.8

** (質問文小変更) continue to work.. → still want to work ..

Q28 (#2.3C)

* 日本の選択肢は異なる、中間項なし、参考資料

Q32 #7.1

** 日本の回答選択肢のコード

- | | | |
|----------|--------------|----------------------|
| 1. Agree | 2. Disagree | 3. 中間: ドイツ、フランス、イギリス |
| 1. 賛成 | 2. いちがいにいえない | 3. 反対: 日本 |

Q33 #4.5

* 質問文小変更: money is the most important ..
→... is one of the most

アメリカ	78	
ハワイ	83	は参考
日本	83	

Q34 #8.1b

** 回答肢に中間項入れる

アメリカ	78	
ハワイ	83	は参考
日本	83	

Q36 #7.2

***回答選択肢のコード:

- | | | |
|----------|-------------|--------------------------|
| 1. Agree | 2. Disagree | 3. 中間: |
| | | ドイツ、フランス、イギリス、アメリカ78、ハワイ |
| 1. 反対 | 2. 中間 | 3. 賛成: 日本 |

Q40 #4.4

****回答選択肢のコード:

[日本は 1. そんなことない 2. 本当だという、他は逆
ハワイ

Q55 #7.36

* 回答選択肢: 1. a lot 2. A little bit

- | |
|--------------------------------|
| 3. Not at all: ドイツ、イギリス、ハワイ、日本 |
| 1. un peu 2. beaucoup |
| 3. Pas du tout: フランス、フランス82 |

Q57 # 7.84

* * 質問文 ; 科学技術87と NSF は今回および SOFRES と逆にきいている

Q65 # 8.81

* 85 : Eurobarometer 1985.12 Vol. 24より

Q68 # 8.83

* 87 : Eurobarometer 1987. 6. Vol. 27より

Q66 # 8.82

* 83 : Eurobarometer 1983. 6 Vol. 19より

Q72a # 8.85

* ハワイは質問文すこし異なる : 参考

Q75 # 8.87

* * Q75 (# 8.87) はそれぞれの国により異なる

日 本 : # 8.87J - 1 ~

ハ ワ イ : # 8.87H - 1 ~

アメリカ : # 8.87A - 1 ~

ド イ ツ : # 8.87D - 1 ~

フランス : # 8.87F - 1 ~

イギリス : # 8.87E - 1 ~

Q71 (# 8.8)

87 : Eurobarometer 1987. 6. Vol. 27より

Q74 # 8.86

85 : Eurobarometer 1985. 12. Vol. 24より

その他の有無、リストの有無
一 覧 表

1987ヨーロッパ(独,仏,英)1988日米調査項目

1-#7.30B	国の生活水準10年の変化 Standard of living in country 10 years ago	
2-#7.30A	あなたの生活水準10年の変化 Your standard of living 10 years ago	
3-#7.31	今後の生活水準 Living conditions in future	
4-#7.18E	幸福になるか Happiness in future	
5-#7.18B	心の安らかさはますか Peace of mind	
6-#7.18C	人間の自由はふえるか Freedom	
7-#7.18	人間の健康の面はよくなるか People's health	
8-#8.80	国家目標 The country's goal	4ページ
9-#2.30	不安感-重い病気 Extent of worry: serious illness	12ページ
9-#2.30D	不安感-交通事故 Extent of worry: car accident	
9-#2.30E	不安感-失業 Extent of worry: unemployment	
9-#2.30F	不安感-戦争 Extent of worry: war	
9-#2.30G	不安感-原子力施設の事故 Extent of worry: nuclear power accident	
10-#7.80A	家計の節約-医療 Household expenses: health care	18ページ
10-#7.80B	家計の節約-車 Household expenses: motoring costs	
10-#7.80C	家計の節約-家庭用品 Household expenses: home appliances	
10-#7.80D	家計の節約-食料品 Household expenses: food	
10-#7.80E	家計の節約-美容 Household expenses: beauty care	
10-#7.80F	家計の節約-バカンス, 休暇 Household expenses: vacation and leisure	
10-#7.80G	家計の節約-衣服 Household expenses: clothes	
10-#7.80H	家計の節約-住居 Household expenses: housing	
10-#7.80I	家計の節約-子供の養育 Household expenses: expenses for children	
10-#7.80J	家計の節約-タバコ, アルコール Household expenses: smoking or drinking	

その他の有無 (カテゴリー 番号記入)					リスト番号記入 リストの有無				
FRG	France	UK	USA	Japan	FRG	France	UK	USA	Japan
				6					1
				6					1
				6		3			2
			4	4					
4	4	4	4	4					
			4	4					
			4	4					
5	5	5	5	5	1	8	A	8	3
				5	2	9	B	9	4
				5	2	9	B	9	4
				5	2	9	B	9	4
				5	2	9	B	9	4
				5	2	9	B	9	4
				8					5
				8					5
				8					5
				8					5
				8					5
				8					5
				8					5
				8					5
				8					5
				8					5

掲載様式が
異なるもの

11-#4.11	先祖を尊ぶか Respect for ancestors	
12-#4.10	他人の子供を養子にするか Adopt a child	
13-#4.80	望ましい子供の数 Ideal number of children	4ページ
14-#2.80A	病気－頭痛、偏頭痛 Health problems: headaches, migraines	12ページ
14-#2.80B	病気－背中の痛み Health problems: backaches	
14-#2.80C	病気－神経の興奮 Health problems: nervousness	
14-#2.80D	病気－鬱病 Health problems: depression	
14-#2.80E	病気－不眠症 Health problems: insomnia	
15-#2.3G	健康状態満足か Satisfaction with health	
16-#1.8	社会的階層 Living class	
17-#7.81	収入か余暇か Choose money or free time	
18-#2.8	一生働くか If had enough money, still work?	
19-#7.25	お金と仕事 Life without work	
20-#7.24	就職の第1の条件 Most important aspect of job	4ページ
21-#2.81	仕事と個人生活 Work conflicts with private life	
22-#2.4	くらし方 Attitudes towards life	6ページ
23-#2.8F	生活環境満足か Quality of life in the area where you live	
24-#5.80A	近所の治安－強盗にはいられること Safety in neighborhood: burglary	6ページ
24-#5.80B	近所の治安－急に襲われて身の危険を感じる Personal safety	
25-#7.82	アリとキリギリス The idle grasshopper and diligent ant	4ページ
26-#2.7A	一番大切なもの The most important thing in life	4ページ
26-#2.7B	その他 非常に大切なもの Other important things	
27-#5.81A	生活領域の重要性－あなた自身の家族と子供 Importance: immediate family and children	
27-#5.81B	生活領域の重要性－職業や仕事 Importance: career and work	
27-#5.81C	生活領域の重要性－自由になる時間とくつろぎ Importance: free time and relaxation	
27-#5.81D	生活領域の重要性－友人、知人 Importance: friends	18ページ

その他の有無 * は調査終了後加わったカテゴリー					リ ス ト の 有 無				
FRG	France	UK	USA	Japan	FRG	France	UK	USA	Japan
4	4	4	4	4					
4	4	*5 4	*5 4	4					
			Itdehart 8						
				8					6
				8					6
				8					6
				8					6
				8					6
				5					7
				6	3	16	C	16	8
				3					9
3	3	*4 3	*4.5 3	3					
				3	4	19	D	19	10
			5	5	5	20	E	20	11
				3					
7	7	7	7	7	6	22	F	22	12
				5			G		13
				5	7	24	H	24	14
				5	7	24	H	24	14
3	3	3	3	3	8	25	I	25	15
				8	9	27	J	27	16
				8	9	27	J	27	16
				8	9	27	J	27	16
				8	9	27	J	27	16

掲載様式が
異なるもの

27-#5.81E	生活領域の重要性－両親，兄弟，姉妹，親戚 Importance: parents and other relative	18ページ
27-#5.81F	生活領域の重要性－宗教 Importance: religion and church	
27-#5.81G	生活領域の重要性－政治，公的生活 Importance: politics	
28-#2.3C	家庭に満足か Satisfaction with family life	
29-#2.82	生活に満足か Satisfaction with life	
30-#7.19	才能か運か Success: ability or luck	
31-#4.81	生活保護の考え方 Attitude towards governmental assistance	
32-#7.1	人間らしさはへるか Science and loss of human feeling	
33-#4.5	子供に「金は大切」と教えるか Teaching children money is important	
34-#8.1B	政治家にまかせるか Leave it up to political leaders	
35-#2.1	しきたりに従うか Custom versus conscience	
36-#7.2	心の豊かさはへらないか Mechanization and human feeling	
37-#4.30	家庭はくつろぐ場所 Home is relaxing place	
38-#4.32	離婚すべきではないか Marriage is permanent	
39-#4.31	家事や子供の世話 Housework and child care	
40-#4.4	先生が悪いことをした Rumor about teacher	
41-#5.1	恩人がキトクするとき Benefactor on death-bed	4ページ
42-#5.1B	親がキトクするとき Real father on death-bed	
43-#2.5	自然と人間との関係 Man and nature	4ページ
44-#7.4	国と個人の幸福 Improve the country or make people happy	4ページ
45-#5.1D	大切な道徳－親孝行をすること Important things: filial piety	12ページ
	大切な道徳－恩返しをすること Important things: repaying obligations	
	大切な道徳－個人の権利を尊重すること Important things: respect for individual rights	
	大切な道徳－自由を尊重すること Important things: respect for individual freedom	
	大切な道徳－その他（記入）、	
	大切な道徳－D K	

その他の有無 *は調査終了後加わったカテゴリー					リ ス ト の 有 無				
FRG	France	UK	USA	Japan	FRG	France	UK	USA	Japan
				8	9	27	J	27	16
				8	9	27	J	27	16
				8	9	27	J	27	16
			6	6	10	28	K	28	17
			6	6	10	29	K	28	17
3	3	3	*4 3	3					
3	3	3	*4 3	3			L	31	18
			4	4					
4	4	4	4	4					
			4	4					
4	4	4	4	4					
			4	4					
3	3	3	3	3					19
				4	11	38	M	38	20
4	4	4		4	12	39	N	39	21
3	3	*4.5.6 3	*4 3	3					
3	3	3	*4 3	3	13	41	O	41	22
3	3	3	*4 3	3	14	42	O	42	22
4	4	4	4	4	15	43	P	43	23
			4	4	16	44	Q	44	24
					17	45	R	45	25
					17	45	R	45	25
					17	45	R	45	25
					17	45	R	45	25
1	1	1	1	1	17	45	R	45	25
					17	45	R	45	25

掲載様式が
異なるもの

46-#5.6H	他人との仲か仕事か Desirable person: efficient versus friendly	4ページ
47-#2.2B	スジかまるくか Consensus versus own principle	4ページ
48-#5.1C1	入社試験（親戚） Employment examination: relative	4ページ
49-#5.1C2	入社試験（恩人の子） Employment examination: son of benefactor	4ページ
50-#5.6	めんどろをみる課長 Type of boss preferred	4ページ
51-#2.12	他人のためか自分のためか Are people helpful most of the time	
52-#2.12B	スキがあれば利用されるか Are most people fair	
53-#2.12C	人は信頼できるか Are most people trustworthy	
54-#2.83A	現代生活の個人態度－他人を助ける Life: most people are helpful	12ページ
54-#2.83B	現代生活の個人態度－共同体 Life: part of community	
54-#2.83C	現代生活の個人態度－その日その日 Life: people live for today	
54-#2.83D	現代生活の個人態度－収入より手段 Life: way of earning money is more important than amount	
54-#2.83E	現代生活の個人態度－孤独感 Life: people often feel lonely	
55-#7.36	科学上の発見・利用は生活に役立つか Improvement of everyday life through science	
56-#7.33	コンピュータ社会は望ましいか Computers change our lives	
57-#7.83	科学技術－病気の治療 Some illness treated by methods other than modern medicine	12ページ
57-#7.84	科学技術－人間の心の解明 Science permits understanding of the human mind	
57-#7.85	科学技術－経済的・社会的問題の解決 Resolution of social and economic problems through science	
58-#7.86A	今後の25年－原子力廃棄物の安全な処理方法 The next 25 years: safe method for nuclear waste disposal	12ページ
58-#7.86B	今後の25年－ガンの治療方法の解明 The next 25 years: cure for cancer	
58-#7.86C	今後の25年－老人性痴呆症の治療方法の解明 The next 25 years: cure for senility	
58-#7.86D	今後の25年－宇宙ステーションでの生活 The next 25 years: living in space stations	
59-#7.34	省エネルギーは重要か Energy conservation	
60-#7.35	環境の保護は重要か Environmental preservation	
61-#9.80	文化（各国の文化） Culture	

その他の有無 *は調査終了後加わったカテゴリー					リ ス ト の 有 無				
FRG	France	UK	USA	Japan	FRG	France	UK	USA	Japan
			3	3	18	46	S	46	26
			3	3	19	47	T	47	27
3	3	3	3	3	20	48	U	48	28
3	3	3	3	3	21	49	V	49	29
			3	3	22	50	W	50	30
3	3	3	3	3					
3	3	3	3	3					
3	3	3	3	3					
				5	23	54	X	54	31
				5	23	54	X	54	31
				5	23	54	X	54	31
				5	23	54	X	54	31
				5	23	54	X	54	31
				4					32
				4				56	33
				5	23	57	X	57	34
				5	23	57	X	57	34
				5	23	57	X	57	34
				4	24	58	Y	58	35
				4	24	58	Y	58	35
				4	24	58	Y	58	35
				4	24	58	Y	58	35
				5					36
				5					36

掲載様式が
異なるもの

62-#3.1A 宗教を信じるか Religious faith	6 ページ
62-#3.1B (Aで信じている人に) 何という宗教か Religion	
63-#3.2 「宗教心」は大切か Religious attitude	
64-#3.3 宗教は1つか All religions same	
65-#8.81 革新か保守か Political stance	6 ページ
66-#8.82 政治関心 Interest in politics	
67-#8.2E 「民主主義」はよいか Democracy	} 12ページ
67-#8.2F 「資本主義」はよいか Capitalism	
67-#8.2H 「社会主義」はよいか Socialism	
67-#8.2G 「自由主義」はよいか Liberalism	
68-#8.83 民主政治に満足か Satisfaction with democracy	
69-#8.84 裁判制度は機能しているか Legal system	
70-#7.87 労働者階級と資本家階級 Employer versus employee	4 ページ
71-#8.8 社会は変えるべきか Attitudes concerning society	4 ページ
72-#8.85A 社会の根本改革は必要か Profound transformation of society	} 6 ページ
72-#8.85B 社会の根本改革 The way of changing society	
73-#8.7 支持政党 Political party	4 ページ
74-#8.86 政党支持(強度) Close to party	
75-#8.87 主要政党への好嫌度 Feeling thermometer	
組合に入っているか?	

その他の有無 * は調査終了後加わったカテゴリー					リ ス ト の 有 無				
FRG	France	UK	USA	Japan	FRG	France	UK	USA	Japan
5	5	8	Sel Face	4					
3	3	3	3	3					
3	3	3	3	3					
				11	25	65	Z	65	37
				5			AA		38
				4	26	67	AB	67	39
				4	26	67	AB	67	39
				4	26	67	AB	67	39
				4	26	67	AB	67	39
				5					40
				5					41
				3	27	70	AC	70	42
				4	28	71	AD	71	43
				3					
				3					44
7	7	8	4	7	29	73			
				4					
					30	75	AE	75	45

付録

各国調査の計画と実施（抜粋）

Sampling Designs in Each Country

1987年ドイツ調査の標本計画と
調査実施の概要

Sampling Design for the 1987 German survey

1. SAMPLING DESIGN

Basic population of this survey is the German adult population of all ten states of the FRG and West-Berlin, aged 16 years or older. Out of this target group a representative sample had to be drawn covering all German states (Bundesländer). Foreigners had to be excluded. With this limitations the basic population of this survey includes 46.862.000 adult persons in the Federal Republic of Germany (31. 12. 1985).

This sampling procedure used a ADM-mastersample-network. ADM is an association of a number of German market-research institutes. Being independent from each of the single institutes it has developed a sampling method, which is based on German electoral registers (ADM-mastersample). Each of the ADM-master-samples gives a totally representative picture of the adult German population concerning their regional distribution and the city size of community. Each design-sample consists of 210 sampling-points (which are electoral districts), the basic statistics for their development are actualized every year.

ADM-mastersample-networks have to been bought by the interested institutes. EMNID owns 8 networks, for this survey one network was used.

1.1. Sampling method

The sample was drawn using a multi stape probabilistic technique. On a first stape the total sample was devided on 210 sampling spots of one ADM-mastersample network. That means, the sampling design provided 5 interviews for each sampling spot on an average. For each sampling point a starting adress was fixed in a following step. Starting at this adress the target household and the respondent were selected by fixed walking-instruction.

Within the sample points (see 1.2.) the selection of the target person was done by random-route method: starting at a given adress every third household had to be choosen according to a fixed walking instruction. Within these household the selection of the target person aged 16 years and older followed a random key: we used the socalled "Schwedenschlüssel" which instructed to interview that person having birthday next in the year. Alternates only had to be selected after two callbacks, which had to be realized on separate days and using a different time of day in order to reach the target person. The interviewers were told to make a report for their random route, based on printed adress forms, which had to been filled in.

1.2. Handouts for the interviewers

EMNID had developed strictly rules for the interviewers, how to manage a random-route. This rules are obligatory for every interviewers and the knowledge of this rules are a part of the EMNID-interviewer training. A German and an English summary of this rules (which are send to the interviewers for every ADM-mastersample-based opinion poll) are included in this report as appendix B.

Beneath this rules every interviewer gets a handbill, which gives him informations about

- the target group and their definition
- the conventions of his random-route
- the number of interviews to been conducted by him
- last date to send back the interviews
- a contact person at EMNID
- difficulties of the questionnaire
- his pay for each interview

The interviewer-instruction is included as appendix C to this report, the adress-form is included as appendix D.

2. REALIZATION OF THE FIELDWORK

While chapter one was closely related to the theoretical preparation of the survey and the interviewer-material, the recent chapter two refers to the practical fieldwork.

2.1. Translating and pretesting of the questionnaire

The questionnaire of the survey in hand partly consists of trend questions from former studies. Therefore great attention had to be paid to an adequate translation of the questions. The institute of mathematical statistics delivered together with the first version of the questionnaire a suggestion for a German translation. This German wording had to be adapted to more common formulations. Beneath this translation procedure a rearrangement of some questions had to be made. The translated questionnaire was checked by the Japanese client. The checked questionnaire was pretested by EMNID under the real conditions of field work (interviewers and target-group). As agreed upon, 30 pretests with German citizens had been conducted. The problems were noted by the interviewers and collected for a short pretest report. The pretest results were discussed on a joined meeting in Paris.

Based on this pretest results the client developed a slightly changed version of the questionnaire, which reflected the remarks from all 3 countries. The changes lead to a more optimal handling und understanding of the questionnaire by both, interviewer and respondents.

2.2. Timing of the survey

After the modifications of the questionnaire the field work started on October, 10th, 1987. It lasted up until November, 16th, 1987. Within this time period the EMNID interviewers realized 1.051 interviews. Some irregularities appeared while getting the questionnaires back: some interviewers didn't realize all 5 interviews within their sampling points. Therefore full-time-interviewers had to be sent out to these sampling points in order to guarantee the regional representativeness of the sample. Beside these irregularities, which lead to a short delay of the field work the sampling as a whole passed off very well.

2.3. Accomplishment of the field work

The conception of the survey intended a nationwide sample of 1.000 citizens of the Federal Republic of Germany including West-Berlin. Therefore 210 sampling points of one ADM-master-sample-network had to be chosen. That means that 5 interviews per sample point had to be conducted on an average.

The selection of the sample points and the partition of the interviews guarantees a good distribution of the samples across the regional units. Despite the shortness of the field period EMNID didn't achieve interviews only in a few sample points.

Besides keeping fixed walking-instructions in order to get the correct target persons (see 1.1.) the interviewers were held to take further rules into consideration which are designed to exclude nonstatistical sources of error possibly connected with the random method.

The survey was conducted in the form of personal interviews. The general work regulations which are observed by all EMNID-institute interviewers assure uniformity in conducting the

interviews. The questionnaire was binding for the interviewers as a recording basis regarding the sequence and wording of the questions. Interviewing of two persons within the same household was not permitted.

All in all about 140 interviewers were nominated to realize the field work, that is an average number of 1,5 sample points for each interviewer. The nationwide sample was conducted by local interviewers, who were supported by full-time-interviewers in these cases, when the local interviewer was not able to realize his interviews (partly or completely deletion of a sampling point).

EMNID-interviewers are normally well experienced and well trained people. The EMNID-institute tries to keep a permanent staff whose demographics are widely distributed in order to avoid distortions of the interviews from this source.

Normally EMNID-interviewers are trained by prepared written material and have to go through an examination, which normally consists of test interviews, which the institute does not utilize.

2.4. Length of the questionnaire and problems in conducting ----- the interviews -----

In respect to the large efforts in order to optimize the questionnaire there were only seldomly problems in the field with it. Sometimes the way of protocolling the addresses was looked upon as very circumstantial. The questionnaire itself only produced little problems. Some interviewers had written the figures, which had to be collected (i. e. age) in the questionnaire without noting them in the marking squares for the optimal reading system. This carelessness was corrected, while checking the questionnaire in the EMNID-institute.

The majority of the consulted interviewers told us that the conduction of the interviews was very satisfactory. The questionnaire produce sometimes a great interest of the respondents, it was obviously easy to answer and could be handled easily by the interviewer, too.

Considering the shortness of the field work EMNID ist very satisfied as well about its organizational conduction as about its effectiveness. The result of the pretesting has been confirmed, the interviewers did not report any problems worth mentioning.

2.5. Losses, refusals and controll

In order to get a very detailed description of the regional problems of this survey, the EMNID-institute was obliged to produce certain population statistics (population size, number of household) for each sampling point. This statistics will be the basis for the client to calculate the sampling error for each sampling spot. Therefore the number of contacts and the reasons of refusals had to be counted seperately for each sampling spot. The results are shown in a list which is attached as appendix E of this report.

There were only small differences in socio-demographics between the sample and the refusals. Women refused a little more frequently, while it was somewhat more difficult to meet men in the households. Like in similar studies old people were a little bit more reserved concerning their readiness for reply. We can start from the presumption that data-weighting has compensated the differences in get-at-ability.

Referring to our contract 10 % of the interviews had to be controlled. EMNID controlled 151 interviews by telephone, in 115 cases (= 11 % of the sample) it was possible to contact target household and target person. 3 persons refused any answer on the controll questions, 4 persons mentioned a break off or a refusal of the interview. This 4 interviews were eliminated, therefore the number of analyzed interviews reduced from 1.051 to 1.047 cases.

3.. PREPARING THE DATA AND DATA PROCESSING

While chapter 2 reported some details on the procedure of sampling and controlling, the recent chapter 3 gives details, how the questionnaires were worked up in the EMNID-institute.

3.1. Preparation and coding

All questionnaires went through a first checking by the department of field-organization, where a controll for right handling of the questions and for completeness of the single questionnaire was undertaken. Special attention was paid to the completeness of certain questions on the regional distribution of the sample (e. p. sample point, postal code of the community). Interviews, which seemed to be o. k. were noted in the list of sample points, which was used to organized the conduction of the poll. If a sampling spot was completed (that means all interviews were conducted) the point was taken out of the list. If a sampling point was not completed the interviewer of this point was contacted in order to move him to a completion of his interviews. If that was not possible the work of full-timers on this sampling point was prepared. While checking the completeness of sample points a number of interviews were chosen randomly in order to control the work of the interviewers (see 2.5.).

After they had passed the department of field-organization, the questionnaires passed a further checking by the coding-department. Here filter-questions were to be controlled and certain columns which were important for further data-processing, such as number of sample point and postal code. These columns were coded a new as far as numbers were missing or wrong, according to prior agreement with the field-organization.

Since the client needed a total list of the open ended questions, this answers had to be written on a floppy disk. The open ended questions were not to be coded in the questionnaires, the answers are not implemented into the main data set. The conventions of writing the tape and the floppy disks are shown below (see chapter 4).

3.2. Storing up and checking the data

The datas were taken on tape by a modern optical code-reading system, where punching errors are omitted. The correct reading of the questionnaires was controlled separately.

Following up the storing process an extensive checking of the data was induced, referring to the following steps:

- a control of the completeness of the informations, f. e. if all columns were filled in the right way
- a control of filter-questions within the questionnaire
- a control for the logic of certain facts
- a control of interviewer number, sample points and states, individual cleans if necessary
- a last control for completeness of the columns which might be used for weighting, that is age, gender, region and political preference

Whereever discrepancies and implausible answers were detected, they were changed, an inadequate handling of filter questions was taken away.

Special notes on the used cleaning procedures:

- a) respondents without valid sample point-number and valid postal code were deleted

- b) for a number of questions (135-44, 155, 168-74, 265, 267, 272), which provided a "no-answer" category, blanks were coded to the no answer code
- c) qu. 228-32: - respondents, who didn't follow the conventions (2 answers as maximum) were coded 2 for all questions
- blanks were coded to 2
- d) qu. 317-28: respondents without valid values (between 1 - 100, 999) were coded 888

Since during the cleaning procedure and while checking the questionnaires a number of respondents had to be eliminated from the data set (for the reasons see the explanations above) the number of cases reduced from 1.047 to 1.019.

3.3. Checking the representativeness of the sample

The recent chapter is a comparison of the sample-data with those of the official German statistics. The goal of this comparison is to check, whether the losses and refusals during the field work and the removal of those interviews which were suspicious by control, had left a systematical distortion of the sample.

The following variables are used for the comparison:

- sex and age in order to check the population distribution
- educational status in order to check the social stratification
- "region" in order to check the regional distribution
- family status and confession in order to check the adequate consideration of families and religious groups in the sample

Some statistics do not exactly reflect the target group of this sample. They are used, because more precise statistics are not available.

a) sex and age (Germans and foreigners)

	official statistic	recent poll
<u>Age (MZ) *)</u>		
15 - 30	28,0 %	27,6 %
30 - 40	15,2 %	20,7 %
40 - 50	17,4 %	18,0 %
50 - 60	14,7 %	15,3 %
60 +	24,7 %	18,5 %

	100,0 %	

b) Sex (MA)

male	46,5 %	44,5 %
female	53,5 %	55,5 %

	100,0 %	

c) Educational status (MZ)

kein Abschluß/Volks- schulabschluß	65,9 %	55,2 %
Realschulabschluß	17,7 %	22,2 %
Fachhochschulreife/ Abitur	12,1 %	22,5 %
keine Antwort	5,1 %	

	100,0 %	

MZ = official German Mikrozensus from 1985

MA = Mikrozensus Media-Analyse (n = 19.000 households each
year) 1986

d) Regional distribution (MZ)

recent poll

Schleswig-Holstein	4,4 %	4,2 %
Hamburg	2,7 %	3,4 %
Niedersachsen	11,8 %	11,7 %
Bremen	1,1 %	0,5 %
Nordrhein-Westfalen	27,4 %	28,1 %
Hessen	9,1 %	9,9 %
Rheinland-Pfalz + Saarland	7,6 %	6,9 %
Baden-Württemberg	15,0 %	14,7 %
Bayern	17,8 %	16,7 %
Berlin (West)	3,1 %	3,9 %
	-----	-----
	100,0 %	100,0 %

e) Family status (MZ)

ledig	28,6 %	28,4 %
verheiratet	57,1 %	57,4 %
verwitwet	10,4 %	9,4 %
geschieden	3,9 %	4,7 %
	-----	-----
	100,0 %	99,9 %

f) Dwelling status (MA)

eigenes Haus	39,9 %	36,2 %
eigene Wohnung	3,1 %	4,4 %
zur Miete	57,0 %	58,6 %

Sex, age and educational status were used as the determinants for a weighting factor (punched on card 3 col. 31-34).

1987年フランス調査の標本計画と
調査実施の概要

Sampling Design for the 1987 France survey

This research started in May 1987, when Faits et Opinions received in Tokyo, a first draft of a questionnaire prepared by the Institute of statistical mathematics, and intended for a cross section of the French public, aged 18 and over.

1. Preparing the survey

During the following weeks, we worked at the translation in French of the draft questionnaire, asking advice from Mr. Ludovic Lebart, director at Credoc. We suggested some amendments, mostly related to the wording of some questions, the general organization of the questionnaire and the order in which the various sections should appear during the interview.

A pilot survey was conducted in early July with 29 respondents, both in Paris and the provinces. A report on this pilot survey was presented to Pr. Tatsuzo Suzuki and Pr. Masomichi Sasaki at a meeting held at our office in Paris, on July 20. Participating to this meeting were also Pr. Ludovic Lebart, and the research directors in charge of the same survey for England and for Germany. The experience of the pilot survey in the three European countries led to the final decisions about the questionnaire and survey design.

Amendments had then to be done to the French version of the questionnaire. This involved a close cooperation between Tokyo and Paris. The final version was approved on September 22.

During that period, we were preparing the sampling frame of the survey.

2. Sampling

The objective was a sample of 1000 cases, male and female, nationwide representative of the French population aged 18 years and over.

The method used to build up the sample is the stratified quota sampling, on the basis of the most recent available census data (INSEE).(1)

First step : Regions and size of localities.

INSEE provides population figures with a cross tabulation of 9 regions by 5 sizes of localities (these nine regions are called ZEAT regions (Zones d'études et d'aménagement du territoire).

The cross-tabulation is given on page 4 for 10.000 inhabitants 18 years and over.

We now know how many interviews must be conducted in each of the 45 cells shown in the table. This is the basis for allocating the number of interviewers and of sampling points in each cell.

For the values survey, there were 99 sampling points :

- 88 in the provinces, with a number of interviews by sampling point varying from 3 to 15,
- 11 in Ile de France, with a number of interviews by sampling point varying from 3 to 39.

The large map on page 5 shows the location of the 88 sampling points in the provinces. In Ile de France, there were sampling points in each of the 8 "departments" included in that region. In appendix A, you will find the list of all sampling points.

On the tape, the reference numbers of sampling points appear in position 6 and 7 (card 1).

(1) INSEE : Institut national de la statistique et des études économiques.

CENSUS DATA (INSEE)
Cross-tabulation of Regions X size of localities (for 10.000 inhabitant)

SIZE OF LOCALITIES

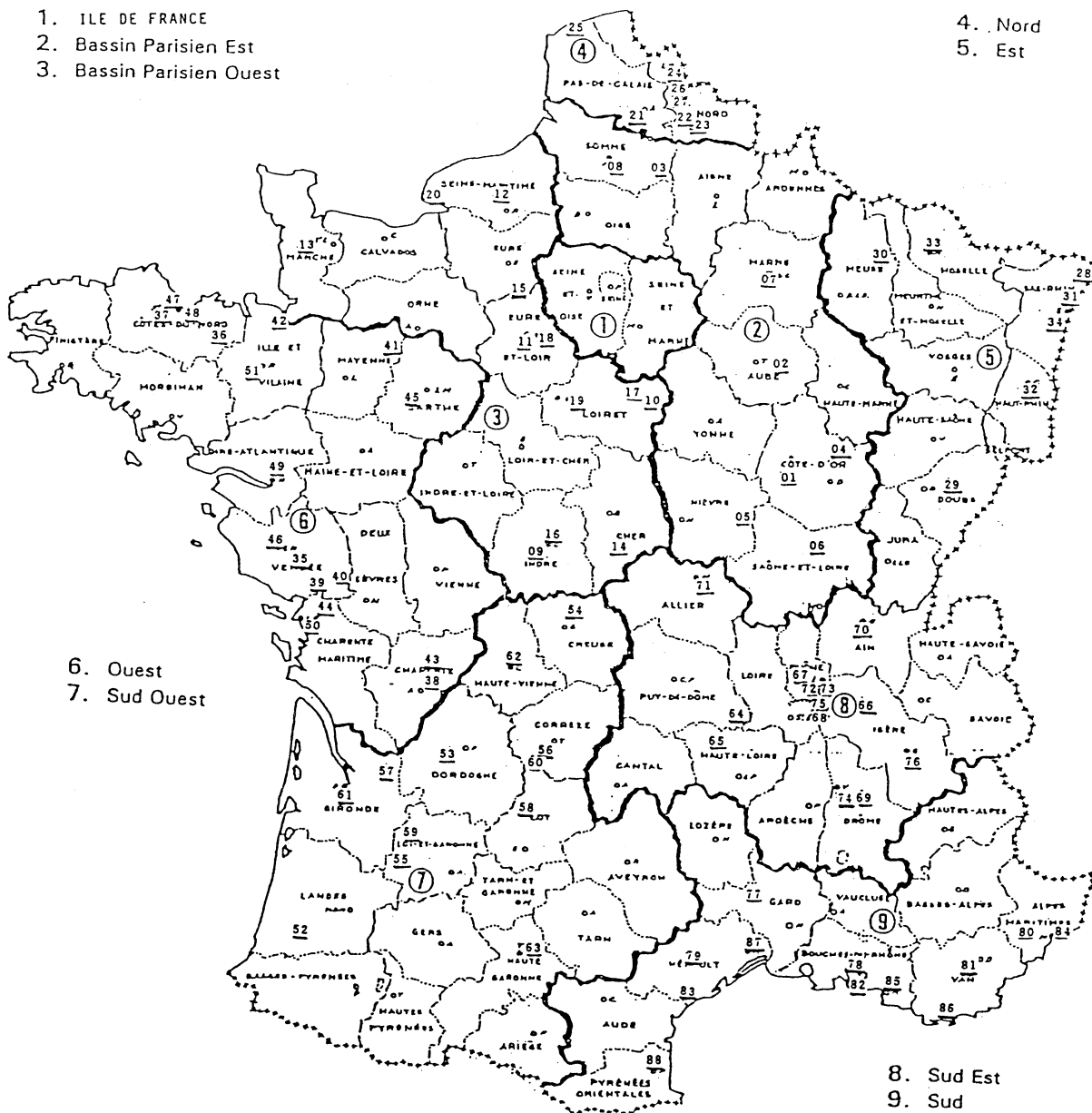
		SIZE OF LOCALITIES				
		Rural	2-20	20-100	100	Paris aggl.
Total	10.000	2818	1598	1305	2742	1537
<u>By ZEAT regions</u>						
. Ile de France	1775	68	85	57	28	1537
. Bassin Parisien Est	862	357	171	207	127	0
. Bassin Parisien Ouest	1009	392	206	165	246	0
. Nord	702	99	96	75	432	0
. Est	884	286	197	128	273	0
. Ouest	1441	625	280	151	355	0
. Sud Ouest	1119	461	195	155	308	0
. Sud Est	1159	342	187	213	417	0
. Méditerranée	1079	188	181	154	556	0

All figures given in the table are for 10.000 inhabitants 18 years old and over. The corresponding population is 33.445.200 individuals.

SAMPLING POINTS IN THE PROVINCES

1. ILE DE FRANCE
2. Bassin Parisien Est
3. Bassin Parisien Ouest

4. Nord
5. Est



Second step : Quotas given to interviewers.

At this stage, each interviewer has been assigned to a sampling point. He or she is given quotas of respondents, according to sex, age and occupation of head of household.

In order to follow the specific population structure of each cell in the sampling plan, we use the detailed census data giving, for each of the 9 regions, the population by age and occupation. These basic data are given in Appendix B.

3. Interviewing

As usual, our interviews have been conducted by a highly specialized interviewing organisation : ISL.

99 professional interviewers have participated in the survey. All interviews were face to face, at the home of the respondents, between September 28 and October 16, 1987. The average length of interview was 46 minutes.

The number of respondents has been 1020. After the checks and controls, 1013 have been accepted and appear on the tape.

Each interviewer had to answer, at the end of each interview, two questions about the level of understanding of the respondents, and his (her) attitude during the interview. Here are the answers :

Level of understanding :	Excellent	47 %
	Good	43
	Not too good	8
	Poor	1
	Other answer	-
	No answer	<u>1</u>
		100

Attitudes of respondents : Friendly, interested	75 %
Just cooperative ..	19
Impatient	3
Hostile	-
No answer	<u>3</u>
	100

Spontaneously, the interviewers reported that this had been a very interesting survey.

We can add that the number of "don't know" is particularly low on most questions. Among the total number of questions and sub-questions included in the questionnaire, more than one third got 2 % or less DK and nine out of ten got 8 % or less DK.

The highest proportions of DK appear for :

- Q. 61 (What comes to mind when hearing the term "culture") DK 21 %
- Q. 65 (Left right scale) DK 15 %
- Q. 58 (Possibility in the future to cure senility)..... DK 11 %
- Q. 4 et 5 (Expectations about the future) DK 10 %

4. Representativeness of the sample

The sample of 1013 persons interviewed has been compared with the available census figures in terms of :

- Sex)
- Age (Please refer to tables on
- Occupation of head of household)pages 8 and 9.
- Size of locality (
- Region (

In addition, since the questionnaire includes some trend questions for which we have recent results from other surveys (Euro-Barometer 27), we give on page 10 the comparison for three questions. One should not be surprised to observe slight differences between April and October 1987, since answers are likely to be affected by the actuality. Generally speaking results on these three basic questions are very much in line with previous survey.

DESCRIPTION OF SAMPLE
(and comparison with census figures)

		VALUE SURVEY		CENSUS FIGURES
		N	%	%
Sex				
	Men	472	46.6	47
	Women	541	53.4	53
		1013	100.0	100
Age				
	18-24	154	15.2	14.3
	25-34	245	24.2	22.0
	35-49	253	26.0	23.7
	50-64	212	20.9	21.9
	65 ans et plus	149	14.7	18.1
		1013	100.0	100.0
Occupation of head of household				
	Farmers	52	5.1	6.0
	Shopkeepers, craftsmen	71	7.0	6.6
	Executives and business men	94	9.3	9.3
	White collars	280	27.6	24.5
	Blue collars	236	23.3	25.6
	Non active, pensioned, etc ..	280	27.7	28.0
		1013	100.0	100.0
Size of locality				
	Rural	262	25.9	28.2
	2-20.000	166	16.4	16.0
	20-100.000	131	12.9	13.0
	100.000 (except Paris)	288	28.4	27.4
	Paris agglomeration	166	16.4	15.4
		1013	100.0	100.0

REGIONS (ZEAT)	VALUE SURVEY		CENSUS FIGURES
	N	%	%
. Ile de France	192	19	17.7
. Bassin Parisien Est	87	8.6	8.7
Champagne/Ardenne			
Picardie			
Bourgogne			
. Bassin Parisien Ouest	103	10.2	10.1
Haute Normandie			
Basse Normandie			
Centre			
. Nord	73	7.2	7.0
Nord/Pas de Calais			
. Est	76	7.5	8.8
Lorraine			
Alsace			
Franche Comté			
. Ouest	142	14.0	14.1
Pays de Loire			
Bretagne			
Poitou/Charente			
. Sud Ouest	107	10.6	12.2
Aquitaine			
Limousin			
Midi Pyrénées			
. Sud Est	125	12.3	11.6
Rhône Alpes			
Auvergne			
. Méditerranée	108	10.7	10.8
Languedoc Roussillon			
Provence/Côte d'Azur			
	1013	100.0	100.0

TREND QUESTIONS - Question 8
 - Question 71
 - Question 65

VALUE SURVEY
 October 1987

EURO 27
 April 1987

Q. 8 : Most important goal for country

. Maintaining order	36	38
. Giving people more say	15	13
. Fighting rising prices	21	25
. Protecting freedom of speech	22	22
. Other answers	4	not included
D.K.	<u>2</u>	<u>2</u>
	100	100

Q.71 : Basic attitudes vis a vis society

. Must be changed radically	5	7
. Must be gradually improved	63	63
. Must be valiantly defended against subversives forces	29	26
DK	<u>3</u>	<u>4</u>
	100	100

Q.65 : Left right scale

Left 1	3.3	4.7
2	3.8	3.6
3	10.9	12.9
4	11.0	12.6
5	28.7	27.2
6	9.7	9.9
7	7.6	8.7
8	7.0	3.9
9	1.5	2.3
Right 10	1.6	2.0
DK	15.0	12.3
	100.0	100.0

1987年イギリス調査の標本計画と
調査実施の概要

Sampling Design for the 1987 England Survey

CONTENTS

	<u>Page No.</u>
1. INTRODUCTION	1
2. QUESTIONNAIRE	2
2.1 Questionnaire development	2
2.2 Pilot study	2
3. SAMPLE SELECTION	3
3.1 Introduction	3
3.2 Selection of e.d.'s	3
3.3 Selection of individuals	4
4. FIELDWORK	7
4.1 Main Stage	7
4.2 Additional Sample	7
5. THE ACHIEVED SAMPLE	9
5.1 Response Rate	9
5.2 Comparisons with population data	10

APPENDICES

APPENDIX A

The ACORN Classification System
The Social Grade Coding System

APPENDIX B

List of Sampling Points
Sampling Regions

APPENDIX C

Response by Sampling Point

APPENDIX D SURVEY DOCUMENTS

Interviewer Instructions
Sample Issue Sheet
Comments Sheet
Map Form
Questionnaire



1. INTRODUCTION

In December 1986 Research Services Limited (RSL) was commissioned by The Central Research Services Inc. (Chuo Chosa Sha) on behalf of the Institute of Statistical Mathematics to carry out fieldwork and data processing for the British part of the cross-national study on ways of life and thinking. In addition to the work in Britain fieldwork was carried out simultaneously in France and Germany by Faits et Opinions and EMNID.

In Great Britain the survey was called 'The British Way of Life' and was presented to interviewers and respondents as a study of the beliefs and values of the British people. Interviewers were told that the study was being carried out in several countries simultaneously but were not told the identity of the client unless they requested this information.

This technical report is divided into four main sections covering questionnaire development and piloting, sample selection, fieldwork procedures and an analysis of the response rate including comparisons of the achieved sample profile with known population data. Copies of the fieldwork documents used are appended to this report together with a map of the UK showing counties and Standard Regions, a list of the sampling points used, a description of the ACORN classification system and a description of the social grade coding system in use in the U.K.

The results of the survey have been supplied to the Institute of Statistical Mathematics as a data tape to an agreed format. All the completed questionnaires are also to be supplied.

2. THE QUESTIONNAIRE

2.1 Questionnaire development

The first draft of the questionnaire was received in May 1987. Various amendments to the wording and sequence of the questions were suggested by Research Services Limited. Both the original draft and the revised version were piloted in the week beginning June 29th, 1987.

Representatives of Research Services Limited and the Institute of Statistical Mathematics met in London on July 14th to discuss the results of the pilot. This was followed by a meeting in Paris on July 20th attended by representatives of both the Institute of Statistical Mathematics and the three European agencies involved in the work. Pilot studies had been carried out in all three countries and the results were used to construct the final version of the questionnaire.

2.2 Pilot Study

The pilot study in Great Britain involved five interviewers working in Cardiff, Manchester, Birmingham and Norwich. These points were chosen to represent different parts of the country and different area types. The sampling procedure was identical to that used at the main stage (described in section 3). As discussed above, two versions of the questionnaire were used. Each interviewer was told to carry out alternate interviews using each version of the questionnaire. A total of 33 interviews were obtained from the 55 names issued.

A number of detailed points did arise regarding the wording of the questions. Changes were made where possible although it was also necessary to maintain comparability with previous studies that had been carried out as well as with questions being asked on the French and German versions of the questionnaire.

3. SAMPLE SELECTION

3.1 Introduction

The sample was designed to be representative of the adult population of Great Britain. For this purpose adults were defined as those aged 18 or over. A two-stage sampling design was employed involving the selection of 150 Census Enumeration Districts (e.d.'s) as primary sampling units. At the second stage 10 individuals aged 18 or over plus one substitute were selected within the chosen e.d.'s to produce an attack sample of 1500 named individuals. The method of selecting individuals is known as the "Marchant Blyth" technique and is used as standard practice on many probability surveys in Great Britain. All interviewers had previous experience of the operation of this method. Details of how it is applied in practice are given in the interviewer instructions contained in Appendix D.

3.2 Selection of e.d.'s

At the first stage e.d.'s were listed within ACORN group within county within Standard Region. ACORN (see appendix A) is a classification system based on census data which identifies different area types. It is, therefore, a powerful stratification factor. Standard Regions are the accepted method of dividing the country geographically. The use of counties within Standard Regions ensures an optimum geographic dispersal.

From this list 150 e.d.'s were selected systematically with probability proportional to population size. (The typical e.d. comprises 150 households, slightly more in densely populated urban areas and slightly fewer in rural areas). The resultant sample is representative in terms of region and ACORN type.

3.3 Selection of individuals

The most comprehensive listing of persons in Great Britain which is available as a sampling frame is the Electoral Register. This list, which is updated annually, contains the names of all individuals who are registered to vote at local and general elections. Given that registration is compulsory there are relatively few omissions. The population covered by the survey can be regarded as falling into two distinct groups:

"Electors"

defined as persons listed in the current electoral register and still living at their registered address when the interviewer calls; and

"Non-electors"

defined as all other person aged 18 years and over, especially

- (i) persons who have moved from their registered address since the register was compiled
- (ii) aliens and others not listed on the register

Within each selected Enumeration District a sample of names was drawn from the current Electoral Register, with equal probability, by taking every n 'th name throughout the register, (where n is the sampling interval calculated to yield the required number of names), beginning at a randomly selected starting point between 1 and n .



For each person selected, the name and address and, in addition, the names of all other persons registered at the same address were recorded on a "Sample Issue Sheet" (see appendix). The number of the selected person was marked with an asterisk. This individual is referred to the "starred elector".

Each Sample Issue Sheet contained 11 addresses one of which was used by the interviewer as a substitute address in only the following circumstances: where the original listed address was not located, empty or demolished or temporarily vacant during the duration of the assignment, or where the starred elector had died.

When the names of the persons registered at an address were transferred to the Sample Issue Sheet, they were listed in the same order as they appeared in the register and an asterisk was entered beside the elector who had been selected for interview. Using the total number of electors registered at that address as the "sampling interval" and the starred elector as the "starting point", further asterisks were entered on the appropriate lines beneath the electors listed on the Sample Issue Sheet.

The interviewers were instructed to enter, at each address contacted, the names of all adults (aged 18 or over) at that address who did not appear on the list. These are referred to as non-electors. These names were listed by the interviewer in descending order of age (within household). In multi-household addresses, all non-electors living at that address, not just those living in the starred elector's household, were listed.

Any person listed by the interviewer who was entered on a starred line became potentially eligible for interview, provided that no more than two individuals, including the starred elector, became eligible. Where more than two potentially eligible individuals were identified including the starred elector, the non-electors entered against the upper starred line became eligible.

The probability of an address being listed on the sample issue sheet is directly proportional to the number of electors listed on the register at that address. The probability of a "non-electors" at an address being selected for interview is inversely proportional to the number of electors at that address. The sampling method described above inherently results in a selection procedure where the probability of selection for "non-electors" is equivalent to:

$$\frac{\text{number of "non-electors" at that address}}{\text{number of "electors" at that address}}$$

Hence, this method is self-weighting.

Examples of the listing and selection of respondents are given in the interviewer instructions which are appended to this report.



4. FIELDWORK

4.1 Main Stage

Fieldwork commenced on October 12th 1987 and the original assignments were completed by October 31st. Interviewers were instructed to make at least three calls at each selected address, these being on different days or at different times of day. A copy of the instructions issued to interviewers is appended to this report.

In general terms there were no major problems with fieldwork. Interviewers did, however, report an above-average level of resistance to the interview, particularly from poorly-educated respondents. In some cases this led to the interview being terminated before completion. Interviews that were carried out were quite satisfactory.

A total of 764 interviews were completed by the end of October. To boost the total number of achieved interviews additional addresses were sampled in 11 sampling points where the response had been particularly low and the original addresses were re-issued in 20 areas. This yielded an additional 72 interviews to produce a total of 836. All interviews resulting from the re-issues were completed by November 28th, 1987.

4.2 Additional Sample

In order to increase the total number of interviews to 1,000, a third wave of fieldwork was planned and interviewing recommenced on 18th January, 1988. Additional addresses were selected at 31 points where the response rate had been particularly low. Attention was also paid to the slight regional differences between the composition of the initial achieved sample and equivalent population data. The extra points were selected in order to redress these minor imbalances.

Existing addresses were also re-issued at a further four points, three with attack samples of 10 and one with 20. These were notably points where the level of non-contact had been exceptionally high.

This third wave of fieldwork generated 213 interviews, giving an overall total of 1,049. All interviews resulting from this wave were completed by 23rd January, 1988. The response rate and composition of the final achieved sample are discussed in the next section. The responses at each of the individual sampling points are given in Appendix C.



Table 1: Response Rate

Total names issued		1920	100%
Less			
Address not located	14		
Premises empty or demolished	15		
Not known at address	17		
Dead	6		
Moved away	222		
		274	14%
Attempted interviews with named persons	1646		
Additional attempted interviews with person listed in the field	169		
Total interviews possible		1815	100%
Less			
No reply at any call	122		
Known to be away temporarily	58		
Out, 3 or more calls made	66		
Busy temporarily	60		
Refused	391		
Sick permanently	29		
Sick temporarily	14		
Language	5		
Other	21		
		766	42%
Number of interviews obtained with selected persons		1049	58%

5. THE ACHEIVED SAMPLE

5.1 Response Rate

Details of the response rate are given in Table 1 (opposite). The original attack sample of 1500 named individuals was supplemented by an additional 420 names. These were issued in two separate stages, in areas where the response rate had been below average or where a high proportion of unproductive addresses were encountered. The names were selected by the same method as outlined in section 3. In addition, original addresses in about 25 areas were re-issued to boost the total number of interviews.

A total of 1,049 interviews were achieved which represents a lower response rate than had been anticipated. As discussed in the previous section this was largely due to the high level of refusals encountered.

Table 2: Individual Characteristics - comparison of achieved sample with population data

	<u>Cross-national study (GB)</u>			<u>Population (GB)*</u>		
	<u>Total</u>	<u>Male</u>	<u>Female</u>	<u>Total</u>	<u>Male</u>	<u>Female</u>
				(000,000)	(000,000)	(000,000)
<u>Age</u>	1049	500	549	42	20	22
	%	%	%	%	%	%
18-24	14	15	13	15	16	14
25-34	19	18	21	19	19	18
35-44	18	17	18	18	19	17
45-54	16	15	17	14	15	14
55-64	14	15	12	14	14	14
65+	19	18	20	20	17	23
<u>Sex</u>						
Male	48	100	-	48	100	-
Female	52	-	100	52	-	100
<u>Social Grade</u>						
AB	18	18	19	17	18	16
C1	24	23	25	23	22	24
C2	26	28	25	28	30	25
DE	31	30	31	32	29	35
<u>Marital Status</u>						
Single	20	24	16	20	25	16
Married	66	67	65	66	68	63
Widowed/ divorced/ separated	14	9	18	14	7	21

* Source: National Readership Survey 1986/87

5.2 Comparisons with population data

The composition of the achieved sample is compared with population data in Tables 2 - 4 (opposite and overleaf). Table 2 shows individual characteristics, Table 3 household characteristics and Table 4 regional characteristics.

In Table 2 it can be seen that the profile of the achieved sample matches population data reasonably closely. There is a slight over-representation of those in the higher (AB) social class groups and of those in the 45 - 54 year age groups; this is counterbalanced by a slight under-representation of those in the youngest age category.

Table 3 shows that household characteristics are, again, similar to population values with a slight under-representation of those in rented accommodation (which is probably a reflection of the slight over-representation of those in the higher social class groups).

Table 4 shows that there are some differences between the regional profile of the achieved sample and the equivalent population data. In terms of area type, rural areas and affluent suburban areas are over-represented at the expense of areas of council housing, particularly the worse-off areas, which, again, is probably due to the slight over-representation of higher social class groups. Nevertheless, the overall impact of this difference is unlikely to be very great. Within Standard Region, the main difference is the slight under-representation of London which is counterbalanced by an over-representation of interviews carried out in Scotland.

In general terms it is concluded that, although some differences are apparent, these are unlikely to have a substantial effect on the data. Weighting would add to the complexity of the analysis and its benefits would be marginal. Consequently it is recommended that any analysis is carried out on the unweighted data.



Table 3: Household Characteristics - Comparison of achieved sample with population data

	Cross-national <u>Study (GB)</u>	<u>Population (GB)*</u> (000,000)
	1049	42
	%	%
<u>Size of household</u>		
1	14	13
2	32	31
3	20	21
4	24	22
5+	10	13
<u>Presence of children</u>		
Children (0-15) in h/h	33	33
No. children in h/h	67	67
<u>Type of housing</u>		
Owner-occupied	66	65
Rented - Council	24	26
Rented - Private	6	6
Others	4	3

*Source: National Readership Survey 1986/87

Table 4: Regional Characteristics - Comparison of achieved sample with population data

	Cross-national Study (GB)	Population (GB)* (000,000)
	1049 %	42 %
<u>ACORN Group</u>		
A - Agricultural areas	5	3
B - Modern family housing, higher income	15	16
C - Older housing of intermediate status	18	18
D - Poor quality older terraced housing	6	4
E - Better-off Council estates	12	13
F - Less well-off Council estates	10	9
G - Poorest Council estates	5	8
H - Multi-racial areas	3	4
I - High status non-family areas	4	4
J - Affluent suburban housing	17	16
K - Better off retirement areas	5	4
U - Unclassified	-	1
<u>Standard Regions</u>		
North	7	6
North West	12	12
Yorks & Humberside	10	9
West Midlands	8	9
East Midlands	5	7
East Anglia	3	4
South West	9	8
South East	18	19
London	10	12
Wales	6	5
Scotland	11	9

*Source: ACORN Group: CACI
Standard Region: OPCS Monitor, June 1987
(Both based on all individuals including those aged 0-17)

APPENDIX A



The ACORN Classification System

ACORN, a classification of residential neighbourhoods, is a market segmentation system developed by CACI which classifies people according to the type of areas in which they live. The system was developed from a cluster analysis of census data which identified 11 primary clusters.

The 11 ACORN groups reflect the predominant characteristics of every neighbourhood in Great Britain. The areas shown by the census to have similar demographic and social characteristics share common lifestyle characteristics and purchasing behaviour. This has been validated by linking ACORN with a variety of surveys.

The 11 ACORN groups are classified as follows:

- A. Agricultural areas
- B. Modern family housing, higher income
- C. Older housing of intermediate status
- D. Poor quality older terraced housing
- E. Better-off council estates
- F. Less well-off council estates
- G. Poorest council estates
- H. Multi-racial areas
- I. High status non-family areas
- J. Affluent suburban housing
- K. Better off retirement areas



Census data, at its lowest level, provides information on small neighbourhood areas but not on individuals as this is completely confidential. The Office of Population Censuses and Surveys publishes the information for these small neighbourhoods which contain an average 150 households. CACI's software system allows such information to be aggregated for any size or shape of area. CACI can therefore report precisely on the people living within a neighbourhood. Data is updated annually by means of projections.

It is important to remember that ACORN is a classification of areas not of individuals. Not all of the people living within an area will conform to the features of the ACORN type. Every town is a mixture of many ACORN neighbourhoods, but some towns are typified by a specific ACORN type. For example, many coastal resorts such as Eastbourne and Bournemouth have many ACORN group K neighbourhoods, the well-off elderly, while new towns like Milton Keynes have high proportions of ACORN B and E (modern family housing with young children either owner occupied (B) or council (E)).

ACORN is used extensively as a stratification factor for building sampling frames for many different types of survey.



The Social Grade Coding System

Social grade is a method of classifying individuals based on the occupation of the head of household. A detailed set of rules exists for this which takes into account qualifications, the level of responsibility and the size of the organisation as well as the occupation itself. There are special rules for those who are not working or who are retired. These individuals will retain the social grade associated with their previous occupation unless they are dependent solely on state benefits. Even in this case an alternative social grade will be assigned if another member of the household is working. The classification is carried out by the interviewer in the field and is subsequently checked by coders in the office.

Grade A - Upper Middle Class. The head of the household is likely to be a successful business or professional man, senior civil servant or has considerable private means. These individuals constitute about 3% of the adult population.

Grade B - Middle Class. In general the heads of B grade households will be quite senior people but not at the very top of their profession or business. These households account for about 14% of the adult population.

Grade C1 - Lower Middle Class. In general the C1 grade is made up of the families of small tradespeople and non-manual workers who carry out less important administrative, supervisory and clerical jobs, ie. what are sometimes called 'white collar' workers. These comprise some 23% of the adult population.

Grade C2 - The Skilled Working Class. Grade C2 consists in the main of skilled manual workers and their families. It constitutes about 28% of the adult population.



Grade D - The Semi-Skilled or Unskilled Working Class. Grade D consists mainly of manual workers, generally semi-skilled or unskilled, and accounts for 18% of the adult population.

Grade E - Those at the lowest levels of subsistence. Grade E consists of old age pensioners who do not have an occupational pension, casual workers and those who, through sickness or unemployment, are dependent on social security schemes or very small private means. They account for about 15% of the adult population.



1988年アメリカ調査の標本計画と
調査実施の概要

Sampling Design for the 1988 U.S. Survey

SAMPLE DESIGN

The sampling procedure used for this study was designed to produce an approximation of the adult civilian population, eighteen years and older, living in the United States, except those persons in institutions such as prisons or hospitals.

The design of the sample is that of a replicated, probability sample down to the block level in the case of urban areas, and to segments of townships in the case of rural areas, in over three hundred sampling locations.

The sample design includes stratification by these seven size-of-community strata, using 1980 Census data: (a) incorporated cities of population 1,000,000 and over; (b) incorporated cities of population 250,000 to 999,999; (c) incorporated cities of population 50,000 to 249,999; (d) urbanized places not included in (a)-(c); (e) cities over 2,500 population outside of urbanized areas; (f) towns and villages with less than 2,500 population; and (g) rural places not included within town boundaries. Each of these strata are further stratified into four geographic regions: East, Midwest, South and West. Within each city size-regional stratum, the population is arrayed in geographic order and zoned into equal sized groups of sampling units. Pairs of localities are selected in each zone, with probability of selection and each locality proportional to its population size in the 1980 census, producing two replicated samples of localities.

Within each subdivision so selected, for which block statistics are available, a sample of blocks or block clusters is drawn with probability of selection proportional to the number of dwelling units. In all other subdivisions or areas, blocks or segments are drawn at random or with equal probability.

In each cluster of blocks and each segment so selected, a randomly selected starting point is designated on the interviewer's map of the area. Starting at this point, interviewers are required to follow a given direction in the selection of households until their assignment is completed.

Interviewing is conducted at times when adults, in general, are most likely to be at home, which means on weekends, or if on weekdays, after 4:00 P.M. for women and after 6:00 P.M. for men.

Allowance for persons not at home is made by a "times at home" weighting* procedure which is a standard method for reducing the sample bias that would otherwise result from under-representation in the sample of persons who are difficult to find at home.

* Politz, A. and Simmons, W., "An Attempt to Get the "Not at Homes" into the Sample without Callbacks", JOURNAL OF THE AMERICAN STATISTICAL ASSOCIATION, Volume 44, (March, 1949), pp. 9-31.

Weighting Procedures

The procedures for weighting the survey data collected are designed to reinforce the projectability of our data, the more basic foundation for which is supplied by area probability sampling procedures (discussed in the description of the design of the sample). More specifically, by assigning an individual weight to each respondent in the survey based on his or her particular combination of demographic characteristics (and hence by assigning a weight to his or her answers in any tabulation of the survey data), the Gallup Organization guards against a variety of possible errors, both random and systematic, that might otherwise impair the generalizability of survey results.

The weighting of this personal data is a three-step procedure. The first step is to compute a "times-at-home" weight for each respondent which is based on the estimated probability that the respondent would be found at home at the time when the interview was completed. This weighting is designed to correct bias that might result from underrepresentation of respondents who are relatively unlikely to be found at home during normal interviewing hours.

The second weighting step uses a demographically based sample balancing program (called SAMBAL), an iterative marginal fitting program. By using a statistical algorithm (suggested by demographic statistician W.E. Deming in his book Statistical Adjustment of Data) the overall (marginal) distributions of several variables may be simultaneously adjusted by assigning weights to individual respondents in order to bring all of the distributions into alignment with population parameters, or "true distributions" of these variables. The Gallup Organization uses the most recent national data available from the Bureau of the Census (in this case the March 1987 Current Population Survey), for sex, race, region, age, and education. The program allows the analyst to set a maximum discrepancy between the distributions of the weighted data and the target distributions, and our standard procedures set this maximum allowable discrepancy value at 0.5 percentage points for any category of the variables on which the weighting procedure is used.

The individual respondent weights output by this program have two limitations: the program only fits marginal distributions to Census parameters - it requires the proportion of women in the weighted sample to correspond to the Census Bureau's best estimate of the proportion of women in the adult population, and does the same for 4 categories of education, but does not take into account the nature of the relationship between sex and education. Moreover, it sets no limitations on the permissible size of the final weights. This latter aspect is important, because it seems unreasonable to assign any particular interview too much more weight than another interview. Both of these limitations are addressed in the third and final stage of weighting.

The third and final weighting step is again demographically based, but it is an iterative ratio estimation procedure that takes both marginal distributions and inter-relationships among demographic variables into account. A full weighting matrix of region x sex x age x education is derived from CPS information. In addition it allows the incorporation of the times-at-home weight and the weight derived from the sample balancing procedure as input (or beginning) values. Finally, it allows the specification of a range of weights that may not be exceeded. The weights assigned to an individual respondent upon the completion of weighting are usually restricted to range between 1.0 and 4.00

NOTE ON "TIMES AT HOME"

In this survey, interviewers made one attempt to contact a qualified respondent. Given this level of effort to reach a respondent at home, persons infrequently at home tend to be underrepresented. Since they are less often at home, there is less chance of catching them at home. Similarly, persons usually at home tend to be overrepresented, as the chances of finding them at home when the call is made are very good.

To correct for the differential probability of inclusion in the sample of respondents frequently at home versus those infrequently at home, a weighting is used. This respondent-specific weight is a function of the estimated probability of each respondent being at home at the time the interview was actually conducted. Specifically, the weight is the reciprocal of the probability of being at home, with the "at-homeness" probability estimated by asking each respondent whether he or she was home at the time of day on other days that the interviewing might have occurred.

For example, if a respondent was interviewed on a Saturday afternoon, and indicated in response to specific questions that he or she was at home on the three other occasions asked about, that respondent is assigned an estimated "at-homeness" probability of 1.0 (i.e., at home four out of four possible times, at home on this Saturday and three previous Saturdays asked about, or $4/4 = 1.0$). The reciprocal of 1.0 is 1.0, so the times-at-home weight for this respondent would be 1.0.

Consider a second case in which a respondent interviewed at a given time reported being at home at that same time on only one of three other dates. This respondent would be assigned an estimated "at-homeness" probability of 0.5 i.e., he or she was at home on two of four possible times (for the interview and on one other date). The reciprocal of .5 is 2.0, which is the times-at-home weight assigned to this respondent.

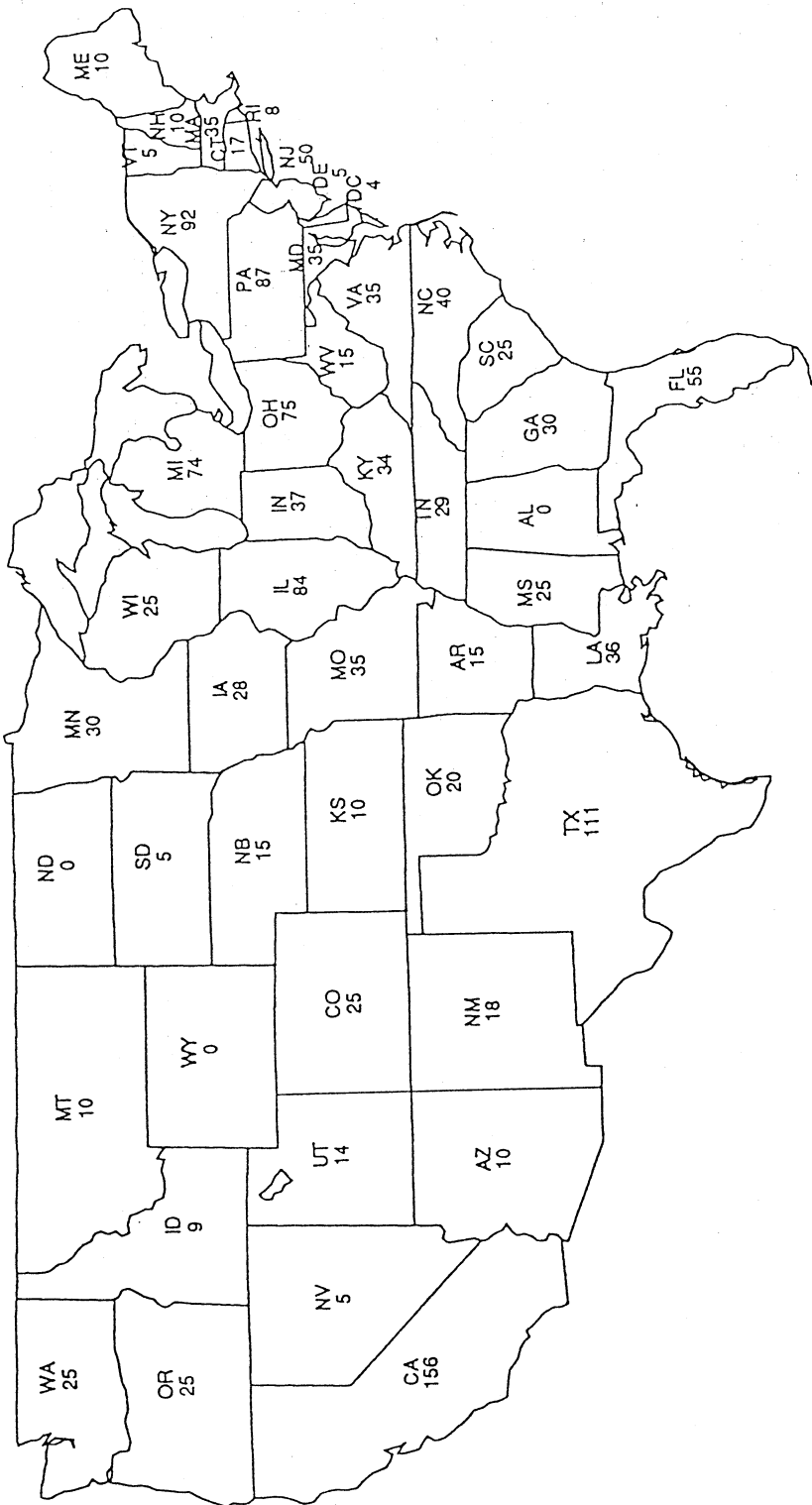
In a similar manner, one could compute probabilities of "at-homeness" and use the reciprocals as times-at-home weights for respondents at home on one of four dates ($P = .25$, wt. = .4) and respondents at home on three of four dates ($P = .75$, wt. = 1.33).

Using this method, respondents rarely at home are given larger weights, and the representation of rarely at home respondents in the weighted sample is increased.

It is important to keep in mind that this times-at-home weight is not used by itself. Other weighting factors are combined with the times-at-home weight to produce a final weight for each respondent.

U.S.A. 1988

AK
15



HI
5

Number of Respondents Total=1563

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	GSTATE	PLA	CH	MSA	REP	STR	TM	FRINGE	LOCATION
1	5	ME	23009	2	11	2	3	2	2	7	3	3	Rural Hancock Co.
2	5	ME	23031	6	11	6	3	1	5	3	3	3	Biddeford (York Co.)
3	5	NH	33009	2	12	2	3	1	7	3	3	3	Rural Grafton Co.
4	5	NH	33011	9	12	8	1	2	3	3	1	1	Manchester (Hillsborough Co.)
5	5	MA	25023	&	14	6	2	1	4	2	2	2	Abington/Rockland Town/Hanover (Plymouth Co.)
6	5	VT	50017	2	13	2	3	2	2	7	3	3	Rural Orange County
7	-	MA	25025	&	14	&	1	2	2	2	1	1	Boston (Suffolk Co.)
8	5	MA	25025	&	14	7	2	2	4	2	2	2	Winthrop/Reverse (Suffolk Co.)
9	5	MA	25009	&	14	8	2	1	3	2	2	2	Lynn (Essex Co.)
10	5	MA	25017	&	14	8	2	2	3	2	3	2	Medford (Middlesex Co.)
11	5	MA	25017	&	14	8	2	2	1	4	2	2	Sudbury/Wayland/Waltham (Middlesex Co.)
12	5	MA	25017	3	14	3	2	1	6	3	3	3	Middlesex Co. Towns
13	5	MA	25017	&	14	7	2	2	4	2	2	2	Everett (Middlesex Co.) - Fringe of Boston
14	5	NY	36075	6	21	6	2	2	2	5	3	3	Fulton City (Oswego Co.)
15	3	RI	44005	2	15	2	2	2	1	7	3	3	Rural Newport Co.
16	-	RI	44007	-	15	9	1	1	1	3	1	1	Providence (Providence Co.)
17	5	RI	44003	-	15	7	2	1	4	2	2	2	West Warwick/Coventry (Kent Co.)
18	5	CT	9009	0	16	8	1	2	3	2	2	2	West Haven (New Haven Co.)
19	5	CT	9009	0	16	7	2	2	4	2	4	2	Milford city (New Haven Co.)
20	5	CT	9001	9	16	8	1	1	1	3	1	1	Norwalk (Fairfield Co.)
21	2	CT	9001	2	16	2	3	2	2	7	3	3	Rural Fairfield Co.
22	5	NY	36083	0	21	6	2	2	1	4	2	2	Brunswick/E. Greenbush (Rensselaer Co.)
23	-	NY	36119	&	21	6	2	2	2	4	2	2	Rye/Harrison/Port Chester (Westchester Co.)
24	5	NY	36059	&	21	8	2	2	4	2	2	2	Levittown (Nassau Co.)
25	5	NY	36059	&	21	7	2	2	1	4	2	2	Hicksville (Nassau Co.)
26	5	NY	36059	&	21	7	2	2	2	4	2	2	Vally Stream (Nassau Co.)
27	5	NY	36103	&	21	0	2	2	1	4	2	2	Sound Beach/Brookhaven Town (Suffolk Co.)
28	5	NY	36103	&	21	7	2	2	2	4	2	2	West Babylon (Suffolk Co.)
29	5	NY	36005	&	21	&	1	1	1	1	1	1	Bronx I (Bronx Co.)
30	-	NY	36005	&	21	&	1	2	2	1	1	1	Bronx II (Bronx Co.)
31	5	NY	36047	&	21	&	1	1	1	1	1	1	Brooklyn I (Kings Co.)
32	5	NY	36047	&	21	&	1	2	2	1	1	1	Brooklyn II (Kings Co.)

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	GSTATE	PLACES	MSA	REP	STR	FRINGE	LOCATION
33	5	NY	36047	&	21	&	1	1	1	1	Brooklyn III (Kings Co.)
34	-	NY	36047	&	21	&	1	2	1	1	Brooklyn IV (Kings Co.)
35	-	NY	36061	&	21	&	1	1	1	1	Manhattan I (New York Co.)
36	-	NY	36061	&	21	&	1	2	1	1	Manhattan II (New York Co.)
37	-	NY	36081	&	21	&	1	1	1	1	Queens I (Queens Co.)
38	5	NY	36081	&	21	&	1	2	1	1	Queens II (Queens Co.)
39	5	NY	36085	&	21	&	1	2	1	1	Staten Island (Richmond Co.)
40	3	NY	36071	2	21	2	2	1	7	3	Rural Orange County
41	-	NY	36089	6	21	6	3	1	5	3	Massena (St. Lawrence Co.)
42	5	NY	36065	9	21	7	1	1	4	1	Rome (Oneida Co.)
43	5	NY	36045	2	21	2	3	2	7	3	Rural Jerrerson Co.
44	-	NY	36055	-	21	9	1	1	3	1	Rochester (Monroe Co.)
45	5	NY	36051	2	21	2	2	1	7	3	Rural Livingston Co.
46	4	NY	36063	&	21	7	2	2	4	2	North Tonawanda (Niagra Co.)
47	5	NJ	34031	&	22	9	1	2	3	2	Paterson (Passaic Co.)
48	5	NJ	34003	&	22	7	2	1	4	2	New Milford/Bergenfield (Bergen Co.)
49	5	NJ	34003	&	22	6	2	2	4	2	Ridgewood/Waldwick (Bergen Co.)
50	5	NJ	34013	&	22	0	1	1	2	1	Newark (Essex Co.)
51	5	NJ	34013	&	22	6	2	1	4	2	Maplewood/Millburn (Essex Co.)
52	5	NJ	34039	&	22	9	2	1	3	2	Elizabeth (Union Co.)
53	5	NJ	34023	&	22	6	2	2	4	2	South Plainfield/Highland Park (Middlesex Co.)
54	5	NY	36013	6	21	6	3	2	5	3	Dunkirk (Chautauqua Co.)
55	5	NJ	34029	&	22	8	3	1	4	2	Lakewood/Brick Twp. (Ocean Co.)
56	5	MD	24033	3	24	3	2	2	6	3	Prince George's County Towns
57	-	NJ	34015	2	22	2	2	2	7	3	Rural Gloucester Co.
58	5	NJ	34007	&	22	5	2	2	4	2	Collingswood/Audubon (Camden Co.)
59	5	NJ	34035	&	22	7	2	1	4	2	Raritan/Bridgewater (Somerset Co.)
60	5	PA	42095	0	23	8	1	2	3	2	Bethlehem (Northampton Co.)
61	5	PA	42017	&	23	7	2	2	4	2	Warminster (Bucks Co.)
62	5	PA	42017	2	23	2	2	1	7	3	Rural Bucks Country
63	5	PA	42101	&	23	&	1	1	1	1	Philadelphia I (Philadelphia Co.)
64	5	PA	42101	&	23	&	1	1	1	1	Philadelphia II (Philadelphia Co.)

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	GSTATE	PLACH	MSA	REP	ST	RM	FRINGE	LOCATION
65	5	PA	42101	&	23	&	1	2	1	1	1	Philadelphia III (Philadelphia Co.)
66	5	PA	42045	&	23	7	2	1	4	2	2	Chester (Delaware Co.)
67	-	PA	42077	0	23	5	2	2	4	4	3	Salisbury/Fullerton (Lehigh Co.)
68	5	PA	42133	9	23	7	1	1	4	4	2	York (York Co.)
69	5	PA	42015	2	23	2	3	2	7	3	3	Rural Bradford County
70	4	PA	42107	3	23	3	3	1	5	3	3	Mcadoo/Coaldale/Girarville (Schuylkill Co.)
71	5	PA	42041	0	23	5	2	1	4	2	2	East Pennsboro/Camp Hill/Lemoyne (Cumberland Co.)
72	-	PA	42043	2	23	2	2	1	7	3	3	Rural Dauphin County
73	5	PA	42021	2	23	2	2	2	7	3	3	Rural Cambria Co.
74	5	PA	42085	8	23	5	2	2	4	2	2	Farrell (Mercer Co.)
75	5	PA	42085	3	23	3	2	1	6	3	3	Mercer County Towns
76	5	PA	42085	2	23	2	2	1	7	3	3	Rural Mercer County
77	5	PA	42073	7	23	7	3	2	5	3	3	New Castle (Lawrence Co.)
78	3	PA	42003	&	23	7	2	1	4	2	2	Mckees Rock/Bethel Park (Allegheny Co.)
79	5	DE	10003	0	25	6	2	2	4	2	2	Brookside/Newark(New Castle Co.)
80	-	MD	24029	2	24	2	3	2	7	3	3	Rural Kent Co.
81	5	MD	24033	&	24	6	2	1	4	2	2	Forest Hts./Camp Springs (Prince Georges Co.)
82	5	MD	24510	&	24	&	1	1	2	1	1	Baltimore I (Baltimore Co.)
83	5	MD	24510	&	24	&	1	2	2	1	1	Baltimore II (Baltimore Co.)
84	5	MD	24005	&	24	8	2	2	4	2	2	Towson (Baltimore Co.)
85	5	MD	24005	&	24	6	2	2	4	2	2	Cockeysville/Lutherville-Timonium/Reistertown (Baltimore Co.)
86	5	MD	24031	&	24	7	2	1	4	2	2	Potomac/Rockville (Montgomery Co.)
87	4	DC	11001	&	27	&	1	2	2	1	1	Washington D.C.
88	5	WV	54103	2	26	2	3	1	7	3	3	Rural Wetzel Co.
89	5	PA	42083	4	23	4	3	1	5	3	3	Kane (McKean Co.)
90	5	WV	54005	2	26	2	2	2	7	3	3	Rural Boone County
91	5	WV	54039	9	26	5	2	2	4	2	2	Nitro/St. Albans/Dunbar (Kanawha Co.)
92	4	MI	26099	&	32	9	2	1	3	2	2	Sterling Hts. (Macomb Co.)
93	6	MI	26163	&	32	&	1	1	1	1	1	Detroit I (Wayne Co.)
94	5	MI	26163	&	32	&	1	2	1	1	1	Detroit II (Wayne Co.)
95	5	MI	26163	&	32	8	2	2	3	2	2	Westland (Wayne Co.)
96	5	MI	26163	&	32	6	2	1	4	2	2	Trenton/Riverview (Wayne Co.)

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	GSTATE	PLA	CH	SMSA	REP	STRTM	FRINGE	LOCATION
97	5	MI	26091	2	32	2	2	3	1	7	3	Rural Lenawee County
98	5	MI	26125	&	32	6	6	2	2	4	2	Lathrup Village/Beverly Hills/Farmington (Oakland Co.)
99	5	MI	26093	2	32	2	2	3	2	7	3	Rural Livingston County
100	5	MI	26075	8	32	5	5	2	1	4	2	Blackman /Summit/Vawdercooklake/Michigan Denter (Jackson Co.)
101	5	MI	26117	2	32	2	2	3	1	7	3	Rural Montcalm County
102	5	MI	26021	3	32	3	3	2	2	6	3	Berrien County Towns
103	5	MI	26081	0	32	9	9	1	2	3	1	Grand Rapids (Kent Co.)
104	-	MI	26103	6	32	6	6	3	2	5	3	Marquette (Marquette Co.)
105	4	MI	26121	2	32	2	2	3	2	7	3	Rural Muskegon County
106	5	MI	26145	9	32	8	8	1	1	3	1	Saginaw (Saginaw Co.)
107	5	OH	39155	0	31	5	5	2	2	4	2	Liverty/Hubbard (Trumbull Co.)
108	3	OH	39151	2	31	2	2	2	1	7	3	Rural Stark County
109	5	OH	39085	&	31	6	6	2	1	4	2	Concord/Perry/Madison (Lake Co.)
110	5	OH	39035	&	31	-	-	1	1	2	1	Cleveland (Chyahoga Co.)
111	5	OH	39153	-	31	9	9	1	1	3	1	Akron (Summit Co.)
112	5	OH	39153	-	31	7	7	2	2	4	2	Lakemore/Barberton (Summit Co.)
113	5	MI	26139	6	32	6	6	2	1	5	3	Grand Haven (Ottawa Co.)
114	5	OH	39089	2	31	2	2	2	2	7	2	Rural Licking County
115	5	OH	39049	-	31	6	6	2	1	4	2	Gahanna/Westerville (Franklin Co.)
116	5	OH	39047	2	31	2	2	3	1	7	3	Rural Fayette County
117	5	OH	39095	-	31	0	0	1	2	2	1	Toledo (Lucas Co.)
118	5	OH	39091	6	31	6	6	3	2	5	3	Bellefontaine (Logan Co.)
119	-	OH	39061	&	31	0	0	1	1	2	1	Cincinnati (Hamilton Co.)
120	5	OH	39061	&	31	7	7	2	2	4	2	Norwood (Hamilton Co.)
121	5	OH	39113	-	31	9	9	1	2	3	1	Dayton (Montgomery Co.)
122	5	OH	39113	-	31	8	8	2	1	4	2	Centerville/Kettering (Montgomery Co.)
123	2	OH	39107	2	31	2	2	3	2	7	3	Rural Mercer County
124	5	IN	18177	3	33	3	3	3	1	6	3	Wayne County Towns
125	5	OH	39173	7	31	7	7	2	1	5	3	Bowling Green (Wood Co.)
126	5	IN	18053	2	33	2	2	3	1	7	3	Rural Grant County
127	5	IN	18097	-	33	-	-	1	2	2	1	Indianapolis (Marion CO.)
128	5	IN	18105	8	33	8	8	1	1	3	1	Bloomington (Monroe Co.)

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	GSTATE	PLA	CH	MSA	REP	STR	TM	FRINGE	LOCATION
129	5	IN	18105	8	33	5	2	2	2	4	2	2	Van Buren/Perry (Monroe Co.)
130	5	IN	18093	2	33	2	3	2	2	7	3	3	Rural Lawrence County
131	4	IL	17097	8	34	5	2	2	1	4	2	2	Round Lake Beach/Grays Lake/Fox Lake (Lake Co.)
132	5	IL	17089	9	34	8	2	2	2	3	1	1	Elgin (Kane Co.)
133	5	IL	17031	&	34	6	2	2	1	4	2	2	East Chicago Hts./Homewood (Cook Co.)
134	5	IL	17031	&	34	8	2	2	2	4	2	2	Morton Grove/Skokie (Cook Co.)
135	5	IL	17197	9	34	5	2	2	2	4	2	2	Plainfield/Crest Hill/Lockport (Will Co.)
136	5	IN	18107	2	33	2	3	1	1	7	3	3	Rural Montgomery County
137	2	IN	18023	6	33	6	3	2	2	5	3	3	Frankfort (Clinton Co.)
138	5	IL	17031	&	34	&	1	1	1	1	1	1	Chicago I (Cook Co.)
139	5	IL	17031	&	34	&	1	2	1	1	1	1	Chicago II (Cook Co.)
140	5	IL	17031	&	34	&	1	1	1	1	1	1	Chicago III (Cook Co.)
141	5	IL	17031	&	34	&	1	2	1	1	1	1	Chicago IV (Cook Co.)
142	5	IL	17089	9	34	8	2	2	1	3	1	1	Aurora (Kane Co.)
143	5	IL	17043	&	34	7	2	2	1	4	2	2	Lombard (Dupage Co.)
144	5	IL	17099	4	34	4	3	1	1	5	3	3	Marseilles (La Salle Co.)
145	5	IL	17011	3	34	3	3	2	2	6	3	3	Bureau County Towns
146	5	IL	17141	2	34	2	3	2	2	7	3	3	Rural Ogle County
147	5	IL	17197	9	34	9	2	2	2	4	2	2	Rockford (Winnebago Co.)
148	5	WI	55089	&	41	5	2	1	1	4	2	2	Cedarburg/Grafton (Ozaukee Co.)
149	5	WI	55079	&	41	-	1	1	1	2	1	1	Milwaukee (Milwaukee Co.)
150	5	WI	55079	&	41	8	2	2	2	3	2	2	Wauwatosa (Milwaukee Co.)
151	5	WI	55101	2	41	2	2	2	1	7	3	3	Rural Racine County
152	5	IL	17145	5	34	5	3	2	2	5	3	3	Duquoin (Perry Co.)
153	-	WI	55025	9	41	6	2	2	2	4	2	2	Monona/Mcfarland/Middleton (Dane Co.)
154	-	WI	55105	0	41	8	1	1	1	3	1	1	Janesville (Rock Co.)
155	-	WI	55111	2	41	2	3	2	2	7	3	3	Rural Sauk County
156	5	WI	55005	3	41	3	3	1	1	6	3	3	Barron County Towns
157	5	IL	17077	7	34	7	3	1	1	5	3	3	Carbondale (Jackson Co.)
158	5	MN	27137	2	42	2	2	2	1	7	3	3	Rural St. Louis County
159	5	MN	27053	&	42	7	2	1	1	4	2	2	Richfield (Hennepin Co.)
160	5	MN	27123	&	42	9	1	1	2	2	1	1	St. Paul (Ramsey Co.)

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	GS	STATE	PL	CH	MS	SA	REP	STR	TM	FRINGE	LOCATION
161	5	MN	27003	&	42	7	2	2	2	2	4	2			Anoka/Coon Rapids (Anoka Co.)
162	5	MN	27089	2	42	2	3	2	7	3					Rural Marshall County
163	5	MN	27035	4	42	4	3	2	5	3					Breckenridge (Wilkin Co.)
164	5	SD	46099	3	46	3	2	2	6	3					Minnehaha Co. Towns
165	3	IA	19043	2	43	2	3	1	7	3					Rural Clayton County
166	5	IA	19103	8	43	8	1	2	3	1					Iowa City (Jackson Co.)
167	5	IA	19179	7	43	7	3	1	5	3					Ottumwa (Wapello Co.)
168	5	IA	19073	2	43	2	3	2	7	3					Rural Greene County
169	5	NE	31153	-	47	6	2	1	4	2					Papillion/Bellevue (Sarpy Co.)
170	5	NE	31109	9	47	9	1	1	3	1					Lincoln (Lancaster Co.)
171	5	IA	19065	3	43	3	3	1	6	3					Fayette County Towns
172	5	IA	19187	7	43	7	3	2	5	3					Fort Dodge (Webster Co.)
173	5	NE	31153	2	47	2	2	1	7	3					Rural Sarpy County
174	5	MO	29510	&	44	0	1	1	2	1					St. Louis (Independent City)
175	5	MO	29189	&	44	7	2	2	4	2					University City (St. Louis Co.)
176	5	MO	29051	7	44	7	3	1	5	3					Jefferson City (Cole Co.)
177	5	MO	29225	2	44	2	3	2	7	3					Rural Webster County
178	-	MO	29095	&	44	0	1	2	2	1					Kansas City (Jackson Co.)
179	5	MO	29095	&	44	7	2	1	4	2					Grandview/Raytown (Jackson Co.)
180	5	KS	20209	&	48	9	1	2	3	1					Kansas City (Wyandotte Co.)
181	5	MO	29111	3	44	3	3	2	6	3					Lewis County Towns
182	5	MO	29101	2	44	2	3	1	7	3					Rural Lafayette County
183	5	VA	51840	6	51	6	3	2	5	3					Winchester (Independent City.)
184	5	VA	51740	-	51	9	1	1	3	1					Portsmouth (Independent City.)
185	5	VA	51810	-	51	0	1	1	2	2					Virginia Beach (Independent City)
186	5	VA	51570	9	51	6	2	2	4	2					Hopewell/Colonial Heights (Independent City)
187	5	VA	51175	2	51	2	3	2	7	3					Rural Southampton County
188	-	VA	51059	&	51	7	2	1	4	2					Annandale (Fairfax Co.)
189	5	KS	20169	7	40	7	3	1	5	3					Salina (Salina Co.)
190	5	VA	51680	8	51	0	1	2	3	1					Lynchburg (Independent City.)
191	5	VA	51015	2	51	2	3	1	7	3					Rural Augusta County
192	5	KY	21089	2	56	2	3	2	7	3					Rural Greenup County

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	GSTATE	PLAC	CH	MSA	REP	STR	TM	FRINGE	LOCATION
193	5	KY	21151	2	56	2	3	1	7	3			Rural Madison County
194	5	KY	21015	&	56	6	2	2	4	2			Florence (Boone County)
195	4	KY	21107	6	56	6	3	2	5	3			Madisonville (Hopkins Co.)
196	5	KY	21027	2	56	2	3	2	7	3			Rural Breckenridge Co.
197	5	KY	21143	3	56	3	3	1	6	3			Marshall/Lyon Co. Towns
198	5	NC	37107	2	52	2	3	1	7	3			Rural Lenoir County
199	5	NC	37129	8	52	7	2	1	4	2			Wilmington (New Hanover Co.)
200	-	NC	37063	9	52	9	1	1	3	1			Durham (Durham Co.)
201	5	NC	37071	2	52	2	2	2	7	3			Rural Gaston County
202	5	NC	37033	2	52	2	3	2	7	3			Rural Caswell County
203	5	NC	37057	2	52	2	2	1	7	3			Rural Davidson County
204	5	NC	37119	0	52	0	1	2	2	1			Charlotte (Mecklenburg Co.)
205	5	NC	37071	9	52	7	2	2	4	2			Gastonia (Gaston Co.)
206	5	KY	21033	5	56	5	3	1	5	3			Princeton (Caldwell Co.)
207	5	TN	47163	2	57	2	2	1	7	3			Rural Sullivan County
208	5	TN	47093	0	57	9	1	2	3	1			Knoxville (Knox Co.)
209	5	NC	37097	6	52	6	3	2	5	3			Statesville (Iredell Co.)
210	5	TN	47141	2	57	2	3	2	7	3			Rural Putnam County
211	-	TN	47037	-	57	0	1	1	2	1			Nashville/Davidson (Davidson Co.)
212	5	TN	47187	-	57	5	2	1	4	2			Brentwood/Franklin (Williamson Co.)
213	5	TN	47017	2	57	2	3	1	7	3			Rural Carroll County
214	4	TN	47157	-	57	-	1	2	2	1			Memphis (Shelby Co.)
215	-	TN	47149	7	57	7	2	1	5	3			Murfreesboro (Rutherford Co.)
216	5	AR	5145	3	61	3	3	2	6	3			White County Towns
217	5	AR	5119	2	61	2	2	2	7	3			Rural Pulaski Co.
218	5	AR	5131	8	61	8	1	1	3	1			Fort Smith (Sebastian Co.)
219	-	AR	5051	2	61	2	3	1	7	3			Rural Garland County
220	5	OK	40147	7	63	7	3	2	5	3			Bartlesville (Washington Co.)
221	5	OK	40109	-	63	0	1	1	2	1			Oklahoma City (Oklahoma Co.)
222	5	OK	40047	8	63	7	2	2	4	2			Enid (Garfield Co.)
223	5	OK	40139	5	63	5	3	1	5	3			Guymon (Texas Co.)
224	5	SC	45067	2	53	2	3	2	7	3			Rural Marion County

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	GSTATE	PLACES	MSA	REP	STR	TM	FRINGE	LOCATION
225	5	SC	45003	0	53	3	2	1	4	2	2	Belvedere/North Augusta/Graniteville (Aiken Co.)
226	5	SC	45023	2	53	2	3	1	7	3	3	Rural Chester County
227	5	SC	45083	3	53	3	2	1	6	3	3	Spartanburg County Towns
228	5	SC	45031	2	53	2	3	2	7	3	3	Rural Laurens County
229	-	SC	45031	5	53	5	3	2	5	3	3	Darlington (Darlington Co.)
230	1	GA	13021	9	54	9	1	2	3	1	1	Macon (Bibb Co.)
231	4	GA	13059	8	54	7	1	2	4	1	1	Athens (Clarke Co.)
232	5	GA	13157	2	54	2	2	1	7	3	3	Rural Jackson County
233	5	GA	13121	&	54	0	1	2	2	1	1	Atlanta (Fulton Co.)
234	-	GA	13063	&	54	5	2	1	4	2	2	Riverdale (Clayton Co.)
235	5	GA	13097	2	54	2	2	2	7	3	3	Rural Douglass County
236	5	GA	13017	6	54	6	3	1	5	3	3	Fitzgerald (Ben Hill Co.)
237	5	GA	13115	8	54	7	3	2	4	2	2	Rome (Floyd Co.)
238	5	AL	1087	2	58	2	3	1	7	3	3	Rural Macon County
239	5	AL	1101	9	58	9	1	1	3	1	1	Montgomery (Montgomery Co.)
240	5	AL	1073	-	58	6	2	1	4	2	2	Fairfield/Bessemer/Hueytown (Jefferson Co.)
241	-	AL	1079	2	58	2	3	2	7	3	3	Rural Lawrence County
242	5	MS	28081	6	59	6	3	2	5	3	3	Tupelo (Lee Co.)
243	5	MS	28103	2	59	2	3	1	7	3	3	Rural Noxubee County
244	5	MS	28121	0	59	6	2	2	4	2	2	Pearl (Rankin Co.)
245	5	MS	28107	2	59	2	3	2	7	3	3	Rural Panola County
246	5	MS	28119	3	59	3	3	2	6	3	3	Tunica/Panola/Quitman Co. Towns
247	5	LA	22019	4	62	4	3	1	5	3	3	Dequincy (Calcasieu Parish)
248	6	LA	22071	&	62	-	1	1	2	1	1	New Orleans (Orleans Parish)
249	5	LA	22051	&	62	9	2	2	4	2	2	Metairie (Jefferson Parish)
250	5	LA	22063	2	62	2	2	1	7	3	3	Rural Livingston Parish
251	5	LA	22055	9	62	4	2	1	4	2	2	Carencro/Scot/Broussard/Broadmoor (Lafayette Parish)
252	5	LA	22017	0	62	9	1	1	3	1	1	Shreveport (Caddo Parish)
253	5	LA	22019	2	62	2	2	2	7	3	3	Rural Calcasieu Parish
254	5	TX	48067	5	64	5	3	2	5	3	3	Atlanta/Queen City (Cass Co.)
255	5	TX	48201	&	64	&	1	1	1	1	1	Houston I (Harris Co.)
256	5	TX	48201	&	64	&	1	2	1	1	1	Houston II (Harris Co.)

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	IG	STATE	PLAC	MSA	REP	STR	TM	FRINGE	LOCATION
257	5	TX	48201	&	64	&	5	1	2	1	1	1	Houston III (Harris Co.)
258	4	TX	48201	&	64	5	2	2	2	4	4	2	Cloverleaf/Channel View/Highlands (Harris Co.)
259	5	TX	48291	2	64	2	2	2	1	7	7	3	Rural Liberty County
260	5	TX	48423	8	64	8	1	2	2	3	3	1	Tyler (Smith)
261	5	TX	48161	4	64	4	4	3	1	5	5	3	Fairfield/Teague (Freestone Co.)
262	5	TX	48113	&	64	-	-	1	2	2	2	1	Dallas (Dallas Co.)
263	5	TX	48113	&	64	8	8	2	1	3	3	2	Mesquite (Dallas Co.)
264	5	TX	48113	&	64	6	6	2	1	4	4	2	Duncanville/Desoto (Dallas Co.)
265	2	TX	48139	2	64	2	2	2	2	7	7	3	Rural Ellis County
266	5	TX	48439	&	64	0	0	1	1	2	2	1	Fort Worth (Tarrant Co.)
267	5	TX	48439	3	64	3	3	2	1	6	6	3	Tarrant County Towns
268	5	TX	48091	6	64	6	6	2	2	5	5	3	New Braunfels (Comal Co.)
269	5	TX	48061	8	64	7	7	2	2	4	4	2	Harlingen (Cameron Co.)
270	5	TX	48061	2	64	2	2	2	1	7	7	3	Rural Cameron County
271	5	TX	48215	9	64	8	8	1	2	3	3	1	Mcallen (Hidalgo Co.)
272	5	TX	48029	-	64	-	-	1	1	2	2	1	San Antonio I (Bexar Co.)
273	-	TX	48029	-	64	-	-	1	2	2	2	1	San Antonio II (Bexar Co.)
274	5	TX	48215	6	64	6	6	2	1	5	5	3	Weslaco (Hidalgo Co.)
275	5	TX	48303	9	64	9	9	1	1	3	3	1	Lubbock (Lubbock Co.)
276	5	TX	48215	9	64	6	6	1	1	4	4	2	Edinburg (Hidalgo Co.)
277	-	TX	48069	2	64	2	2	3	2	7	7	3	Rural Castro County
278	5	FL	12011	&	55	9	9	1	2	3	3	1	Hollywood (Broward Co.)
279	5	FL	12011	&	55	7	7	2	2	4	4	2	Sunrise/Lauderhill (Broward Co.)
280	5	FL	12025	&	55	0	0	1	2	2	2	1	Miami (Dade Co.)
281	5	FL	12025	&	55	6	6	2	1	4	4	2	South Miami Heights/Perrine (Dade Co.)
282	5	FL	12025	&	55	6	6	2	2	4	4	2	Sunny Isles/Ivey Estates/Norland (Dade Co.)
283	5	FL	12095	-	55	9	9	1	1	4	4	1	Orlando (Orange Co.)
284	5	TX	48279	5	64	5	5	3	2	5	5	3	Littlefield (Lamb Co.)
285	5	FL	12103	-	55	9	9	1	1	3	3	1	St. Petersburg (Pinellas Co.)
286	5	FL	12031	-	55	-	-	1	1	2	2	1	Jacksonville (Duval Co.)
287	5	FL	12115	0	55	4	4	2	2	4	4	2	Vamo/So. Sarasota (Sarasota Co.)
288	5	FL	12081	2	55	2	2	2	1	7	7	3	Rural Manatee County

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	STATE	PLACES	MSA	REP	STR	FR	LOCATION
289	-	FL	12103	-	55	6	2	1	4	2	Tarpon Springs/Palm Harbor (Pinellas co.)
290	5	FL	12033	9	55	6	2	2	4	2	Warrington/Myrtle Grove/West Pensacola (Escambia Co.)
291	-	MT	30093	7	71	7	3	1	5	3	Butte (Silver Bow Co.)
292	5	MT	30013	8	71	8	1	2	3	1	Great Falls (Cascade Co.)
293	5	ID	16043	2	74	2	3	2	7	3	Rural Fremont County
294	5	MT	30031	3	71	3	3	2	6	3	Gallatin County Towns
295	4	ID	16017	2	74	2	3	1	7	3	Rural Bonner County
296	5	CO	8031	&	73	0	1	2	2	1	Denver (Denver Co.)
297	5	CO	8005	&	73	7	2	1	4	2	Englewood (Arapahoe Co.)
298	5	CO	8041	0	73	9	1	1	3	1	Colorado Springs (El Paso Co.)
299	5	CO	8089	5	73	5	3	2	5	3	La Junta (Otero Co.)
300	5	UT	49035	-	76	8	2	2	4	2	West Valley (Salt Lake Co.)
301	5	UT	49011	-	76	7	2	2	4	2	Val Verde/Bountiful (Davis Co.)
302	4	UT	49027	2	76	2	3	2	7	3	Rural Duchesne County
303	5	NV	32031	9	77	9	1	1	3	1	Reno (Washoe County)
304	5	NM	35015	6	78	6	3	1	5	3	Artesia (Eddy County)
305	5	NM	35001	0	78	0	1	1	2	1	Albuquerque (Bernalillo Co.)
306	5	NM	35001	0	78	6	2	1	4	2	South Valley/North Valley (Bernalillo Co.)
307	5	AZ	40187	6	72	6	3	2	5	3	Lake Havasu City (Mohave Co.)
308	5	AZ	4013	&	72	-	1	2	2	1	Phoenix (Maricopa Co.)
309	3	NM	35005	2	78	2	3	1	7	3	Rural Chaves County
310	5	WA	53063	0	83	9	1	2	3	1	Spokane (Spokane Co.)
311	-	WA	53077	8	83	7	2	2	4	2	Yakima (Yakima Co.)
312	5	CO	8123	3	73	3	3	1	6	3	Weld County Towns
313	-	WA	53033	&	83	0	1	1	2	1	Seattle (King Co.)
314	5	WA	53033	&	83	5	2	1	4	2	Valley Ridge/North Hill/Des Moines (King Co.)
315	5	WA	53053	2	83	2	2	2	7	3	Rural Pierce County
316	5	WA	53067	8	83	6	2	2	4	2	Lacey/Union Mills/Tumwater (Thurston Co.)
317	5	WA	53041	2	83	2	3	1	7	3	Rural Lewis County
318	5	OR	41029	6	82	6	2	1	5	3	Ashland (Jackson Co.)
319	5	OR	41051	&	82	0	1	2	2	1	Portland (Multnomah Co.)
320	5	OR	41067	&	82	6	2	1	4	2	Hillsboro/Forest Grove/Cornelius (Washington Co.)

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	GSTATE	PLACES	MSA	REP	STR	TM	FRINGE	LOCATION
321	4	CA	6035	2	81	2	3	2	7	7	3	Rural Lassen County
322	5	CA	6071	&	81	7	2	1	4	4	2	Montclair/upland (San Bernardino Co.)
323	5	CA	6029	6	81	6	2	2	5	5	3	Ridgecrest (Kern Co.)
324	5	CA	6071	-	81	7	2	2	4	4	2	Redlands (San Bernardino Co.)
325	5	CA	6065	-	81	9	1	2	3	3	1	Riverside (Riverside Co.)
326	-	CA	6073	2	81	2	2	1	7	7	3	Rural San Diego County
327	5	CA	6073	&	81	-	2	1	2	2	2	San Diego (San Diego Co.)
328	5	CA	6073	&	81	7	2	1	4	4	2	Poway/Santee (San Diego Co.)
329	5	CA	6037	&	81	6	2	1	4	4	2	Valencia/Canyon County (L.A. Co.)
330	4	CA	6059	&	81	9	1	1	3	3	2	Garden Grove (Orange Co.)
331	5	CA	6059	&	81	9	2	2	3	3	2	Huntington Beach (Orange Co.)
332	5	CA	6059	&	81	6	2	2	4	4	2	Laguna Hills/Laguna Beach (Orange Co.)
333	5	CA	6037	&	81	&	1	1	1	1	1	Los Angeles I (Los Angeles Co.)
334	5	CA	6037	&	81	&	1	1	1	1	1	Los Angeles II (Los Angeles Co.)
335	5	CA	6037	&	81	&	1	2	1	1	1	Los Angeles III (Los Angeles Co.)
336	5	CA	6037	&	81	&	1	1	1	1	1	Los Angeles IV (Los Angeles Co.)
337	5	CA	6037	&	81	&	1	2	1	1	1	Los Angeles V (Los Angeles Co.)
338	5	CA	6037	&	81	0	1	2	2	2	1	Long Beach (L.A. Co.)
339	5	CA	6037	&	81	8	2	1	3	3	2	Inglewood (Los Angeles Co.)
340	5	CA	6037	&	81	9	2	1	3	3	2	Pasadena (Los Angeles Co.)
341	-	CA	6037	&	81	8	2	2	3	3	2	Compton (Los Angeles Co.)
342	5	CA	6037	&	81	6	2	2	3	3	2	El Monte (Los Angeles Co.)
343	5	CA	6037	&	81	7	2	1	4	4	2	La Mirada (Los Angeles Co.)
344	5	CA	6037	&	81	8	2	2	4	4	2	Whittier (Los Angeles Co.)
345	5	CA	6083	9	81	8	2	2	4	4	2	Santa Barbara (Santa Barbara Co.)
346	5	OR	41003	7	82	7	3	1	5	5	3	Corvallis (Benton Co.)
347	5	CA	6099	9	81	9	1	1	3	3	1	Modesto (Stanislaus Co.)
348	5	CA	6095	&	81	7	2	1	4	4	2	Benicia/Suisun/Vacaville (Solano Co.)
349	5	CA	6067	2	81	2	2	2	7	7	3	Rural Sacramento County
350	5	OR	41041	5	82	5	2	2	5	5	3	Newport (Lincoln Co.)
351	5	CA	6075	&	81	-	1	1	2	2	1	San Francisco (San Francisco Co.)
352	5	CA	6013	&	81	8	2	2	3	3	2	Richmond (Contra Costa Co.)

SPOT	SAMPLE	STATE	COUNTY	CITY	GS	STATE	PLACES	MSA	REP	STR	TMT	FRINGE	LOCATION
353	3	CA	6013	&	81		8	2	2	4	2	2	Moraga/Lafayette/Walnut Creek (Contra Costa Co.)
354	5	CA	6001	&	81		0	1	2	2	1	1	Oakland (Alameda Co.)
355	5	CA	6001	&	81		8	2	1	3	2	2	Hayward (Alameda Co.)
356	-	CA	6085	&	81		-	1	1	2	1	1	San Jose (Santa Clara Co.)
357	5	CA	6085	&	81		8	2	1	4	2	2	Los Altos/Palo Alto (Santa Clara Co.)
358	-	AK	2020	9	85		9	1	2	3	1	1	Anchorage
359	5	HI	15001	2	84		2	3	1	7	3	3	Rural Hawaii County
360	-	HI	15003	-	84		7	2	2	4	2	2	Aiea/Pearl City/Waipahu (Honolulu Co.)

1 9 8 8 年日本調査の標本計画と

調査実施の概要

Sampling Design for the 1988 Japan Survey

Summary of the Sampling Design for the 1988 Japan Survey

For the Japan survey, the range of the subject society and that of the survey subjects were defined as follows, leading us to view the sampling design as extremely precise and as problem-free (see Note 1).

As seen in Table 2-1, first all administrative units in the nation were stratified by area (11 classes) and by population scale (4 classes). Politically designated cities (11 cities) were each taken as one zone, which gives a total of 55 zones into which the nation was stratified. Next, the population of adults 18 and older in each zone was estimated based on the most recent national census and on the register of residents, and the total sample ($m=4500$) was apportioned according to the proportion of the population in each zone. Next, we calculated the number of survey points within each zone such that one survey point comprised a group sample size of 10 - 15. Then, from a breakdown of census information on the characteristics of the census district for each zone, we used proportional probability sampling to sample only the number of districts required as allocated to each zone.

Selection of individual survey respondents was by equal interval sampling based on the resident register of each survey point within the relevant neighborhood, village, town, or city of the selected survey district. In the recent 1988 survey, the 4500 respondents were selected from 315 survey districts, 243 within municipalities and 72 from towns and villages. By survey version, there were 2265 respondents for survey version A and

1017 for version B, totaling 3282, a 73% response rate (see Tables 2-1 to 2-5).

For more detail about the sampling plan, see Part 4 (III) of the current report and Appendix 1, "The 1988 Japan Survey Codebook and Supplemental Materials."

In Part 4 (III) §1, where examination of the sample and translation are discussed, the results of version A of the 1988 Japan survey (n=2265) were used to calculate the sampling error for all of the questionnaire items. The basic characteristics shown are from versions A and B combined. From the results we may conclude that the data from the Japan survey met our expectations for being representative and accurate.

When taking international comparative research into consideration, one must bear in mind that the sampling design for Japan is organized in accordance with the way Japanese society is expected to be structured, and that a special feature is that probability sampling taking Japanese as the population is easily accomplished.

Below, we show, in order, the sampling plans for the other subject societies of this comparative study. When contrasted with the Japanese plan, our point concerning the ease of Japanese sampling will become clear.

Table 2-1

Research on Methodology for International Comparative Studies of Ways of
Thinking.

1. Survey content (see §2 below for details)

Thinking about politics, society, culture, and way of life: 75 items plus
items on subject characteristics (26 of the items follow split version
approach)

2. Survey subjects

- 1) Population: Japanese individuals in Japan age 18 or above
- 2) Sample: 4,500 (Versions A, B, apportioned 2 : 1)
- 3) Sampling method: 2 stage stratified random sample
- 4) Sampling frame: Stage 1: national census districts;
Stage 2: individuals (resident register).

3. Survey period

October 6 - 19, 1988

4. Survey method

Individual interviews by survey interviewers

5. Response results

	Total		Version A		Version B	
Usable responses	3,282	(72.9%)	2,265	(73.2%)	1,017	(72.4%)
Unusable surveys	1,218	(27.1)	831	(26.8)	387	(27.6)
Established sample n	4,500	(100.0%)	3,096	(100.0%)	1,404	(100.0%)
Changed residence	114	(2.5%)	70	(2.3%)	44	(3.1%)
Long term absence	105	(2.3)	72	(2.3)	33	(2.4)
Temporary absence	436	(9.7)	306	(9.9)	130	(9.3)
Address unknown	33	(0.7)	24	(0.8)	9	(0.6)
Refused	499	(11.1)	335	(10.8)	164	(11.7)
Other	31	(0.7)	24	(0.8)	7	(0.5)
Total	1,218	(27.1%)	831	(26.8%)	387	(27.6%)

NOTES

1) However, in reality several problems remain. These are examined separately as sampling design issues. See for example, Suzuki and Takahashi (1991): Hyohon Chushutsu no Keikaku to Hoho (Sampling Design Methods) Hoso Daigaku Kyoiku Shinkokai, pp. 225-249.

Research Report

General Series No.72

CULTURAL LINK ANALYSIS FOR COMPARATIVE SOCIAL RESEARCH

A Codebook for A Common File
of

1987's German Survey

1987's French Survey

1987's British Survey

1988's U.S. Survey

1988's Japanese Survey

1 9 9 2

The Research Committee

TOKEI-SURI KENKYUZYO

The Institute of Statistical Mathematics

4-6-7 Minami-Azabu, Minato-ku,

Tokyo 106, JAPAN